

国立防災科学技術センター刊行物一覧(1)

資料調査室* 編

国立防災科学技術センター

Index of Publications of the National Research Center for Disaster Prevention(1)

Compiled by Data Section

*National Research Center for
Disaster Prevention*

Abstract

Twenty-five years have passed since the National Research Center for Disaster Prevention (NRCDP) was established in 1963. During this period, the Center has conducted research in various fields of natural disaster, and that ranging from basic to applied or practical, and further of social concern.

The results of the research published as papers exceeds 1,000. Therefore, as one of the monumental events for the 25th anniversary of the Center, we have investigated all the papers that has been printed or published since its foundation. At the same time, we have arranged them as part of our project for database of the informations of disaster prevention science and technology which was initiated in 1988, so that they can be utilized widely in the world.

The papers published by the researchers of the Center have been introduced in "Collection of Abstracts of the National Research Center for Disaster Prevention", an annual publication, and the oral representations or technical cooperations in "Annual Report of the National Research Center for Disaster Prevention".

The content compiled in this file corresponds to only a part of the total and the residual data is to be published successively.

目 次

1. はじめに	1	4. 2 Hydrological disaster	
2. 誌名別リスト	3	prevention	116
2. 1 国立防災科学技術センター		4. 3 Wind disaster	
研究報告	4	prevention	124
2. 2 国立防災科学技術センター		4. 4 Earthquake	
研究速報	32	prediction	124
2. 3 防災科学技術研究資料	40	4. 5 Earthquake disaster	
2. 4 主要災害調査	54	prevention	134
3. 研究分野別リスト(和文).....	59	4. 6 Volcanic disaster	
3. 1 気象災害	60	prevention	140
3. 2 水災害	62	4. 7 Landslide disaster	
3. 3 風 害	70	prevention	144
3. 4 地震予知	70	4. 8 Snow and Ice disaster	
3. 5 地震防災	76	prevention	148
3. 6 火山災害	82	4. 9 Coastal disaster	
3. 7 地すべり・崩壊	84	prevention	158
3. 8 雪氷災害	88	4.10 Information processing for	
3. 9 海洋災害	96	disaster prevention	166
3.10 防災情報処理・リモート		4.11 Fire disaster	
センシング	100	prevention	174
3.11 火 災	104	4.12 Disaster prevention in	
3.12 災害一般	104	general	174
3.13 その他	106	4.13 Others	178
4. Research Field Index	109	5. 著者別リスト	181
4. 1 Meteorological disaster			
prevention	110		

1. はじめに

国立防災科学技術センターは、昭和38年に設立以来、25年の歳月を経過した。この間、自然災害にかかわる様々な分野の、しかも、基礎から応用・実用に至るまでの、あるいは社会的なかかわり等幅広い研究を行ってきた。

それらの研究成果は、当センターの印刷・刊行物として、その研究論文は一千余点に及ぶ。そこで、当センター25周年を記念する事業の一環として、創設以来の全ての印刷・刊行物を調査するとともに、昭和63年度から着手した防災科学技術情報のデータベースの構築の一部として整理し、当センターの研究成果を内外の人々が活用しやすいようにすることを企画した。

なお、当センターの研究者が、印刷物により外部に発表したものは、年1回刊行する「国立防災科学技術センター要旨集」に、また、講演発表、技術協力等については「国立防災科学技術センター年報」に掲載してある。

本資料にまとめたものは、本計画の一部であり、残りについては引き続き発刊することとしている。

収納刊行物

本資料に収納した刊行物は下記のとおりである。「国立防災科学技術センター研究報告」、
「国立防災科学技術センター研究速報」、「防災科学技術研究資料」及び「主要災害調査」

本資料の内容

本資料の内容は、「誌名別リスト」、「研究分野別リスト(和文),(英文)」及び「著者別リスト」から成る。

「誌名別リスト」は、「国立防災科学技術センター研究報告」、「国立防災科学技術センター研究速報」、「防災科学技術研究資料」及び「主要災害調査」の号数の若い順に掲載してある。

「研究分野別リスト(和文),(英文)」は、当センターの対象とする研究分野を13に区分し、この区分にしたがって整理し、誌名別リストの順にしたがって掲載してある。

「著者別リスト」は、当センターの職員、在職した職員及び客員研究官等が、筆頭者として発表した研究論文等を、著者・編者のアイウエオ順に、誌名別リストの順にしたがって掲載してある。

なお、本資料の編集は、小見波正隆、逢坂美智子が実施した。

2. 誌 名 別 リ ス ト

1. 本リストは、「国立防災科学技術センター研究報告」、「国立防災科学技術センター研究速報」、「防災科学技術研究資料」及び「主要災害調査」の号数の若い順に掲載してある。
2. 本リストの内容は、研究論文の一連番号^{*}、号数、刊行年月、論文名、頁数、著者・編者、「国立防災科学技術センター要旨集」のアブストラクト掲載番号、の順に記載してある。

* この一連番号は、本リスト作成のために付した番号である。

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
2・1 国立防災科学技術センター研究報告			
1	1	1968. 3	気象レーダのエコーを電子計算機により実時間解析する可能性について
2	1	〃	天竜川佐久間の洪水予報方式について
3	1	〃	高速A-D, D-A変換器を持つデータ処理機TOSBAC-3400のプログラミング例(1)
4	1	〃	気象資料の長期変動について——月平均気圧・月平均気温・月雨量のスペクトル解析——
5	2	1969. 3	日本における災害の変遷に関する研究
6	2	〃	加茂・大東地方花崗閃緑岩地帯における風化帯の粘土鉱物(第1報)——風化生成粘土鉱物とその生成系列——
7	2	〃	地形条件からみた扇状地の土砂災害について
8	2	〃	容量型波高計について
9	2	〃	重力波における波高と水圧の関係(1)——水圧変動の深さによる減衰——
10	2	〃	深い湖の水溫鉛直分布と蒸発の季節変化
11	2	〃	地表面近くの地温・気温の日変化特性
12	3	1969. 8	道路の除雪計画についての一考察——自動車の走行速度から見た——
13	3	〃	新潟地震被災建物の空中写真による傾斜測定の研究
14	3	〃	只見川の洪水流量を算出する方式について
15	3	〃	流雪溝の流雪能力について
16	4	1970. 1	発達過程にある風浪
17	4	〃	波浪のスペクトル幅と統計値(1)
18	4	〃	平塚沿岸の風・水温および波について
19	5	1971. 3	多数のレーダと中央の計算機による地域雨量測定法(英文)
20	5	〃	浅井戸における地震波の深さによる変化
21	5	〃	長岡における降雪の日変化
22	5	〃	降雪の強さと視程

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
1～ 13	菅原正巳, 勝山ヨシ子, 八十島久	—
15～ 35	菅原正巳	—
37～ 43	菅原正巳, 勝山ヨシ子, 八十島久, 尾崎睿子	—
45～ 86	菅原正巳, 勝山ヨシ子	—
1～ 20	西川 泰	—
21～ 44	大八木規夫, 内田哲男, 鈴木宏芳	—
45～ 55	大石道夫, 水谷武司	—
57～ 68	稲田 亘, 渡部 勲	—
69～ 74	藤縄幸雄	—
75～ 88	近藤純正, 渡部 勲	—
89～105	近藤純正, 内藤玄一	—
1～ 14	有賀世治	—
15～ 40	高橋 博	—
41～ 53	菅原正巳, 尾崎睿子	—
55～ 68	田中康之, 高橋修平, 小林俊市	—
1～ 21	岩田憲幸, 田中孝紀	—
23～ 43	岩田憲幸, 稲田 亘, 田中孝紀, 渡部 勲	—
45～ 64	近藤純正, 稲田 亘, 内藤玄一, 渡部 勲	—
1～ 8	菅原正巳, 勝山ヨシ子, 大村一夫	—
9～ 24	高橋末雄, 鈴木宏芳	—
25～ 31	斎藤博英, 清水増治郎	—
33～ 40	斎藤博英	—

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
23	5	1971. 3	低周波音波による積雪検知
24	5	"	超音波による積雪検知
25	5	"	台風によるうねり
26	5	"	波浪のスペクトル幅と統計量 (Ⅱ)
27	5	"	乱流の一つのモデル：うず糸の集合の統計的処理 (英文)
28	5	"	風浪における行過ぎ量 (英文)
29	6	"	栽培用ハウス内温度環境の予測と制御に関する研究
30	7	1971. 11	新潟県矢津地すべりの機構
31	7	"	図形読取装置の試作および応用例
32	7	"	発達過程にある風浪のスペクトルの相似性 (英文)
33	7	"	地表温度の数値予報
34	8	1974. 2	浸食による山地斜面の発達 (英文)
35	9	1974. 3	微小地震の自動検出方法について
36	9	"	電子計算機による強震記録の読み取り
37	9	"	小型フォトトランジスタによる雪面の検出
38	9	"	北関東地方の雷雨発生日の天気安定度
39	9	"	静止空気中で燃焼させたよう化銀コンボジットの有効氷晶核数の測定
40	10	1974. 10	砕波・白波・波浪高周波成分の観測と海面粗度
41	10	"	海上風の乱れのスケールと軸の傾き
42	10	"	海面と大気間の運動量・顕熱・水蒸気に対する輸送係数
43	10	"	風による海洋最上層の流速
44	10	"	海面近くの風速変動の相関と乱渦の三次元モデル
45	11	1975. 8	風浪の方向スペクトルの測定
46	11	"	風浪の発達の機巧—— 一つのモデル
47	11	"	水温躍層を伝わる内部波の減衰

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
41～ 49	木村忠志	—
51～ 58	木村忠志	—
59～ 79	岩田憲幸, 田中孝紀, 渡部 勲	—
81～ 87	岩田憲幸, 稲田 亘, 渡部 勲	—
89～ 95	藤縄幸雄	—
97～103	藤縄幸雄	—
1～139	岩切 敏	—
1～ 22	湯原浩三, 西村嘉四郎, 岩崎一雄, 大久保太治, 川本 整	—
23～ 34	大村一夫	—
35～ 45	岩田憲幸	—
47～ 67	近藤純正	—
1～ 46	水谷武司	—
1～ 9	菅原正巳, 勝山ヨシ子, 大村一夫, 福井隆文	—
11～ 31	渡辺一郎, 勝山ヨシ子, 尾崎睿子, 福井隆文	—
33～ 46	木村忠志, 清水増治郎	—
47～ 53	米谷恒春	—
55～ 60	八木鶴平	—
1～ 23	近藤純正, 藤縄幸雄, 内藤玄一	—
25～ 40	近藤純正, 内藤玄一, 藤縄幸雄, 渡部 勲	—
41～ 65	近藤純正	—
67～ 82	近藤純正, 内藤玄一, 藤縄幸雄	—
83～ 96	内藤玄一, 近藤純正	—
1～ 30	藤縄幸雄	—
31～ 47	藤縄幸雄	—
49～ 66	都司嘉宣	—

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
48	12	1975. 8	タンクモデルによる非湿潤地帯河川の流出解析（付：ビギン河，木津川の流出解析）
49	12	〃	微小地震の自動検出方法について（第2報）
50	12	〃	P波走時の異常と日本の上部マントル構造——日本における地震学的研究（英文）
51	13	1976. 3	災害時における避難の難易差の反映としての人命被害度の時刻差および地域差
52	13	〃	風水害および震害とひん度との関係について
53	13	〃	土粒子の結合力を計算する新しい式
54	13	〃	岩槻深層観測井データ搬送装置とその信頼性
55	13	〃	松代地域弾性波探査の周波数分析に現れた異常——人工地震波の周波数分析（Ⅱ）
56	13	〃	乱れた流れの上の波浪の方向特性について（英文）
57	14	1976. 3	冬期南西諸島南方海域における運動量・顕熱・潜熱の輸送と放射量——AMTEX '74 報告——
58	14	〃	北関東に豪雨およびひょう害をもたらした昭和47年8月2日の雷雨群のレーダエコー解析
59	14	〃	1972年8月3日のひょう雲の構造と行動
60	14	〃	関東地方の雷雨（その1）——雷雨日の大気鉛直構造の数値解析——
61	14	〃	対流雲の発達に関する数値実験
62	14	〃	新庄盆地の気候学的水収支
63	15	1976. 10	雷雨の等エコー構造と移動方向の関係について
64	15	〃	雷雨エコー域内の雨滴粒度分布の差異について（序報）
65	15	〃	対流雲の発達に関する数値実験（Ⅱ）——含水量の相異による影響——
66	15	〃	微小地震の自動検出方法について（第3報）——自動検測の試み——
67	15	〃	オンラインデータ交換装置（TOSBAC-40）のシステム開発（第2報）——地震波などの解析のために——
68	15	〃	水道管路の被害と地震時動水圧
69	15	〃	斜面崩壊機構に関する実験的研究（Ⅰ）

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
1～ 26	菅原正巳, 尾崎簀子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子	—
27～ 51	勝山ヨシ子, 渡辺一郎	—
53～ 70	浜田和郎	—
1～ 14	水谷武司	—
15～ 30	水谷武司	—
31～ 34	広部良輔	—
35～ 57	高橋末雄	—
59～ 74	熊谷貞治, 鈴木宏芳, 幾志新吉	—
75～ 87	杉森康宏	—
1～ 35	内藤玄一, 都司嘉宣, 渡部 勲	—
37～ 52	八木鶴平, 清野 豁, 小元敬男	—
53～ 63	清野 豁, 小元敬男	—
65～ 78	小元敬男, 米谷恒春	—
79～ 94	米谷恒春	—
95～109	東浦将夫	—
1～ 8	八木鶴平, 清野 豁, 小元敬男	—
9～ 22	清野 豁, 八木鶴平, 小元敬男	—
23～ 32	米谷恒春	—
33～ 47	渡辺一郎, 菅原正巳, 福井隆文, 勝山ヨシ子	—
49～ 56	福井隆文, 諸星敏一	—
57～ 73	小川信行	—
75～ 88	寺島治男, 森脇 寛, 福囿輝旗, 中根和郎, 富永雅樹	—

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
70	15	1976. 10	飽和砂質土の液状化に関する研究
71	15	〃	冬期南西諸島南方海域における運動量・顕熱・潜熱の輸送と放射量(Ⅱ)——AMTEX'75報告——
72	15	〃	陸棚斜面による長周期波の部分反射
73	15	〃	波浪に伴う長周期波(サーフ・ビート)の特性(Ⅰ)
74	15	〃	大陸棚上の浅海域における風浪の発達に関する研究(英文)
75	16	1976. 12	東京の災害が全国に及ぼす影響(第1報)——東京の現状、人口との関連——
76	16	〃	電子計算機による強震記録の読み取り(第2報)
77	16	〃	降ひょう記録計記録の電子計算機による自動検測
78	16	〃	地下埋設管の振動実験について
79	16	〃	土砂流出解析への16mm撮影機の利用
80	16	〃	土中の水分移動量の測定——正弦波状温度入力を利用した流速測定——(英文)
81	16	〃	土中の水分移動量の測定——多孔質媒体の熱伝導モデル——(英文)
82	17	1977. 3	九州地方の火山灰地帯・非火山灰地帯における諸河川の流出特性
83	17	〃	東京の災害が全国に及ぼす影響(第2報)——東京の復旧、復興との関連——
84	17	〃	土質断面図の検索・表示・応答システム
85	17	〃	タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発(第1報)
86	17	〃	強震記録の処理に関する一考察(その1)
87	17	〃	波浪に伴う長周期波(サーフ・ビート)の特性(Ⅱ)
88	17	〃	海水混合に果たす潮汐の役割——緩やかに水深が変化する海域を伝わる内部波に対するKdV方程式について——
89	17	〃	海面近くの大気境界層における運動量、顕熱輸送の直接測定
90	17	〃	散水による屋根雪消雪(英文)
91	18	1977. 11	角柱のロッキングと転倒に関する一考察(英文)

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
89～100	広部良輔	—
101～143	内藤玄一，都司嘉宣，渡部 勲	—
145～157	都司嘉宣	—
159～191	藤縄幸雄，岡田憲司，渡部 勲	—
193～209	杉森康宏	—
1～ 27	渡辺一郎	—
29～ 45	諸星敏一	—
47～ 58	矢崎 忍	—
59～ 82	箕輪親宏	—
83～ 96	中根和郎	—
97～104	富永雅樹	—
105～111	富永雅樹	—
1～ 5	岸井徳雄	—
17～ 31	渡辺一郎	—
33～ 42	諸星敏一，幾志新吉	—
43～ 89	菅原正巳，尾崎睿子，渡辺一郎， 勝山ヨシ子	—
91～109	木下繁夫	—
111～166	藤縄幸雄，岡田憲司，渡部 勲	—
167～188	都司嘉宣	—
189～213	内藤玄一	—
215～225	東浦将夫	—
1～ 16	小川信行	—

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
92	18	1977. 11	川崎微小地震観測施設と深度別ノイズ分布
93	18	"	表面流出に関する研究（その1）——実験斜面において降雨強度が表面流出の発生に及ぼす影響——
94	18	"	不飽和浸透を考慮した降雨浸透の有限要素法による一解法——定常流——
95	18	"	土質柱状図ファイルによる地盤の応答計算例——東京強震（1894年）波形の川崎地区への適用——
96	18	"	斜面積雪グライドの新測定法
97	18	"	地下水散水による道路融雪実験から算出した適正散水量
98	19	1978. 3	弱い降ひょうを伴った対流恵系の降水分布の特徴について
99	19	"	関東平野の基盤地質構造と地震分布
100	19	"	高山地域における潜在的崩壊の危険性をもつ砂礫堆積物の分布とその調査方法
101	19	"	連続土のう作製機の降雨中における作業性能に関する研究（受託研究）
102	19	"	斜面崩壊の発生過程について（I）——降雨による表層崩壊実験——
103	19	"	斜面の安定に関する総合的研究——土の強度と間隙水の結合力——
104	19	"	災害調査方法試論——1976年9月12日に発生した長良川水害の調査について——
105	19	"	電子計算機による減衰波形の半自動読取
106	19	"	相模湾内の津波の特性（I）
107	19	"	海洋上の大気境界層における風速、気温変動の空間相関（I）
108	19	"	太陽熱による屋根雪融解に関する予備実験
109	19	"	放物型除雪プラウの試作
110	19	"	陸屋根上の積雪の断面観測とその積雪底部での融解
111	19	"	新雪製造装置の作製
112	19	"	落下した雪の密度変化
113	19	"	新庄における新積雪の密度

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
17～ 33	山水史生, 塚原弘昭, 佐藤春夫, 石田瑞穂, 浜田和郎	—
35～ 49	木下武雄, 中根和郎	—
51～ 70	大倉 博	—
71～ 83	幾志新吉	—
85～115	山田 穰	—
117～147	中村秀臣	—
1～ 15	清野 豁, 小元敬男, 八木鶴平, 米谷恒春	—
17～ 26	田中耕平	—
27～ 42	清水文健	—
43～ 50	木下武雄	—
51～ 64	森脇 寛	—
65～ 78	広部良輔, 古谷 保, 中山 康	—
79～ 99	富永雅樹	—
101～116	諸星敏一	—
117～165	藤縄幸雄, 渡部 勲, 大池高保	—
167～189	内藤玄一	—
191～199	木村忠志, 清水増治郎	—
201～218	中村 勉, 中村秀臣, 東浦将夫, 阿部 修,	—
219～228	中村 勉, 阿部 修	—
229～237	中村秀臣	—
239～242	中村秀臣	—
243～250	中村秀臣, 阿部 修	—

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
114	19	1978. 3	小型雪氷試料の整形具二つ
115	20	1978. 11	著しい洪水災害をもたらした降雨の特徴
116	20	"	浦白川流出試験地の洪水流出特性
117	20	"	簡単な降ひょう記録計によるひょう粒の大きさの推定
118	20	"	地殻傾斜の群列観測（その1）
119	20	"	地中埋設管の対震性に関する研究
120	20	"	シュミット投影法の地すべりへの二、三の適用
121	20	"	降雨による斜面崩壊と内部応力状態について
122	20	"	地下水の涵養量推定のための水理実験（I）
123	20	"	表面流出に関する研究（その2）——平地小流域における流量観測——
124	20	"	タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発（第2報）
125	20	"	東京の災害が全国へ及ぼす影響（第3報）——関東大震災の場合についての一考察——
126	20	"	短い風浪の波速について
127	20	"	圧雪硬度の温度および密度による変化
128	20	"	不純物含有氷の高温における力学的特性
129	21	1979. 3	自然流域と都市流域の洪水流出特性の比較
130	21	"	雲底下層における安定度の影響を考慮した雷雨予報のための不安定指数——関東平野の北部を対象とした場合——
131	21	"	帯域制限された波動伝達関数に関して（英文）
132	21	"	地震予知に対応する震災対策とその問題点（第1報）
133	21	"	湾曲傾斜海岸にトラップされるエッジ波
134	21	"	新潟県のなだれの発生頻度に関する研究
135	21	"	地震によって発生した雪崩
136	22	1979. 10	水害面からみた土地利用状況の問題点
137	22	"	都市化による洪水流出の変化——石神井川流域の例（第1報）——
138	22	"	雷雨の等エコー構造と移動方向の関係について II

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
251～260	阿部 修	—
1～ 16	青木佑久	33
17～ 30	岸井徳雄	34
31～ 38	清野 豁	35
39～ 62	佐藤春夫, 高橋 博	36
63～ 87	箕輪親宏	37
89～ 99	田中耕平	38
101～122	福囿輝旗	39
123～135	富永雅樹	40
137～155	中根和郎, 矢崎 忍	41
157～216	菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	42
217～244	渡辺一郎	43
245～265	藤縄幸雄, 松本一朗, 渡部 勲	44
267～292	小林俊市	45
293～324	中村 勉	46
1～ 33	岸井徳雄, 青木佑久	26
35～ 44	米谷恒春	27
45～ 62	木下繁夫	28
63～ 74	渡辺一郎	29
75～ 88	藤縄幸雄	30
89～102	五十嵐高志	31
103～112	東浦将夫, 中村 勉, 中村秀臣, 阿部 修	32
1～ 26	入澤 実	106
27～ 38	岸井徳雄	107
39～ 47	八木鶴平	108

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
139	22	1979. 10	長岡における降雪粒子の Z - R 関係および粒度分布の特徴 I
140	22	"	地表の高温域による大気成層の変質とそれが対流雲の発達に及ぼす影響——数値実験——
141	22	"	有珠山噴火による火山灰堆積層に関する研究——降雨の表面流出と浸食について——
142	22	"	地震予知に対応する震災対策とその問題点 (第 2 報) ——一般家庭——
143	22	"	川崎市における地震時液状化危険度の簡易判定
144	22	"	災害・防災情報の自動計測のための基本ソフトウェアシステムの開発
145	22	"	電子計算機による強震記録の読み取り (第 3 報)
146	22	"	リモートセンシング画像処理システムの開発に関する研究
147	22	"	鉛直降雨浸透の有限要素法による一解法——計算誤差の発生とその除去法——
148	22	"	凍結砂土の一軸圧縮性について
149	22	"	1 月の日本各地の積雪の違い (英文)
150	23	1980. 3	降雨災害対策における超過確率年の例と問題点
151	23	"	主成分分析法を適用して洪水時危険度を推定する方法の開発
152	23	"	長岡における降雪粒子の Z - R 関係および粒度分布の特徴 II
153	23	"	長岡における雪片の落下速度の測定と Z - R 関係への適用について
154	23	"	地殻変動連続観測所の最適配置の決定
155	23	"	地震空白域にもとづく地震予知—— 1978 年 メキシコ地震の予知を例として——
156	23	"	地震予知に対応する震災対策とその問題点 (第 5 報) ——第 1 報～第 4 報のまとめ——
157	23	"	模擬地盤による降雨浸透実験 (2) ——比抵抗による土中の水分量測定法—— (英文)
158	23	"	模擬地盤による降雨浸透実験 (3) ——降雨浸透による地中水分変動と地下水流出—— (英文)

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
49～ 61	八木鶴平, 清野 豁,	109
63～ 81	米谷恒春	110
83～ 92	森脇 寛, 広部良輔, 熊谷貞治, 高橋 博	111
93～100	渡辺一郎	112
101～111	鏡味洋史, 幾志新吉	113
113～120	勝山ヨシ子, 御子柴正, 矢崎 忍, 諸星敏一	114
121～129	矢崎 忍	115
131～144	諸星敏一, 幾志新吉	116
145～166	大倉 博	117
167～173	広部良輔, 五十嵐高志	118
175～177	中村 勉	119
1～ 10	木下武雄	91
11～ 27	入澤 実	92
29～ 38	八木鶴平, 上田 博	93
39～ 46	上田 博, 八木鶴平	94
47～ 64	窪田道典	95
65～110	大竹政和	96
111～130	渡辺一郎	97
131～139	富永雅樹	98
141～184	富永雅樹	99

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
159	23	1980. 3	Short Gravity Wave の方向スペクトル幅について
160	23	〃	マイクロ波散乱計による海上風の遠隔測定実験
161	23	〃	ラムゾンデによる魚野川流域の積雪層構造に関する研究 (英文)
162	23	〃	風呂の廃湯による庭先融雪を目的とした野外融雪実験
163	23	〃	冬期の新庄における日射量の測定および太陽エネルギーの 集熱とそれによる融雪の可能性について
164	23	〃	山形県最上郡大蔵村滝の沢で発生した山崩れ
165	24	1980. 10	高温域による積雲の形成の数値実験
166	24	〃	昭和 51 年 5 月 17 日の降ひょうを伴った線状雷雨の構造と レーダー反射強度
167	24	〃	ファンビーム・ドップラーレーダーを利用した水平風測定 におけるスペクトルの考察
168	24	〃	水害防止における非構造物手法の必要性について
169	24	〃	大規模工業団地計画における流出係数の考え方
170	24	〃	表面流出に関する研究 (その 3)
171	24	〃	プレート間境界付近における運動 (I)
172	24	〃	滑面を有する斜面の崩壊実験
173	24	〃	茨城県久慈地方の新第三紀層地すべりとその分布特性
174	24	〃	都市化に伴う洪水流出特性変化のタンクモデルによる解析
175	24	〃	タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの 開発 (第 3 報) ——洪水解析用の自動化プログラムの開発——
176	24	〃	空中写真判読による有珠山噴火災害に関する研究——被災 樹木の 1 年後の状況について——
177	25	1981. 3	東京都の都市域における降水量の特異性
178	25	〃	層状雲からの降水エコーの移動に関するレーダー観測
179	25	〃	表面流出の発生に関する実験
180	25	〃	プレートの沈み込み帯における逆断層型大地震に伴う余震 活動の移動現象について

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
185～192	藤縄幸雄, 松本一朗, 渡部 勲	100
193～213	内藤玄一, 徳田正幸, 渡部 勲	101
215～229	山田 穰, 五十嵐高志	102
231～243	中村秀臣	103
245～270	阿部 修, 中村 勉, 中村秀臣	104
271～286	東浦将夫, 阿部 修	105
1～ 13	米谷恒春	182
15～ 31	八木鶴平	183
33～ 43	上田 博, 八木鶴平	184
45～ 68	入澤 実	185
69～ 85	武田 宏	186
87～100	木下武雄, 富永雅樹, 福囿輝旗, 益倉克成, 佐々木健一	187
101～109	藤縄幸雄	188
111～124	寺島治男, 新藤静夫, 田中芳則, 井口 隆	189
125～144	森脇 寛, 井口 隆	190
145～158	佐藤照子, 植原茂次	191
159～181	菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	192
183～191	幾志新吉	193
1～ 8	米谷恒春	172
9～ 18	兪漢奎, 八木鶴平	173
19～ 27	岸井徳雄	174
29～ 86	井元政二郎	175

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
181	25	1981. 3	烏山一菅生沼断層（茨城県南西部）の電気探査
182	25	〃	新しく考案したボアホール式 3 成分ひずみ計
183	25	〃	不飽和土の土中水分ヒステリシスの計算アルゴリズム
184	25	〃	SEASAT 衛星の散乱計による海上風向・風速場の解析
185	25	〃	1979 年 20 号台風による高潮・高波について
186	25	〃	滑落する屋根雪の壁面に及ぼす衝撃力, その 1
187	26	1981. 11	海外の河川における洪水の水文学的研究 (その 1)
188	26	〃	重回帰分析を利用した崩壊土砂量の推定法
189	26	〃	最近における内水被害の分析とその防止対策に関する研究
190	26	〃	表面流出に及ぼす排水路の影響について——水理実験と数値実験——
191	26	〃	地震予知に対応する震災対策とその問題点 (第 6 報) ——警戒宣言発令時刻の相異によって起こる問題点——
192	26	〃	雪の圧縮特性の熱力学的検討 (英文)
193	26	〃	軸圧縮試験機で圧縮した雪の切削破壊抵抗
194	26	〃	圧力式波浪計による相模湾での波浪観測 I
195	27	1982. 3	超音波により連続的に観測された洪水・潮汐等の流量変化の不定流としての挙動
196	27	〃	浦白川流出試験地における流出係数・流出率の変化
197	27	〃	茨城県南西部, 桜川流域の防災地学環境
198	27	〃	筑波研究学園流出試験地の流出特性 (第 1 報)
199	27	〃	雨域の移動を考慮した伊那谷における短時間降雨予測について
200	27	〃	韓国の中中部地方を対象とした降ひょう予測法
201	27	〃	関東・東海地域地殻活動観測網における振動継続時間を用いた地震マグニチュードの決定
202	27	〃	伊豆半島東方沖に発生する地震の発震機構——1980 年 8 月～1981 年 5 月——

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
87～ 94	佐竹 洋, 池田隆司, 福田 理, 高橋 博	176
95～ 126	坂田正治	177
127～ 141	大倉 博	178
143～ 154	竹田 厚	179
155～ 168	都司嘉宣	180
169～ 189	中村秀臣, 阿部 修, 中村 勉	181
1～ 16	木下武雄	251
17～ 27	武田 宏	252
29～ 62	入澤 実	253
63～ 72	福園輝旗	254
73～ 87	渡辺一郎	255
89～ 103	桜田良治, 栗山 弘	256
105～ 131	磯部金治, 小林俊市, 宮村兵衛	257
133～ 154	徳田正幸, 内藤玄一, 都司嘉宣, 渡部 勲	258
1～ 11	木下武雄	259
13～ 24	木下武雄	260
25～ 47	水谷武司	261
49～ 87	武田 宏, 岸井徳雄, 中根和郎, 大倉 博, 佐藤照子	262
89～ 108	中根和郎	263
109～ 118	權泰來, 米谷恒春	264
119～ 131	石田瑞穂, 立川真理子	265
133～ 144	井元政二郎	266

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
203	27	1982. 3	グラフィックディスプレイ装置を用いた地殻傾斜変動図の作成
204	27	"	地殻応力測定のための水圧破壊に伴う微小破壊音の振幅別頻度分布
205	27	"	電気抵抗率による土中水分量の測定 (英文)
206	27	"	土中の水分移動量の測定 (英文)
207	27	"	タンク・モデルに付加された土壤水分構造の性質
208	27	"	タンク・モデルによるサンゲレ試験流域 S 1 ～ S 7 の流出解析
209	27	"	タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第 4 報) —— 流出孔の位置, 土壤水分構造, 農業用水のパラメータを定める ——
210	27	"	圧力式ジンバル波浪計の開発研究
211	27	"	多雪市街地の冬期生活における 2・3 の問題とその規定要因について——新庄住民への調査の結果から——
212	28	1982. 3	深層観測によって明らかにされた関東地方の微小地震活動の特性について
213	29	1982. 10	海外の河川における洪水の水文学的研究 (その 2)
214	29	"	災害危険地集落の集団移転
215	29	"	地下水の挙動を考慮した洪水防御工法の評価手法に関する事例研究
216	29	"	北海道釧路市における海霧の観測
217	29	"	浦白川流出試験地の洪水流出特性 (第 2 報)
218	29	"	降雨による粘性土斜面の崩壊実験
219	29	"	構内データ伝送システム——耐震実験に対する適用——
220	29	"	海洋上の大気境界層における風速, 気温変動の空間相関(Ⅱ)
221	29	"	三本の波高計センサーによる波浪の方向特性の算出法—— I 実験室の風波の方向特性 ——
222	30	1983. 3	降水エコーの短時間予測のための上層風の補外ベクトルとしての評価研究
223	30	"	日本の河川流域の月単位水収支と水文特性 (第 1 報)
224	30	"	降雨実験による畑地モデルの表面流出について

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
145～157	大久保正, 佐藤春夫, 松村正三	267
159～170	池田隆司	268
171～181	富永雅樹	269
183～191	富永雅樹	270
193～206	菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	271
207～228	菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	272
229～245	菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	273
247～278	徳田正幸, 江口純弘	274
279～301	沼野夏生, 東浦将夫	275
1～104	高橋 博	276
1～ 18	木下武雄	349
19～ 37	水谷武司	350
39～ 68	武田 宏	351
69～ 92	上田 博, 八木鶴平	352
93～101	岸井徳雄	353
103～122	福囿輝旗, 寺島治男	354
123～135	御子柴正, 木下繁夫	355
137～156	内藤玄一	356
157～192	徳田正幸	357
1～ 24	上田 博, 八木鶴平	358
25～ 64	植原茂次, 佐藤照子	359
65～ 83	森脇 寛	360

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
225	30	1983. 3	「融雪流出の概念モデルの相互比較」の課題となった6流域の流出解析
226	30	〃	三本の波高計センサーによる波浪の方向特性の算出法 ——Ⅱ観測塔で観測されたうねりの方向特性——
227	30	〃	グライド現象の数値モデル
228	31	1983. 11	氾濫水の流動
229	31	〃	人的被害の規模に関係する要因
230	31	〃	河川の流況推定
231	31	〃	高潮の河川遡上に関する研究
232	31	〃	関東・東海地域地殻活動観測網における自動検測による振動継続時間マグニチュードの決定
233	31	〃	3成分ひずみ計の観測, 記録およびデータ処理方式
234	31	〃	マイクロコンピュータによる土質柱状図入力システムの開発
235	31	〃	積雪の内部凍結
236	31	〃	モデル地形における雪崩の運動走路
237	31	〃	ラムゾンデによる積雪の水平方向の非一様性の観測
238	31	〃	ガンマ線散乱形積雪密度計の小型軽量化
239	31	〃	Metal Wafer による積雪相当水量の観測
240	31	〃	相模湾の波浪特性Ⅱ
241	32	1984. 3	レーダーによる降雨の短時間予測のための上層風の利用について
242	32	〃	強震動多点同時記録の処理システム
243	32	〃	点線源によるガンマ線散乱形積雪密度計の改良
244	32	〃	ランドサット映像写真から求めた烏海山の残雪域変化
245	32	〃	三種の陸屋根上での積雪深と地上積雪深との比較
246	32	〃	陸屋根上の日降雪深に及ぼす風の影響
247	32	〃	多雪地方都市住民の雪害観についての一考察
248	33	1984. 11	到達時間流出率による合理式流出係数の検討

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
85～165	菅原正巳, 渡辺一郎, 中根和郎, 尾崎簞子, 勝山ヨシ子	361
167～187	徳田正幸	362
189～206	納口恭明	363
1～ 8	木下武雄	486
9～ 34	水谷武司	487
35～ 65	中根和郎	488
67～ 87	小西達男, 木下武雄	489
89～100	立川真理子	490
101～110	島田誠一, 坂田正治, 野口伸一	491
111～128	諸星敏一	492
129～152	山田 穰, 五十嵐高志	493
153～174	納口恭明	494
175～189	納口恭明	495
191～201	松尾 実, 松井正夫, 木村忠志	496
203～217	木村忠志	497
219～239	徳田正幸, 渡部 勲, 江口純弘	498
1～ 19	八木鶴平, 上田 博	499
21～ 34	御子柴正	500
35～ 43	木村忠志	501
45～ 53	中村 勉, 東浦将夫, 阿部 修	502
55～ 72	中村 勉, 阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫	503
73～ 87	阿部 修, 中村 勉	504
89～105	沼野夏生	505
1～ 14	木下武雄	644

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
249	33	1984. 11	津波危険度評価のための高まり係数
250	33	〃	筑波研究学園流出試験地の流出特性（第2報）
251	33	〃	海底地震計の設置・回収用超音波位置検知遠隔制御装置
252	33	〃	地殻活動監視用インテリジェントパネルディスプレイ
253	33	〃	リソスフェアにおける地震波の散乱と減衰——ランダムな不均質構造による一次散乱理論——
254	33	〃	「融雪流出の概念モデルの相互比較」の課題となった6流域の流出解析（第2報）
255	33	〃	雪えくぼのパターン形成Ⅰ
256	33	〃	雪えくぼのパターン形成Ⅱ
257	33	〃	マイクロ波散乱計による海上風の遠隔測定実験（Ⅱ）
258	34	1985. 3	昭和58年7月山陰豪雨時の洪水流出の特徴
259	34	〃	高潮の河川遡上に関する研究（Ⅱ）
260	34	〃	自己浮上式海底地震計の観測データ処理方法
261	34	〃	水平・上下2方向振動台による一層鉄骨フレームの破壊実験
262	34	〃	1984年4月山形県西川町で発生した小雪崩による死傷事故
263	34	〃	雪崩発生動力学のコンピューター的研究（英文）
264	35	1985. 11	流出係数に及ぼす貯留高の影響
265	35	〃	防災センター構内3成分ひずみ計の設置姿勢について
266	35	〃	プレートが三重会合する関東・東海地方の地殻活動様式
267	35	〃	関東平野の地中温度
268	35	〃	日本の河川流域の月単位水収支と水文特性（第2報）
269	35	〃	混合物体の新しい熱伝導方程式と土壌系への適用——土壌水の断面平均流量の直接測定（Ⅰ）——英文
270	35	〃	ロータリー除雪装置の除雪動力に関する研究（Ⅰ）——除雪動力試験——
271	35	〃	日本海に発生した地震津波と数値計算結果
272	35	〃	1982年10号、および18号台風による高潮

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
15～ 22	木下武雄, 小西達男, 都市嘉宣	645
23～ 68	岸井徳雄, 中根和郎, 大倉 博, 佐藤照子, 小西達男	646
69～ 76	江口孝雄, 藤縄幸雄	647
77～ 99	岡田義光	648
101～ 186	佐藤春夫	649
187～ 236	菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	650
237～ 254	納口恭明	651
255～ 275	納口恭明	652
277～ 319	内藤玄一, 渡部 勲, 徳田正幸	653
1～ 12	中根和郎	654
13～ 42	小西達男, 木下武雄	655
43～ 58	鶴川元雄, 藤縄幸雄, 江口孝雄	656
59～ 71	箕輪親宏	657
73～ 87	中村 勉, 中村秀臣, 阿部 修	658
89～ 109	中村 勉, 阿部 修, 沼野夏生, セオドル・イー・ラング	659
1～ 16	中根和郎, 木下武雄	830
17～ 32	島田誠一, 野口信一, 坂田正治	831
33～ 137	笠原敬司	832
139～ 154	鈴木宏芳	833
155～ 228	植原茂次, 佐藤照子	834
229～ 239	富永雅樹	835
241～ 276	栗山 弘, 野原以左武, 小林俊市	836
277～ 297	都司嘉宣, 小西達男	837
299～ 314	都司嘉宣, 竹田 厚	838

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
273	35	1985. 11	台風通過時の海上風の乱流特性
274	35	〃	仙台での新積雪密度の一測定例
275	36	1986. 3	関東・東海地域の震源分布から推定したフィリピン海及び太平洋プレートの等深線
276	36	〃	タンク・モデルによるビルマ、チンドウィン川の流出予測 (英文)
277	36	〃	イラワジ川上流部Sagaing の流量のタンク・モデルによる 予報方式
278	36	〃	累年月別平均気温の季節変化の型について——わが国と外国 との比較——
279	36	〃	積雪地域の雪による人的被害の特徴
280	36	〃	神奈川県寺院過去帳アンケート調査結果でみた歴史地震被害
281	37	1986. 3	パーソナル・コンピュータのためのタンク・モデル・プログラム とその使い方
282	38	1986. 12	昭和 60 年 7 月 14 日の東京を襲った集中豪雨の解析
283	38	〃	盆地における降雪の予備的研究——1985 年新庄市でのレー ダー観測——
284	38	〃	深層井観測により推定された厚い堆積層の地震応答特性
285	38	〃	実際の地形上での雪崩の運動走路 I
286	38	〃	全層なだれにいたるグライドの加速のモデル
287	39	1987. 3	レーダーによる盆地降雪の観測, 1986 年新庄市——鉛直 構造の特徴——
288	39	〃	自己浮上式海底地震計 (CDPOBS 1Ia) について
289	39	〃	国立防災科学技術センター地震観測網の震源決定能力及び 震源決定精度の調査
290	39	〃	流域条件と洪水流出特性の変化に関する実験的研究 (第 1 報) ——不浸透の増大による洪水流下速度の増大——
291	39	〃	タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの 開発 (第 5 報) ——積雪流域において, 降水量に掛ける 補正係数を自動的に探し求める計算機プログラムの開発
292	39	〃	表層雪崩の剝作用について
293	39	〃	実際の地形上での雪崩の運動走路 II

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
315～333	内藤玄一	839
335～343	中村 勉	840
1～ 19	石田瑞穂	841
21～ 45	菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子,	842
47～ 57	菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎	843
59～ 77	尾崎睿子, 菅原正巳	844
79～ 94	栗山 弘	845
95～112	都司嘉宣	846
1～217	菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	847
1～ 7	米谷恒春	1014
9～ 24	八木鶴平, 上田 博, 中村 勉, 中村秀臣, 阿部 修, 沼野夏生	1015
25～145	木下繁夫	1016
147～168	納口恭明	1017
169～180	納口恭明, 山田 穰, 五十嵐高志	1018
1～ 17	真木雅之, 八木鶴平	1019
19～ 35	藤縄幸雄, 窪田道典, 江口孝雄, 鶴川元雄	1020
37～ 65	ディミトリス・パパナスタシャ 松村正三	1021
67～ 86	佐藤照子, 植原茂次	1022
87～113	菅原正巳, 尾崎睿子,	1023
115～131	山田 穰	1024
133～152	納口恭明	1025

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
294	39	1987. 3	誘導堤に拘束された雪崩の運動方程式
295	39	〃	羅賀の津波石——明治三陸津波（1896年）の痕跡高測量
296	39	〃	タッカー式船用波浪計に関する研究Ⅱ，目視及びブイ式波浪計との比較観測
297	39	〃	積雪の塑性波速度の実験的研究
298	40	1987. 11	浦白川流出試験地及び筑波研究学園流出試験地の水収支の比較
299	40	〃	日本の河川流域の月単位水収支に基づく水文特性に関する研究
300	40	〃	2周波散乱計による波浪計測実験——1，固定プラットフォーム（観測塔）による方向スペクトル計測
301	40	〃	吹雪計（SPC）における飛雪粒子の粒径効果に関する考察（第1報）
302	41	1988. 3	日本列島中央部に発生したスーパーセルストームについて（英文）
303	41	〃	降水量分布に及ぼす筑波山地の影響
304	41	〃	地震前兆解析システム開発の背景とその意義
305	41	〃	地震前兆解析システムの機能と構成
306	41	〃	地震前兆解析システムにおける地震データ（高速採取データ）の処理
307	41	〃	地震前兆解析システムにおける低速採取データの処理
308	41	〃	地震前兆解析システムにおける自動震源決定
309	41	〃	地震前兆解析システムによる自動前兆監視
310	41	〃	パーソナルコンピュータによる地殻傾斜常時モニタースystem
311	41	〃	光ディスクを用いた地震波形の格納とその利用
312	41	〃	地震データ利用のためのプログラムシステム
313	41	〃	震源計算・発震機構解計算プログラムの改良
314	41	〃	日本における火山体の山体崩壊と岩屑流——磐梯山，鳥海山，岩手山——

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
153～162	納口恭明	1026
163～169	竹田 厚	1027
171～182	道田 豊, 徳田正幸, 上野義三, 石井春雄	1028
183～196	佐藤篤司	1029
1～ 20	岸井徳雄, 佐藤照子, 中根和郎, 大倉 博	1163
21～309	植原茂次	1164
311～338	徳田正幸, 竹田 厚, 渡部 勲	1165
339～342	佐藤篤司	1166
1～ 12	八木鶴平	1167
13～ 29	真木雅之, 八木鶴平	1168
31～ 34	浜田和郎	1169
35～ 44	松村正三, 岡田義光, 井元政二郎, 島田誠一, 堀 貞喜	1170
45～ 64	松村正三, 岡田義光, 堀 貞喜	1171
65～ 87	島田誠一, 大久保正, 岡田義光, 堀 貞喜	1172
89～100	堀 貞喜, 松村正三	1173
101～114	堀 貞喜, 松村正三, 島田誠一, 大久保正, 井元政二郎, 岡田義光	1174
115～127	大久保正	1175
129～136	井元政二郎	1176
137～151	岡田義光	1177
153～162	岡田義光	1178
163～275	井口 隆	1179

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
315	41	1988. 3	パーソナルコンピュータによるランドサット画像データの伝送実験
316	41	〃	地下水利用による無散水融雪工法の実用化に関する研究
317	41	〃	衛星画像データによる津波浸水域の識別
318	41	〃	2 周波散乱計による波浪計測実験Ⅱ、移動プラットフォーム（航空機）による方向スペクトル計測
319	41	〃	発達した低気圧による海上強風の乱流特性と長周期スペクトル構造
320	41	〃	積雪の沈降力の発生機構に関する研究（英文）

2・2 国立防災科学技術センター研究速報

1	1	1965. 9	富士山坑道の微動調査
2	2	1965. 11	1965 年 5 月 3 日の降水による東京都区内のがけくずれ
3	3	1966. 3	海面上における風の応力（英文）
4	4	1966. 9	川崎市久末の灰津波災害の発生機構について
5	5	1967. 3	渥美沖人工地震の作手における観測と周波数分析——人工地震波の周波数分析（Ⅰ）——
6	6	1967. 7	耐震実験装置に関する試験研究報告（第 1 報）
7	7	1968. 3	豪雨によるがけくずれ調査法に対する提案
8	8	〃	情報検索における出力と有効性の研究 防災情報の検索の諸方法に関する研究（その 1）
9	9	1968. 8	電子計算機による X 線回折データの検索
10	10	1968. 9	日本の自然災害の諸特性 昭和 30 年代の災害資料から
11	11	1974. 6	タンクモデル及びバード・クリーク、オロンビー・ブルック、ビギン河、木津川、サナガ河、ナム・ネムへの適用
12	12	1974. 10	内海汚濁のモデルとシミュレーション
13	13	1975. 2	積算降雪深による積雪沈降荷重の推定
14	13	〃	新庄の平地積雪断面観測（昭和 48 年—49 年冬期）
15	14	1975. 8	図形入力装置の使用例の開発——災害・防災情報入力への応用——

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
277～309	大倉 博, 幾志新吉, 諸星敏一, 新井康平, 石戸喜夫, 佐藤右二	1180
285～309	熊谷元伸, 野原以左武	1181
311～319	竹田 厚, 都司嘉宣	1182
321～340	徳田正幸, 渡部 勲, 竹田 厚	1183
341～359	内藤玄一	1184
361～385	中村秀臣	1185
1～ 10	高橋末雄, 高橋 博, 熊谷貞治, 田中康裕	—
1～ 6	大八木規夫, 熊谷貞治	—
1～ 6	岩田憲幸	—
1～ 12	飯島 弘	—
1～ 26	熊谷貞治, 鈴木宏芳, 八十島久, 高橋末雄	—
1～ 52	菅原正巳, 勝山ヨシ子	—
1～ 9	飯島 弘	—
1～ 22	高橋 博	—
1～ 10	幾志新吉	—
1～ 30	水谷武司	—
1～ 64	菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子	—
1～ 22	渡辺一郎	—
1～ 36	長田忠良, 三日月晋一, 小林俊市	—
37～ 54	東浦将夫, 阿部 修	—
1～ 9	勝山ヨシ子, 尾崎睿子, 幾志新吉, 諸星敏一	—

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
16	15	1975. 8	オフラインデータ交換装置 (TOSBAC-40) のシステム開発——地震波などの解析のために——
17	16	〃	内海汚濁のモデルとシミュレーション (第2報)
18	17	〃	本邦山地積雪地域の流出解析 (英文)
19	18	〃	地震波処理の一方式について
20	19	〃	松代群発地震資料のコンピュータによる蓄積と検索
21	20	1975. 10	多摩川下流域の地盤隆起と微小地震観測——関係機関による研究の概要の紹介のために——
22	21	1976. 3	岩槻地殻活動観測井における地殻熱流量, 及び関東地方の地殻温度分布 (英文)
23	22	〃	昭和 50 年 6 月 9 日の群馬県の降ひょう (序報)
24	23	〃	火山列島硫黄島の火山現象に関する研究 (その 1)
25	24	1976. 7	チャオ・ピヤ河および支流上の諸地点における日流量をタンクモデルにより算出する方法について (英文)
26	25	1977. 3	火山列島硫黄島の火山現象に関する研究 (その 2)
27	26	1977. 8	多摩川下流域の地盤隆起と微小地震観測 (その 2)
28	27	1978. 7	農作物のひょう害の形態と回復過程——昭和 52 年 7 月 7 日の降ひょう——
29	28	1978. 8	川崎微小地震観測井の抗井地質
30	29	1978. 9	1976—1977 年冬期の新潟県を中心とする地方の広域積雪現象について
31	30	1978. 11	水圧破壊法による地殻応力の測定——地表下 90 m における地殻応力測定——
32	31	〃	水圧破壊に伴う微小破壊音
33	32	1978. 12	積雪に伴う災害の調査研究 (1977—78 年冬期)
34	33	1979. 2	昭和 53 年のかんばつによる茨城県の農作物被害調査
35	34	1979. 3	ボアホール型傾斜計と地震予知 (英文)

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
1～ 17	福井隆文, 諸星敏一	—
1～ 16	渡辺一郎	—
1～ 38	菅原正巳, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子, 渡辺一郎	—
1～ 6	渡辺一郎, 福井隆文, 勝山ヨシ子	—
1～ 25	渡辺一郎, 大倉 博, 尾崎睿子	—
1～ 32	佐藤春夫, 浜田和郎	—
1～ 9	塚原弘昭	—
1～ 31	小元敬男, 八木鶴平, 清野 豁	—
1～ 64	一色直記, 高橋 博, 熊谷貞治	—
1～ 56	菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子	—
1～ 51	高橋 博, 熊谷貞治, 大八木規夫, 磯巳代次, 川野辰男, 斉藤英二	—
1～ 16	佐藤春夫, 浜田和郎, 高橋 博, 山水史生, 石田瑞穂, 塚原弘昭, 笠原敬司	—
1～ 19	清野 豁, 小元敬男	56
1～ 7	田中耕平, 高橋 博, 鈴木宏芳, 寺島美南子	55
1～ 85	渡辺興亜, 五十嵐高志, 山田 穰	54
1～ 24	塚原弘昭, 池田隆司, 佐竹 洋, 大竹政和	53
1～ 11	池田隆司, 塚原弘昭, 佐竹 洋, 大竹政和, 高橋 博	52
1～ 60	広部良輔, 山田 穰, 五十嵐高志	51
1～ 50	八木鶴平, 上田 博, 清野 豁	50
1～ 32	佐藤春夫	49

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
36	35	1979. 3	計算機による地殻活動観測データ処理システム——オンラインリアルタイムシステム——
37	36	”	伊豆半島川奈崎における群発地震活動について —— 1978 年 11 月 23 日～12 月 31 日——
38	37	1979. 11	地震予知に対応する震災対策とその問題点（第 3 報）——地方自治体——
39	38	1979. 12	地震予知に対応する震災対策とその問題点（第 4 報）——事務所ビル, その他——
40	39	”	雪崩警報システムの試作について—— SYSTEM OJIYA I ——
41	40	”	岩槻地殻活動観測装置信号ケーブル接続部水蜜構造の開発
42	41	1980. 3	火山活動による地盤災害に関する研究
43	41	”	1977 年有珠山噴火による火山噴出物の分布及びその 影響について
44	41	”	火山体の音響特性に関する研究（I）——有珠山について——
45	41	”	1977 年有珠山噴火による降灰及び泥流による被害調査資料
46	42	1980. 6	ファンビーム・ドップラーレーダーによる水平風の測定
47	43	1980. 10	伊豆半島東方沖の地震（1980 年 6 月 29 日）とその前後の地震活動
48	44	1981. 1	加速度および速度計による強震地動の同時観測——中伊豆地殻活動観測施設における強震観測——
49	45	1982. 10	北海道釧路市における昭和 56 年度海霧観測の概要
50	46	1982. 9	茨城県沖の地震（1982 年 7 月 23 日）概報
51	47	1983. 1	岩槻深層地殻活動観測井の作井と坑井地質
52	48	1983. 3	下総深層地殻活動観測井の作井と地質
53	49	1983. 7	北海道釧路市における昭和 57 年度海霧観測の概要
54	50	1983. 10	硫黄島の第Ⅱ回地殻変動測量

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
1～ 18	松村正三, 大久保正, 勝山ヨシ子, 浜田和郎	48
1～ 14	井元政二郎, 大竹政和, 松村正三, 笠原敬司, 山水史生, 大久保正, 立川真理子, 浜田和郎	47
1～ 15	渡辺一郎	127
1～ 13	渡辺一郎	126
1～ 12	広部良輔, 山田 穰, 五十嵐高志	125
1～ 23	高橋 博, 木下 舜, 山本英二, 中村武英, 松本地弘, 倉橋敏夫	124
9～ 17	熊谷貞治, 田中耕平, 大八木規夫, 清水文健, 幾志新吉	120
19～ 65	熊谷貞治, 高橋 博, 大八木規夫	121
67～ 74	木下武雄, 熊谷貞治	122
75～ 124	熊谷貞治	123
1～ 24	上田 博, 八木鶴平	196
1～ 25	大竹政和, 井元政二郎, 石田瑞穂, 大久保正, 岡田義光, 笠原敬司, 立川真理子, 松村正三, 山水史生, 浜田和郎	195
1～ 61	木下繁夫	194
1～ 17	八木鶴平, 上田 博	364
1～ 14	岡田義光, 野口伸一, 鶴川元雄, 井元政二郎, 大竹政和	365
1～ 105	高橋 博, 福田 理, 鈴木宏芳, 田中耕平	366
1～ 55	鈴木宏芳, 高橋 博, 福田 理	367
1～ 19	八木鶴平, 上田 博	506
5～ 20	磯已代次, 川野辰男, 斎藤英二, 高橋 博	507

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
55	50	1983. 10	火山列島硫黄島における電気探査による地下構造調査
56	51	1984. 3	1983 年 10 月三宅島噴火前後の地殻活動
57	51	〃	ランドサット・データによる 1983 年 三宅島噴火噴出物の分布域の検出
58	51	〃	昭和 58 年（1983 年）三宅島噴火による火山災害
59	52	〃	湿雪地域における道路・交通標識の着雪防止（機能性含ふ素高分子材の利用）
60	53	〃	関東・東海地域地震観測網による震源決定方法について
61	54	〃	台風による定置網被害時の波浪特性 I
62	55	〃	タンク・モデルを用いたインドの二河川流域の流出解析（英文）
63	56	〃	模型斜面での表面流発生と雨水浸透との関係について
64	57	〃	1983 年 8 月 8 日山梨県東部の地震（M 6.0）とその前後の地震活動について
65	58	〃	関東・東海地域三次元 P 波速度構造
66	59	〃	雪崩走出予知用コンピュータープログラム（英文）
67	59	〃	コンピュータープログラム・LOPE（英文）
68	59	〃	有限要素法による積雪の沈降解析（英文）
69	60	〃	0° C 近傍にある積雪の日変化
70	61	1984. 10	沿岸波浪観測システムに関する研究—— 1. 波高の定時観測
71	62	〃	火山専用空中赤外映像装置の開発研究
72	63	〃	火山専用空中赤外映像装置の開発研究（第 2 報）
73	64	1985. 1	府中地殻活動観測井の作井と坑井地質
74	65	1984. 11	タンク・モデル——積雪・融雪モデルを伴った——（英文）

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
21～ 64	遠藤源助, 金 喜俊, 秋葉 治, 高橋 博, 熊谷貞治, 大八木規夫	508
3～ 18	岡田義光, 佐藤春夫, 木下繁夫, 鷗川元雄, 野口伸一	509
19～ 27	幾志新吉	510
29～ 62	熊谷貞治, 田中耕平, 幾志新吉	511
1～ 19	栗山 弘	512
1～ 88	鷗川元雄, 石田瑞穂, 松村正三, 笠原敬司	513
1～ 51	徳田正幸, 渡部 勲, 平元泰輔, 池田文雄, 長谷川保	514
1～ 33	バスカル・ダッタ	515
1～ 15	張 学棟	516
1～ 13	井元政二郎, 島田誠一, 岡田義光, 笠原敬司	517
1～ 11	石田瑞穂, 長谷川晶子	518
1～ 79	セオドル・イー・ラング	519
81～137	セオドル・イー・ラング 沼野夏生, 阿部 修	520
139～187	セオドル・イー・ラング 中村 勉	521
1～ 47	中村 勉, 監物勝英	522
1～ 24	渡部 勲, 徳田正幸	660
1～106	植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一	661
1～ 40	植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一	662
1～ 84	鈴木宏芳, 高橋 博	663
1～298	菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	664

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
75	66	1984. 11	関東・東海地域における起震応力場
76	67	1984. 12	沿岸波浪観測システムに関する研究—— 2. 方向スペクトルの定時観測
77	68	1985. 6	テレビカメラによる3次元動的位相計測——耐震実験における変位計測への適用——
78	69	1985. 9	ランドサットMSSデータによる土地被覆分類と堆積した火山噴出物の面積の測定—— 1983年三宅島噴火に関して
79	69	〃	三宅島の傾斜分布図
80	70	〃	火山専用空中赤外映像装置の開発研究（第3報）
81	71	〃	火山専用空中赤外映像装置の開発研究（第4報）——ミラーテストピースの火山ガス暴露試験による表面腐蝕状況の電子顕微鏡による観察——
82	72	1986. 7	タッカー式船用波浪計に関する研究Ⅰ 計測処理システムについて
83	73	〃	火山専用空中赤外映像装置の開発研究（第5報）—— 3～5 μm 帯域赤外線検知機による噴気温度の現地計測実験 ——
84	74	1987. 7	関東・東海地域における「地震前兆指標」の地域性と時間変化
85	75	1987. 8	原子力配管系の多入力振動実験報告書（その1）
86	76	1987. 9	火山専用空中赤外映像装置に関する開発研究（第6報）——ヘリコプターMSS及びランドサットTMデータによる桜島火山体の熱分布の解析——
87	77	1988. 3	伊豆大島で観測されたノコギリ 歯型傾斜変動と火山活動の関係
88	78	1988. 11	モホ不連続面近傍で発生した日本海下の地震による新地震波フェイズ（英文）

2・3 防災科学技術研究資料

1	1	1967. 3	松代群発地震観測資料（第1報）
2	2	〃	がけくずれの地域的・季節的分布と降水量（1949－1959）
3	3	1968. 3	災害統計資料（昭和30年－40年）

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
1～ 76	井元政二郎	665
1～ 33	徳田正幸, 渡部 勲, 堀江賢次, 佐藤 浩	666
1～ 15	矢崎 忍, 勝山ヨシ子	848
3～ 16	幾志新吉, 中野秀人	849
17～ 27	田中耕平, 幾志新吉, 熊谷貞治	850
1～ 48	植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一	851
1～ 37	植原茂次, 熊谷貞治, 三輪卓司, 源田秀三郎	852
1～ 32	徳田正幸, 道田 豊	1030
1～ 32	植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 竹村孝爾, 堤 捨男	1031
1～ 21	堀 貞喜, 大久保正	1188
1～126	小川信行, 箕輪親宏, 勝山ヨシ子, 小柳良一	1189
1～ 33	植原茂次, 矢崎 忍, 熊谷貞治, 幾志新吉	1190
1～ 14	福山英一	1191
1～ 12	関口渉次	
1～140	国立防災科学技術センター	—
1～ 62	国立防災科学技術センター	—
1～119	災害研究室	—

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
4	4	1969. 2	水害資料について
5	5	1969. 3	1968 年十勝沖地震災害調査報告
6	6	1969. 2	空中写真による地震災害調査法の研究
7	7	1969. 3	松代群発地震観測資料（第 2 報）
8	8	1970. 5	長岡における積雪の断面観測資料（1965—1969）
9	9	1970. 3	日本主要自然災害被害統計（昭和 20 年—42 年）
10	10	〃	長崎県・熊本県農作物かん害実態統計
11	11	〃	川口大気拡散実験資料
12	12	〃	災害研究図表集
13	13	1971. 3	台風 6626 号による山地および海岸災害に関する研究
14	14	1975. 8	松代群発地震資料の蓄積・検索シソーラス
15	15	〃	松代群発地震地域の冠着山付近における地震活動
16	16	1975. 10	住宅設備ユニット振動実験報告
17	17	〃	震動応答解析法
18	18	1975. 8	中国の最近における地震予知に関する研究
19	19	〃	オイルプラント及び原子力発電所の耐震実験
20	20	〃	アメリカの地震予知研究
21	21	1975. 10	マナグア——1972 年 12 月 23 日——自然災害後の応急住宅の供給
22	22	〃	ユネスコのわが国からの災害なだれ報告について
23	23	1976. 8	日本における耐風耐震に関する大規模実験計画
24	24	〃	電力用遮断器の振動実験
25	25	1976. 10	長岡における積雪観測資料（1964. 12—1976. 3）
26	26	1976. 12	二次元振動装置製作に関する報告（第 1 報）
27	27	1977. 9	日本の災害なだれ（1）——山形県（1929—1975）, 新潟県（1945—1974）ならびに全国資料（1927—1976）——
28	28	〃	大型震動台加震時の周辺地盤震動に関する調査報告

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
1～ 37	国立防災科学技術センター	—
1～ 52	国立防災科学技術センター	—
1～ 30	高橋 博, 西尾元充, 有賀世治	—
1～145	国立防災科学技術センター	—
1～ 58	雪害実験研究所	—
1～168	災害研究室	—
1～ 86	災害研究室	—
1～ 40	国立防災科学技術センター	—
1～414	西川 泰	—
1～ 49	西川 泰, 有賀世治, 水谷武司	—
1～116	第3研究部	—
1～ 34	熊谷貞治, 鈴木宏芳	—
1～ 45	稲葉誠一, 小川信行, 箕輪親宏	—
1～ 44	香川崇章	—
1～ 24	都司嘉宣 訳	—
1～ 13	稲葉誠一	—
1～ 19	浜田和郎	—
1～197	渡辺一郎 訳	—
1～ 68	中村 勉, 山田 穰	—
1～ 14	稲葉誠一	—
1～ 29	木下繁夫, 稲葉誠一	—
1～ 50	五十嵐高志, 清水増治郎, 小林俊市, 山田 穰	—
1～ 16	小川信行	—
1～ 94	国立防災科学技術センター	—
1～ 43	小川信行, 箕輪親宏, 飯田晴男, 久保田武	—

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
29	29	1978. 7	最近の災害事例にみられる避難の阻害および助長要因
30	30	1978. 9	防災関係法令集（英文）
31	31	1978. 11	長岡における積雪観測資料（1976. 11 — 1978. 4）
32	32	”	群馬県藤岡市における高層気象観測資料 （1970 — 1972, 1974 — 1976）
33	33	1978. 12	新庄の平地における積雪断面観測（昭和49年～50年冬期）
34	34	”	気象調節に関する研究——総合報告——
35	35	1979. 3	東海地方地震津波史料（Ⅰ・上巻）——静岡県・山梨県・ 長野県南部編——
36	36	”	東海地方地震津波史料（Ⅰ・下巻）——静岡県・山梨県・ 長野県南部編——（安政元年11月4日, 5日の地震）
37	37	”	新庄盆地の地下水観測資料（Ⅰ）——水位・水温, 1970 — 1975 ——
38	38	”	平塚沖波浪観測資料（Ⅰ）
39	39	”	地震断層付近の震害に関する調査——1891年～1976年の 主要内陸地震について——
40	40	”	強震記録数値集（第1集）——1978年1月伊豆大島近海の 地震, 1978年6月宮城沖地震——（英文）
41	41	”	松代群発地震観測資料（3）——地下水に関する資料集 （その1）——
42	42	1979. 6	地殻傾斜観測資料集（1）〔岡部・近又・野田沢地殻活動 観測施設〕
43	43	”	長岡における積雪観測資料（1978. 11 — 1979. 3）
44	44	1979. 12	中国の地震予知の現状
45	45	1979. 10	防災関係法令集（英文）（第2集）
46	46	1979. 12	災害地の土地条件——危険の程度を判断し災害に備える手 がかり——
47	47	1980. 3	平塚沖波浪観測資料（2）
48	48	”	浦白川流出試験地水文観測資料（1975. 4 ～ 1979. 12）

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
1～ 26	水谷武司	69
1～352	渡辺一郎, 青木佑久, 八木鶴平, 大谷圭一	68
1～ 21	清水増治郎, 小林俊市, 宮村兵衛, 山田 稔, 五十嵐高志	67
1～140	清野 豁, 米谷恒春, 八木鶴平	66
1～ 26	東浦将夫, 阿部 修, 中村 勉, 中村秀臣	65
1～ 60	小沢行雄, 小元敬男, 八木鶴平, 米谷恒春	64
1～436	都司嘉宣	63
1～857	都司嘉宣	62
1～ 95	東浦将夫, 阿部 修	61
1～107	渡部 勲, 藤縄幸雄	60
1～117	萩原尊礼, 茅野一郎, 浜田和郎, 大竹政和, 井元政二郎, 小池幸男	59
1～371	資料調査室	58
1～198	国立防災科学技術センター	57
1～ 32	佐藤春夫, 立川真理子	134
1～ 12	小林俊市, 宮村兵衛, 山田 稔, 五十嵐高志, 清水増治郎	133
1～169	力武常次, 高木章雄, 高橋 博, 萩原幸男, 松田時彦	132
1～ 63	国立防災科学技術センター	131
1～ 59	水谷武司, 清水文健	130
1～179	渡部 勲, 徳田正幸	129
1～655	岸井徳雄	128

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
49	49	1980. 6	災害危険区域条例集——出水・津波・高潮——
50	50	”	氷河堆積物に含まれる石英砂粒の化学的作用による表面組織
51	51	”	地殻傾斜観測資料集 1979〔近又・野田沢・岡部・中伊豆・南足柄・塩山地殻活動観測施設〕
52	52	1980. 8	平塚で観測された異常潮位（1979 年）
53	53	1980. 9	大型耐震実験装置の回転運動抑制についての考察
54	54	”	長岡における積雪観測資料（1979.11—1980. 4）
55	55	1980. 12	地震・津波補遺史料
56	56	1981. 3	中華人民共和国地震工作概況（翻訳資料）
57	56	”	唐山地震家屋被害と都市地震防災（翻訳資料）
58	57	”	高知県地震津波史料
59	58	1981. 7	日本における 100 年確率日雨量と年洪水量の長期変動
60	59	”	平塚沖波浪観測資料（3）
61	60	1981. 11	紀伊半島地震津波史料——三重県・和歌山県・奈良県の地震津波史料——
62	61	1981. 7	内水被害発生箇所資料（昭和 42 年～ 52 年）
63	62	”	地殻傾斜観測資料集（3）1980〔近又・野田沢・岡部・中伊豆・南足柄・塩山・岩井北・銚子・葦山地殻活動観測施設〕
64	63	”	雷雨性豪雨災害の統計調査
65	64	”	長岡における積雪観測資料（1980. 12 — 1981. 4）
66	65	1981. 9	関東・東海地域における孔井検層資料集
67	66	1981. 11	災害予防指針第 1 巻——居住地のための災害前における物的計画作成——（翻訳）
68	67	”	三次元精密振動台による小型模型実験（三次元振動台による実験 その 1）
69	68	1982. 3	地震の時間的前兆の探究—— 1911 ～ 1978 年発表された論文の注釈つき文献案内——（翻訳）
70	69	”	地すべり地形分布図 第 1 集（新庄）
71	70	1982. 6	新庄の平地における積雪断面観測（1975 年～ 1980 年冬期）

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
1～ 21	第 1 研究部	206
1～ 29	清水文健	205
1～ 66	佐藤春夫, 立川真理子, 山本英二	204
1～ 33	渡部 勲, 岩田憲幸	203
1～ 22	田中孝紀, 斎藤 隆, 飯田晴男	202
1～ 12	宮村兵衛, 山田 穰, 五十嵐高志, 清水増治郎, 小林俊市	201
1～ 41	都司嘉宣	200
1～ 9	都司嘉宣	198
11～ 32	都司嘉宣	199
1～278	都司嘉宣	197
1～ 72	米谷恒春	277
1～127	渡部 勲, 徳田正幸	278
1～392	都司嘉宣	279
1～185	入澤 実	280
1～123	立川真理子, 佐藤春夫, 山本英二	281
1～ 27	上田 博	282
1～ 11	雪害実験研究所	283
1～162	鈴木宏芳, 池田隆司, 御子柴正, 木下繁夫, 佐藤春夫, 高橋 博	284
1～ 58	渡辺一郎	285
1～139	小川信行, 箕輪親宏	286
1～192	宮村摂三, 小原信利, 須藤 研, 浜田和郎	287
	清水文健, 大八木規夫, 井口 隆	288
1～103	東浦将夫, 阿部 修, 沼野夏生	368

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
72	71	1982. 6	新庄盆地の地下水観測資料（Ⅱ）——浅層地下水の水位・水温変化（1976～1980）——
73	72	〃	豪雪地帯市町村における雪害及び雪寒対策の実態調査資料（Ⅰ）——1978～1979年冬期及び1979～1980年冬期——
74	73	1982. 8	災害予防指針 第2巻——災害の影響を最小にするための建設対策——（翻訳）
75	74	1982. 10	火山活動観測資料（硫黄島，霧島山）No. 1
76	75	〃	長岡における積雪観測資料（1981. 11—1982. 4）
77	76	1983. 2	豪雪地帯市町村における雪害および雪寒対策の実態調査資料（Ⅱ）——1980年～1981年冬期——
78	77	1983. 3	東海地方地震津波史料Ⅱ——静岡県・山梨県・長野県南部——
79	78	1982. 11	地殻傾斜観測資料集（4）1981〔近又・野田沢・岡部・中伊豆・南足柄・塩山・岩井北・銚子・三ヶ日・静岡・府中地殻活動観測施設〕
80	79	1983. 2	松代群発地震（4）——地下水に関する資料集（その2）——
81	80	1983. 3	強震記録数値集（第2集）——1980年9月25日千葉県中部地震——（英文）
82	81	1983. 6	災害予防指針 第2巻——居住地の管理——（翻訳）
83	82	1983. 10	大型降雨実験施設による表面流出実験資料集（1）——流出波形に及ぼす水路網密度の影響に関する実験——
84	83	1983. 11	国立防災科学技術センター大型振動台のあゆみ
85	84	〃	長岡における積雪観測資料（1982. 11—1983. 4）
86	85	1984. 2	地すべり地形分布図 第2集（秋田・男鹿・酒田）
87	86	1984. 3	地殻傾斜観測資料集（5）1982〔近又・野田沢・岡部・中伊豆・南足柄・塩山・岩井北・銚子・三ヶ日・静岡・本川根・下田・府中・岩槻・下総地殻活動観測施設〕
88	87	1984. 8	昭和58年（1983年）日本海中部地震における津波に関する痕跡・証言の調査結果
89	88	1984. 3	火山活動観測資料（硫黄島，霧島山）No. 2
90	89	1985. 1	強震記録数値集（第3集）——1982年3月7日 鹿島灘地震ほか3件——
91	90	〃	韓国東海岸を襲った日本海中部地震津波
92	91	1984. 8	長岡における積雪観測資料（1983. 10—1984. 4）

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
1～ 90	東浦将夫	369
1～ 247	沼野夏生	370
1～ 32	渡辺一郎	371
1～ 135	国立防災科学技術センター	372
1～ 10	雪害実験研究所	373
1～ 126	沼野夏生	374
1～ 411	都司嘉宣	375
1～ 147	立川真理子, 山本英二, 佐藤春夫	376
1～ 317	国立防災科学技術センター	377
1～ 332	矢崎 忍, 木下繁夫, 寺島幸造	378
1～ 53	渡辺一郎	523
1～ 287	福囿輝旗	524
1～ 273	箕輪親宏	525
1～ 11	雪害実験研究所	526
	清水文健, 大八木規夫, 井口 隆	527
1～ 200	立川真理子, 大久保正, 山本英二, 佐藤春夫	528
1～ 306	都司嘉宣, 小西達男, 木下武雄, 沼野夏生, 阿部 修	667
1～ 105	熊谷貞治, 鈴木宏芳	529
1～ 397	矢崎 忍	668
1～ 96	都司嘉宣, 白雲燮, 秋教昇 安希洙	669
1～ 13	雪害実験研究所	670

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
93	92	1984. 12	昭和 58 ～ 59 年冬期の新潟県の積雪に伴う被害
94	93	〃	長岡における積雪の断面観測資料（1983 — 1984）
95	94	1985. 3	豪雪地帯市町村における雪害および雪対策の実態調査資料（Ⅲ）—— 1980 年～ 1982 年冬期——
96	95	〃	火山活動観測資料（硫黄島，霧島山）No. 3
97	96	〃	地すべり地形分布図 第 3 集（弘前・深浦）
98	97	1986. 1	大型耐震実験装置加振機等精密分解点検報告
99	98	1985. 8	水害に備えるための参考事項——過去の水害の分析結果から——
100	99	1987. 3	大型耐震実験装置の大型 3 次元 6 自由度振動台への改造に関するフィジビリティスタディ——大型耐震実験装置の機械系水平一方向更新工事
101	100	1985. 6	長岡における積雪観測資料（1984. 11 — 1985. 4）
102	101	1985. 7	東京の災害が全国に及ぼす影響（第 4 報）——東京及び南関東における諸活動の全国に対する比率の推移——
103	102	1985. 9	長岡における積雪の断面観測資料（1984 — 1985）
104	103	1985. 7	1983 年地殻傾斜観測資料集〔関東・東海地域地殻活動観測網〕
105	104	1985. 11	昭和 59 ～ 60 年冬期の積雪に伴う被害——新潟県・長野県・他——
106	105	〃	新庄支所における 10 冬期間の気象・降積雪，その 1・気象資料編——1974 年 11 月～ 1984 年 4 月冬期——
107	106	1985. 10	新庄支所における 10 冬期間の気象・降積雪観測，その 2，降積雪編——1974 年 4 月冬期
108	107	1985. 12	平塚沖波浪観測資料（4）
109	108	1986. 2	火山活動観測資料（硫黄島，霧島山）No. 4
110	109	1986. 3	地すべり地形分布図 第 4 集（村上）
111	110	〃	国立防災科学技術センター「波浪等観測塔、20 年の記録——技術資料集——
112	111	1986. 5	最近の気象用ドップラーレーダの利用研究の現状
113	112	1986. 6	1984 年地殻傾斜観測資料集〔関東・東海地域地殻活動観測網〕

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
1～ 32	五十嵐高志,	671
1～ 90	五十嵐高志	672
1～266	沼野夏生	673
1～ 89	熊谷貞治, 鈴木宏芳	674
	清水文健, 大八木規夫, 井口 隆	675
1～ 29	大谷圭一, 小川信行, 箕輪親宏, 飯田晴男	853
1～ 48	水谷武司	854
1～ 61	第2研究部	1032
1～ 12	山田 穰, 五十嵐高志, 納口恭明, 木村忠志, 小林俊市	855
1～ 35	渡辺一郎	856
1～ 86	五十嵐高志	857
1～189	立川真理子, 大久保正, 山本英二, 佐藤春夫	858
1～109	五十嵐高志	859
1～ 21	阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫, 沼野夏生, 中村 勉	860
1～ 76	阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫, 沼野夏生, 中村 勉	861
1～129	渡部 勲, 徳田正幸	862
1～147	熊谷貞治, 鈴木宏芳	863
～	清水文健, 大八木規夫	864
1～111	平塚支所	865
1～ 66	上田 博	1033
1～199	立川真理子, 大久保正, 山本英二, 佐藤春夫	1034

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
114	113	1986. 7	パーソナルコンピュータのためのタンクモデル・プログラムとその使い方 (第2報)
115	114	1986. 9	長岡における積雪の断面観測資料 (1985 — 1986)
116	115	1987. 3	長岡における積雪観測資料 (1985.11 — 1986.4)
117	116	〃	地すべり地形分布図 第5集 (青森/仙台)
118	117	〃	能生町雪崩災害の被害・発生状況の概要
119	117	〃	雪崩災害地の積雪断面観測
120	117	〃	表層雪崩の堆積層について
121	118	〃	1985 ～ 1986 年冬期の積雪に伴う被害
122	119	1987. 8	松代群発地震資料 (5) 長野県における被害地震史料集
123	120	〃	長岡における積雪観測資料 (Ⅱ) ——(1986.11 ～ 1987.4)
124	121	〃	松代群発地震資料 (6) ——松代地震センター 20年のあゆみ——
125	122	1987. 9	長岡における積雪の断面観測資料 (1986 ～ 1987)
126	123	1987.12	平塚沖波浪観測資料 (5) (1982.9 ～ 1984.8)
127	124	1988. 3	1985 年地殻傾斜観測資料集 (関東・東海地域地殻活動観測網)
128	125	〃	地すべり地形分布図 第6集
129	126	〃	1985 年の地すべり, 斜面崩壊, 落石の被害——玉の木地区 (新潟県) の斜面崩壊による災害——
130	127	1988.10	国立防災科学技術センター観測施設総覧——気象・水象・海象編——
131	128	〃	1986 — 1987 年冬期の降積雪に伴う被害
132	129	〃	長岡における積雪観測資料 (12) (1987.11 — 1988.4)
133	130	1988.11	長岡における積雪の断面観測資料 (1987.12 — 1988.4)
134	131	〃	新庄の平地における積雪断面観測結果 (1980 / 81 年 ～ 1987 / 88 年 8 冬期)
135	132	1988.12	アパラチア地域の地すべり (英文)

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
1～200	菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	1035
1～140	五十嵐高志	1036
1～ 12	木村忠志, 清水増治郎, 小林俊市, 山田 穰, 五十嵐高志	1037
	清水文健, 大八木規夫	1038
1～ 12	山田 穰	1039
13～ 25	五十嵐高志	1040
27～ 32	山田 穰	1041
1～118	五十嵐高志	1042
1～243	国立防災科学技術センター	1192
1～ 13	熊谷元伸, 小林俊市, 木村忠志, 清水増治郎, 五十嵐高志, 納口恭明	1193
1～278	松代地震センター	1194
1～ 72	五十嵐高志	1195
1～125	渡部 勲, 徳田正幸	1196
1～210	関口渉次, 島田誠一, 大久保正, 佐藤春夫, 立川真理子	1197
	清水文健, 大八木規夫	1198
1～ 44	五十嵐高志	1199
1～311	高橋 博, 木下武雄, 岸井徳雄, 中根和郎, 小見波正隆	
1～ 97	五十嵐高志, 宮本 誠	
1～ 15	五十嵐高志, 山田 穰, 中尾正義, 清水増治郎, 熊谷元伸, 小林俊市	
1～ 94	五十嵐高志	
1～138	阿部 修, 中村秀臣, 沼野夏生, 東浦将夫, 佐藤篤司, 中村 勉	
1～105	富永雅樹	

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
2・4 主要災害調査			
1	1	1973. 3	八丈島地震災害現地調査について
2	2	1973. 7	昭和 48 年 4 月 18 日長野県萩之峰地すべり災害について
3	3	1973. 10	1973 年 6 月 17 日根室半島沖地震現地調査報告
4	4	1974. 8	昭和49年 4 月新潟県新井市平丸地区及び山形県大蔵村赤松地区に発生した地すべり災害現地調査報告
5	5	1974. 11	1974 年伊豆半島沖地震現地調査及び観測報告
6	6	1975. 7	1975 年 4 月大分県中部に発生した地震災害現地調査報告
7	7	1975. 10	垂水市牛根麓および熊本市周辺の災害現地調査報告
8	8	〃	昭和 50 年 8 月 6 日青森県岩木市百沢地区および山形県北部に発生した集中豪雨災害現地調査報告
9	9	1976. 1	1975 年 8 月 17 日台風第 5 号による高知県中部の災害現地調査報告
10	10	1976. 3	昭和 50 年 8 月台風 6 号による石狩川洪水災害および渡島支庁国道 5 号線斜面崩壊災害調査報告
11	11	1976. 8	51.1 豪雪の積雪現象および積雪災害に関する広域調査報告
12	12	1977. 3	1976 年台風第 17 号による長良川地域水害調査報告
13	13	〃	1976 年台風第 17 号による兵庫県一宮町福知抜山地すべりおよび香川県小豆島の災害調査報告
14	14	1978. 3	1977 年有珠山噴火による災害現地調査報告
15	15	1978. 10	1978 年宮城県沖地震による災害現地調査報告
16	16	1980. 3	1979 年御岳山噴火による災害現地調査報告
17	17	1982. 2	昭和 56 年豪雪による北陸地方の災害現地調査報告
18	18	1982. 6	昭和 56 年 8 月 3 日から 6 日にかけての前線と台風12号による石狩川洪水災害及び日高地方土砂災害調査報告
19	19	1982. 3	1981 年 8 月台風第 15 号による長野県須坂土石流災害調査報告

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
1～ 45	湯原浩三, 高橋末雄, 幾志新吉, 香川崇章, 笠原敬司	—
1～ 17	青木忠男, 熊谷貞治, 寺島治男	—
1～ 41	高橋 博, 渡辺一郎, 鈴木宏芳	—
1～ 42	大八木規夫, 森脇 寛, 西川 泰	—
1～121	高橋 博, 高橋末雄, 笠原敬司, 山本英二, 大八木規夫	—
1～ 28	広部良輔, 箕輪親宏	—
1～ 52	大八木規夫, 富永雅樹	—
1～ 44	寺島治男, 東浦将夫, 阿部 修	—
1～ 53	木下武雄, 中根和郎, 福井隆文	—
1～ 40	稲葉誠一, 福園輝旗	—
1～ 58	渡辺興亜, 五十嵐高志, 山田 穰	—
1～ 92	高村 博, 西口哲夫, 木下武雄, 富永雅樹, 福園輝旗, 大倉 博	—
1～ 68	大八木規夫, 寺島治男, 森脇 寛	—
1～ 70	熊谷貞治, 田中耕平, 大八木規夫, 清水文健, 小池幸男	—
1～ 82	植原茂次, 大谷圭一, 箕輪親宏, 片桐一美	70
1～ 41	植原茂次, 幾志新吉, 諸星敏一, 横溝邦雄	135
1～ 392	栗山 弘, 山田 穰, 五十嵐高志, 野原以佐武, 東浦将夫, 沼野夏生 片桐一美	289
1～ 73	植原茂次, 武田 宏	379
1～ 52	水谷武司, 森脇 寛, 井口 隆	290

番 号	号 数	刊行年月	論 文 名
20	20	1983. 2	1981 年 8 月 24 日台風 15 号 による小貝川破堤水害調査報告
21	21	1984. 3	1982 年 7 月豪雨（57.7 豪雨）による長崎地区災害調査報告
22	22	1983. 3	1982 年台風第 10 号と直後の低気圧による三重県一志郡の土石流災害および奈良県西吉野村和田地すべり災害調査報告
23	23	1984. 2	昭和 58 年（1983 年）日本海中部地震による災害現地調査報告
24	24	1984. 8	1983 年梅雨前線による島根豪雨災害現地調査報告
25	25	1985. 3	昭和 59 年（1984 年）長野県西部地震災害調査報告
26	26	1986. 3	1985 年 7 月 26 日長野市地附山地すべりによる災害の調査報告
27	27	1987. 3	1986 年 8 月 5 日台風 10 号の豪雨による関東・東北地方の水害調査報告
28	28	”	昭和 61 年（1986 年）伊豆大島噴火災害調査報告
29	29	1988. 3	千葉県東方沖地震災害調査報告
30	30	1988. 10	1988 年集中豪雨災害調査報告——島根・広島地区——

頁 数	著 者 ・ 編 者	掲 載 番 号
1～125	木下武雄, 岸井徳雄, 富永雅樹, 中根和郎	380
1～133	大八木規夫, 中根和郎, 福園輝旗	530
1～ 70	米谷恒春, 森脇 寛, 清水文健	381
1～164	木下武雄, 熊谷貞治, 都司嘉宣, 小川信行, 沼野夏生, 阿部 修, 小西達男	531
1～ 85	植原茂次, 森脇 寛,	676
1～141	植原茂次, 田中耕平, 井口 隆, 木下繁夫, 井元政二郎, 幾志新吉, 岩崎正樹	677
1～ 45	大八木規夫, 田中耕平, 福園輝旗	866
1～155	木下武雄, 水谷武司, 八木鶴平, 岸井徳雄, 佐藤照子, 植原茂次, 大倉 博, 幾志新吉	1043
1～ 64	高橋 博, 大竹政和, 熊谷貞治, 大八木規夫, 島田誠一, 植原茂次	1044
1～ 49	大谷圭一, 岡田義光, 諸星敏一, 田中耕平, 森脇 寛, 資料調査室	1200
1～115	田中耕平, 中井専人, 中根和郎	

3. 研究分野別リスト

1. 本リストは、当センターの研究分野を下記「2」の13分野に区分し、「国立防災科学技術センター研究報告」、「国立防災科学技術センター研究速報」、「防災科学技術資料」及び「主要災害調査」の号数の若い順に記載してある。

2. 当センターでは、対象とする研究分野を下記の13分野に区分し、「図書・文献データベース」及び「国立防災科学センター要旨集」等は、この区分にしたがって論文等の整理を行っている。

気象災害、水災害、風害、地震予知、地震防災、火山災害、地すべり・崩壊災害、雪氷災害、海洋災害、防災科学技術情報処理・リモートセンシング、火災、災害一般、その他

3. 本リストの内容は、著者・編者、論文名、頁、掲載誌名、号数、「国立防災科学技術センター要旨集」のアブストラクト掲載番号、の順に記載してある。

(注) 研究報告：「国立防災科学技術センター研究報告」

研究速報：「国立防災科学技術センター研究速報」

災害資料：「防災科学技術研究資料」

災害調査：「主要災害調査」

著 者 ・ 編 者	論 文 名
3・1 気象災害 ・菅原正巳, 勝山ヨシ子, 八十島久 ・菅原正巳, 勝山ヨシ子 ・近藤純正, 渡部 勲 ・近藤純正, 内藤玄一 ・菅原正巳, 勝山ヨシ子, 大村一夫 ・岩切 敏 ・米谷恒春 ・八木鶴平 ・八木鶴平, 清野 豁, 小元敬男 ・清野 豁, 小元敬男 ・小元敬男, 米谷恒春 ・米谷恒春 ・八木鶴平, 清野 豁, 小元敬男 ・清野 豁, 八木鶴平, 小元敬男 ・米谷恒春 ・内藤玄一, 都司嘉宣, 渡部 勲 ・矢崎 忍 ・清野 豁, 小元敬男, 八木鶴平, 米谷恒春 ・青木佑久 ・清野 豁, ・米谷恒春 ・八木鶴平 ・八木鶴平, 清野 豁 ・米谷恒春 ・八木鶴平, 上田 博 ・上田 博, 八木鶴平 ・米谷恒春 ・八木鶴平	気象レーダのエコーを電子計算機により実時間解析する可能性について 気象資料の長期変動について ——月平均気圧・月平均気温・月雨量のスペクトル解析—— 深い湖の水溫鉛直分布と蒸発の季節変化 地表面近くの地温・気温の日変化特性 多数のレーダと中央の計算機による地域雨量測定法 (英文) 栽培用ハウス内温度環境の予測と制御に関する研究 北関東地方の雷雨発生日の大気安定度 静止空気中で燃焼させたよう化銀コンポジットの有効氷晶核数の測定 北関東に豪雨およびひょう害をもたらした昭和47年8月2日の雷雨群のレーダエコー解析 1972年8月3日のひょう雲の構造と行動 関東地方の雷雨 (その1) ——雷雨日の大気鉛直構造の数値解析—— 対流雲の発達に関する数値実験 雷雨の等エコー構造と移動方向の関係について 雷雨エコー域内の雨滴粒度分布の差異について (序報) 対流雲の発達に関する数値実験 (Ⅱ) ——含水量の相異による影響—— 冬期南西諸島南方海域における運動量・顕熱・潜熱の輸送と放射量 (Ⅱ) ——AMTEX'75 報告—— 降ひょう記録計記録の電子計算機による自動検測 弱い降ひょうを伴った対流系の降水分布の特徴について 著しい洪水災害をもたらした降雨の特徴 簡単な降ひょう記録計によるひょう粒の大きさの推定 雲底下層における安定度の影響を考慮した雷雨予報のための不安定指数 ——関東平野の北部を対象とした場合—— 雷雨の等エコー構造と移動方向の関係についてⅡ 長岡における降雪粒子のZ-R関係および粒度分布の特徴Ⅰ 地表の高温域による大気成層の変質とそれが対流雲の発達に及ぼす影響 ——数値実験—— 長岡における降雪粒子のZ-R関係および粒度分布の特徴Ⅱ 長岡における雪片の落下速度の測定とZ-R関係への適用について 高温域による積雲の形成の数値実験 昭和51年5月17日の降ひょうを伴った線状雷雨の構造とレーダー反射強度

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 13	研究報告	1	—
45 ~ 86	"	1	—
75 ~ 88	"	2	—
89 ~ 105	"	2	—
1 ~ 8	"	5	—
1 ~ 139	"	6	—
47 ~ 53	"	9	—
55 ~ 60	"	9	—
37 ~ 52	"	14	—
53 ~ 63	"	14	—
65 ~ 78	"	14	—
79 ~ 94	"	14	—
1 ~ 8	"	15	—
9 ~ 22	"	15	—
23 ~ 32	"	15	—
101 ~ 143	"	15	—
47 ~ 58	"	16	—
1 ~ 15	"	19	—
1 ~ 16	"	20	33
31 ~ 38	"	20	35
35 ~ 44	"	21	27
39 ~ 47	"	22	108
49 ~ 61	"	22	109
63 ~ 81	"	22	110
29 ~ 38	"	23	93
39 ~ 46	"	23	94
1 ~ 13	"	24	182
15 ~ 31	"	24	183

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 上田 博, 八木鶴平 ・ 米谷恒春 ・ 兪 漢奎, 八木鶴平 ・ 中根和郎 ・ 權 泰來, 米谷恒春 ・ 上田 博, 八木鶴平 ・ 上田 博, 八木鶴平 ・ 小西達男, 木下武雄 ・ 八木鶴平, 上田 博 ・ 米谷恒春 ・ 真木雅之, 八木鶴平 ・ 八木鶴平 ・ 真木雅之, 八木鶴平 ・ 小元敬男, 八木鶴平 ・ 清野 豁, 小元敬男 ・ 八木鶴平, 上田 博, 清野 豁 ・ 上田 博, 八木鶴平 ・ 八木鶴平, 上田 博 ・ 八木鶴平, 上田 博 ・ 清野 豁, 米谷恒春 ・ 小沢行雄, 小元敬男, 八木鶴平, 米谷恒春 ・ 米谷恒春 ・ 上田 博 ・ 平塚支所 ・ 上田 博, ・ 高橋 博, 木下武雄, 岸井徳雄, 中根和郎, 小見波正隆 ・ 田中耕平, 中井専人, 中根和郎	ファンビーム・ドップラーレーダーを利用した水平風測定におけるスペクトルの考察 東京都の都市域における降水量の特異性 層状雲からの降水エコーの移動に関するレーダー観測 雨域の移動を考慮した伊那谷における短期間降雨予測について 韓国の中中部地方を対象とした降ひょう予測法 北海道釧路市における海霧の観測 降水エコーの短時間予測のための上層風の補外ベクトルとしての評価研究 高潮の河川遡上に関する研究 レーダーによる降雨の短時間予測のための上層風の利用について 昭和60年7月14日の東京を襲った集中豪雨の解析 レーダーによる盆地降雪の観測, 1986年新庄市——鉛直構造の特徴—— 日本列島中央部に発生したスーパーセルストームについて (英文) 降水量分布に及ぼす筑波山地の影響 昭和50年6月9日の群馬県の降ひょう (序報) 農作物のひょう害の形態と回復過程——昭和52年7月7日の降ひょう—— 昭和53年のかんばつによる茨城県の農作物被害調査 ファンビーム・ドップラーレーダーによる水平風の測定 北海道釧路市における昭和56年度海霧観測の概要 北海道釧路市における昭和57年度海霧観測の概要 群馬県藤岡市における高層気象観測資料 (1970-1972, 1974-1976) 気象調節に関する研究——総合報告—— 日本における100年確率日雨量と年洪水量の長期変動 雷雨性豪雨災害の統計調査 国立防災科学技術センター“波浪等観測塔”20年の記録——技術資料集—— 最近の気象用ドップラーレーダの利用研究の現状 国立防災科学技術センター観測施設総覧——気象・水象・海象編—— 1988年集中豪雨災害調査報告——島根・広島地区——
3・2 水災害 ・ 菅原正巳 ・ 菅原正巳, 尾崎睿子	天竜川佐久間の洪水予報方式について 只見川の洪水流量を算出する方式について

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
33 ~ 43	研究報告	24	184
1 ~ 8	"	25	172
9 ~ 18	"	25	173
89 ~ 108	"	27	263
109 ~ 118	"	27	264
69 ~ 92	"	29	352
1 ~ 24	"	30	358
67 ~ 87	"	31	489
1 ~ 19	"	32	499
1 ~ 7	"	38	1014
1 ~ 17	"	39	1019
1 ~ 12	"	41	1167
13 ~ 29	"	41	1168
1 ~ 31	研究速報	22	—
1 ~ 19	"	27	56
1 ~ 50	"	33	50
1 ~ 24	"	42	196
1 ~ 17	"	45	364
1 ~ 19	"	49	506
1 ~ 140	研究資料	32	66
1 ~ 60	"	34	64
1 ~ 72	"	58	277
1 ~ 27	"	63	282
1 ~ 111	"	110	865
1 ~ 66	"	111	1033
1 ~ 311	"	127	
1 ~ 115	"	30	
15 ~ 35	"	1	—
41 ~ 53	"	3	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
- 菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子 - 水谷武司 - 岸井徳雄	タンク・モデルによる非湿潤地帯河川の流出解析 (付: ビキン河, 木津川の流出解析) 風水害および震害とひん度との関係について 九州地方の火山灰地帯・非火山灰地帯における諸河川の流出特性
- 菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子 - 木下武雄, 中根和郎	タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第1報) 表面流出に関する研究 (その1) ——実験斜面において降雨強度が表面流出の発生に及ぼす影響——
大倉 博	不飽和浸透を考慮した降雨浸透の有限要素法による一解法 —— 定常流 ——
木下武雄	連続土のう作製機の降雨中における作業性能に関する研究 (受託研究)
- 青木佑久 - 岸井徳雄 - 中根和郎, 矢崎 忍	著しい洪水災害をもたらした降雨の特徴 浦白川流出試験地の洪水流出特性
- 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 - 岸井徳雄, 青木佑久 - 入澤 実 - 岸井徳雄	表面流出に関する研究 (その2) ——平地小流域における流量観測—— タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第2報)
大倉 博	自然流域と都市流域の洪水流出特性の比較 水害面からみた土地利用状況の問題点
- 木下武雄 - 入澤 実	都市化による洪水流出の変化 —— 石神井川流域の例 (第1報) —— 鉛直降雨浸透の有限要素法による一解法 —— 計算誤差の発生とその除去法 ——
- 入澤 実 - 武田 宏 - 木下武雄, 富永雅樹, 福岡輝旗, 益倉克成, 佐々木健一 - 佐藤照子, 植原茂次	降雨災害対策における超過確率年の例と問題点 主成分分析法を適用して洪水時危険度を推定する方法の開発
- 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 - 岸井徳雄 - 木下武雄 - 武田 宏 - 入澤 実 - 福岡輝旗	水害防止における非構造物手法の必要性について 大規模工業団地計画における流出係数の考え方 表面流出に関する研究 (その3)
木下武雄	都市化に伴う洪水流出特性変化のタンク・モデルによる解析
木下武雄	タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第3報) ——洪水解析用の自動化プログラムの開発——
木下武雄	表面流出の発生に関する実験
木下武雄	海外の河川における洪水の水文学的研究 (その1)
木下武雄	重回帰分析を利用した崩壊土砂量の推定法
木下武雄	最近における内水被害の分析とその防止対策に関する研究
木下武雄	表面流出に及ぼす排水路の影響について ——水理実験と数値実験——
木下武雄	超音波により連続的に観測された洪水・潮汐等の流量変化の不定流としての挙動
木下武雄	浦白川流出試験地における流出係数, 流出率の変化

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 26	研究報告	1	—
15 ~ 30	”	13	—
1 ~ 5	”	17	—
43 ~ 89	”	17	—
35 ~ 49	”	18	—
51 ~ 70	”	18	—
43 ~ 50	”	19	—
1 ~ 16	”	20	33
17 ~ 30	”	20	34
137 ~ 155	”	20	41
157 ~ 216	”	20	42
1 ~ 33	”	21	26
1 ~ 26	”	22	106
27 ~ 38	”	22	107
145 ~ 166	”	22	117
1 ~ 10	”	23	91
11 ~ 27	”	23	92
45 ~ 68	”	24	185
69 ~ 85	”	24	186
87 ~ 100	”	24	187
145 ~ 158	”	24	191
159 ~ 181	”	24	192
19 ~ 27	”	25	174
1 ~ 16	”	26	251
17 ~ 27	”	26	252
29 ~ 62	”	26	253
63 ~ 72	”	26	254
1 ~ 11	”	27	259
13 ~ 24	”	27	260

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 武田 宏, 岸井徳雄, 中根和郎, 大倉 博, 佐藤照子 ・ 中根和郎 ・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・ 木下武雄 ・ 武田 宏 ・ 岸井徳雄 ・ 植原茂次, 佐藤照子 ・ 森脇 寛 ・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 中根和郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・ 木下武雄, ・ 中根和郎 ・ 小西達男, 木下武雄 ・ 木下武雄 ・ 岸井徳雄, 中根和郎, 大倉 博, 佐藤照子, 小西達男 ・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・ 中根和郎 ・ 小西達男, 木下武雄 ・ 中根和郎, 木下武雄 ・ 植原茂次, 佐藤照子 ・ 都司嘉宣, 竹田 厚 ・ 都司嘉宣, 渡辺一郎, 尾崎睿子 ・ 菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎 ・ 尾崎睿子, 菅原正巳 ・ 佐藤照子, 植原茂次 ・ 菅原正巳, 尾崎睿子 ・ 岸井徳雄, 佐藤照子, 中根和郎, 大倉 博	筑波研究学園流出試験地の流出特性 (第1報) 雨域の移動を考慮した伊那谷における短時間降雨予測について タンク・モデルに付加された土壌水分構造の性質 タンク・モデルによるサングレ試験流域 S1～S7 の流出解析 タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第4報) —— 流出孔の位置, 土壌水分構造, 農業用水のパラメータを定める —— 海外の河川における洪水の水文学的研究 (その2) 地下水の挙動を考慮した洪水防御工法の評価手法に関する事例研究 浦白川流出試験地の洪水流出特性 (第2報) 日本の河川流域の月単位水収支と水文特性 (第1報) 降雨実験による畑地模型の表面流出について 「融雪流出の概念モデルの相互比較」の課題となった6流域の流出解析 氾濫水の流動 河川の流況推定 高潮の河川遡上に関する研究 到達時間流出率による合理式流出係数の検討 筑波研究学園流出試験地の流出特性 (第2報) 「融雪流出の概念モデルの相互比較」の課題となった6流域の流出解析 (第2報) 昭和58年7月山陰豪雨時の洪水流出の特徴 高潮の河川遡上に関する研究 (Ⅱ) 流出係数に及ぼす貯留高の影響 日本の河川流域の月単位水文特性 (第2報) 1982年10号, および18号台風による高潮 タンク・モデルによるビルマ, チンドウィン川の流出予測 (英文) イワラジ川上流部 Sagaing の流量のタンク・モデルによる予報方式 累年月別平均気温の季節変化の型について —— わが国と外国との比較 —— 流域条件と洪水流出特性の変化に関する実験的研究 (第一報) —— 不浸透の増大による洪水流下速度の増大 —— タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第5報) —— 積雪流域において, 降水量に掛ける補正係数を自動的に探し求める計算機プログラムの開発 —— 浦白川流出試験地及び筑波研究学園流出試験地の水収支の比較

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
49～ 87	研究報告	27	262
89～108	”	27	263
193～206	”	27	271
207～228	”	27	272
229～245	”	27	273
1～ 18	”	29	349
39～ 68	”	29	351
93～101	”	29	353
25～ 64	”	30	359
65～ 83	”	30	360
85～165	”	30	361
1～ 8	”	31	486
35～ 65	”	31	488
67～ 87	”	31	489
1～ 14	”	33	644
23～ 68	”	33	646
187～236	”	33	650
1～ 12	”	34	654
13～ 42	”	34	655
1～ 16	”	35	830
155～228	”	35	834
299～314	”	35	838
21～ 45	”	36	842
47～ 57	”	36	843
59～ 77	”	36	844
67～ 86	”	39	1022
87～ 86	”	39	1023
87～113	”	39	1023
1～ 20	”	40	1163

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 植原茂次	日本の河川流域の月単位水収支に基づく水文特性に関する研究
・ 菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子	タンク・モデル及びバード・クリーク, オロンビー・ブルック, ビキン河, 木津川, サナガ河, ナム・ネムへの適用
・ バスカル・ダッタ	タンク・モデルを用いたインドの二河川流域の流出解析 (英文)
・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	タンク・モデル——積雪・融雪モデルを伴った—— (英文)
・ 国立防災科学技術センター	水害資料について
・ 岸井徳雄	浦白川流出試験地水文観測資料 (1975.4~1979.12)
・ 第1研究部	災害危険区域条例集——出水・津波・高潮——
・ 米谷恒春	日本における100年確率日雨量と年洪水量の長期変動
・ 入澤 実	内水被害発生箇所資料 (昭和42年~52年)
・ 福岡輝旗	大型降雨実験施設による表面流出実験資料集 (I)——流出波形に及ぼす水路網密度の影響に関する実験——
・ 水谷武司	水害に備えるための参考事項——過去の水害の分析結果から——
・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	パーソナルコンピュータのためのタンクモデル・プログラムとその使い方 (第2報)
・ 高橋 博, 木下武雄, 岸井徳雄, 中根和郎, 小見波正隆	国立防災科学技術センター観測施設総覧——気象・水象・海象編——
・ 大八木規夫, 富永雅樹	垂水市牛根麓および熊本市周辺の災害現地調査報告
・ 寺島治男, 東浦将夫, 阿部 修	昭和50年8月6日青森県岩木市百沢地区および山形県北部に発生した集中豪雨災害現地調査報告
・ 木下武雄, 中根和郎, 福井隆文	1975年8月17日台風第5号による高知県中部の災害現地調査報告
・ 稲葉誠一, 福岡輝旗	昭和50年8月台風6号による石狩川洪水災害および渡島支国道5号線斜面崩壊災害調査報告
・ 高村 博, 西口哲夫, 木下武雄, 富永雅樹, 福岡輝旗, 大倉 博	1976年台風第17号による長良川地域水害調査報告
・ 大八木規夫, 寺島治男, 森脇 寛	1976年台風第17号による兵庫県一宮町福知抜山地すべりおよび香川県小豆島の災害調査報告
・ 植原茂次, 武田 宏	昭和56年8月3日から6日にかけての前線と台風12号による石狩川洪水災害及び日高土砂災害調査報告
・ 水谷武司, 森脇 寛, 井口 隆	1981年8月台風第15号による長野県須坂土石流災害調査報告
・ 木下武雄, 岸井徳雄, 富永雅樹, 中根和郎	1981年8月24日台風15号による小貝川破堤水害調査報告
・ 大八木規夫, 中根和郎, 福岡輝旗	1982年7月豪雨 (57.7豪雨) による長崎地区災害調査報告
・ 米谷恒春, 森脇 寛, 清水文建	1982年台風第10号と直後の低気圧による三重県一志郡の土石流災害および奈良県西吉野村和田地すべり災害調査報告
・ 植原茂次, 森脇 寛	1983年梅雨前線による島根豪雨災害現地調査報告
・ 木下武雄, 水谷武司, 八木鶴平, 岸井徳雄, 佐藤照子, 植原茂次, 大倉 博, 幾志新吉	1986年8月5日台風の豪雨による関東・東北地方の水害調査報告

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
21～309	研究報告	40	1164
1～ 64	研究速報	11	—
1～ 30	”	55	515
1～298	”	65	664
1～ 37	研究資料	4	—
1～655	”	48	128
1～ 21	”	49	206
1～ 72	”	58	277
1～185	”	61	280
1～287	”	82	524
1～ 48	”	98	854
1～200	”	113	1035
1～311	”	127	
1～ 52	災害調査	7	—
1～ 44	”	8	—
1～ 53	”	9	—
1～ 40	”	10	—
1～ 92	”	12	—
1～ 68	”	13	—
1～ 73	”	18	290
1～ 52	”	19	379
1～125	”	20	380
1～133	”	21	381
1～ 70	”	22	530
1～ 85	”	24	676
1～155	”	27	1043

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 田中耕平, 中井専人, 中根和郎 3・3 風 害 3・4 地震予知 ・ 高橋末雄, 鈴木宏芳 ・ 菅原正巳, 勝山ヨシ子, 大村一夫, 福井隆文 ・ 勝山ヨシ子, 渡辺一郎 ・ 浜田和郎 ・ 高橋末雄 ・ 熊谷貞治, 鈴木宏芳, 幾志新吉 ・ 渡辺一郎, 菅原正巳, 福井隆文, 勝山ヨシ子 ・ 山水史生, 塚原弘昭, 佐藤春夫, 石田瑞穂, 浜田和郎 ・ 田中耕平 ・ 佐藤春夫, 高橋 博 ・ 窪田道典 ・ 大竹政和 ・ 藤縄幸雄 ・ 井元政二郎 ・ 佐竹 洋, 池田隆司, 福田 理, 高橋 博 ・ 坂田正治 ・ 石田瑞穂, 立川真理子 ・ 井元政二郎 ・ 大久保正, 佐藤春夫, 松村正三 ・ 池田隆司 ・ 高橋 博 ・ 立川真理子 ・ 島田誠一, 坂田正治, 野口伸一 ・ 江口孝雄, 藤縄幸雄 ・ 岡田義光	1988年集中豪雨災害調査報告——島根・広島地区—— 浅井戸における地震波の深さによる変化 微小地震の自動検出方法について 微小地震の自動検出方法について（第2報） P走時の異常と日本の上部マントル構造——日本における地震学的研究（英文） 岩槻深層観測井データ搬送装置とその信頼性 松代地域弾性波探査の周波数分析に現れた異常——人工地震波の周波数分析（Ⅱ） 微小地震の自動検出方法について（第3報）——自動検測の試み—— 川崎微小地震観測施設と深度別ノイズ分布 関東平野の基盤地質構造と地震分布 地殻傾斜の群列観測（その1） 地殻変動連続観測所の最適配置の決定 地震空白域にもとづく地震予知——1978年メキシコ地震の予知を例として—— プレート間境界付近における運動（1） プレートの沈み込み帯における逆断層型大地震に伴う余震活動現象について 烏山——菅生沼断層（茨城県南西部）の電気探査—— 新しく考案したボアホール式3成分ひずみ計 関東・東海地域地殻活動観測網における振動継続時間を用いた地震マグニチュードの決定 伊豆半島東方沖に発生する地震機構——1980年8月～1981年5月—— グラフィックディスプレイ装置を用いた地殻傾斜変動図の作成 地殻応力測定のための水圧破壊に伴う微小破壊音の振幅別頻度分布 深層観測によって明らかにされた関東地方の微小地震活動の特性について 関東・東海地域地殻活動観測網における自動検測による振動継続時間マグニチュードの決定 3成分ひずみ計の観測・記録およびデータ処理方式 海底地震計の設置・回収用超音波位置検知遠隔制御装置 地殻活動監視用インテリジェントパネルディスプレイ

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1～115	災害調査	30	
9～ 24	研究報告	5	—
1～ 9	”	9	—
27～ 51	”	12	—
53～ 70	”	12	—
35～ 57	”	13	—
59～ 74	”	13	—
33～ 47	”	15	—
17～ 33	”	18	—
17～ 26	”	19	—
39～ 62	”	20	36
47～ 64	”	23	95
65～110	”	23	96
101～109	”	24	188
29～ 86	”	25	175
87～ 94	”	25	176
95～126	”	25	177
119～131	”	27	265
133～144	”	27	266
145～157	”	27	267
159～170	”	27	268
1～104	”	28	276
89～100	”	31	490
101～110	”	31	491
69～ 76	”	33	647
77～ 99	”	33	648

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 佐藤春夫 ・ 鵜川元雄, 藤縄幸雄, 江口孝雄 ・ 島田誠一, 野口伸一, 坂田正治 ・ 笠原敬司 ・ 鈴木宏芳 ・ 石田瑞穂 ・ 藤縄幸雄, 窪田道典, 江口孝雄, 鵜川元雄 ・ ディミトリス・パナスタシャ, 松村正三 ・ 浜田和郎 ・ 松村正三, 岡田義光, 井元政二郎, 島田誠一 ・ 松村正三, 岡田義光, 堀 貞喜 ・ 島田誠一, 大久保正, 岡田義光, 堀 貞喜 ・ 堀 貞喜, 松村正三 ・ 堀 貞喜, 松村正三, 島田誠一, 大久保正, 井元政二郎, 岡田義正 ・ 大久保正, ・ 井元政二郎 ・ 岡田義光 ・ 岡田義光 ・ 高橋末雄, 高橋 博, 熊谷貞治, 田中康裕 ・ 熊谷貞治, 鈴木宏芳, 八十島久, 高橋末雄 ・ 佐藤春夫, 浜田和郎 ・ 塚原弘昭 ・ 佐藤春夫, 浜田和郎, 高橋 博, 山水史生, 石田瑞穂, 塚原弘昭, 笠原敬司 ・ 田中耕平, 高橋 博, 鈴木宏芳, 寺島美南子 ・ 塚原弘昭, 池田隆司, 佐竹 洋, 大竹政和 ・ 池田隆司, 塚原弘昭, 佐竹 洋, 大竹政和, 高橋 博 ・ 佐藤春夫	リソスフェアにおける地震波の散乱と減衰 —— ランダムな不均質構造による一次散乱理論 —— 自己浮上式海底地震計の観測データ処理方法 防災センター構内 3 成分ひずみ計の設置姿勢について プレートが三重会合する関東・東海地方の地殻活動様式 関東平野の地中温度 関東・東海地域の震源分布から推定したフィリピン海及び太平洋プレートの等深線 自己浮上式海上式海底地震計 (CDPOBS IIa) について 国立防災科学技術センター地震観測網の震源決定能力及び震源決定精度の調査 地震前兆解析システム開発の背景とその意義 地震前兆解析システムの機能と構成 地震前兆解析システムにおける地震データ (高速採取データ) の処理 地震前兆解析システムにおける低速採取データの処理 地震前兆解析システムにおける自動震源決定 地震前兆解析システムによる自動前兆監視 パーソナルコンピュータによる地殻傾斜常時モニターシステム 光ディスクを用いた地震波形の格納とその利用 地震データ利用のためのプログラムシステム 震源計算・発震機構解計算プログラムの改良 富士山坑道の微動調査 渥美沖人工地震の作手における観測と周波数分析 —— 人工地震波の周波数分析 (I) 多摩川下流域の地盤隆起と微小地震観測 —— 関係機関による研究の概要の紹介のために —— 岩槻地殻活動観測井における地殻熱流量, 及び関東地方の地殻温度分布 (英文) 多摩川下流域の地盤隆起と微小地震観測 (その 2) 川崎微小地震観測井の抗井地質 水圧破壊法による地殻応力の測定 —— 地表 90 m における地殻応力測定 —— 水圧破壊に伴う微小破壊音 ボアホール型傾斜計と地震予知 (英文)

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
101~186	研究報告	33	649
43~ 58	"	34	656
17~ 32	"	35	831
33~137	"	35	832
139~154	"	35	833
1~ 19	"	36	841
19~ 35	"	39	1020
37~ 65	"	39	1021
31~ 34	"	41	1169
35~ 44	"	41	1170
45~ 64	"	41	1171
65~ 87	"	41	1172
89~100	"		1173
101~114	"	41	1174
115~127	"	41	1175
129~136	"	41	1176
137~151	"	41	1177
153~162	"	41	1178
1~ 10	研究速報	1	—
1~ 26	"	5	—
1~ 32	"	20	—
1~ 9	"	21	—
1~ 16	"	26	—
1~ 7	"	28	55
1~ 24	"	30	53
1~ 11	"	31	52
1~ 32	"	34	49

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・松村正三, 大久保正, 勝山ヨシ子, 浜田和郎 ・井元政二郎, 大竹政和, 山水史生, 大久保正, 立川真理子, 浜田和郎 ・高橋 博, 木下 舜, 山本英二, 中村武英, 松本地弘, 倉橋敏夫 ・大竹政和, 井元政二郎, 石田瑞穂, 大久保正, 岡田義正, 笠原敬司, 立川真理子, 松村正三, 山水史生, 浜田和郎 ・岡田義光, 野口伸一, 鷗川元雄, 井元政二郎, 大竹政和 ・高橋 博, 福田 理, 鈴木宏芳, 田中耕平 ・鈴木宏芳, 高橋 博, 福田 理 ・鷗川元雄, 石田瑞穂, 松村正三, 笠原敬司 ・井元政二郎, 島田誠一, 岡田義光, 笠原敬司 ・石田瑞穂, 長谷川晶子 ・井元政二郎 ・鈴木宏芳, 高橋 博 ・堀 貞喜, 大久保正 ・関口渉次 ・国立防災科学技術センター ・国立防災科学技術センター ・熊谷貞治, 鈴木宏芳 ・都司嘉宣 ・浜田和郎 ・萩原尊礼, 茅野一郎, 浜田和郎, 大竹政和, 井元政二郎, 小池幸男 ・国立防災科学技術センター ・佐藤春夫, 立川真理子 ・力武常次, 高木章雄, 高橋 博, 萩原幸男, 松田時彦 ・佐藤春夫, 立川真理子, 山本英二 ・立川真理子, 佐藤春夫, 山本英二 ・宮村摂三・小原信利, 須藤 研, 浜田和郎	計算機による地殻活動観測データ処理システム——オンラインリアルタイムシステム—— 伊豆半島川奈崎における群発地震活動について —— 1978年11月23日～12月31日—— 岩槻地殻活動観測装置信号ケーブル接続部水蜜構造の開発 伊豆半島東方沖の地震（1980年6月29日）とその前後の地震活動 茨城県沖の地震（1982年7月23日）概報 岩槻深層地殻活動観測井の作井と坑井地質 下総深層地殻活動観測井の作井と地質 関東・東海地域地震観測網による震源決定方法について 1983年8月8日山梨県東部の地震（M 6.0）とその前後の地震活動について 関東・東海地域三次元P波速度構造 関東・東海地域における起震応力場 府中地殻活動観測井の作井と坑井地質 関東・東海地域における「地震前兆指標」の地域性と時間変化 モホ不連続面近傍で発生した日本海下の地震による新地震フェイズ（英文） 松代群発地震観測資料（第1報） 松代群発地震観測資料（第2報） 松代群発地震地域の冠着山付近における地震活動 中国の最近における地震予知に関する研究 アメリカの地震予知研究 地震断層付近の震害に関する調査——1981年～1976年の主要内陸地震について—— 松代群発地震観測資料（3）——地下水に関する資料集（その1）—— 地殻傾斜観測資料集（1）〔岡部・近又・野田沢地殻活動観測施設〕 中国の地震予知の現状 地殻傾斜観測資料集1979〔近又・野田沢・岡部・中伊豆・南足柄・塩山地殻活動観測施設〕 地殻傾斜観測資料（3）1980〔近又・野田沢・岡部・中伊豆・南足柄・塩山・岩井北・銚子・韭山地殻活動観測施設〕 地震の時間的前兆の探究——1911～1978年に発表された論文の注釈つき文献——（翻訳）

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 18	研究速報	35	48
1 ~ 14	"	36	47
1 ~ 23	"	40	124
1 ~ 25	"	43	195
1 ~ 14	"	46	365
1 ~ 105	"	47	366
1 ~ 55	"	48	367
1 ~ 88	"	53	513
1 ~ 13	"	57	517
1 ~ 11	"	58	518
1 ~ 76	"	66	663
1 ~ 84	"	64	665
1 ~ 21	"	74	1188
1 ~ 12	"	78	
1 ~ 140	研究資料	1	—
1 ~ 145	"	7	—
1 ~ 34	"	15	—
1 ~ 24	"	18	—
1 ~ 19	"	20	—
1 ~ 117	"	39	59
1 ~ 198	"	41	57
1 ~ 32	"	42	134
1 ~ 169	"	44	132
1 ~ 66	"	51	204
1 ~ 123	"	62	281
1 ~ 192	"	68	287

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 国立防災科学技術センター ・ 立川真理子, 山本英二, 佐藤春夫	火山活動観測資料(硫黄島, 霧島山) No. 1 地殻傾斜観測資料集(4) 1981 [近又・野田沢・岡部・中伊豆・南足柄・塩山・岩井北・銚子・三ヶ日・静岡・府中地殻活動観測施設]
・ 国立防災科学技術センター	松代群発地震(4) ——地下水に関する資料集(その2) ——
・ 立川真理子, 大久保正, 山本英二, 佐藤春夫	地殻傾斜観測資料集(5) 1982 [近又・野田沢・岡部・中伊豆・南足柄・塩山・岩井北・銚子・三ヶ日・静岡・本川根・下田・府中・岩槻・下総地殻活動観測施設]
・ 熊谷貞治, 鈴木宏芳 ・ 熊谷貞治, 鈴木宏芳	火山活動観測資料(硫黄島, 霧島山) No. 2 火山活動観測資料(硫黄島, 霧島山) No. 3
・ 立川真理子, 大久保正, 山本英二, 佐藤春夫 ・ 熊谷貞治, 鈴木宏芳	1983年地殻傾斜観測資料集 [関東・東海地域地殻活動観測網]
・ 立川真理子, 大久保正, 山本英二, 佐藤春夫	火山活動観測資料(硫黄島, 霧島山) No. 4 1984年地殻傾斜資料集 [関東・東海地域地殻活動観測網]
・ 関口渉次, 島田誠一, 大久保正, 佐藤春夫, 立川真理子 ・ 高橋 博, 木下武雄, 岸井徳雄, 中根和郎, 小見波正隆	1985年地殻傾斜観測資料集 [関東・東海地域地殻活動観測網] 国立防災科学技術センター観測施設総覧 ——気象・水象・海象編——
3・5 地震防災	
・ 高橋 博, ・ 渡辺一郎, 勝山ヨシ子, 尾崎睿子, 福井隆文 ・ 水谷武司 ・ 小川信行 ・ 広部良輔 ・ 諸星敏一 ・ 箕輪親宏 ・ 渡辺一郎	新潟地震被災建物の空中写真による傾斜測定の研究 電子計算機による強震記録の読み取り
・ 木下繁夫 ・ 小川信行 ・ 幾志新吉	風水害および震害とひん度との関係について 水道管路の被害と地震時動水圧 飽和砂質土の液状化に関する研究 電子計算機による強震記録の読み取り(第2報) 地下埋設管の振動実験について 東京の災害が全国に及ぼす影響(第2報) ——東京の復旧, 復興との関連——
・ 田中耕平 ・ 藤縄幸雄, 渡部 勲, 大池高保 ・ 箕輪親宏 ・ 木下繁夫 ・ 渡辺一郎 ・ 渡辺一郎	強震記録の処理に関する一考案(その1) 角柱のロッキングと転倒に関する一考察(英文) 土質柱状図ファイルによる地盤の応答計算例 ——東京強震(1894年)波形の川崎地区への適用—— 関東平野の基盤地質構造と地震分布 相模湾内の津波の特性(I) 地中埋設管の耐震性に関する研究 帯域制限された波動伝達関数に関して(英文) 地震予知に対応する震災対策とその問題点(第1報) 地震予知に対応する震災対策とその問題点(第2報) ——一般家庭

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1～135	研究資料	74	372
1～147	”	78	376
1～317	”	79	377
1～200	”	86	528
1～105	”	88	529
1～ 89	”	95	674
1～189	”	103	858
1～147	”	108	863
1～199	”	112	1034
1～210	”	124	1197
1～311	”	127	
15～ 40	研究報告	3	—
11～ 31	”	9	—
15～ 30	”	13	—
57～ 73	”	15	—
89～100	”	15	—
29～ 45	”	16	—
59～ 82	”	16	—
17～ 31	”	17	—
91～109	”	17	—
1～ 16	”	18	—
71～ 83	”	18	—
17～ 26	”	19	—
117～165	”	19	—
63～ 87	”	20	37
45～ 62	”	21	28
63～ 74	”	21	29
93～100	”	22	69

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 渡辺一郎	地震予知に対応する震災対策とその問題点（第5報）——第1報～第4報のまとめ——
・ 御子柴正	強震動多点同時記録の処理システム
・ 木下武雄, 小西達男, 都司嘉宣	津波危険度評価のための高まり係数
・ 箕輪親宏	水平・上下2方向振動台による一層鉄骨フレームの破壊実験
・ 都司嘉宣, 小西達男	日本海に発生した地震津波と数値計算結果
・ 都司嘉宣	神奈川県寺院過去帳アンケート調査結果でみた歴史地震被害
・ 木下繁夫	深層井観測による推定された厚い推積層の地震応答特性
・ 竹田 厚	羅賀の津波石——明治三陸津波（1896年）の痕跡高
・ 菅原正巳, 勝山ヨシ子	耐震実験装置に関する試験研究報告（第1報）
・ 渡辺一郎	地震予知に対応する震災対策とその問題点（第3報）——地方自治体——
・ 渡辺一郎	地震予知に対応する震災対策とその問題点（第4報）——事務所ビル, その他——
・ 木下繁夫	加速度および速度計による強震地動の同時観測——中伊豆地殻活動観測施設における強震観測——
・ 矢崎 忍, 勝山ヨシ子	テレビカメラによる3次元動的位置計測——耐震実験における変位計測への適用——
・ 小川信行, 箕輪親宏, 勝山ヨシ子	原子力配管系の多入力振動実験報告書（その1）
・ 国立防災科学技術センター	1968年十勝沖地震災害調査報告
・ 国立防災科学技術センター	松代群発地震資料（第1報）
・ 高橋 博, 西尾元充, 有賀世治	空中写真による地震災害調査法の研究
・ 国立防災科学技術センター	松代群発地震観測資料（第2報）
・ 第3研究部	松代群発地震資料の蓄積・検索シソーラス
・ 稲葉誠一, 小川信行, 箕輪親宏	住宅設備ユニット振動実験報告
・ 香川崇章	震動応答解析法
・ 稲葉誠一	オイルプラント及び原子力発電所の耐震実験
・ 渡辺一郎訳	マナグア——1972年12月23日——自然災害後の応急住宅の供給
・ 稲葉誠一	日本における耐風耐震に関する大規模実験計画
・ 木下繁夫, 稲葉誠一	電力用遮断器の振動実験
・ 小川信行, 箕輪親宏, 飯田晴男, 久保田武	大型震動台加震時の周辺地盤振動に関する調査報告
・ 都司嘉宣	東海地方地震津波史料（I・上巻）——静岡県・山梨県・長野県南部編——
・ 都司嘉宣	東海地方地震津波史料（I・下巻）——静岡県・山梨県・長野県南部編——（安政元年11月4日, 5日の地震）
・ 萩原尊礼, 茅野一郎, 浜田和郎, 大竹政和, 井元政二郎, 小池幸男	地震断層付近の震害に関する調査——1981年～1976年の主要内陸地震について——
・ 資料調査室	強震記録数値集（第1集）——1978年1月伊豆大島近海の地震, 1978年6月宮城県沖地震——（英文）
・ 国立防災科学技術センター	松代群発地震観測資料（3）——地下水に関する資料集（その1）——

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
111~130	研究報告	23	97
21~ 34	"	32	500
15~ 22	"	33	645
59~ 71	"	34	657
277~297	"	35	837
95~112	"	36	846
25~145	"	38	1016
163~169	"	39	1027
1~ 52	研究速報	6	—
1~ 15	"	37	127
1~ 13	"	38	126
1~ 61	"	44	194
1~ 15	"	68	848
1~126	"	75	1189
1~ 52	研究資料	5	—
1~140	"	6	—
1~ 30	"	6	—
1~145	"	7	—
1~116	"	14	—
1~ 45	"	16	—
1~ 44	"	17	—
1~ 13	"	19	—
1~197	"	21	—
1~ 14	"	23	—
1~ 29	"	24	—
1~ 43	"	28	—
1~436	"	35	63
1~857	"	36	62
1~117	"	39	59
1~371	"	40	58
1~198	"	41	57

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 田中孝紀, 斎藤 隆, 飯田晴男 ・ 都司嘉宣 ・ 都司嘉宣 ・ 都司嘉宣 ・ 都司嘉宣 ・ 鈴木宏芳, 池田隆司, 御子柴正, 木下繁夫, 佐藤春夫, 高橋 博 ・ 都司嘉宣 ・ 小川信行, 箕輪親宏 ・ 国立防災科学技術センター ・ 都司嘉宣 ・ 矢崎 忍, 木下繁夫, 寺島幸造 ・ 箕輪親宏 ・ 都司嘉宣, 小西達男, 木下武雄, 沼野夏生, 阿部 修 ・ 矢崎 忍 ・ 都司嘉宣, 白雲燮, 秋教昇, 安希洙 ・ 大谷圭一, 小川信行, 箕輪親宏, 飯田晴男 ・ 第2研究部 ・ 国立防災科学技術センター ・ 湯原浩三, 高橋末雄, 幾志新吉, 香川崇章, 笠原敬司 ・ 高橋 博, 渡辺一郎, 鈴木宏芳 ・ 高橋 博, 高橋末雄, 笠原敬司, 山本英二, 大八木規夫 ・ 広部良輔, 箕輪親宏 ・ 植原茂次, 大谷圭一, 箕輪親宏, 片桐一美 ・ 木下武雄, 熊谷貞治, 都司嘉宣, 小川信行, 沼野夏生, 阿部 修, 小西達男 ・ 植原茂次, 田中耕平, 井口 隆, 木下繁夫, 井元政二郎, 幾志新吉, 岩崎正樹 ・ 大谷圭一, 岡田義光, 諸星敏一, 田中耕平, 森脇 寛, 資料調査室	大型耐震実験装置の回転運動抑制についての考察 地震・津波補遺史料 中華人民共和国地震工作概況（翻訳資料） 唐山地震家屋被害と都市地震防災（翻訳資料） 高知県地震津波史料 関東・東海地域における孔井検層資料集 紀伊半島地震津波史料——三重県・和歌山県・奈良県の地震津波資料—— 三次元精密振動台による小型模型実験（三次元振動台による実験その1） 松代群発地震（4）——地下水に関する資料集（その2）—— 東海地方地震津波史料Ⅱ 静岡県・山梨県・長野県南部 強震記録数値集（第2集）——1980年9月25日千葉県中部地震——（英文） 国立防災科学技術センター大型振動台のあゆみ 昭和58年（1983年）日本海中部地震における津波に関する痕跡・証言の調査結果 強震記録数値集（第3集）——1982年3月7日鹿島灘地震ほか3件—— 韓国東海岸を襲った日本海中部地震津波 大型耐震実験装置加振機等精密分解点検報告 大型耐震実験装置の大型3次元6自由度振動台への改造に関するフィジビリティスタディ——大型耐震実験装置の機械系水平一方向更新工事—— 松代群発地震資料（5）長野県における被害地震史料集 八丈島地震災害現地調査について 1973年6月17日根室半島沖地震現地調査報告 1974年伊豆半島沖地震現地調査及び観測報告 1975年4月大分県中部に発生した地震災害現地調査報告 1978年宮城県沖地震による災害現地調査報告 昭和58年（1983年）日本海中部地震による災害現地調査報告 昭和59年（1984年）長野県西部地震災害調査報告 千葉県東方沖地震災害調査報告

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 22	研究資料	53	202
1 ~ 41	"	55	200
1 ~ 9	"	56	198
11 ~ 32	"	56	199
1 ~ 278	"	57	197
1 ~ 162	"	65	284
1 ~ 392	"	60	279
1 ~ 139	"	67	286
1 ~ 317	"	79	375
1 ~ 411	"	77	377
1 ~ 332	"	80	378
1 ~ 273	"	83	525
1 ~ 306	"	87	667
1 ~ 397	"	89	668
1 ~ 96	"	90	669
1 ~ 29	"	97	853
1 ~ 61	"	99	1032
1 ~ 243	"	119	1192
1 ~ 45	災害調査	1	—
1 ~ 41	"	3	—
1 ~ 121	"	5	—
1 ~ 28	"	6	—
1 ~ 82	"	15	70
1 ~ 164	"	23	531
1 ~ 141	"	25	677
1 ~ 49	"	29	1200

著 者 ・ 編 者	論 文 名
3・6 火山災害	
・森脇 寛, 広部良輔, 熊谷貞治, 高橋 博 ・幾志新吉	有珠山噴火による火山灰堆積層に関する研究 —— 降雨の表面流出と浸食について —— 空中写真判読による有珠山噴火災害に関する研究 —— 被災樹木の1年後の状況について ——
・井口 隆	日本における火山体の山体崩壊と岩屑流 —— 磐梯山, 鳥海山, 岩手山 ——
・一色直記, 高橋 博, 熊谷貞治 ・高橋 博, 熊谷貞治, 大八木規夫, 磯巳代次, 川野辰男, 斎藤英二 ・熊谷貞治, 田中耕平, 大八木規夫, 清水文健, 幾志新吉 ・熊谷貞治, 高橋 博, 大八木規夫	火山列島硫黄島の火山現象に関する研究 (その1) 火山列島硫黄島の火山現象に関する研究 (その2) 火山活動による地盤災害に関する研究
・木下武雄, 熊谷貞治	1977年有珠山噴火による火山噴出物の分布 及びその影響について 火山体の音響特性に関する研究 (1) —— 有珠山について ——
・熊谷貞治	1977年有珠山噴火による降灰及び泥流による被害調査資料 硫黄島の第Ⅱ回地殻変動測量
・磯巳代次, 川野辰男, 斎藤英二, 高橋 博 ・遠藤源助, 金 喜俊, 稲葉 治, 高橋 博, 熊谷貞治, 大八木規夫 ・岡田義光, 佐藤春夫, 木下繁夫, 鶴川元雄 ・幾志新吉	火山列島硫黄島における電気探査による地下構造調査 1983年10月三宅島噴火前後の地殻活動
・熊谷貞治, 田中耕平, 幾志新吉 ・植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一 ・植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一 ・幾志新吉, 中野秀人	ランドサット・データによる1983年三宅島噴火噴出物の分布域の検出 昭和58年(1983年)三宅島噴火による火山災害 火山専用空中赤外映像装置の開発研究
・田中耕平, 幾志新吉, 熊谷貞治 ・植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一 ・植原茂次, 熊谷貞治, 三輪卓司, 源田秀三郎	火山専用空中赤外映像装置の開発研究 (第2報) ランドサットMSSデータによる土地被覆分類と堆積した火山堆積物の面積の測定 —— 1983年三宅島噴火に関して —— 三宅島の傾斜分布図 火山専用空中赤外映像装置の開発研究 (第3報)
・植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 竹村孝爾, 堤 拾男	火山専用空中赤外映像装置の開発研究 (第4報) —— ミラーテストピースの火山ガス暴露試験による表面腐蝕状況の電子顕微鏡による観察 —— 火山専用空中赤外映像装置の開発研究 (第5報) —— 3 ~ 5 μm 帯域赤外線検知器による噴気温度の現地計測実験 ——

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
83 ~ 92	研究報告	22	111
183 ~ 191	"	24	193
163 ~ 275	"	41	1179
1 ~ 64	研究速報	23	—
1 ~ 51	"	25	—
9 ~ 17	"	41	120
19 ~ 65	"	41	121
67 ~ 74	"	41	122
75 ~ 124	"	41	123
5 ~ 20	"	50	507
21 ~ 64	"	50	508
3 ~ 18	"	51	509
19 ~ 27	"	51	510
29 ~ 62	"	51	511
1 ~ 106	"	62	661
1 ~ 40	"	63	662
3 ~ 16	"	69	849
17 ~ 27	"	69	850
1 ~ 48	"	70	851
1 ~ 37	"	71	852
1 ~ 32	"	73	1031

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・植原茂次, 矢崎 忍, 熊谷貞治, 幾志新吉 ・福山英一 ・国立防災科学技術センター ・熊谷貞治, 鈴木宏芳 ・熊谷貞治, 鈴木宏芳 ・熊谷貞治, 鈴木宏芳 ・高橋 博, 木下武雄, 岸井徳雄, 中根和郎, 小見波正隆 ・熊谷貞治, 田中耕平, 大八木規夫, 清水文健 ・植原茂次, 幾志新吉, 諸星敏一, ・横溝邦雄 ・高橋 博, 大竹政和, 熊谷貞治, 大八木規夫	火山専用空中赤外映像装置に関する開発研究 (第6報) —ヘリコプターMSS及びランドサットTMデータによる桜島火山体の熱分布の解析— 伊豆大島で観測されたノコギリ歯型傾斜変動と火山活動の関係 火山活動観測資料 (硫黄島, 霧島山) No. 1 火山活動観測資料 (硫黄島, 霧島山) No. 2 火山活動観測資料 (硫黄島, 霧島山) No. 3 火山活動観測資料 (硫黄島, 霧島山) No. 4 国立防災科学技術センター観測施設総覧 —気象・水象・海象編— 1977年有珠山噴火による災害現地調査報告 1979年御岳山噴火による災害現地調査報告 昭和61年 (1986年) 伊豆大島噴火災害調査報告
3・7 地すべり・崩壊	
・大八木規夫, 内田哲男, 鈴木宏芳 ・大石道夫, 水谷武司 ・湯原浩三, 西村嘉四郎, 岩崎一雄, 大久保太治, 川本 整 ・水谷武司 ・広部良輔 ・寺島治男, 森脇 寛, 福囿輝旗, 中根和郎, 富永雅樹 ・中根和郎 ・富永雅樹 ・富永雅樹 ・清水文健 ・森脇 寛 ・広部良輔, 古谷 保, 中山 康 ・田中耕平 ・福囿輝旗 ・富永雅樹 ・富永雅樹	加茂・大東地方花崗閃緑岩地帯における風化帯の粘土鉱物 (第1報) —風化生成粘土鉱物とその生成系列— 地形条件からみた扇状地の土砂災害について 新潟県矢津地すべりの機構 浸食による山地斜面の発達 (英文) 土粒子の結合力を計算する新しい式 斜面崩壊機構に関する実験的研究 (I) 土砂流出解析への16mm撮影機の利用 土中の水分移動量の測定 —正弦波状温度入力を利用した流速測定— (英文) 土中の水分移動量の測定 —多孔質媒体の熱伝導モデル— (英文) 高山地域における潜在的崩壊の危険性をもつ砂礫堆積物の分布とその調査方法 斜面崩壊の発生過程について (I) —降雨による表層崩壊実験— 斜面の安定に関する総合的研究 —土の強度と間隙水の結合力— シュミット投影法の地すべりへの二, 三の適用 降雨による斜面崩壊と内部応力状態について 地下水の涵養量推定のための水理実験 (1) 模擬地盤による降雨浸透実験 (2) —比抵抗による土中の水分量測定法— (英文)

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 33	研究速報	76	1190
1 ~ 14	"	77	1191
1 ~ 135	研究資料	74	372
1 ~ 105	"	88	529
1 ~ 89	"	95	674
1 ~ 147	"	108	863
1 ~ 311	"	127	
1 ~ 41	災害調査	14	—
1 ~ 41	"	16	135
1 ~ 64	"	28	1044
21 ~ 44	研究報告	2	—
45 ~ 55	"	2	—
1 ~ 22	"	7	—
1 ~ 46	"	8	—
31 ~ 34	"	13	—
75 ~ 88	"	15	—
83 ~ 96	"	16	—
97 ~ 104	"	16	—
105 ~ 111	"	16	—
27 ~ 42	"	19	—
51 ~ 64	"	19	—
65 ~ 78	"	19	—
89 ~ 99	"	20	38
101 ~ 122	"	20	39
135 ~ 135	"	20	40
131 ~ 139	"	23	98

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・富永雅樹 ・東浦将夫, 阿部 修 ・寺島治男, 新藤静男, 田中芳則, 井口 隆 ・森脇 寛, 井口 隆 ・大倉 博, ・富永雅樹 ・富永雅樹 ・福岡輝旗, 寺島治男 ・富永雅樹 ・井口 隆 ・大八木規夫, 熊谷貞治 ・飯島 弘 ・飯島 弘 ・熊谷貞治, 田中耕平, 大八木規夫, 清水文健, 幾志新吉 ・張 学棟 ・国立防災科学技術センター ・西川 泰, 有賀世治, 水谷武司 ・清水文健, 大八木規夫, 井口 隆 ・福岡輝旗 ・清水文健, 大八木規夫, 井口 隆 ・清水文健, 大八木規夫, 井口 隆 ・清水文健, 大八木規夫 ・清水文健, 大八木規夫 ・清水文健, 大八木規夫 ・五十嵐高志 ・富永雅樹, 大八木規夫 ・青木忠男, 熊谷貞治, 寺島治男 ・大八木規夫, 森脇 寛 ・大八木規夫, 富永雅樹 ・寺島治男, 東浦将夫 ・木下武雄, 中根和郎, 福井隆文 ・稲葉誠一, 福岡輝旗 ・大八木規夫, 寺島治男, 森脇 寛	模擬地盤による降雨浸透実験(3) —— 降雨浸透による地中水分変動と地下水流出 —— (英文) 山形県最上郡大蔵村滝の沢で発生した山崩れ滑面を有する斜面の崩壊実験 茨城県久慈地方の新第三紀層地すべりとその分布特性 不飽和土の土中水分ヒステリシスの計算アルゴリズム 電気抵抗率による土中水分量の測定 (英文) 土中の水分移動量の測定 (英文) 降雨による粘性土斜面の崩壊実験 混合物体の新しい熱伝導方程式と土壌系への適用 —— 土壌水の断面平均流量の直接測定(1) —— (英文) 日本における火山体の山体崩壊と岩屑流 —— 磐梯山, 鳥海山, 岩手山 —— 1965年5月3日の降水による東京都区内のがけくずれ 川崎市久末の灰津波災害の発生機構について 豪雨によるがけくずれ調査法に対する提案 火山活動による地盤災害に関する研究 模型斜面での表面流発生と雨水浸透との関係について がけくずれの地域的・季節的分布と降水量(1949-1959) 台風6626号による山地および海岸災害に関する研究 地すべり地形分布図 第1集(新庄) 大型降雨実験施設による表面流出実験資料集(I) —— 流出波形に及ぼす水路網密度の影響に関する実験 —— 地すべり地形分布図 第2集(秋田・男鹿, 酒田) 地すべり地形分布図 第3集(弘前・深浦) 地すべり地形分布図 第4集(村上) 地すべり地形分布図 第5集(青森・仙台) 地すべり地形分布図 第6集 1985年の地すべり, 斜面崩壊, 落石の被害 —— 玉の木地区(新潟県)の斜面崩壊による災害 —— アパラチア地域の地すべり (英文) 昭和48年4月18日長野県萩之峰地すべり災害について 昭和49年4月新潟県新井市平丸地区及び山形県大蔵村赤松地区に発生した地すべり災害現地調査報告 垂水市牛根麓および熊本市周辺の災害現地調査報告 昭和50年8月6日青森県岩木市百沢地区および山形県北部に発生した集中豪雨災害現地調査報告 1975年8月17日台風第5号による高知県中部の災害現地調査報告 昭和50年8月台風6号による石狩川洪水災害および渡島支庁国道5号線斜面崩壊災害調査報告 1976年台風第17号による兵庫県一宮町福知抜山地すべりおよび香川県小豆島の災害調査報告

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
141～184	研究報告	23	99
271～286	"	23	105
111～124	"	24	189
125～144	"	24	190
127～141	"	25	178
171～181	"	27	269
183～191	"	27	270
103～122	"	29	354
229～239	"	35	835
163～275	"	41	1179
1～ 6	研究速報	2	—
1～ 12	"	4	—
1～ 9	"	7	—
9～ 17	"	41	120
1～ 15	"	56	516
1～ 62	研究資料	2	—
1～ 17	"	13	—
	"	69	288
1～287	"	82	524
	"	85	527
	"	96	675
	"	109	864
	"	116	1038
	"	125	1198
	"	126	1199
1～105	"	132	
1～ 17	災害調査	2	—
1～ 42	"	4	—
1～ 52	"	7	—
1～ 44	"	8	—
1～ 53	"	9	—
1～ 40	"	10	—
1～ 68	"	13	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 植原茂次, 武田 宏 ・ 水谷武司, 森脇 寛, 井口 隆 ・ 大八木規夫, 中根和郎, 福園輝旗 ・ 米谷恒春, 森脇 寛, 清水文健 ・ 植原茂次, 森脇 寛 ・ 植原茂次, 田中耕平, 井口 隆, 木下繁夫, 井元政二郎, 幾志新吉, 岩崎正樹 ・ 大八木規夫, 田中耕平, 福園輝旗 ・ 田中耕平, 中井専人, 中根和郎	昭和 56 年 8 月 3 日から 6 日にかけての前線と台風 12 号による石狩川洪水災害及び日高土砂災害調査報告 1981 年 8 月台風第 15 号による長野県須坂土石流災害調査報告 1982 年 7 月豪雨 (57.7 豪雨) による長崎地区災害調査報告 1982 年台風 10 号と直後の低気圧による三重県一志郡の土石流災害および奈良西吉野村和田地すべり災害調査報告 1983 年梅雨前線による島根豪雨災害現地調査報告 昭和 59 年 (1984 年) 長野県西部地震災害調査報告 1985 年 7 月 26 日 長野市地附山地すべりによる災害の調査報告 1988 年集中豪雨災害調査報告 —— 島根・広島地区 ——
3・8 雪氷災害	
・ 有賀世治 ・ 田中康之, 高橋修平, 小林俊一 ・ 斎藤博英, 清水増治郎 ・ 斎藤博英 ・ 木村忠志 ・ 木村忠志 ・ 木村忠志, 清水増治郎 ・ 東浦将夫 ・ 山田 穰 ・ 中村秀臣 ・ 木村忠志, 清水増治郎 ・ 中村 勉, 中村秀臣, 東浦将夫, 阿部 修 ・ 中村 勉, 阿部 修 ・ 中村秀臣 ・ 中村秀臣 ・ 中村秀臣, 阿部 修 ・ 阿部 修 ・ 小林俊市 ・ 中村 勉 ・ 五十嵐高志 ・ 東浦将夫, 中村 勉, 中村秀臣, 阿部 修 ・ 八木鶴平, 清野 豁 ・ 広部良輔, 五十嵐高志	道路の除雪計画についての一考案 —— 自動車の走行速度から見た —— 流雪溝の流雪能力について 長岡における降雪の日変化 降雪の強さと視程 低周波音波による積雪検知 超音波による積雪検知 小型フォトリランジスタによる雪面の検出 散水による屋根雪消雪 (英文) 斜面積雪グライドの新測定法 地下水散水による道路融雪実験から算出した適正散水量 太陽熱による屋根雪融解に関する予備実験 放物型除雪プラウの試作 陸屋根上の積雪の断面観測とその積雪底部での融解 新雪製造装置の作製 落下した雪の密度変化 新庄における新積雪の密度 小型雪氷試料の整形具二つ 圧雪硬度の温度および密度による変化 不純物含有氷の高温における力学的特性 新潟県のなだれの発生頻度に関する研究 地震によって発生した雪崩 長岡における降雪粒子の Z-R 関係および粒度分布の特徴 I 凍結砂土の一軸圧縮性について

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1～ 73	災害調査	18	290
1～ 52	”	19	379
1～133	”	21	381
1～ 70	”	22	530
1～ 85	”	24	676
1～141	”	25	677
1～ 45	”	26	866
1～115	”	30	
1～ 14	研究報告	3	—
55～ 68	”	3	—
25～ 31	”	5	—
33～ 40	”	5	—
41～ 49	”	5	—
51～ 58	”	5	—
33～ 46	”	9	—
215～225	”	17	—
85～115	”	18	—
117～147	”	18	—
191～199	”	19	—
201～218	”	19	—
219～228	”	19	—
229～237	”	19	—
239～242	”	19	—
243～250	”	19	—
251～260	”	19	—
257～292	”	20	45
293～324	”	20	46
89～102	”	21	31
103～112	”	21	32
49～ 61	”	22	109
167～173	”	22	118

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・中村 勉 ・八木鶴平, 上田 博 ・上田 博, 八木鶴平 ・山田 穰, 五十嵐高志 ・中村秀臣 ・阿部 修, 中村 勉, 中村秀臣 ・中村秀臣, 阿部 修, 中村 勉 ・桜田良治, 栗山 弘 ・磯部金治, 小林俊市, 宮村兵衛 ・沼野夏生, 東浦将夫 ・納口恭明 ・山田 穰, 五十嵐高志 ・納口恭明 ・納口恭明 ・松尾 実, 松井正夫, 木村忠志 ・木村忠志 ・木村忠志 ・中村 勉, 東浦将夫, 阿部 修 ・中村 勉, 阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫 ・阿部 修, 中村 勉 ・沼野夏生 ・納口恭明 ・納口恭明 ・中村 勉, 中村秀臣, 阿部 修 ・中村 勉, 阿部 修, 沼野夏生, セオドール・イー・ラング ・栗山 弘, 野原以左武, 小林俊一 ・中村 勉 ・栗山 弘 ・八木鶴平, 上田 博, 中村 勉, 中村秀臣, 阿部 修, 沼野夏生 ・納口恭明 ・納口恭明, 山田 穰, 五十嵐高志 ・真木雅之, 八木鶴平 ・山田 穰 ・納口恭明	1月の日本各地の積雪の違い (英文) - 長岡における降雪粒子のZ-R関係および粒度分布の特徴Ⅱ - 長岡における雪片の落下速度の測定とZ-R関係への適用について - ラムゾンデによる魚野川流域の積雪層構造に関する研究 (英文) - 風呂の廃湯による庭先融雪を目的とした野外融雪実験 - 冬期の新庄における日射量の測定および太陽エネルギーの集熱とそれによる融雪の可能性について - 滑落する屋根雪の壁面に及ぼす衝撃力, その1 - 雪の圧縮特性の熱力学的検討 (英文) - 一軸圧縮試験機で圧縮した切削破壊抵抗 - 多雪市街地の冬期生活における2・3の問題とその規定要因について——新庄住民への調査の結果から—— - グライド現象の数値モデル - 積雪の内部凍結 - モデル地形における雪崩の運動走路 - ラムゾンデによる積雪の水平方向の非一様性の観測 - ガンマ線散乱形積密度計の小型軽量化 - Metal Waferによる積雪相当水量の観測 - 点線源によるガンマ線散乱形積雪密度計の改良 - ランドサット映像写真から求めた鳥海山の残雪域変化 - 三種の陸屋根上での積雪深と地上積雪深との比較 - 陸屋根上の日降雪深に及ぼす風の影響 - 多雪地方都市住民の雪害観についての一考察 - 雪えくぼのパターン形成Ⅰ - 雪えくぼのパターン形成Ⅱ 1984年山形県西川町で発生した小雪崩による死傷事故 - 雪崩発生動力学のコピューターの研究 (英文) - ロータリ除雪装置の除雪動力に関する研究 (1) ——除雪動力試験—— - 仙台での新積雪密度の一測定例 - 積雪地域の雪による人的被害の特徴 - 盆地における降雪の予備的研究——1985年新庄市でのレーダー観測—— - 実際の地形上での雪崩の運動走路Ⅰ - 全層なだれにいたるグライドの加速のモデル - レーダーによる盆地降雪の観測, 1986年新庄市——鉛直構造の特徴—— - 表層雪崩の剝作用について - 実際の地形上での雪崩の運動走路Ⅱ

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
175～177	研究報告	22	119
29～ 38	”	23	93
39～ 46	”	23	94
215～229	”	23	102
231～243	”	23	103
245～270	”	23	104
169～189	”	25	181
89～103	”	26	256
105～131	”	26	257
279～301	”	27	275
189～206	”	30	363
129～152	”	31	493
153～174	”	31	494
175～189	”	31	495
191～201	”	31	496
203～217	”	31	497
35～ 43	”	32	501
45～ 53	”	32	502
55～ 72	”	32	503
73～ 87	”	32	504
89～105	”	32	505
237～254	”	33	651
255～275	”	33	652
73～ 87	”	34	658
89～109	”	34	659
241～276	”	35	836
335～343	”	35	840
79～ 94	”	36	845
9～ 24	”	38	1015
147～168	”	38	1017
169～180	”	38	1018
1～ 17	”	39	1019
115～131	”	39	1024
133～152	”	39	1025

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 納口恭明 ・ 佐藤篤司 ・ 佐藤篤司 ・ 熊谷元伸, 野原以左武 ・ 中村秀臣 ・ 長田忠良, 三日月晋一, 小林俊市 ・ 東浦将夫, 阿部 修 ・ 菅原正巳, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子, 渡辺一郎 ・ 渡辺興亜, 五十嵐高志, 山田 穰 ・ 広部良輔, 山田 穰, 五十嵐高志 ・ 広部良輔, 山田 穰, 五十嵐高志 ・ 栗山 弘 ・ セオドル・イー・ラング ・ セオドル・イー・ラング, 沼野夏生, 阿部 修 ・ セオドル・イー・ラング, 中村 勉 ・ 中村 勉, 監物勝英 ・ 雪害実験研究所 ・ 中村 勉, 山田 穰 ・ 五十嵐高志, 清水増治郎, 小林俊市, 山田 穰 ・ 国立防災科学技術センター ・ 清水増治郎, 小林俊市, 宮村兵衛, 山田 穰, 五十嵐高志 ・ 東浦将夫, 阿部 修, 中村 勉, 中村秀臣 ・ 東浦将夫, 阿部 修 ・ 小林俊市, 宮村兵衛, 山田 穰, 五十嵐高志, 清水増治郎 ・ 宮村兵衛, 山田 穰, 五十嵐高志, 清水増治郎, 小林俊市 ・ 雪害実験研究所 ・ 東浦将夫, 阿部 修, 沼野夏生 ・ 東浦将夫 ・ 沼野夏生	誘導堤に拘束された雪崩の運動方程式 積雪の塑性波速度の実験的研究 吹雪計（SPC）における飛雪粒子の粒径効果に関する考察（第1報） 地下水利用による無散水融雪工法の実用化に関する研究 積雪の沈降力の発生機構に関する研究（英文） 積算降雪深による積雪沈降荷重の推定 新庄の平地積雪断面観測（昭和48年—49年冬期） 本邦山地積雪地域の流出解析（英文） 1976—1977年冬期の新潟県を中心とする地方の広域積雪現象について 積雪に伴う災害の調査研究（1977—78年冬季） 雪崩警報システムの試作について——SYSTEM OJIYA I—— 湿雪地域における道路・交通標識の着雪防止（機能性含ふ素高分子材の利用） 雪崩走出予知用コンピュータープログラム（英文） コンピュータープログラム・LOPE（英文） 有限要素法による積雪の沈降解析（英文） 0℃近傍にある積雪の日変化 長岡における積雪の断面観測資料（1965—1969） ユネスコのわが国から災害なだれ報告について 長岡における積雪観測資料（1964.12—1976.3） 日本の災害なだれ（1）——山形県（1929—1975）, 新潟県（1945—1974）ならびに全国資料（1927—1976）—— 長岡における積雪観測資料（1976.11—1978.4） 新庄の平地における積雪断面観測（昭和49年—50年冬期） 新庄盆地の地下水観測資料（I）——水位・水温, 1970—1975—— 長岡における積雪観測資料（1978.11—1979.3） 長岡における積雪観測資料（1979.11—1980.4） 長岡における積雪観測資料（1980.12—1981.4） 新庄の平地における積雪断面観測（1975年—1980年冬期） 新庄盆地の地下水観測資料（II）——浅層地下水の水位・水温変化（1976—1980）—— 豪雪地帯市町村における雪害及び雪寒対策の実態調査資料（1）——1978—1980年冬期——

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
153 ~ 162	研究報告	39	1026
183 ~ 196	"	39	1029
339 ~ 342	"	40	1166
285 ~ 309	"	41	1181
361 ~ 385	"	41	1185
1 ~ 36	研究速報	13	—
37 ~ 54	"	13	—
1 ~ 38	"	17	—
1 ~ 85	"	29	—
1 ~ 60	"	32	—
1 ~ 12	"	39	—
1 ~ 19	"	52	512
1 ~ 79	"	59	519
81 ~ 137	"	59	520
139 ~ 187	"	59	521
1 ~ 47	"	60	522
1 ~ 58	研究資料	8	—
1 ~ 68	"	22	—
1 ~ 50	"	25	—
1 ~ 94	"	27	—
1 ~ 21	"	31	67
1 ~ 26	"	33	65
1 ~ 95	"	37	61
1 ~ 12	"	43	133
1 ~ 12	"	54	201
1 ~ 11	"	64	283
1 ~ 103	"	70	368
1 ~ 90	"	71	369
1 ~ 247	"	72	370

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 雪害実験研究所 ・ 沼野夏生 ・ 雪害実験研究所 ・ 雪害実験研究所 ・ 五十嵐高志 ・ 五十嵐高志 ・ 沼野夏生 ・ 山田 穰, 五十嵐高志, 納口恭明, 木村忠志, 小林俊市 ・ 五十嵐高志 ・ 阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫, 沼野夏生, 中村 勉 ・ 五十嵐高志 ・ 阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫, 沼野夏生, 中村 勉 ・ 五十嵐高志 ・ 木村忠志, 清水増治郎, 小林俊市, 山田 穰, 五十嵐高志 ・ 山田 穰, ・ 五十嵐高志 ・ 山田 穰 ・ 五十嵐高志 ・ 熊谷元伸, 小林俊市, 木村忠志, 清水増治郎, 納口恭明 ・ 五十嵐高志 ・ 五十嵐高志 ・ 高橋 博, 木下武雄, 岸井徳雄, 中根和郎, 小見波正隆 ・ 五十嵐高志, 宮本 誠 ・ 五十嵐高志, 山田 穰, 中尾正義, 清水増治郎, 熊谷元伸, 小林俊市 ・ 五十嵐高志 ・ 阿部 修, 中村秀臣, 沼野夏生, 東浦篤司, 中村 勉 ・ 渡辺興亜, 五十嵐高志, 山田 穰 ・ 栗山 弘, 山田 穰, 五十嵐高志, 野原以左武, 東浦将夫, 沼野夏生, 片桐一美	長岡における積雪観測資料 (1981.11 — 1982.4) 豪雪地帯市町村における雪害および雪寒対策の実態資料 (Ⅱ) —— 1980年～1981年冬期 —— 長岡における積雪観測資料 (1982.11 — 1983.4) 長岡における積雪観測資料 (1983.10 — 1984.4) 昭和 58 ～ 59 年冬期の新潟県の積雪に伴う被害 長岡における積雪の断面観測資料 (1983 — 1984) 豪雪地帯市町村における雪害および雪対策の実態調査資料 (Ⅲ) —— 1980年～1982年冬期および1982年冬期 —— 長岡における積雪観測資料 (1984.11 — 1985.4) 長岡における積雪の断面観測資料 (1984—1985) 新庄支所における10冬期間の気象・降積雪観測, その2.降積雪編 —— 1974年4月冬期 —— 昭和 59 ～ 60 年冬期の積雪に伴う被害 —— 新潟県・長野県・他 —— 新庄支所における10冬期間の気象・降積雪, その1・気象資料編 —— 1974年11月～1984年4月冬期 —— 長岡における積雪の断面観測資料 (1985 — 1986) 長岡における積雪観測資料 (1985.11 — 1986.4) 能生町雪崩災害の被害・発生状況の概要 雪崩災害地の積雪断面観測 表層雪崩の堆積層について 1985 ～ 1986 年冬期の積雪に伴う被害 長岡における積雪観測資料 (11) —— (1986.11 ～ 1987.4) 長岡における積雪の断面観測資料 (1986 ～ 1987) 1985 年の地すべり, 斜面崩壊, 落石の被害 —— 玉の木地区 (新潟県) の斜面崩壊による災害 —— 国立防災科学技術センター観測施設総覧 —— 気象・水象・海象編 —— 1986 — 1987 年冬期の降積雪に伴う被害 長岡における積雪観測資料 (12) (1987.11 — 1988.4) 長岡における積雪の断面観測資料 (1987.12 — 1988.4) 新庄の平地における積雪断面観測結果 (1980/81年 ～ 1987/88年8冬期) 51.1 豪雪の積雪現象および積雪災害に関する広域調査報告 昭和 56 年豪雪による北陸地方の災害現地調査報告

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1～ 10	研究資料	75	373
1～126	"	76	374
1～ 11	"	84	526
1～ 13	"	91	670
1～ 32	"	92	671
1～ 90	"	93	672
1～266	"	94	673
1～ 12	"	100	855
1～ 86	"	102	857
1～ 76	"	106	859
1～109	"	104	861
1～121	"	105	860
1～140	"	114	1036
1～115	"	115	1037
1～ 12	"	117	1039
13～ 25	"	117	1040
27～ 32	"	117	1041
1～118	"	118	1042
1～ 13	"	120	1193
1～ 72	"	122	1195
1～ 44	"	126	1199
1～311	"	127	
1～ 97	"	128	
1～ 15	"	129	
1～ 94	"	130	
1～138	"	131	
1～ 58	災害調査	11	—
1～392	"	17	289

著 者 ・ 編 者	論 文 名
3・9 海洋災害 ・ 稲田 亘, 渡部 勲 ・ 藤縄幸雄 ・ 近藤純正, 渡部 勲 ・ 近藤純正, 内藤玄一 ・ 岩田憲幸, 田中孝紀 ・ 岩田憲幸, 稲田 亘, 田中孝紀, 渡部 勲 ・ 近藤純正, 稲田 亘, 内藤玄一, 渡部 勲 ・ 岩田憲幸, 田中孝紀, 渡部 勲 ・ 岩田憲幸, 稲田 亘, 渡部 勲 ・ 藤縄幸雄 ・ 藤縄幸雄 ・ 岩田憲幸 ・ 近藤純正 ・ 近藤純正, 藤縄幸雄, 内藤玄一 ・ 近藤純正, 内藤玄一, 藤縄幸雄, 渡部 勲 ・ 近藤純正 ・ 近藤純正, 内藤玄一, 藤縄幸雄 ・ 内藤玄一, 近藤純正 ・ 藤縄幸雄 ・ 藤縄幸雄 ・ 都司嘉宣 ・ 杉森康宏 ・ 内藤玄一, 都司嘉宣, 渡部 勲 ・ 都司嘉宣 ・ 藤縄幸雄, 岡田憲司, 渡部 勲 ・ 杉森康宏 ・ 藤縄幸雄, 岡田憲司, 渡部 勲 ・ 都司嘉宣 ・ 内藤玄一 ・ 内藤玄一 ・ 藤縄幸雄, 松本一郎, 渡部 勲 ・ 藤縄幸雄 ・ 藤縄幸雄, 松本一郎, 渡部 勲 ・ 内藤玄一, 徳田正幸, 渡部 勲	容量型波高計について 重力波における波高と水圧の関係 (1) ——水圧変動の深さによる減衰—— 深い湖の水温鉛直分布と蒸発の季節変化 地表面近くの地温・気温の日変化特性 発達過程にある風浪 波浪のスペクトル幅と統計値 (1) 平塚沿岸の風・水温および波について 台風によるうねり 波浪のスペクトル幅と統計量 (II) 乱流の一つのモデル: うず糸の集合の統計的処理 (英文) 風浪における行過ぎ量 (英文) 発達過程にある風浪のスペクトルの相似性 (英文) 地表温度の数値予報 砕波・白波・波浪高周波成分の観測と海面粗度 海上風の乱れのスケールと軸の傾き 海面と大気間の運動量・顕熱・水蒸気に対する輸送係数 風による海洋最上層の流速 海面近くの風速変動の相関と乱渦の三次元モデル 風浪の方向スペクトルの測定 風浪の発達の機巧 ——一つのモデル 水温躍層を伝わる内部波の減衰 乱れた流れの上の波浪の方向特性について (英文) 冬期南西諸島南方海域における運動量・顕熱・潜熱の輸送と放射量 —— AMTEX '74 報告 陸棚斜面による長周期波の部分反射 波浪に伴う長周期波 (サーフ・ビート) の特性 (I) 大陸棚上の浅海域における風浪の発達に関する研究 (英文) 波浪に伴う長周期波 (サーフ・ビート) の特性 (II) 海水混合に果たす潮汐の役割 ——緩やかに水深が変化する海域を伝わる内部波に対する KdV 方程式について—— 海面近くの大気境界層における運動量, 顕熱輸送の直接測定 海洋上の大気境界層における風速, 気温変動の空間相関 (I) 短い風浪の波速について 湾曲傾斜海岸にトラップされるエッジ波 Short Gravity Wave の方向スペクトル幅について マイクロ波散乱計による海上風の遠隔測定実験

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
57 ~ 68	研究報告	2	—
69 ~ 74	"	2	—
75 ~ 88	"	2	—
89 ~ 105	"	2	—
1 ~ 21	"	4	—
23 ~ 43	"	4	—
45 ~ 64	"	4	—
59 ~ 79	"	5	—
81 ~ 87	"	5	—
89 ~ 95	"	5	—
97 ~ 103	"	5	—
35 ~ 45	"	7	—
47 ~ 67	"	7	—
1 ~ 23	"	10	—
25 ~ 40	"	10	—
41 ~ 65	"	10	—
67 ~ 82	"	10	—
83 ~ 96	"	10	—
1 ~ 30	"	11	—
31 ~ 47	"	11	—
49 ~ 66	"	11	—
75 ~ 87	"	13	—
1 ~ 35	"	14	—
145 ~ 157	"	15	—
159 ~ 191	"	15	—
193 ~ 209	"	15	—
111 ~ 166	"	17	—
167 ~ 188	"	17	—
189 ~ 213	"	17	—
167 ~ 189	"	19	—
245 ~ 265	"	20	44
75 ~ 88	"	21	30
185 ~ 192	"	23	100
193 ~ 213	"	23	101

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・竹田 厚 ・都司嘉宣 ・徳田正幸, 内藤玄一, 都司嘉宣, 渡部 勲 ・徳田正幸, 江口純弘 ・上田 博, 八木鶴平 ・内藤玄一 ・徳田正幸 ・徳田正幸 ・徳田正幸, 渡部 勲, 江口純弘 ・木下武雄, 小西達男, 都司嘉宣 ・内藤玄一, 渡部 勲, 徳田正幸 ・小西達男, 木下武雄 ・都司嘉宣, 小西達男 ・都司嘉宣, 竹田 厚 ・内藤玄一, ・竹田 厚 ・道田 豊, 徳田正幸, 上野義三, 石井春雄 ・徳田正幸, 竹田 厚, 渡部 勲 ・竹田 厚, 都司嘉宣 ・徳田正幸, 渡部 勲, 竹田 厚 ・内藤玄一 ・岩田憲幸 ・徳田正幸, 渡部 勲, 平元泰輔, 池田文雄, 長谷川保 ・渡部 勲, 徳田正幸 ・徳田正幸, 渡部 勲, 堀江賢次, 佐藤 浩 ・徳田正幸, 道田 豊 ・西川 泰, 有賀世治, 水谷武司 ・都司嘉宣 ・都司嘉宣 ・渡部 勲, 藤縄幸雄 ・渡部 勲, 徳田正幸 ・第1研究部	SEASAT 衛星の散乱計による海上風向・風速場の解析 1979年20号台風による高潮・高波について 圧力式波浪計による相模湾での波浪観測 I 圧力式ジンバル波浪計の開発研究 北海道釧路市における海霧の観測 海洋上の大気境界層における風速, 気温変動の空間相関 (II) 三本の波高計センサーによる波浪の方向特性の算出法——実験室の風波の方向特性—— 三本の波高計センサーによる波浪の方向特性の算出法——II 観測塔で観測されたうねりの方向特性—— 相模湾の波浪特性 II 津波危険度評価のための高まり係数 マイクロ波散乱計による海上風の遠隔測定実験 (II) 高潮の河川遡上に関する研究 (II) 日本海に発生した地震津波と数値計算結果 1982年10号, および18号台風による高潮 台風通過時の乱流特性 羅賀の津波石——明治三陸津波 (1896年) の痕跡高測量 タッカー式船用波浪計に関する研究 II 目視及びブイ式波浪計との比較観測 2周波散乱計による波浪計測実験——1, 固定プラットフォーム (観測塔) による方向スペクトル計測 衛星画像データによる津波浸水域の識別 2周波散乱計による波浪計測実験 II 移動プラットフォーム (航空機) による方向スペクトル計測 発達した低気圧による海上強風の乱流特性と長周期スペクトル構造 海面上における風の応力 (英文) 台風による定置網被害時の波浪特性 I 沿岸波浪観測システムに関する研究——1. 波高の定時観測 沿岸波浪システムに関する研究——2. 方向スペクトルの定時観測 タッカー式船用波浪計に関する研究 I 計測処理システムについて 台風 6626 号による山地および海岸災害に関する研究 東海地方地震津波史料 (I・上巻)——静岡県・山梨県・長野県南部編—— 東海地方地震津波史料 (I・下巻)——静岡県・山梨県・長野県南部編—— (安政元年11月4日, 5日の地震) 平塚沖波浪観測資料 (1) 平塚沖波浪観測資料 (2) 災害危険区域条例集——出水・津波・高潮——

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
143～154	研究報告	25	179
155～168	”	25	180
133～154	”	26	258
247～278	”	27	274
69～92	”	29	352
137～156	”	29	356
157～192	”	29	357
167～187	”	30	362
219～239	”	31	498
15～22	”	33	645
277～319	”	33	653
13～42	”	34	655
277～297	”	35	837
299～314	”	35	838
315～333	”	35	839
163～169	”	39	1027
171～182	”	39	1028
311～338	”	40	1165
311～319	”	41	1182
321～340	”	41	1183
341～359	”	41	1184
1～6	研究速報	3	—
1～51	”	54	514
1～24	”	61	660
1～33	”	67	666
1～32	”	72	1030
19～49	研究資料	13	—
1～436	”	35	63
1～857	”	36	62
1～107	”	38	60
1～179	”	47	129
1～21	”	49	206

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 渡部 勲, 岩田憲幸 ・ 都司嘉宣 ・ 都司嘉宣 ・ 渡部 勲, 徳田正幸 ・ 都司嘉宣 ・ 都司嘉宣 ・ 都司嘉宣, 小西達男, 木下武雄, 沼野夏生, 阿部 修 ・ 都司嘉宣, 白雲燮, 秋教昇, 安希洙 ・ 渡部 勲, 徳田正幸 ・ 平塚支所 ・ 渡部 勲, 徳田正幸 ・ 高橋 博, 木下武雄, 岸井徳雄, ・ 中根和郎, 小見波正隆	平塚で観測された異常潮位 (1979年) 地震・津波補遺史料 高知県地震津波史料 平塚沖波浪観測資料 (3) 紀伊半島地震津波史料——三重県・和歌山県・奈良県の地震津波史料—— 東海地方地震津波史料Ⅱ—静岡県・山梨県・長野県南部— 昭和58年 (1983年) 日本海中部地震における津波に関する痕跡・証言の調査結果 韓国東海岸を襲った日本海中部地震津波 平塚沖波浪観測史料 (4) 国立防災科学技術センター“波浪等観測塔”20年の記録——技術資料集—— 平塚沖波浪観測資料 (5) (1982.9～1984.8) 国立防災科学技術センター観測施設総覧——気象・水象・海象編——
3・10 防災情報処理・リモートセンシング	
・ 菅原正巳, 勝山ヨシ子, 八十島久 ・ 菅原正巳 ・ 菅原正巳, 勝山ヨシ子, 八十島久, 尾崎睿子 ・ 菅原正巳, 勝山ヨシ子 ・ 菅原正巳, 勝山ヨシ子, 大村一夫 ・ 大村一夫 ・ 菅原正巳, 勝山ヨシ子, 大村一夫, 福井隆文 ・ 渡辺一郎, 勝山ヨシ子, 尾崎睿子, 福井隆文 ・ 菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子 ・ 渡辺一郎, 菅原正巳, 福井隆文 ・ 福井隆文, 諸星敏一 ・ 諸星敏一 ・ 矢崎 忍 ・ 中根和郎 ・ 諸星敏一, 幾志新吉 ・ 菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子	気象レーダのエコーを電子計算機により実時間解析する可能性について 天竜川佐久間の洪水予報方式について 高速A—D, D—A変換器を持つデータ処理機TOSBAC—3400のプログラミング例 (1) 気象資料の長期変動について——月平均気圧・月平均気温・月雨量のスペクトル解析—— 多数のレーダと中央の計算機による地域雨量測定法 (英文) 図形読取装置の試作および応用例 微小地震の自動検出方法について 電子計算機による強震記録の読み取り タンク・モデルによる非湿潤地帯河川の流出解析 (付: ビギン河, 木津川の流出解析) 微小地震の自動検出方法について (第3報) ——自動検測の試み—— オンラインデータ交換装置 (TOSBAC—40) のシステム開発 (第2報) ——地震波などの解析のために—— 電子計算機による強震記録の読み取り (第2報) 降ひょう記録計記録の電子計算機による自動検測 土砂流出解析への16mm撮影機の利用 土質断面図の検索・表示・応答システム タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第1報)

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 33	研究資料	52	203
1 ~ 41	"	55	200
1 ~ 278	"	57	197
1 ~ 127	"	59	278
1 ~ 392	"	60	279
1 ~ 411	"	77	375
1 ~ 306	"	87	667
1 ~ 96	"	90	669
1 ~ 129	"	107	862
1 ~ 111	"	110	865
1 ~ 125	"	123	1196
1 ~ 311	"	127	
1 ~ 13	研究報告	1	—
15 ~ 35	"	1	—
37 ~ 43	"	1	—
45 ~ 86	"	1	—
1 ~ 8	"	5	—
23 ~ 34	"	7	—
9 ~ 9	"	9	—
11 ~ 31	"	9	—
1 ~ 26	"	12	—
33 ~ 47	"	15	—
49 ~ 56	"	15	—
29 ~ 45	"	16	—
47 ~ 58	"	16	—
83 ~ 96	"	16	—
33 ~ 42	"	17	—
43 ~ 89	"	17	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・大倉 博 ・幾志新吉 ・諸星敏一 ・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・鏡味洋史, 幾志新吉 ・勝山ヨシ子, 御子柴正, 矢崎 忍, 諸星敏一 ・矢崎 忍 ・諸星敏一, 幾志新吉 ・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・幾志新吉 ・大倉 博 ・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・御子柴正, 木下繁夫 ・菅原正巳, 渡辺一郎, 中根和郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・諸星敏一 ・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子 ・菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎 ・尾崎口子, 菅原正巳, ・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・菅原正巳, 尾崎睿子 ・大倉 博, 幾志新吉, 諸星敏一, 新井康平, 石戸喜夫, 佐藤右二 ・高橋 博	不飽和浸透を考慮した降雨浸透の有限要素法による一解法 ——定常流—— 土質柱状図ファイルによる地盤の応答例 ——東京強震 (1894年) 波形の川崎地区への適用 電子計算機による減衰波形の半自動読取 タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第2報) 川崎市における地震時液状化危険度の簡易判定 災害・防災情報の自動計測のための基本ソフトウェアシステムの開発 電子計算機による強震記録の読み取り (第3報) リモートセンシング画像処理システムの開発に関する研究 タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第3報) ——洪水解析用の自動化プログラムの開発—— 空中写真判読による有珠山噴火災害に関する研究 ——被災樹木の1年後の状況について—— 不飽和土の土中水分ヒステリシスの計算アルゴリズム タンク・モデルに付加された土壤水分構造の性質 タンク・モデルによるサンゲレ試験流域S1～S7の流出解析 タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第4報) ——流出孔の位置, 土壤水分構造, 農業用水のパラメータを定める—— 構内データ移送システム ——耐震実験に対する適用—— 「融雪流出の概念モデルの相互比較」の課題となった6流域の流出解析 マイクロコンピュータによる土質柱状図入力システムの開発 「融雪流出の概念モデルの相互比較」の課題となった6流域の流出解析 (第2報) タンク・モデルによるビルマ, チンドウイン川の流出予測 (英文) イラワジ川上流部 Sagaing の流量のタンク・モデルによる予報方式 累年月別平均気温の季節変化の型について ——わが国と外国との比較—— パーソナル・コンピュータのためのタンク・モデル・プログラムとその使い方 タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第5報) ——積雪流域において, 降水量に掛ける補正係数を自動的に探し求める計算機プログラムの開発—— パーソナル・コンピュータによるランドサット画像データの伝送実験 情報検索における出力と有効性の研究, 防災情報の検索の諸方法に関する研究 (その1)

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
51 ~ 70	研究報告	18	—
71 ~ 83	”	18	—
101 ~ 116	”	19	—
157 ~ 216	”	20	42
101 ~ 111	”	22	113
113 ~ 120	”	22	114
121 ~ 129	”	22	115
131 ~ 144	”	22	116
159 ~ 181	”	24	192
183 ~ 191	”	24	193
127 ~ 141	”	25	178
193 ~ 206	”	27	271
207 ~ 228	”	27	272
229 ~ 245	”	27	273
123 ~ 135	”	29	355
85 ~ 165	”	30	361
111 ~ 128	”	31	492
187 ~ 236	”	33	650
21 ~ 45	”	36	842
47 ~ 57	”	36	843
59 ~ 77	”	36	844
1 ~ 217	”	37	847
87 ~ 113	”	39	1023
277 ~ 284	”	41	1180
1 ~ 22	研究速報	8	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・幾志新吉 ・菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子 ・渡辺一郎 ・勝山ヨシ子, 尾崎睿子, 幾志新吉, 諸星敏一 ・福井隆文, 諸星敏一 ・渡辺一郎 ・菅原正巳, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子, 渡辺一郎 ・渡辺一郎, 福井隆文, 勝山ヨシ子 ・渡辺一郎, 大倉 博, 尾崎睿子 ・菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子 ・村松正三, 大久保正, 勝山ヨシ子, 浜田和郎 ・幾志新吉 ・バスカル・ダッタ ・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・矢崎 忍, 勝山ヨシ子 ・植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一 ・植原茂次, 熊谷貞治, 三輪卓司, 源田秀三郎 ・植原茂次, 矢崎 忍, 熊谷貞治, 幾志新吉 ・第3研究部 ・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	電子計算機によるX線回折データの検索 タンクモデル及びバード・クリーク, オロンビー・ブルック, ビキン河, 木津川, サナガ河, ナム・ネムへの適用 内海汚濁のモデルとシミュレーション 図形入力装置の使用例の開発——災害・防災情報入力への応用—— オフラインデータ交換装置(TOSBAC-40)のシステム開発——地震波などの解析のために—— 内海汚濁のモデルとシミュレーション(第2報) 本邦山地積雪地域の流出解析(英文) 地震波処理の一方式について 松代群発地震資料のコンピュータによる蓄積と検索 チャオ・ピヤ河および支流上の諸地点における日流量をタンクモデルにより算出する方法について(英文) 計算機による地殻活動観測データ処理システム——オンラインリアルタイムシステム—— ランドサット・データによる1983年三宅島噴火噴出物の分布域の検出 タンク・モデルを用いたインドの二河川流域の流出解析(英文) タンク・モデル——積雪・融雪モデルを伴った——(英文) テレビカメラによる3次元動的位相計測——耐震実験における変位計測への適用—— 火山専用空中赤外映像装置の開発研究(第3報) 火山専用空中赤外映像装置の開発研究(第4報)——ミラーテストピースの火山ガス暴露試験による表面腐蝕状況の電子顕微鏡による観察—— 火山専用空中赤外映像装置に関する開発研究(第6報)——ヘリコプターMSS及びランドサットTMデータによる桜島火山体の熱分布の解析—— 松代群発地震資料の蓄積・検索ソース パーソナルコンピュータのためのタンクモデル・プログラムとその使い方(第2報)
3・11 火 災	
3・12 災害一般	
・西川 泰 ・水谷武司	日本における災害の変遷に関する研究 災害時における避難の難易差の反映としての人命被害度の時刻差および地域差

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 10	研究速報	9	—
1 ~ 64	”	11	—
1 ~ 22	”	12	—
1 ~ 9	”	14	—
1 ~ 17	”	15	—
1 ~ 16	”	16	—
1 ~ 38	”	17	—
1 ~ 6	”	18	—
1 ~ 25	”	19	—
1 ~ 56	”	24	—
1 ~ 18	”	35	48
19 ~ 27	”	51	510
1 ~ 33	”	55	515
1 ~ 298	”	65	664
1 ~ 15	”	68	848
1 ~ 48	”	70	851
1 ~ 37	”	71	852
1 ~ 33	”	76	1190
1 ~ 116	研究資料	14	—
1 ~ 200	”	113	1035
1 ~ 20	研究報告	2	—
1 ~ 14	”	13	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 渡辺一郎	東京の災害が全国に及ぼす影響（第1報）——東京の現状、人口との関連——
・ 渡辺一郎	東京の災害が全国に及ぼす影響（第2報）——東京の復旧、復興との関連——
・ 富永雅樹	災害調査方法試論——1976年9月12日に発生した長良川水害の調査について——
・ 渡辺一郎	東京の災害が全国へ及ぼす影響（第3報）——関東大震災の場合についての考察——
・ 渡辺一郎	地震予知に対応する震災対策とその問題点（第6報）——警戒宣言発令時刻の相異によって起こる問題点——
・ 水谷武司	茨城県南西部、桜川流域の防災地学環境
・ 水谷武司	災害危険地集落の集団移転
・ 水谷武司	人的被害の規模に関係する要因
・ 水谷武司	日本の自然災害の諸特性 昭和30年代の災害資料から
・ 災害研究室	災害統計資料（昭和30年～40年）
・ 災害研究室	日本主要自然災害被害統計（昭和20年～42年）
・ 西川 泰	災害研究図表集
・ 水谷武司	最近の災害事例にみられる避難の阻害及び助長要因
・ 渡辺一郎，青木佑久，八木鶴平，大谷圭一	防災関係法令集（英文）
・ 国立防災科学技術センター	防災関係法令集（英文）（第2集）
・ 水谷武司，清水文健	災害地の土地条件——危険の程度を判断し災害に備える手がかり——
・ 渡辺一郎	災害予防指針 第1巻——居住地のための災害前における物的計画作成——（翻訳）
・ 渡辺一郎	災害予防指針 第2巻——災害の影響を最小にするための建設対策——（翻訳）
・ 渡辺一郎	災害予防指針 第3巻——居住地の管理——（翻訳）
・ 渡辺一郎	東京の災害が全国に及ぼす影響（第4報）——東京及び南関東における諸活動の全国に対する比率の推移——
3・13 その他	
・ 岩切 敏	栽培用ハウス内温度環境の予測と制御に関する研究
・ 東浦将夫	新庄盆地の気候学的水収支
・ 富永雅樹	地下水の涵養量推定のための水理実験(1)
・ 渡辺一郎	内海汚濁のモデルとシミュレーション
・ 災害研究室	長崎県・熊本県農作物かん害実態統計
・ 国立防災科学技術センター	川口大気拡散実験資料
・ 清水文健	氷河堆積物に含まれる石英砂粒の化学的作用による表面組織

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 27	研究報告	16	—
17 ~ 31	”	17	—
79 ~ 99	”	19	—
217 ~ 244	”	20	43
73 ~ 87	”	26	255
25 ~ 47	”	27	261
19 ~ 37	”	29	350
9 ~ 34	”	31	487
1 ~ 30	研究速報	10	—
1 ~ 119	研究資料	3	—
1 ~ 168	”	9	—
1 ~ 414	”	12	—
1 ~ 26	”	29	69
1 ~ 352	”	30	68
1 ~ 63	”	45	131
1 ~ 59	”	46	130
1 ~ 58	”	66	285
1 ~ 32	”	73	371
1 ~ 53	”	81	523
1 ~ 35	”	101	856
1 ~ 139	研究報告	6	—
95 ~ 109	”	14	—
123 ~ 135	”	20	40
1 ~ 22	研究速報	12	—
1 ~ 86	研究資料	10	—
1 ~ 40	”	11	—
1 ~ 29	”	50	205

4. Research Field Index

- 1 . In this index, the research fields of the Center are classified into the thirteen research fields given in (2), and compiled in the order of "Report of the National Research Center for Disaster Prevention", "Research Notes of the National Research Center for Disaster Prevention", and "Review of Research for Disaster Prevention" according to issue number, respectively.
- 2 . The Center classifies its research fields below thirteen fields, and "library and record database" and "Collection of Abstracts of the National Research Center for Disaster Prevention" etc. have been arranged based on this classification.
Research Fields: Meteorological disaster prevention, Hydrological disaster prevention, Wind disaster prevention, Earthquake prediction, Earthquake disaster prevention, Volcanic disaster prevention, Landslide disaster prevention, Snow and Ice disaster prevention, Coastal disaster prevention, Information processing for disaster prevention, Remotesensing, Fire disaster prevention, Disaster prevention in general, and Others.
- 3 . The content of the list has been described in the order of author/editor, title, page, journal, year, issue number, and presence/absence of English abstract.

4.1 Meteorological disaster prevention

Author (s)	Title
M.Sugawara, Y.Katsuyama and H.Yasoshime	On the Possibility of the Real-Time Data Processing of Radar Precipitation Echoes by Digital Computer
M.Sugawara and Y.Katsuyama	On the Existence of Long Cycles in Meteorological Elements; Spectral Analysis of Meteorological Elements
J.Kondo and I.Watabe	Seasonal Changes of Vertical Profile of Water Temperature and Evaporation from Deep Lakes
J.Kondo and G.Naito	Numerical Experiment on Diurnal Changes of the Soil and Air Temperatures near the Earth's Surface
M.Sugawara, Y.Katsuyama and K.Ohmura	A System Composed of a Central Computer and Weather Radars for Measuring Areal Precipitation
S.Iwakiri	Prediction and Control of Temperature Environment Inside the Glasshouse
T.Yonetani	Atmospheric Stabilities on Days with Thunderstorms in the Northern Kanto District
T.Yagi	A Measurement of the Effectiveness-Temperature Relationship for the AgI Composite Developed by the NRCDF
T.Yagi, H.Seino and Y.Omoto	Analytical Study on the Radar Echo Structure and Migration of Thunderstorms on 2 August 1972 in the Northern Kanto District
H.Seino and Y.Omoto	The Structure and Behavior of a Hailstorm of 3 August 1972
Y.Omoto and T.Yonetani	Thunderstorms in Kanto District (Part 1)—Numerical Study of Vertical Structure of Atmosphere
T.Yonetani	Numerical Experiment on the Development of Convective Clouds
T.Yagi, H.Seino and Y.Omoto	On a Relation of Structure and Movement of Thunderstorms as Revealed by Rader
H.Seino, T.Yagi and Y.Omoto	On Raindrop-Size Distributions at Different Portions in Thunderstorm Echoes—A Preliminary Report—
T.Yonetani	Numerical Experiment on the Development of Convective Clouds (II) The Effect of the Difference in Liquid Water Content
G.Naito, Y.Tsuji and I.Watanabe	Transfer of the Fluxes of Momentum, Sensible Heat and Latent Heat, and the Radiation Flux in the Sea Area South of the Nansei Islands in Winter (II)—Report of the AMTEX'75
S.Yazaki	Automatic Measurement of Records on Hail-Pad by Computer
H.Seino, Y.Omoto, T.Yagi and T.Yonetani	On Precipitation Characteristics of a Weak Hailstorm
S.Aoki	Some Criteria of Occurrence of Serious Rainfall Disasters
H.Seino	On Estimation of Hailstone Diameter by Hailpad
T.Yonetani	Instability Index Which Takes Account of the Stabilities of a Lower Atmospheric Layer for the Purpose of Thunderstorm Prediction in the Northern Kanto Plain
T.Yagi	On a Relation of Structure and Movement of Thunderstorms as Revealed by Rader, II
T.Yagi and H.Seino	Size Distribution and Z-R Relationship of Snow Particles Observed in Nagaoka, I

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1968	1	1-13	A
ditto	1968	1	45-86	A
ditto	1969	2	75-88	A
ditto	1969	2	89-105	A
ditto	1971	5	1-8	B
ditto	1971	6	1-139	A
ditto	1974	9	47-53	A
ditto	1974	9	55-60	A
ditto	1976	14	37-52	A
ditto	1976	14	53-63	A
ditto	1976	14	65-78	A
ditto	1976	14	79-94	A
ditto	1976	15	1-8	A
ditto	1976	15	9-22	A
ditto	1976	15	23-32	A
ditto	1976	15	101-143	A
ditto	1976	16	47-58	A
ditto	1978	19	1-15	A
ditto	1978	20	1-16	A
ditto	1978	20	31-38	A
ditto	1979	21	35-44	A
ditto	1979	22	39-47	A
ditto	1979	22	49-61	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.1 Meteorological disaster prevention

Author (s)	Title
T.Yonetani	Transformation of Atmospheric Stratification Caused by Locally High Temperature and Its Contributions to the Development of Convective Clouds
T.Yagi and H.Uyeda	Size Distribution and Z-R Relationship of Snow Particles Observed in Nagaoka, II
H.Uyeda and T.Yagi	Measurement of the Fall Velocity of Snowflakes in Nagaoka and its Application to the Z-R Relation
T.Yonetani	Numerical Study of the Initiation of Cumulus by a Heat Island
T.Yagi	Radar-Echo Structure and Reflectivity of a Hailstorm of 17 May 1976
H.Uyeda and T.Yagi	Some Considerations on the Doppler Spectrum of the Horizontal Wind Velocity as Measured by a Fan-Beam Radar
T.Yonetani	Anomalies in Precipitation in the Tokyo Metropolitan Area
H.Yoo and T.Yagi	Observational Report on the Movement of Precipitation Echoes from Stratiform Clouds
K.Nakane	Short Term Rainfall Prediction at the Ina-dani Valley in Chubu Region, using the moving Heavy-Rainfall Zones
B.R.Kweon and T.Yonetani	Hailstorm Forecasting for the Central Korea
H.Uyeda and T.Yagi	Observation of Sea Fogs at Kushiro in Eastern Hokkaido
H.Uyeda and T.Yagi	Evaluation of Upper Winds as a Translation Vector for the Short-Term Forecast of Precipitation Echoes
T.Konishi and T.Kinosita	Studies on the River Invasion of the Storm Surge
T.Yagi and H.Uyeda	Use of Upper Winds for the Short-Term Forecast of Precipitation Echoes
T.Yonetani	Analysis of Severe Local Rainfall in the Central Tokyo on 14 July, 1985
T.Yagi, H.Uyeda, T.Nakamura, O.Abe and N.Numano	A Preliminary Study on Snowfall over a Basin—1985 Radar Observation in Shinjo City—
Y.Nohguchi	Traveling Path of Snow Avalanche on Real Configuration
Y.Nohguchi, Y.Yamada and T. Ikarashi	A Model of Snow Glide Acceleration to Full Depth Avalanche Release
M.Maki and T.Yagi	Radar Observations of Snowfall in 1986 over the Shinjo Basin—Features of Vertical Structures
T.Yagi	On a Supercell Storm in Central Japan
M.Maki and T.Yagi	Effect of Mt.Tsukuba on Surface Precipitation Amount
Y.Omoto, T.Yagi and H.Seino	The Hailstorm of 9 June 1975 in Gunma—A Result of Preliminary Analysis—
H.Seino and Y.Omoto	Hail Damage and Recovery in Crops—Hailfall on 7 July 1977—
T.Yagi, H.Uyeda and H.Seino	Crop Damage from a Drought-1978 in Ibaraki
H.Uyeda and T.Yagi	Measurement of the Horizontal Wind Velocity Using a Fan-Beam Doppler Radar

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1979	22	63-81	A
ditto	1980	23	29-38	A
ditto	1980	23	39-46	A
ditto	1980	24	1-13	A
ditto	1980	24	15-31	A
ditto	1980	24	33-43	A
ditto	1981	25	1-8	A
ditto	1981	25	9-18	A
ditto	1982	27	89-108	A
ditto	1982	27	109-118	A
ditto	1982	29	69-92	A
ditto	1983	30	1-24	B
ditto	1983	31	67-87	A
ditto	1984	32	1-19	A
ditto	1986	38	1-7	A
ditto	1986	38	9-24	A
ditto	1986	38	147-168	A
ditto	1986	38	169-180	A
ditto	1987	39	1-17	A
ditto	1987	41	1-12	B
ditto	1987	41	13-29	A
Research Notes of the National Research Center for Disaster Prevention	1976	22	1-31	A
ditto	1978	27	1-19	A
ditto	1979	33	1-50	A
ditto	1980	42	1-24	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.1 Meteorological disaster prevention

Author (s)	Title
T.Yagi and H.Uyeda	Preliminary Report of Sea Fog Observation in 1981 at Kushiro City
T.Yagi and H.Uyeda	Preliminary Report of Sea Fog Observation in 1982 at Kushiro City
H.Seino, T.Yonetani and T.Yagi	Aerological Data at Fujioka, Gunma Prefecture (1970-1972, 1974-1976)
Y.Ozawa, Y.Omoto, T.Yagi and T.Yonetani	Studies on Weather Modification
T.Yonetani	Secular Changes of Probable Rainfall and Annual Total Precipitation in Japan
H.Uyeda	Statistical Research on Disaster Caused by Thunderstorms
Hiratsuka Branch, NRCDP	Twenty Years of the Hiratsuka Marine Observation Tower of the National Research Center for Disaster Prevention—Technical Documents—
H.Uyeda	On Recent Observations and Detections of Storms by Doppler Radar for Meteorological Use
H.Takahashi, T.Kinosita, N.Kishii, K.Nakane and M.Kominami	Table of Meteorological, Hydrological and Oceanographic Observation by National Research Center for Disaster Prevention

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Research Notes of the National Research Center for Disaster Prevention	1982	45	1-17	A
ditto	1983	49	1-19	A
Review of Research for Disaster Prevention	1978	32	1-140	A
ditto	1978	34	1-60	A
ditto	1981	58	1-72	A
ditto	1981	63	1-27	—
ditto	1986	110	1-111	A
ditto	1986	111	1-66	A
ditto	1988	127	1-311	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.2 Hydrological disaster prevention

Author (s)	Title
M.Sugawara	On the Method of Flood Forecasting of River Tenryū—at Sakuma
M.Sugawara and E.Ozaki	On the Method of Flood Forecasting of the River Tadami
M.Sugawara, E.Ozaki I.Watanabe and Y.Katsuyama	Runoff Analysis of the Rivers in Non-humid Regions by Tank Model
	Relation between Magnitude and Frequency of Natural Disasters Caused by Storm and Earthquake
T.Kishii	On Daily Runoff of the Rivers in the Volcanic Ash Regions and Non-Volcanic Ash Regions of Kyushu District
M.Sugawara, E.Ozaki, I.Watanabe and Y.Katsuyama	Method of Automatic Calibration of Tank Model (First Report)
T.Kinosita and K.Nakane	Study on Surface Runoff (Part 1)—Effects of Rainfall Intensity on Surface Runoff from the Experimental Plot
H.Ohkura	An Analysis Method of Saturated-Unsaturated Steady Flow from Rainfall Finite Elements
T.Kinosita	Assessment of the Effectiveness of Earth Bag Manufacturing Machine under Heavy Rainfall
S.Aoki	Some Criteria of Occurrence of Serious Rainfall Disasters
T.Kishii	On Flood Runoff Characteristics of an Experimental Basin at the Urajiro River
K.Nakane and S.Yazaki	Study on Surface Runoff (Part 2)
M.Sugawara, I.Watanabe, E.Ozaki and Y.Katsuyama	Method of Automatic Calibration of Tank Model (Second Report)
E.Ozaki and Y.Katsuyama T.Kishii and S.Aoki	Comparison of Flood Runoff Characteristics between Natural Urbanized Basins
M.Irisawa	A Study on Damages caused by Flooding and Land Uses
T.Kishii	Change of Flood Runoff by Urbanization in the Shakuji River Basin (I)
H.Ohkura	An Analysis Method of Vertical Rainfall Infiltration by Finite Elements—Derivation of calculative and its elimination—
T.Kinosita	Examples of Return Periods of Rainfall for Disaster Countermeasures
M.Irisawa	Developments of Flood Vulnerability Estimation Method by Application of Principal Component Analysis
M.Irisawa	Proposals for Non-Structural Measures Against Flood Damage
H.Takeda	Meanings of Runoff Coefficients in Large-scale Industrial Lands
T.Kinosita, M.Tominaga, T.Fukuzono, K.Masukura and K.Sasaki	Study on Surface Runoff (Part 3) —Effects of Storage of Rice Fields and Channel Density—
T.Sato and S.Uehara	Study on the Characteristic Changes of Flood Runoff due to Urbanization Using Tank Model

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1968	1	15-35	A
ditto	1969	3	41-53	A
ditto	1975	12	1-26	A
ditto	1976	13	15-30	A
ditto	1977	17	1-5	A
ditto	1977	17	43-89	A
ditto	1977	18	35-49	A
ditto	1977	18	51-70	A
ditto	1978	19	43-50	A
ditto	1978	20	1-16	A
ditto	1978	20	17-30	A
ditto	1978	20	137-155	A
ditto	1978	20	157-216	A
ditto	1979	21	1-33	A
ditto	1979	22	1-26	A
ditto	1979	22	27-38	A
ditto	1979	22	145-166	A
ditto	1980	23	1-10	A
ditto	1980	23	11-27	A
ditto	1980	24	45-68	A
ditto	1980	24	69-85	A
ditto	1980	24	87-100	A
ditto	1980	24	145-158	A

Notes: A; / In Japanese essay with English abstracts.
B; \ In English essay with English abstracts.

4.2 Hydrological disaster prevention

Author (s)	Title
M.Sugawara, I.Watanabe, E.Ozaki and Y.Katsuyama	Method of Automatic Calibration of Tank Model (Third Report) —Automatic Program for Flood Analysis—
T.Kishii	On the Experiment of Surface Runoff from Experimental Slope
T.Kinosita	Hydrological Study on Floods in Rivers Overseas (Part 1)
H.Takeda	Estimation of Debris Volume by Multiple Regression Analysis
M.Irisawa	Recent Trends Inland Water Damage and Countermeasure
T.Fukuzono	On the Effect of Channel Density to Surface Runoff—Hydraulic Experiment and Computer Simulation
T.Kinosita	Hydraulic Behaviours of Flood Flows and Tidal Waves in River Channels observed by Ultrasonic Methods
T.Kinosita	Changes of Runoff Coefficients and Runoff Ratios in the Urajiro-gawa Experimental Basin
H.Takeda, T.Kishii, K.Nakane, H.Ohkura and T.Sato	Runoff Characteristics of Tsukuba Experimental Basin (Part 1)
K.Nakane	Short Term Rainfall Prediction at the Ina-dani Valley in Chubu Region, using the moving Heavy-Rainfall Zones
M.Sugawara, I. watanabe, E.Ozaki and Y.Katsuyama	Behavior of Moisture Structure in the Tank Model
M.Sugawara, I. watanabe, E.Ozaki and Y.Katsuyama	Runoff Analysis of Sanguere Experimental Basins S1-S7 by the Tank Model
M.Sugawara, I. watanabe, E.Ozaki and Y.Katsuyama	Method of Automatic Calibration of Tank Model (Fourth Report) —Semi-automatic Procedures to Calibrate the Parameters relating with Position of Side-outlets, the Soil Moisture Structure and the Intake of Irrigation Water—
T.Kinosita	Hydrological Study on Floods in Rivers Overseas (Part 2)
H.Takeda	Case Study on Assessment of Flood Control Countermeasures with Consideration of Groundwater Behaviours
T.Kishii	On Flood Runoff Characteristics of an Experimental Basin at Urajiro River (Second Report)
S.Uehara and T.Sato	Monthly Water Balance and Hydrological Characteristics of River Basins in Japan (First Report)
H.Moriwaki	An Experimental Study on Surface Runoff from a Farm Model
M.Sugawara, I.Watanabe, K.Nakane, E.Ozaki and Y.Katsuyama	Runoff Analysis by the Tank Model with Snow Model on Six Basins, Data of which are given by WMO for the Intercomparison of Conceptual Models of Snowmelt Runoff
T.Kinosita	Hydraulic Characteristics of Inundation Flow
K.Nakane	Estimation of Discharge-Duration Curve
T.Kinosita	Studies on the River Invasion of the Storm Surge
T.Kinosita	Estimation of the Runoff Coefficient of the Rational Formula by the Proposed TC Runoff Coefficient

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1980	24	159-181	A
ditto	1981	25	19-27	A
ditto	1981	26	1-16	A
ditto	1981	26	17-27	A
ditto	1981	26	29-62	A
ditto	1981	26	63-72	A
ditto	1982	27	1-11	A
ditto	1982	27	13-24	A
ditto	1982	27	49-87	A
ditto	1982	27	89-108	A
ditto	1982	27	193-206	A
ditto	1982	27	7-228	A
ditto	1982	27	229-245	A
ditto	1982	29	1-18	A
ditto	1982	29	39-68	A
ditto	1982	29	93-101	A
ditto	1983	30	25-64	A
ditto	1983	30	65-83	A
ditto	1983	30	85-165	A
ditto	1983	31	1-8	A
ditto	1983	31	35-65	A
ditto	1983	31	67-87	A
ditto	1984	33	1-14	A

Notes: A; (In Japanese essay with English abstracts.
B; (In English essay with English abstracts.

4.2 Hydrological disaster prevention

Author (s)	Title
T.Kishii, K.Nakane, T.Sato and T.Konishi	Runoff Characteristics of Tsukuba Experimental Basin (Part II)
M.Sugawara, I.Watanabe, E.Ozaki and Y.Katsuyama	Runoff Analysis by the Tank Model with Snow Model on Six Basins, Data of which are given by WMO for the Intercomparison of Conceptual Models of Snowmelt Runoff
K.Nakane	The Characteristics of the Runoff at the Extra-ordinary Flood Observed in Shimane Prefecture, July 1983
T.Konishi and T.Kinosita	Studies on the River Invasion of the Storm Surges (II)
K.Nakane and T.Kinosita	The Effect of the Storage on the Runoff Coefficient
S.Uehara and T.Sato	Monthly Water Balance and Hydrological Characteristics of River Basins in Japan (Second Report)
Y.Tsuji, A.Takeda and T.Konishi	Tidal Anomalies Induced by the Typhoons 8210 and 8218
M.Sugawara, I.Watanabe and E.Ozaki	Forecasting of the Chindwin River, Burma, using the Tank Model
M.Sugawara, E.Ozaki and I.Watanabe	River Forecasting of the Upper Irrawaddy River at Sagaging, Burma, using the Tank Model
M.Sugawara and E.Ozaki	On the Seasonal Pattern of Means of Monthly Mean Temperatures Over a Long Period (30 Years) —Comparison Between Japan and Other Countries—
T.Sato and S.Uehara	Experimental Study on Changes of Runoff Characteristics due to Difference of Basin Conditions—Increase of Flood Velocity due to Increase of Impervious Area—
M.Sugawara and E.Ozaki	Method of Automatic Calibration of the Tank Model (Fifth Report) —Automatic or Semi-automatic Procedures to Calibrate the Multiplication Factor of the Precipitation in Snowy Basins—
T.Kishii, T.Sato, K.Nakane and H.Ohkura	Comparison of the Water Balance of the Experimental Basins in the Urajiro River and in Tsukuba Science City
S.Uehara	A Study on Hydrological Characteristics of River Basins in Japan Based on Monthly Water Balance
M.Sugawara, E.Ozaki, I.Watanabe and Y.Katsuyama	Tank model and its application to Bird Creek, Wollombi Brook, Bikin River, Kitsu River, Sanaga River and Nam Mune
B.Datta	Runoff Analysis of Two INDIAN Basins Using Tank Models
M.Sugawara, I.Watanabe, E.Ozaki and Y.Katsuyama	Tank Model with Snow Component
NRCDP	On the Data of Flood Damage for Some Rivers of Japan
N.Kishii	Hydrological Data of the Urajiro River Experimental Basin (April 1975 —Dec.1979)
1st Research Division	Regulations on Calamity Danger Districts in Japan—Flood, Tsunami, Storm Surge—
T.Yonetani	Secular Changes of Probable Rainfall and Annual Total Precipitation in Japan
M.Irisawa	Statistics of inundation Areas During the Period of 1967-1977

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1984	33	23-68	A
ditto	1984	33	187-236	A
ditto	1985	34	1-12	A
ditto	1985	34	13-42	A
ditto	1985	35	1-16	A
ditto	1985	35	155-228	A
ditto	1985	35	299-314	A
ditto	1986	36	21-45	B
ditto	1986	36	47-57	B
ditto	1986	36	59-77	A
ditto	1987	39	67-86	A
ditto	1987	39	87-113	A
ditto	1987	40	1-20	A
ditto	1987	40	21-309	A
Research Notes of the National Research Center for Disaster Prevention	1974	11	1-64	B
ditto	1984	55	1-33	B
ditto	1984	65	1-298	B
Review of Research for Disaster Prevention	1969	4	1-37	—
ditto	1980	48	1-655	A
ditto	1980	49	— 1-21	—
ditto	1981	58	1-72	A
ditto	1981	61	1-185	—

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.2 Hydrological disaster prevention

Author (s)	Title
T.Fukuzono	Data of Surface Runoff Experiments with The large-Scale Rainfall Simulator (I)—Experimental Study on the Effect of Channel Densities to Runoff Patterns—
T.Mizutani	Some Informations for Preparing against Hazards Caused by Heavy Rain
M.Sugawara, I.Watanabe, E.Ozaki and Y.Katsuyama	Tank Model Programs for Personal Computer and the Way to Use (Second Report)
H.Takahashi, T.Kinosita, N.Kishii, K.Nakane and M.Kominami	Table of Meteorological, Hydrological and Oceanographic Observation by National Research Center for Disaster Prevantion

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Review of Research for Disaster Prevention	1983	82	1-287	A
ditto	1985	98	1-48	A
ditto	1986	113	1-200	A
ditto	1988	127	1-311	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.3 Wind disaster prevention

4.4 Earthquake prevention

Author (s)	Title
M.Takahashi and H.Suzuki	Earthquake Motions Observed at Different Depths in a Shallow Well
M.Sugawara, Y.Katsuyama, K.Ohmura and T.Fukui	Automatic Detecting Method for Micro-earthquakes
Y.Katsuyama and I.Watanabe	Automatic Detecting Method for Micro-earthquakes (II)
K.Hamada	<i>P</i> -traveltime Anomalies and Upper Mantle Structures Beneath Japan —Review of Japanese Seismological Investigations
M.Takahashi	A System for Telemetering the Deep-Well Data at Iwatsuki and Its Reliability
T.Kumagai, H.Suzuki and S.kishi	Studies on Anomaly of the Power-Spectra of Explosion Seismic Wave in Matsushiro Area—Frequency Analysis of Explosion Earthquake (II)
I.Watanabe, M.Sugawara, T.Fukui and Y.Katsuyama	Automatic Detecting Method for Micro-earthquakes (III)
F.Yamamizu, H.Tsukahara, H.Sato, M.Ishida and K.Hamada	Kawasaki Borehole Station for Microearthquake Observation and its Vertical Distribution of Background Noises
K.Tanaka	Geological Structure of the Base Rocks and Distribution of Earthquakes in the Kanto Plain
H.Sato and H.Takahashi	An Array System for Observation of the Crustal Tilt(I)
M.Kubota	The Optimum Allocation of Continuous Crustal Deformation Observatories
M.Ohtake	Earthquake Prediction Based on the Seismic Gap with Special Reference to the 1978 Oaxaca, Mexico Earthquake
Y.Fujinawa	Motions in the Boundary Layers between Two Plates
M.Imoto	On Migration Phenomena of Aftershocks Following Large Thrust Earthquakes in Subduction Zones
H.Satake, R.Ikeda, O.Fukuda and H.Takahashi	Electrical Prospecting for the Karasuyama-Sugaonuma Fault in South-western Ibaraki Prefecture
S.Sakata	On the Concepts of Some Newly-invented Borehole Three-component Strainmeters
M.Ishida and M.Tatsukawa	Determination of Earthquake from Total Duration Time of Seismic Waves in the Kanto-Takai Observational Network of the NRCDP
M.Imoto	Focal Mechanisms of Micro Earthquakes off the East Coast of Izu Peninsula, Japan, from August 1980 to May 1981
T.Ohkubo, H.Sato and S.Matsumura	A New Method for Plotting the Tilt Change Diagram by Using the Graphic Display Device
R.Ikeda	Amplitude-Frequency Relation of Acoustic Emission Accompanying Hydrofracturing for Crustal Stress Measurement
H.Takahashi	The Deep Borehole Observatories and their Contribution for Revealing the Characteristics of Microearthquake Activity in the Kanto District

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1971	5	9—24	A
ditto	1974	9	1—9	A
ditto	1975	12	27—51	A
ditto	1975	12	53—70	B
ditto	1976	13	35—57	A
ditto	1976	13	59—74	A
ditto	1976	15	33—47	A
ditto	1977	18	17—33	A
ditto	1978	19	17—26	A
ditto	1978	20	39—62	A
ditto	1980	23	47—64	A
ditto	1980	23	65—110	A
ditto	1980	24	101—109	A
ditto	1981	25	29—86	A
ditto	1981	25	87—94	A
ditto	1981	25	95—126	A
ditto	1982	27	119—131	A
ditto	1982	27	133—144	A
ditto	1982	27	145—157	A
ditto	1982	27	159—170	A
ditto	1982	28	1—104	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.4 Earthquake prevention

Author (s)	Title
M.Tatsukawa	Determination of Earthquake Magnitude from Total Duration Time of Seismic Waves based on the Automatic Reading for the Kanto-Tokai Observational Net.
S.Shimada, S.Sakata and S.Noguchi	The Methods of Observation and Data Processing for the Three-Component Borehole Strainmeters
T.Eguchi, Y.Fujinawa and H.Sato	Acoustic Locating and Controlling System for the Deployment and Recovery of OBS
Y.Okada	Development of An Intelligent Panel Display System for Monitoring of Crustal Activities
H.Sato	Lithosphere—Single Scattering Theory in a Randomly Inhomogeneous Medium—
M.Ukawa, Y.Fujinawa, T.Eguchi and T.Maeda	Data Processing Method for the Pop-up Type Ocean Bottom Seismometers
S.Shimada, S.Noguchi and S.Sakata	The Attitude of the Three-Component Borehole Strainmeter and the Seismometer in the Yard of NRCDP
K.Kasahara	Patterns of Crustal Activity Associated with the Convergence of Three Plates in the Kanto-Tokai Area. Central Japan
H.Suzuki	Underground Temperature in the Kanto Plain
M.Ishida	The Configuration of the Philippine Sea and the Pacific Plates as Estimated from the High-resolution Microearthquake Hypocenters in the Kanto-Tokai District, Japan
Y.Fujinawa, M.Kubota, T.Eguchi and M.Ukawa	A Direct Recording Pop-up Type Ocean Bottom Seismograph: CDOBS IIa
Dimitrios Papanastassiou and S.Matsumura	Examination of the NRCDP's (The National Research Center for Disaster Prevention) Seismic Observational Network as regards I. Detectability-locatability, II. Accuracy of the Determination of Earthquake Source Parameters
K.Hamada	The Background and Significance of the Development of the Analyzing System for Precursors of Earthquakes
S.Matsumura, Y.Okada, M.Imoto, S.Shimada, S.Hori, T.Ohkubo, M.Ohtake and K.Hamada	The Functions and Constitutions of the Analyzing System for precursors of Earthquakes (APE)
S.Matsumura, Y.Okada and S.Hori	Procedures for Seismic Data Processings by the Analyzing System for Precursors of Earthquakes (APE)
S.Shimada, T.Ohkubo, Y.Okada and S.Hori	Procedures for Low Sampling-rate Data Processing by the Analyzing System for Precursors of Earthquakes (APE)
S.Hori and S. Matsumura	Automatic Hypocenter Determination by the Analyzing System for Precursors of Earthquakes
S.Hori, S.Matsumura, S.Shimada, T.Ohkubo, M.Imoto and Y.Okada	Automatic Monitoring System for Earthquake Prediction by the Analyzing System for Precursors of Earthquakes.
T.Ohkubo	A Monitoring System for Crustal Till Movement Based on the Use of Personal Computers.
M.Imoto	Optical Disk File for Digital Seismograms and Related Access Routines.
Y.Okada	Program System for Utilization of Seismic Data.

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1983	31	89—100	A
ditto	1983	31	101-110	A
ditto	1984	33	69-76	A
ditto	1984	33	77-99	A
ditto	1984	33	101-186	A
ditto	1985	34	43-58	A
ditto	1985	35	17-32	A
ditto	1985	35	33-137	A
ditto	1985	35	139-154	A
ditto	1986	36	1-19	B
ditto	1987	39	19-35	B
ditto	1987	39	37-65	A
ditto	1987	41	31-34	A
ditto	1987	41	35-44	A
ditto	1987	41	45—64	A
ditto	1987	41	65—87	A
ditto	1987	41	89—100	A
ditto	1987	41	101—114	A
ditto	1987	41	115—127	A
ditto	1987	41	129—136	A
ditto	1987	41	137—151	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.4 Earthquake prevention

Author (s)	Title
Y.Okada M.Takahashi, H.Takahashi, T.Kumagai and Y.Tanaka	Improvement of Routine Programs for Hypocenter Determination and Mechanism calculaton. Microtremors in a Gallery of Mt.Fuji
T.Kumagai, H.Suzuki, H. Yasojima and M.Takahashi	Observatson and Frequency Analysis of Atsumi-Oki Explosion Earth-quake at Tsukude, Aichi Prefecture Frequency Analysis of Explosion Earthquake (Reprtrt I)
H.Sato and K.Hamada	On Crustral Upheaval Around the Lower Reaches of the Tamagawa River and Micro-Earthquake Observation—With a brief summary of researches by related organizations—
H.Tsukahara	Terrestrial Heat Flow at The Iwatsuki Deep Well Observatory and Crustal Temperature Profiles Beneath The Kanto District, Japan
H.Sato, K.Hamada, H.Takahashi, H. Yamamizu, M.Ishida, H.Tsukahara and K.Kasahara	Crustal Upheaval Around the Lower Reaches of the Tamagawa River and Micro-Earthquake Observation (II)
K.Tanaka, H.Takahashi, H.Suzuki and M.Terashima	Geology of the Kawasaki Micro-earthquake Observation Well
H.Tsukahara, R.Ikeda, H.Satake, M.Ohtake and H.Takahashi	Hydrofracturing Stress Measurement—In Situ Stress Measurements at Depths around 90m—
R.Ikeda, H.Tsukahara, H.Satake, M.Ohtake and H.Takahashi	Acoustic Emission during Fijld Experiment of Hydrofracturing
H.Sato	A Short Note on Borehole-Type Tiltmeters and Earthquake Prediction
S.Matsumura, T.Ohkubo, Y.Katsuyama and K.Hamada	A Real Time Data Processing Technique for Observations of the Crustal Activities by a Digital Computer System
M.Imoto, M.Ohtake, S.Matsumura, F.Yamamizu, T.Ohkubo, M.Tatsukawa, and K.Hamada	Earthquake Swarm off Kawana-zaki, Izu Peninsula November 23-December 31, 1978
H.Takahashi, S.Kinoshita, E.Yamamoto, T.Nakamura, C.Matsumoto, and T.Kurahashi	On Water Sealing at the Coupler of Signal Cable with Sensor Vessel for Use in Deep Borehole of Iwatsuki, Crustal Activities Observatory
M.Ohtake, M.Imoto, M.Ishida, T.Ohkubo, Y.Okada, K.Kasahara, M.Tatsukawa, S.Matsumura, F.Yamamizu, and K.Hamada	The Izu, Central Japan Earthquakde of June 29 of 1980 and Related Seismicity
Y.Okada, S.Noquchi, M.Ukawa, M.Imoto, and M.Ohtake	Report on the Earthquake off the eastern Ibaraki Prefecture, Japan of July 23, 1982
H.Takahashi, O.Fukuda, H.Suzuki and K.Tanaka	Construction and Geology of the Iwatsuki Deep Borehole Observatory
H.Suzuki, H.Takahashi and O.Fukuda	Construction and Geology of the Shimohsa Deep Borehole Observatory
M.Ukawa, M.Ishida, S.Matsumura and K.Kasahara	Hypocenter Determination Method of The Kanto-Tokai Observational Network for Microearthquakes

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1987	41	153—162	A
Research Notes of the National Research Center for Disaster Prevention	1965	1	1—10	—
ditto	1967	5	1—26	—
ditto	1975	20	1—32	A
ditto	1976	21	1—9	B
ditto	1977	26	1-16	A
ditto	1978	28	1-7	A
ditto	1978	30	1-24	A
ditto	1978	31	1-11	A
ditto	1979	34	1-32	B
ditto	1979	35	1-18	A
ditto	1979	36	1-14	A
ditto	1979	40	1—23	A
ditto	1980	43	1-25	A
ditto	1982	46	1-14	A
ditto	1983	47	1-105	A
ditto	1983	48	1-55	A
ditto	1984	53	1-88	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.4 Earthquake prevention

Author (s)	Title
M.Imoto, S.Shimada, Y.Okada, K.Kasahara and M.Ohtake	The Yamanashi, Central Japan Earthquake of Augzt 8, 1983 and Related Seismicity
M.Ishida and A.Hasemi	The Three-Dimensional P-wave Velocity Structure in the Kanto-Tokai District, Japan
H.Suzuki and H.Takahashi	Construction and Geology of the Fuchu Deep Borehole Observatory
M.Imoto	Stress Field in the Kanto-Tokai Area Revealed from Focal Mechanisms of Small-Sized Earthquakes
S.Hori and T.Ohkubo	Regionality and Temporal Variation of the "Earthquake Precursory Indicator" in the Kanto-Tokai District, Central Japan
S.Sekiguchi	A New Seismic Phase From Earthquakes Beneath the Japan Sea, Generated Near the Moho Discontinuity
NRCDP	Seismological Data of Matsushiro Earthquake Swarm (Report I)
NRCDP	Seismological Data of Matsushiro Earthquake Swarm (Report II)
T.Kumagai and H.Suzuki	Seismicity of Mt.Kamuriki and Its Vicinity in the Matsushiro Earthquake Swarm Area
T.Tsuji	Recent Studies for Earthquake prediction in the People's Republic of China
K.Hamada	Recent Studies for Earthquake Prediction in the United States of America
T.Hagiwara, I.Kayano, K.Hamada-M.Ohtake, M.Imoto and Y.Koike	Examination on Seismic Damages near Faults of Major Inland Earthquakes, 1891-1976
NRCDP	Data of Matsushiro Earthquake Swarm (3)—Figures and Tables Relative to Groundwater—
H.Sato and M.Tatsukawa	Data Report of Crustal Tilt Observation (1) (Okabe, Chikamata and Nodazawa: May-December, 1978)
T.Rikitake, A.Takagi, H.Takahashi, S.Hagiwara and T.Matsuda	Report on Earthquake Prediction in China
H.Sato, M.Tatsukawa and E.Yamamoto	Data Report of Crustal Tilt Observatdon (2) 1979
M.Tatsukawa, H.Sato and E.Yamamtto	Data Report of Crustal Tigt Observtion (3) 1980
S.Miyamura, N.Ohara, K.Sude and K.Hamada	Investigation of Precursors to Earthquakes—Introduction of Papers Published in the Period 1911 to 1978—
NRCDP	Observtional Date of Volcanic Activities (Iwo-Jima and Kirishima volcanoes) No.1
M.Tatsukawa, E.Yamamoto and H.Sato	Data Report of Crustal Tilt observation (4) 1981
NRCDP	Data of Matsushiro Earthquake Swarm (4)—Figures and Tables Relative to Groundwater—

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Research Notes of the National Research Center for Disaster Prevention	1984	57	1-13	A
ditto	1984	58	1-11	A
ditto	1985	64	1-84	A
ditto	1984	66	1-76	A
ditto	1987	74	1-21	A
ditto	1988	78	1-12	A
Review of Research for Disaster Prevention	1967	1	1-140	B
ditto	1969	73	1-145	B
ditto	1975	15	1-34	—
ditto	1975	18	1-24	—
ditto	1975	20	1-19	—
ditto	1979	39	1-117	—
ditto	1979	41	1-198	—
ditto	1979	42	1-32	—
ditto	1979	44	1-169	—
ditto	1980	51	1-66	A
ditto	1981	62	1-123	A
ditto	1982	68	1-192	—
ditto	1982	74	1-135	A
ditto	1982	78	1-147	A
ditto	1982	79	1-317	—

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.4 Earthquake prevention

Author (s)	Title
M.Tatsukawa, T.Ohkubo, E.Yamamoto and H.Sato	Data Report of Crustal Tilt Observation (5) 1982
T.Kumagai and H.Suzuki	Observational Data of Volcanic Activdties (Iwo-jima and Kirishima volcanoes) No.2
T.Kumagfi and H.Suzuki	Observational Data of Volcanic Activities (Iwo-jima and Kirishima volcanoes) No.3
M.Tatsukawa, T.Ohkubo, E.Yamamoto and H.Sato	Data report of Crustal Tilt Observation for 1983
T.Kumagai and H.Suzuki	Observational Data of Volcanic Activities (Iwo-jima and Kirishima vomcanoes) No.4
M.Tatsukawa, T.Ohkubo, E.Yamamoto and H.Sato	Data Report of Crustal Tilt Observation for 1984
S.Sekiguchi, S.Shimada, T.Ohkubo, H.Sato and M.Tatsukawa	Data Report of Crustal Tilt Observation for 1985
H.Takahashi, T.Kinosita, N.Kishii, K.Nakane and M.Kominami	Table of Meteorological, Hydrological and Oceanographic Observation by National Research Center for Disaster Prevention

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Reivew of Research for Disaster Prevention	1984	86	1-200	A
ditto	1984	88	1-105	A
ditto	1985	95	1-89	A
ditto	1985	103	1-189	A
ditto	1986	108	1-147	A
ditto	1986	112	1-199	A
ditto	1988	124	1-210	A
ditto	1988	127	1-311	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.5 Earthquake disaster prevention

Author (s)	Title
H.Takahashi	Study on the Aerial Photogrammetric Investigation of Reinforced Concrete Buildings Damaged by the Niigata Earthquake
I.Watanabe, Y.Katsuyama, E.Ozaki and T.Fukui	Digitizing of Strong-Motion Earthquake Records by Computer
T.Mizutani	Relation between Magnitude and Frequency of Natural Disasters Caused by Storm and Earthquake
N.Ogawa	Some Damage of Pipe Line for Water Supply System—Related with Water Pressure during Earthquake
R.Hirobe	Fundamental Study of Liquefaction of Saturated Sand with Water
T.Morohoshi	Digitizing of Strong-Motion Earthquake Records by Computer (II)
C.Minowa	Dynamic Experiment of an Underground Pipe
I.Watanabe	Influences of Disaster Damage at Tokyo on the Whole Japan Percentage (No.2) —with Relation to Restriction and Reconstruction of Tokyo
S.Kinoshita	On a Method for Processing of the Strong-Motion Earthquake Accelerogram
N.Ogawa	A Study on Rocking and Overturning of Rectangular Column
S.Kishi	Simulation of Ground Motion Using the File of Columnar Section of Soil —The Application of the Seismic Wave of the Tokyo Strong Earthquake (1894) to the Kawasaki Area
K.Tanaka	Geological Structure of the Base Rocks and Distribution of Earthquakes in the Kanto Plain
Y.Fujinawa, I.Watabe and T.Ooike	Some Properties of Tsunamis in the Sagami Bay
C.Minowa	Studies on the Aseismic Properties of Underground Pipes
S.Kinoshita	On a Band—Limited Wave Transfer Function
I.Watanabe	Some Discussions on Countermeasures to be done after Issuance of an Earthquake Warning (First Report)
I.Watanabe	Some Discussions on Countermeasures to be done after Issuance of an Earthquake Warning (Second Report) —In Usual Household
T.Mikoshiba	Data Processing System for Small-Scale Array Observation of Strong Ground Motions
T.Kinosita, T.Konishi and Y.Tsuji	Magnification Factor for Tsunami Risk Evaluation
C.Minowa	One Story Steel Frame Collapse Tests by Using the Two Dimensional Shaking Table (Horizontal and Up-down)
Y.Tsuji and T.Konishhi	Tsunamis in the Japan Sea with Numerical Calculation
Y.Tsuji	Density Discussions of Dead Persons for Seven Historical Earthquakes in Kanagawa Prefecture Recorded in Necrologies of Temples
S.Kinoshita	The Earthquake Response Characteristics of a Thick Sedimentary Layer Estimated by Means of the Deep-Borehole Observation
A.Takeda	The Tsunami Stone at Raga—A Result of Leveling of the Old Tide Trace due to the Meiji-Sanriku Tsunami in 1896

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1969	3	15-40	A
ditto	1974	9	11-31	A
ditto	1976	13	15-30	A
ditto	1976	15	57-73	A
ditto	1976	15	89-100	A
ditto	1976	16	29-45	A
ditto	1976	16	59-82	A
ditto	1977	17	17-31	A
ditto	1977	17	91-109	A
ditto	1977	18	1-16	B
ditto	1977	18	71-83	A
ditto	1978	19	17-26	A
ditto	1978	19	117-165	A
ditto	1978	20	63-87	A
ditto	1979	21	45-62	B
ditto	1979	21	63-74	A
ditto	1979	22	93-100	A
ditto	1984	32	21-34	A
ditto	1984	33	15-22	A
ditto	1985	34	59-71	A
ditto	1985	35	277-297	A
ditto	1985	36	95-112	A
ditto	1985	38	25-145	A
ditto	1987	39	163-169	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.5 Earthquake disaster prevention

Author (s)	Title
M.Sugawara and Y.Katsuyama	Reports of Experimental Study for an Electrohydraulic Vibration Generation System (First Report)
I.Watanabe	Some Discussions on Countermeasures to be done after Issuance of an Earthquake Warning (Third Report) —In Local Governments—
I.Watanabe	Some Discussions on Countermeasures to be done after Issuance of an Earthquake warning (Fourth Report)—In Office Buildings and Others—
S.Kinoshita	Parallel Observation of Strong Ground Motion by Using both Acceleration and Velocity Type Seismometers at Nakaizu Crustal Activity Observatory
S.Yazaki and Y.Katsuyama	Three Dimensional Motion Measurement by TV Image Analysis—Application to Displacement Measurement in Earthquake Simulation—
N.Ogawa, C.Minowa, Y.Katsuyama, R.Koyanagi, T.Chiba and S.Aida	Multi-Support Excitation Test of Nuclear Piping Model (Report-1)
NRCDP	Seismorogical Data of Matsushiro Earthquake Swarm (Report I)
NRCDP	Summarized Report of Investigations of Disasters Caused by the Tokachi-Oki Earthquake of 1968
H.Takahashi, T.Ariga and M.Nishio	Study on Aerial Photogrammetric Method of Investigation of Earthquake Disaster
NRCDP	Seismological Data of Matsushiro Earthquake Swarm (Report II)
Third Research Division	A Thesaurus for Information Storage and Retrieval by Using Computer of the Materials of the Research Center of Matsushiro Earthquake Swarm
S.Inaba, N.Ogawa and C.Minowa	Earthquake Responses of House Equipment Units
T.Kagawa	Analytic Method for Earthquake Response—On the Finite Element Program—
I.Watanabe	Managua, December 23rd 1972. The Provision of Shelter in the Aftermath of Natural Disaster Report on Housing Strategy, December 1972-September 1973
S.Inaba	Large-scale Testing Programs Related to Wind and Seismic Effects Currently Underway in Japan
S.Kinoshita and S.Inaba	Shaking Table Test of a Circuit Breaker
N.Ogawa, C.Minowa, H.Iida and T.Kubota	The Measurement of the Ground Vibration Propagated from the Foundation of the Large Scale Shaking Table
Y.Tsuji	Historical Materials on Earthquakes and Tsunamis in the Tokai District (I-1)
Y.Tsuji	Historical Materials on Earthquakes and Tsunamis in the Tokai District (I-2)
T.Hagiwara, I.Kayano, K.Hamada, M.Ohtake M.Imoto and Y.Koike	Examination on Seismic Damages near Faults of Major Inland Earthquakes, 1891-1976
Data Section	Digitized Data of Strong-Motion Earthquake Records (1)—1978 near Izu-Oshima Earthquake and 1978 off Miyagi Pref. Earthquake—

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Research Notes of the National Research Center for Disaster Prevention	1967	6	1-52	A
ditto	1979	37	1-15	A
ditto	1979	38	1-13	A
ditto	1981	44	1-61	A
ditto	1985	68	1-15	A
ditto	1987	75	1-126	A
Review of Research for Disaster Prevention	1967	1	1-140	B
ditto	1969	5	1-52	—
ditto	1967	1	1-140	B
ditto	1969	7	1-145	B
ditto	1975	14	1-116	—
ditto	1975	16	1-45	A
ditto	1975	17	1-44	A
ditto	1975	21	1-197	—
ditto	1976	23	1-14	B
ditto	1976	24	1-29	A
ditto	1977	28	1-43	A
ditto	1979	35	1-436	—
	1979	36	1-857	—
ditto	1979	39	1-117	—
ditto	1979	40	1-371	B

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.5 Earthquake disaster prevention

Author (s)	Title
NRCDP	Data of Matsushiro Earthquake Swarm (3)—Figures and Tables Relative to Groundwater—
T.Tanaka, T.Saito and H.Iida	Report on Yawing Control of Large-Scale Earthquake Simulator
Y.Tsuji	Supplementary Data on Historical Earthquakes and Tsunamis in Japan
T.Tsuji	General Aspects of Earthquake Resistance of PRC/Buildings Damaged in Tangshan Earthquake and Urban Control Earthquake Disaster
Y.Tsuji	Historical Materials on Earthquakes and Tsunamis in Kochi Prefecture
Y.Tsuji	Historical Materials on Earthquakes and Tsunamis on Kii Peninsula
H.Suzuki, R.Ikeda, T.Mikoshiba, S.Kinoshita, H.Sato and H.Takahashi	Deep Well Logs in the Kanto-Tokai Area
N.Ogawa and C.Minowa	Three Dimensional Shaking Table Test of Small Scale Model Structures
Y.Tsuji	Historical Materials on Earthquakes and Tsunamis in the Tokai District (II)
NRCDP	Data of Matsushiro Earthquake Swarm (4)—Figures and Tables Relative to Groundwater—
S.Yazaki, S.Kinoshita and K.Terashima	Digitized Data of Strong-Motion Earthquake Records (2)—1980 Central Chiba Prefecture Earthquake—
NRCDP	The Short History of the Large-Scale Shaking Table in Tsukuba
Y.Tsuji, T. Konishi, T.Kinoshita, N.Numano and O.Abe	Survey Sheets of the Heights of the Tsunami Caused by Nihonkai-chubu Earthquake, 1983
S.Yazaki	Digitized Data of Strong-Motion Earthquake Records (3)—E Coast of Kanto Earthquake(1982.5.7), E Off Kanto Earthquake(1982.7.23), Southern Ibaraki Prefecture(1983.2.27)and Western Shizuoka Prefecture Earthquake(1983.3.16)—
Y.Tsuji, Woon Sup Baek, Kyo Sung Chu and Hui Soo An	Report of the 1983 Nihonkai-Chubu Earthquake Tsunami along the East Coast of the Republic of Korea
K.Ohtani, N.Ogawa, C.Minowa and H.Iida	The Inspection Report of the Actuators in the Large-scale Shaking Table at NRCDP
Second Research Section	A Feasibility Study for the Renewal of the Large-Scale Shaking Table (TSUKUBA)—To Tri-axial, Tri-rotational Earthquake Simulator—
NRCDP	Historical Materials on Damaged Earthquakes in Nagano Prefecture

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Review of Research Center for Disaster Prevention	1979	41	1-198	—
ditto	1980	53	1-22	—
ditto	1981	55	1-41	A
ditto	1981	56	1-32	—
ditto	1981	57	1-278	—
	1981	60	1-392	—
ditto	1981	65	1-162	A
ditto	1981	67	1-139	A
ditto	1983	79	1-317	—
ditto	1983	80	1-332	B
ditto	1983	83	1-273	A
ditto	1984	87	1-306	A
ditto	1985	89	1-397	B
ditto	1985	90	1-96	A
ditto	1986	97	1-29	—
ditto	1987	99	1-61	—
ditto	1987	119	1-243	—

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.6 Volcanic disaster prevention

Author (s)	Title
H.Moriwaki, R.Hirobe, T.Kumagai and H.Takahashi	Study of the Accumulated Volcanic Ash Layers of Usu Volcano
S.Kishi	Aerial Photographic Study on the Volcanic Disaster of Usu—State of Damaged Trees One Year after the Eruption—
T.Inokuchi	Gigantic Landslides and debris avalanches on volcanoes in Japan—Case studies on Bandai Chokai and Iwate Volcanoes.
N.Isshiki, H.Takahashi and T.Kumagai	Studies of Volcanic Activities and Their Accompanying Phenomena of Iwo-Jima (Sulphur Island), Volcanic Islands (Part1)
H.Takahashi, T.Kumagai, N.Oyagi, M.Iso, T.Kawano and E.Saito	Studies of Volcanic Activities and Their Accompanying Phenomena of Iwo-Jima (Sulphur Island), Kazan (Volcano) Islands (Part2)
T.Kumagai, K.Tanaka, N.Oyagi, F.Shimizu and S.Kishi	Study on Disasters caused by Ground Deformation related to Activities of Usu Volcano
T.Kumagai, H.Takahashi and N.Oyagi	A Photographic Study on the Disasters caused by Volcanic Ejecta of the Eruption of Usu Volcano, Northern Japan
T.Kinosita and T.Kumagai	Acoustic Study on the Activity of Usu Volcano
T.Kumagai	Data on the Damage caused by Fall Ashes and Mud Flows due to the Eruption of Usu Volcano in 1977
M.Iso, T.Kawano, E.Saito and H.Takahashi	The Second Crustal Movement Survey in Iwo-jima
G.Endo, Kum Huijun, O.Akiba, H.Takahashi, T.Kumagai and N.Oyagi	Subsurface Geologic Structure by Electric Survey in Iwo-jima, Kazan-retto
Y.Okada, H.Sato, S.Kinoshita, M.Ukawa and S.Noguchi	Crustal Activity Related to the Eruption of the Miyakejima Volcano, October 1983
S.Kishi	Detection of the Area Covered by the Volcanic Products from LAND-SAT Data Relating to the Eruption of Miyakejima Volcano in 1983
T.Kumagai, K.Tanaka and S.Kishi	Disasters Caused by Activities of Miyakejima Volcano in 1983
S.Uehara, T.Kumagai, H.Takahashi, M.Takahashi, S.Kishi and S.Yazaki	Developmental Study on New Airborne Multi-spectral Scanner System Specifically Oriented to Thermal Observation of Volcano (First Report)
S.Uehara, T.Kumagai, H.Takahashi, M.Takahashi, S.Kishi and S.Yazaki	Developmental Study on New Airborne Multi-spectral Scanner System Specifically Oriented to Thermal Observation of Volcano (Second Report)
S.Kishi and H.Nakano	Land-cover Classification and Measurement of Each Area Covered by the Volcanic Products using LANDSAT MSS Data about the Eruption of Miyakejima Volcano in 1983
K.Tanaka, S.Kishi and T.Kumagai	Slope Map of Miyakejima Volcano
S.Uehara, T.Kumagai, H.Takahashi, M.Takahashi, S.Kishi, S.Yazaki, A.Tanaka and S.Kitamura	Developmental Study of a New Airborne Multi-spectral Scanner System Specifically Oriented to Thermal Observation of Volcanoes (Third Report)

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1979	22	83-92	A
ditto	1980	24	183-191	A
ditto	1988	41	163-275	A
Research Notes of the National Research Center for Disaster Prevention	1976	23	1-64	—
ditto	1977	25	1-51	A
ditto	1980	41	9-17	A
ditto	1980	41	19-65	A
ditto	1980	41	67-74	A
ditto	1980	41	75-124	—
ditto	1983	50	5-20	A
ditto	1983	50	21-64	A
ditto	1984	51	3-18	A
ditto	1984	51	19-27	A
ditto	1984	51	29-62	A
ditto	1984	62	1-106	A
ditto	1984	63	1-40	A
ditto	1985	69	3-16	A
ditto	1985	69	17-27	A
ditto	1985	70	1-48	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.6 Volcanic disaster prevention

Author (s)	Title
S.Uehara, T.Kumagai, T.Miwa, H.Genda, K.Kamo and S.Kitamura	Developmental Study on New Airborne Multi-spectral, Scanner System Specifically Oriented to Thermal Observation of Volcano (Fourth Report) —Observation of Corrosion on the Mirror Surfaces of Test Pieces Due to Exposure in Volcanic Gases by Means of Electron Microscope—
S.Uehara, T.Kumagai, H.Takahashi, K.Takemura and S.Tsutsumi	Developmental Study on New Airborne Multi-spectral Scanner System Specifically Oriented to Thermal Observation of Volcanoes (Fifth Report)
S.Uehara, S.Yazaki, T.Kumagai, S.Kishi and H.Takahashi	Developmental Study on New Airborne Multi-spectral Scanner System Specifically Oriented to Thermal Observation of Volcanoes (Sixth Report) —Analysis of the Thermal Distribution of Sakurajima Volcano Body Using the Data Taken from a Helicopter Loaded MSS and Landsat TM—
E.Fukuyama	Relationship between Saw-Teeth-Shaped (SYT) Tilt Change Observed at Izu-Oshima Volcano and Its Volcano Activities
NRCDP	Observational Data of Volcanic Activities No.1 (Iwojima and Kirishima Volcanoes)
T.Kumagai and H.Suzuki	Observational Data of Volcanic Activities No.2 (Iwojima and Kirishima Volcanoes)
T.Kumagai and H.Suzuki	Observational Data of Volcanic Activities No.3 (Iwojima and Kirishima Volcanoes)
T.Kumagai and H.Suzuki	Observational Data of Volcanic Activities No.4 (Iwojima and Kirishima Volcanoes)
H.Takahashi, T.Kinosita, N.Kishii, K.Nakane and M.Kominami	Table of Meteorological, Hydrological and Oceanographic Observation by National Research Center for Disaster Prevention

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Research Notes of the National Research Center for Disaster Prevention	1985	71	1-37	A
ditto	1986	73	1-32	A
ditto	1987	76	1-33	A
ditto	1988	77	1-14	A
Review of Research for Disaster Prevention	1982	74	1-135	A
ditto	1984	88	1-105	A
ditto	1985	95	1-89	A
ditto	1986	108	1-147	A
ditto	1988	127	1-311	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.7 Landslide disaster prevention

Author (s)	Title
N.Oyagi, T.Uchida and H.Suzuki	Clay Minerals of Weathering-Zone in Kamo-Daito Granodiorite Region (Report I) ;Clay Minerals and Their Formation Sequence in Weathering
M.Oishi and T.Mizutani	On the Topographical Factors of Flood Loading with Detritus on Fan-Surface
K.Yuhara, K.Nishimura, K.Iwasaki, T.Okubo and O.Kawamoto	Mechanism of the Yazu Landslide in Niigata Prefecture
T.Mizutani	Theoretical and Morphometrical Analysis of the Erosional Development of Mountain Slopes and Valleys
R.Hirobe	A New Equation for Calculation of the Bonding Force at a Contact Points of Soil Particles
H.Terashima, H.Moriwaki, T.Fukuzono, K.Nakane and M.Tominaga	An Experimental Study on the Mechanism of Slope Failure Caused by Rainfall(I)
K.Nakane	Study on Short-Range Photogrammetry with 16-mm Movie Camera for Observation of Sediment Flow
M.Tominaga	Measurement of Water Movement through Soil—Water Velocity Measurement using Sinusoidal Heat Input—
M.Tominaga	Measurement of water Movement through Soil—Mathematical Development of Heat Conduction in Porous Media—
F.Shimizu	Distribution and its Survey Method of Potential Material of Landslide in High Mountain Areas
H.Moriwaki	On the Process of Slope Failure (I)—An Experiment of Surficial Slide by Artificial Rainfall—
R.Hirobe, T.Furuya and Y.Nakayama	The Investigation of the Stability of Soil Slope
K.Tanaka	Some Applications of the Schmidt Projection to Landslides
T.Fukuzono	On the State of Internal Stress at Slope Failure Caused by Rainfall
M.Tominaga	An Experiment of Infiltration in Large Scale Ground Models
M.Tominaga	Experiments on Rain Infiltration in Soil (2)—Mathematical development of specific resistance of mixed materials for measurement of soil-water content—
M.Tominaga	Experiments on Rain Infiltration in Soil (3) Dynamic characteristics of rain infiltration and ground water flow—
M.Higashiura and O.Abe	Field Investigation of a Landslide that occurred at Takinosawa, Ohkura-mura, Mogami-gun, Yamagata-ken
H.Terashima, S.Shindo, Y.Tanaka and T.Inokuchi	A Failure Experiment of the Slope with Internal Smooth Plane
H.Moriwaki and T.Inokuchi	Landslide Distribution in the Neogene Region of the Kuji District, Ibaraki Prefecture
H.Ohkura	An Algorithm for Computing Soil Moisture Content with Hysteresis
M.Tominaga	Measurement of Soil-Water Content by Specific Resistance
M.Tminaga	Measurement of Water Movement through Soil

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1969	2	21-44	A
ditto	1969	2	45-55	A
ditto	1971	7	1-22	A
ditto	1974	8	1-46	B
ditto	1976	13	31-34	A
ditto	1976	15	75-88	A
ditto	1976	16	83-96	A
ditto	1976	16	97-104	B
ditto	1976	16	105-111	B
ditto	1978	19	27-42	A
ditto	1978	19	51-64	A
ditto	1978	19	65-78	A
ditto	1978	20	89-99	A
ditto	1978	20	101-122	A
ditto	1978	20	123-135	A
ditto	1980	23	131-139	B
ditto	1980	23	141-184	B
ditto	1980	23	271-286	A
ditto	1980	24	111-124	A
ditto	1980	24	125-144	A
ditto	1981	25	127-141	A
ditto	1982	27	171-181	B
ditto	1982	27	183-191	B

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.7 Landslide disaster prevention

Author (s)	Title
T.Fukuzono and H.Terashima	Experimental Study of the Process of Failures in Cohesive Soil Slope Caused by Rainfall
M.Tominaga	A New Approach to the Heat Conduction Equation of Mixed Material and Its Application to Soil Systems—Direct Measurement of Soil-water Flow(1)—
T.Inokuchi	Gigantic Landslides and Debris Avalanches on Volcanoes in Japan—Case studies on Bandai Chokai and Iwate Volcanoes
N.Oyagi and T.Kumagai	Investigation on Landslides Caused by Precipitation in Tokyo on 3 May 1965
H.Iijima	On the Mechanism of the Accidental Fly-Ash Flow at Hisasue, Kawasaki city, Kanagawa Prefecture
H.Iijima	Some Proposals of the Investigation Method for the Stability of Natural Slopes under Heavy Rainfall
T.Kumagai, H.Takahashi and N.Oyagi	A Photographic Study on the Disasters caused by Volcanic Ejecta of the Eruption of Usu Volcano, Northern Japan
Zhang Xuedong	Experimental study on the relations between the surface flow and the rain infiltration in slope model
NRCDP	Regional and Seasonal Distributions of Landslides from 1949 to 1959 and the Tendency of Precipitation in Japan
Y.Nishikawa	(A)On the Characteristics of Mountainous Disasters Caused by the Typhoon No.26 of 1966
F.Shimizu, N.Oyagi and T.Inokuchi	Landslide Maps, Part 1
T.Fukuzono	Data of Surface Runoff Experiments with The Large-Scale Rainfall Simulator (I)—Experimental Study on the Effect of Channel Densities to Runoff Patterns—
F.Shimizu, N.Oyagi and T.Inokuchi	Landslide Maps, Part 2
F.Shimizu, N.Oyagi and T.Inokuchi	Landslide Maps, Part 3
F.Shimizu and N.Oyagi	Landslide Maps, Part 4
F.Shimizu and N.Oyagi	Landslide Maps, Part 5
F.Shimizu and N.Oyagi	Landslide Maps, Part 6
T.Ikarashi	Damage by Landslides, Slope Failures and Rock Falls of Japan in 1985—Disaster by Slope Failures at Tamanoki(Niigata-ken)—
M.Tominaga and N.Oyagi	Landslides in the Appalachian Region

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1982	29	103-122	A
ditto	1985	35	229-239	B
ditto	1988	41	163-275	A
Research Notes of the National Research Center for Disaster Prevention	1965	2	1-6	—
ditto	1966	4	1-12	—
ditto	1968	7	1-9	A
ditto	1980	41	9-17	A
ditto	1984	56	1-15	A
Review of Research for Disaster Prevention	1967	2	1-62	—
ditto	1971	13	1-49	A
ditto	1982	69		A
ditto	1983	82	1-287	A
ditto	1984	85		A
ditto	1985	96		A
ditto	1986	109		A
ditto	1987	116		A
ditto	1988	125		A
ditto	1988	126	1-44	A
ditto	1988	132	1-105	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.8 Snow and ice disaster prevention

Author (s)	Title
T.Ariga	Some Comments on the Snow-Removal Planning of Road from the Viewpoint of Running Speed of Motorcar
Y.Tanaka, S.Takahasi and T.Kobayashi	Snow-Removal Capacity of Gutter Systems
H.Saito and M.Shimizu	Diurnal Variation of Snowfall in Nagaoka City
H.Saito	Visibility in Snow Storms
T.Kimura	Snow Cover Detection by Low Frequency Sound
T.Kimura	Snow Cover Detection by Ultrasonic Waves
T.Kimura and M.Shimizu	Detection of Snow Surface with a Small-sized Photo Transistor
M.Higashiura	Snow Melting on Roofs by Sprinkling Ground Water
Y.Fujinawa, K.Okada and I.Watabe	Some Properties of Surf Beats, Part 2
Y.Tsuji	KdV Equation for the Internal Waves Propagating in the Two-Layered Sea on an Uneven Bottom
G.Naito	Direct Measurements of Momentum and Sensible Heat Transfers in the Atmospheric Boundary Layer Near the Sea Surface
Y.Yamada	On a New Method for Snow Gliding Measurement—Gear-Type Glide Meter
H.Nakamura	Experimental Study on the Most Reasonable Amount of Ground Water to be Sprinkled for Melting the Freshly Fallen Snow on the Road
T.Kimura and M.Shimizu	Preliminary Experiment for the Melting of Snow on the Roof by the Use of Solar Energy
T.Nakamura, H.Nakamura, M.Higashiura and O.Abe	Test on Snow Plough of New Type
T.Nakamura and O.Abe	Observations on Vertical Profiles of the Snow Cover on Roofs and Melting at the Bottom of the Snow Cover
H.Nakamura	A New Apparatus to Produce Fresh Snow
H.Nakamura	Change in Density of Blocks of New Snow Before and After the Collision Against Natural Snow Surface
H.Nakamura and O.Abe	Density of the Daily New Snow Observed in Shinjo
O.Abe	Two Kinds of Tools for Cutting Ice and Compressed Snow into a Precisely Rectangular Shape
T.Kobayashi	The Temperature and the Density Dependences on Hardness of Artificially Compacted Snow
T.Nakamura	Mechanical Properties of Impure Ice Single Crystals at High Temperatures
T.Ikarashi	The Frequency of Avalanche Release in Niigata Prefecture
M.Higashiura, T.Nakamura, M.Higashiura, T.Nakamura, H.Nakamura and O.Abe	An Avalanche Caused by an Earthquake

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1969	3	1-14	A
ditto	1969	3	55-68	A
ditto	1971	5	25-31	A
ditto	1971	5	33-40	A
ditto	1971	5	41-49	A
ditto	1971	5	51-58	A
ditto	1974	9	33-46	A
ditto	1977	17	215-225	B
ditto	1977	17	111-166	A
ditto	1977	17	167-188	A
ditto	1977	17	189-213	A
ditto	1977	18	85-115	A
ditto	1977	18	117-147	A
ditto	1978	19	191-199	A
ditto	1978	19	201-218	A
ditto	1978	19	219-228	A
ditto	1978	19	229-237	A
ditto	1978	19	239-242	A
ditto	1978	19	243-250	A
ditto	1978	19	251-260	A
ditto	1978	20	267-292	A
ditto	1978	20	293-324	A
ditto	1979	21	89-102	A
ditto	1979	21	103-112	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.8 Snow and ice disaster prevention

Author (s)	Title
T.Yagi and H.Seino	Size Distribution and Z-R Relationship of Snow Particles Observed in Nagaoka, I
R.Hirobe and T.Ikarashi	Unconfined Compression Test of Frozen Sandy Soil
T.Nakamura	Local Features of Snow Cover of Japan in January
T.Yagi and H.Uyeda	Size Distribution and Z-R Relationship of Snow Particles Observed in Nagaoka, II
H.Uyeda and T.Yagi	Measurement of the Fall Velocity of Snowflakes in Nagaoka and its Application to the Z-R Relation
Y.Yamada and T.Ikarashi	Study on the Snow Cover Stratigraphy in the Uono Basin by Rammsonde
H.Nakamura	Experimental Examination of Utility of Snow Melting Method Using Hot Water Left After Bath
O.Abe, T.Nakamura and H.Nakamura	On Measurements of Solar Radiation, Collection of the Solar Energy and Feasibility for the Snow Melting by the Energy in Winter of Shinjo Area
H.Nakamura, O.Abe and T.Nakamura	Impact Forces of Snow Blocks Sliding down from Roof against Walls. I
R.Sakurada and H.Kuriyama	A Thermodynamical Study on Compression Properties of Snow
K.Isobe, T.Kobayashi and H.Miyamura	Studies on the Cutting Resistance of Compacted Snow in Cold Room
N.Numano and M.Higashiura	Some Problems of the Winter Life in Snowy Towns and the Factors Acting on Them—From a Research on the Inhabitants of Shinjo City—
Y.Nohguchi	Mathematical Model of Snow Gliding
Y.Yamada and T.Ikarashi	Internal Freezing of Snow Cover due to its own Cold Heat Sources
Y.Nohguchi	Traveling Path of Snow Avalanche on Model Configuration
Y.Nohguchi	Observation of Horizontal Variations of Snow Type by Rammsonde
M.Matsuo, M.Matsui and T.Kimura	Improvement of Gamma-ray Scattering Snow-density Meter
T.Kimura	Observation of Water Equivalent of Snow Cover by Metal Wafer
T.kimura	Improvement of Gamma-ray Scattering Snow-density Meter by Spot-type Gamma-ray Source
T.Nakamura, M.Higashiura and O.Abe	Residual Snow Area Change on Mt.Chokai Analyzed by the Use of the RANSDAT Imagery
T.Nakamura, O.Abe, H.Nakamura, M.Higashiura and N.Numano	Comparison of the Roof Snow Depth on Three Different Types of Buildings with the Ground Snow Depth
O.Abe and T.Nakamura	Wind Effect on the Daily New Snow Depth on Flat Roofs
N.Numano	A Study of "Viewpoints on Snow Damage" of Inhabitants in a Snowy Local City
Y.Nohguchi	Formation of Dimple-Pattern on Snow I
Y.Nohguchi	Formation of Dimple-Pattern on Snow II

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1979	22	49-61	A
ditto	1979	22	167-173	A
ditto	1979	22	175-177	B
ditto	1980	23	29-38	A
ditto	1980	23	39-46	A
ditto	1980	23	215-229	B
ditto	1980	23	231-243	A
ditto	1980	23	245-270	A
ditto	1981	25	169-189	A
ditto	1981	26	89-103	B
ditto	1981	26	105-131	A
ditto	1982	27	279-301	A
ditto	1983	30	189-206	A
ditto	1983	31	129-152	A
ditto	1983	31	153-174	A
ditto	1983	31	175-189	A
ditto	1983	31	191-201	A
ditto	1983	31	203-217	A
ditto	1984	32	35-43	A
ditto	1984	32	45-53	A
ditto	1984	32	55-72	A
ditto	1984	32	73-87	A
ditto	1984	32	89-105	A
ditto	1984	33	237-254	A
ditto	1984	33	255-275	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.8 Snow and ice disaster prevention

Author (s)	Title
T.Nakamura, H.Nakamura and O.Abe	An Accident due to a Small Snow Avalanche which Occurred on 22 April, 1984 at Nishikawa-machi, Yamagata-ken
T.Nakamura, O.Abe, N.Numano and T.E.Lang	Computer Study of Startup Dynamics on Wet Snow Avalanches
H.Kuriyama, I.Nohara and T.Kobayashi	Studies on the Snow Removing Power of the Rotary Snow Removing Equipment(1)—The Measurements of the Snow Removing Power—
T.Nakamura	An Example of Measurement of the Density of Newly Fallen Snow at Sendai
H.Kuriyama	The Characteristics of the Casualties due to Snow in the Snowy Area
M.Maki and T.Yagi	Radar Observations of Snowfall in 1986 over the Shinjo Basin—Features of Vertical Structures
Y.Yamada	On the Dunudation of Surface Avalanche
Y.Nohguchi	Traveling Path of Snow Avalanche on Real Configuration II
Y.Nohguchi	Equation for Avalanche Motion Restricted by a Diversion Barrier
A.Sato	Experimental Study of Plastic Wave Velocity in Snow
A.Sato	Calculation of Size-effect of Blowing Snow Particles on the Snow Particle Counter (First Report)
K.Kumagai, I.Nohara	Studies on a practical use of snow melting system by using the heat of ground water through pipes
H.Nakamura	Studies on the Settlement Force of Snow as a Generation Mechanism
T.Osada, S.Mikazuki and T.Kobayashi	Snow Pressure Acting Upon a Fixed Beam Under the Snow by the Total of Daily New Snowfall Depth
M.Iigashiura and O.Abe	Profile Observations of Snow Cover on Level Land in Shinjo City During the Winter of 1973—1974
M.Sugawara, E.Ozaki, Y.Katsuyama and I.Watanabe	Runoff Analysis of Snowy Mountainous Regions in Japan
O.Watanabe, T.Ikarashi and Y.Yamada	On the Great-Sphere Snow Cover Conditions Over the District Centering around Niigata Prefecture in the Winter Season of 1976/77
R.Hirobe, Y.Yamada and T.Ikarashi	The Investigation to the Disasters by Snow in the Winter Season of 1977/1978
R.Hirobe, Y.Yamada and T.Ikbrashi	Trial Production of a Warning System of Avalanches—SYSTEM OJIYA I—
H.Kuriyama	Prevention of Adhesion of Snow on the Road and the Traffic Signs in the Wet Snowy Area (By the Use of Functional Fluoro-high-polymer)
T.E.Lang	Computer Programs for Avalanche Runout Prediction
T.E.Lang, N.Numano and O.Abe	Local Orthotropic, Planar Elasticity Computer Program
T.E.Lang and T.Nakamura	Finite Element Computer Analysis of Snow Settlement
T.Nakamura and K.Kenmotsu	Daily Change of Snowpack at Near Melting Point
Institute of Snow and Ice Studies, Nagaoka	Profile Observational Data of Snow Cover in Nagaoka City (1965—1969)

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster prevention	1985	34	73-87	A
ditto	1985	34	89-109	B
ditto	1985	35	241-276	A
ditto	1985	35	335-343	A
ditto	1985	36	79-94	A
ditto	1987	39	1-17	A
ditto	1987	39	115-131	A
ditto	1987	39	133-152	A
ditto	1987	39	153-162	A
ditto	1987	39	183-196	B
ditto	1987	40	339-342	A
ditto	1988	41	285-309	A
ditto	1988	41	361-385	B
Research Notes of the National Research Center for Disaster Prevention	1975	13	1-36	A
ditto	1975	13	37-54	—
ditto	1975	17	1-38	B
ditto	1978	29	1-85	A
ditto	1978	32	1-60	A
ditto	1979	39	1-12	A
ditto	1984	52	1-19	A
ditto	1984	59	1-79	B
ditto	1984	59	81-137	B
ditto	1984	59	139-187	B
ditto	1984	60	1-47	A
Review of Research for Disaster Prevention	1970	8	1-58	—

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.8 Snow and ice disaster prevention

Author (s)	Title
T.Nakamura and Y.Yamada	Data on Destructive Avalanches in Japan Reported to Unesco
T.Ikarashi, M.Shimizu, T.Kobayashi and Y.Yamada	Data on Snow Cover in Nagaoka (December 1964—March 1976)
NRCDP	Destructive Avalanches in Japan (No.1)—Of Yamagata-ken (1929-1975), Niigata-ken (1945-1974) and a Whole Country (1927-1976)—
M.Shimizu, T.Kobayashi, H.Miyamura, Y.Yamada and T.Ikarashi	Data on Snow Cover in Nagaoka (2) (November 1976—April 1978)
M.Higashiura, H.Miyamura, Y. Yamada, T.Ikarashi and T.Kobayashi	Observation on Vertical Profiles of Physical Properties of Snow Cover on the Ground Surface at Shinjo City During the Winter of 1974 to 1975
T.Kobayashi, H.Miyamura, Y.Yamada, T.Ikarashi and M.Shimizu	Data on Snow Cover in Nagaoka (3) (November 1978-March 1979)
H.Miyamura, Y.Yamada, T.Ikarashi, M.Shimizu and T.Kobayashi	Data on Snow Cover in Nagaoka (4) (November 1979-April 1980)
Institute of Snow and Ice Studies	Data on Snow Cover in Nagaoka (5) (December 1980—April 1981)
M.Higashiura, O.Abe and N.Numano	Profile Investigation of Physical Properties of Snow Cover on the Ground Surface at Shinjo City During 5 Winter Periods of 1975 to 1980
M.Higashiura	Observational Data of Groundwater in the Shinjo Basin (II) —Shallow groundwater level and water temperature (1976-1980)—
N.Numano	Snow Damages and their Countermeasures of Municipalities in the Snowy Area of Japan(I) —Two Winter Seasons of 1978 to 1979, and 1979 to 1980—
Institute of Snow and Ice Studies	Data on Snow Cover in Nagaoka (6) (November 1981—March 1982)
N.Numano	Snow Damages and their Countermeasures of Municipalities in the Snowy Area of Japan (II)—A Winter Season of 1980 to 1981—
Institute of Snow and Ice Studies	Data on Snow Cover in Nagaoka (7) (November 1982—April 1983)
Institute of Snow and Ice Studies	Data on Snow Cover in Nagaoka (8) (October 1983—April 1984)
T.Ikarashi	Damase Caused by the Snow in the 1983/84 Winter in Niigata Prefecture
T.Ikarashi	Profile Observational Data of Snow Cover in Nagaoka City (1983-1984)
N.Numano	Snow Damages and their Countermeasures of Municipalities in the Snowy Area of Japan (III) —Two Winter Seasons of 1981 to 1982, and 1982 to 1983—
Y.Yamada, T.Ikarashi, Y.Nohguchi, T.Kimura, M.Shimizu, I.Nohara and T.Kobayashi	Data on Snow Cover in Nagaoka (9) (November 1984—April 1985)

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Review of Research for Disaster Prevention	1975	22	1-68	—
ditto	1976	25	1-50	A
ditto	1977	27	1-94	A
ditto	1978	31	1-21	A
ditto	1979	37	1-95	A
ditto	1979	43	1-12	A
ditto	1980	54	1-12	A
ditto	1981	64	1-11	A
ditto	1982	70	1-103	A
ditto	1982	71	1-90	A
ditto	1982	72	1-247	A
ditto	1982	75	1-10	A
ditto	1983	76	1-126	A
ditto	1983	84	1-11	A
ditto	1984	91	1-13	A
ditto	1984	92	1-32	A
ditto	1984	93	1-90	A
ditto	1985	94	1-266	A
ditto	1985	100	1-12	A

Notes: A; (In Japanese essay with English abstracts.
B; \ In English essay with English abstracts.

4.8 Snow and ice disaster prevention

Author (s)	Title
T.Ikarashi	Profile Observational Data of Snow Cover in Nagaoka City (1984—1985)
T.Ikarashi	Snow Damage in Winter of 1984/85 in Niigata and Nagano Prefectures
O.Abe, H.Nakamura, M.Higashiura, N.Numano and T.Nakamura	Ten Winter Season's Meteorological Data Observed at the Shinjo Branch of the NRCDP, Yamagata, Japan (1974/75 Winter to 1983/84 Winter)
O.Abe, H.Nakamura, M.Higashiura, N.Numano and T.Nakamura	Snow Depth, Newly Fallen Snow Depth and Weather Observed for Ten Winter Seasons at the Shinjo Branch of the NRCDP, Yamagata, Japan (1974/75 Winter to 1983/84 Winter)
T.Ikarashi	Profile Observational Data of Snow Cover in Nagaoka City (1985—1986)
T.Kimura, M.Shimizu, I.Nohara, T.Kobayashi Y.Yamada, T.Ikarashi and Y.Nhguchi Y.Nhguchi	Data on Snow Cover in Nagaoka (10) (November 1985—April 1986)
Y.Yamada	Outline of the Nou Catastrophic Avalanche Disaster
T.Ikarashi	Profile Observation of Snow Cover at the Place Damaged by Avalanche
Y.Yamada	On the Characteristics of Fresh Avalanche Debris
T.Ikarashi	Snow Damage in Winter of 1985/86
M.Kumagai, T.Kobayashi, T.Kimura, M.Shimizu, Y.Yamada, T.Ikarashi and Y.Nohguchi	Data on Snow Cover in Nagaoka (11) (November 1986—April 1987)
T.Ikarashi	Profile Observational Data of Snow Cover in Nagaoka City (1986—1987)
T.Ikarashi	Damage by Landslides, Slope Failures and Rock Falls of Japan in 1985 —Disaster by Slope Failures at Tamanoki (Niigata-ken)—
H.Takahashi, T.Kinosita, T.Kishii, K.Nakane and M.Kominami	Table of Meteorological, Hydrological and Oceanographic Observation by National Research Center for Disaster Prevention
T.Ikarashi and M.Miyamoto	Snow Damage in Winter of 1986/87
T.Ikarashi, Y.Yamada, M.Nakao, M.Shimizu, M.Kumagai and T.Kobayashi	Data of Snow Cover in Nagaoka (12) (November 1987—April 1988)
T.Ikarashi	Profile Observational Data of Snow Cover in Nagaoka City (1987.12 —1988.4)
O.Abe, H.Nakamura, N.Numano, M.Higashiura, A.Sato and T.Nakamura	Profile Investigation of Physical Properties of Snow Cover at Shinjo City During 8 Winter Periods of 1980 to 1988

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Review of Research for Disaster Prevention	1985	102	1-86	A
ditto	1985	104	1-109	A
ditto	1985	105	1-121	A
ditto	1985	106	1-76	A
ditto	1986	114	1-140	A
ditto	1987	115	1-12	A
ditto	1987	117	1-12	A
ditto	1987	117	13-25	A
ditto	1987	117	27-32	A
ditto	1987	118	1-118	A
ditto	1987	120	1-13	A
ditto	1988	122	1-72	A
ditto	1988	126	1-44	A
ditto	1988	127	1-311	A
ditto	1988	128	1-97	A
ditto	1988	129	1-15	A
ditto	1988	130	1-94	A
ditto	1988	131	1-138	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.9 Coastal disaster prevention

Author (s)	Title
W.Inada and I.Watabe	Capacitance-Type Ocean Wave Meter
Y.Fujinawa	On the Relation between Wave Height and Water Pressure of Gravity Waves (I) ; Wave Attenuation with Depth
J.Kondo and I.Watabe	Seasonal Changes of Vertical Profile of Water Temperature and Evaporation from Deep Lakes
J.Kondo and G.Naito	Numerical Experiment on Diurnal Changes of the Soil and Air Temperatures near the Earth's Surface
N.Iwata and T.Tanaka	Spectral Development of Wind Waves
N.Iwata, W.Inada, T.Tanaka and I.Watabe	Ocean Wave Statistics and Spectrum Width Parameter (I)
J.Kondo, W.Inada, G.Naito and I.Watabe	Preliminary Study on Wind, Sea Water Temperature and Wave Height at the Coast of Hiratsuka
N.Iwata, T.Tanaka and I.Watabe	Swells Generated by a Typhoon
N.Iwata, W.Inada and I.Watabe	Ocean Wave Statistics and Spectrum Width Parameter (II)
Y.Fujinawa	A Model of Turbulence : Statistical Treatment of an Ensemble of Vortex Filaments
Y.Fujinawa	"Overshooting" in Wind-Generated Waves
N.Iwata	Similarity of the Spectral Form of Wind Waves in Earlier Stages of Their Development
J.Kondo	Prediction of Air and Soil Temperatures Near the Earth's Surface
J.Kondo, Y.Fujinawa and G.Naito	Observation of High Frequency Ocean Waves and Its Relation to the Aerodynamic Roughness : Data and Instruments
J.Kondo, G.Naito, Y.Fujinawa and I.Watabe	Scale of Turbulence in Horizontal Wind Component Near the Sea Surface
J.Kondo	Air-Sea Bulk Transfer Coefficients in Diabatic Conditions
J.Kondo, G.Naito and Y.Fujinawa	Wind-Induced Current in the Uppermost Layer of the Ocean
G.Naito and J.Kondo	Cross-Correlation of the Horizontal Wind Speed Fluctuations and a Three-Dimensional Model of Turbulent Eddy Above the Sea Surface
Y.Fujinawa	Observation of Directional Spectrum of Wind Waves
Y.Fujinawa	A Model on the Mechanism of the Turbulent Momentum Transfer to Water Waves
Y.Tsuji	Decay Time of Internal Waves Propagating in the Oceanic Thermocline
Y.Sugimori	Two-Dimensional Surface Wave on the Shearing Current
G.Naito, Y.Tsuji and I.Watabe	Transfer of the Fluxes of Momentum, Sensible Heat and Latent Heat, and the Radiation Flux in the Sea Area South of the Nansei Islands in Winter—Report of the AMTEX '74
Y.Tsuji	Partial Reflection of Long Period Wave Propagating in the Sea Region of Continental Slope

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1969	2	57-68	A
ditto	1969	2	69-74	A
ditto	1969	2	75-88	A
ditto	1969	2	89-105	A
ditto	1970	4	1-21	A
ditto	1970	4	23-43	A
ditto	1970	4	45-64	A
ditto	1971	5	59-79	A
ditto	1971	5	81-87	A
ditto	1971	5	89-95	A
ditto	1971	5	97-103	B
ditto	1971	7	35-45	A
ditto	1971	7	47-67	A
ditto	1974	10	1-23	A
ditto	1974	10	25-40	A
ditto	1974	10	41-65	A
ditto	1974	10	67-82	A
ditto	1974	10	83-96	A
ditto	1975	11	1-30	A
ditto	1975	11	31-47	A
ditto	1975	11	49-66	A
ditto	1976	13	75-87	B
ditto	1976	14	1-35	A
ditto	1976	15	145-157	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.9 Coastal disaster prevention

Author (s)	Title
Y.Fujinawa, K.Okada and T.Watabe	Some Properties of Surf Beats, Part 1
Y.Sugimori	A Study of Generation of Shallow Water Waves over the Continental Shelf
G.Naito	Space Correlations of Wind Velocity and Air Temperature Fluctuations in the Atmospheric Boundary Layer above the Ocean
Y.Fujinawa, I.Matsumoto and I.Watabe	On the Phase Velocity of Gravity-Capillary Waves
Y.Fujinawa	An Edge Wave Trapped Along a Curved Coast
Y.Fujinawa, I.Matsumoto and I.Watabe	An Directional Spreading of Short Gravity Waves
G.Naito, M.Tokuda and I.Watabe	Remote Sensing Experiments of Ocean Winds Using the Microwave Scatterometer
A.Takeda	An Analysis of Wind Fields over the Ocean from Data taken by a Microwave Scatterometer on SEASAT
Y.Tsuji	On the High Tide and wind waves caused by Typhoon 7920
M.Tokuda, G.Naito, T.Tsuji and I.Watabe	Observations of Ocean Waves in Sagami Bay Using the Pressure type Wave Meter, I
M.Tokuda and S.Eguchi	Buoy Techniques for Obtaining Directional Wave Spectra
H.Uyeda and T.Yagi	Observation of Sea Fogs at Kushiro in Eastern Hokkaido
G.Naito	Space Correlations of Wind Velocity and Air Temperature Fluctuations in the Atmospheric Boundary Layer above the Ocean (II)
M.Tokuda	A New Method for Measuring the directional Wave Spectrum of Wind Wave using an Array of Three Wave Detectors—I
M.Tokuda	A new Method for Measuring the directional Wave Spectrum of Wind Wave using an Array of three Wave Detectors—II
M.Tokuda, I.Watabe and S.Eguchi	Characteristic of Ocean Waves in Sagami Bay II
T.Kinosita, T.Konishi and Y.Tsuji	Magnification Factor for Tsunami Risk Evaluation
G.Naito, I.Watabe and M.Tokuda	Remote Sensing Experiments of Ocean Winds Using the Microwave Scatterometer (II)
T.Konishi and T.Kinosita	Studies on the River Invasion of the Storm Surges (II)
Y.Tsuji and T.Konishi	Tsunamis in the Japan Sea with Numerical Calculation
Y.Tsuji, A.Takeda and T.Konishi	Tidal Anomalies Induced by the Typhoons 8210 and 8218
G.Naito	Turbulent Characteristics of Ocean Winds during Typhoon Passages
A.Takeda	The Tsunami Stone at Raga—A Result of Leveling of the Old Tide Trace due to the Meiji-Sanriku Tsunami in 1896

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1976	15	159-191	A
ditto	1976	15	193-209	B
ditto	1978	19	167-189	A
ditto	1978	20	245-265	A
ditto	1979	21	75-88	A
ditto	1980	23	185-192	A
ditto	1980	23	193-213	A
ditto	1981	25	143-154	A
ditto	1981	25	155-168	A
ditto	1981	26	133-154	A
ditto	1982	27	247-278	A
ditto	1982	29	69-92	A
ditto	1982	29	137-156	A
ditto	1982	29	157-192	A
ditto	1983	30	167-187	A
ditto	1983	31	219-239	A
ditto	1984	33	15-22	A
ditto	1984	33	277-319	A
ditto	1985	34	13-42	A
ditto	1985	35	277-297	A
ditto	1985	35	299-314	A
ditto	1985	35	315-333	A
ditto	1987	39	163-169	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.9 Coastal disaster prevention

Author (s)	Title
Y.Michida, M.Tokuda, Y.Ueno and H.Ishii	A Tucker Type Ship-borne Wave Recorder II. Comparative Experiments using Visual Observation and a Buoy Wave Meter
M.Tokuda, A.Takeda and I.Watabe	Remote Sensing Experiments of Ocean Wind Waves using an X-band Pulsed Two-frequency Scatterometer—I. Experiments of Directional Ocean Wave Spectra from a Marine Observation Tower
A.Takeda and Y.Tsuji	Discrimination of Flooded Areas Due to Tsunami by Satellite Image Data
M.Tokuda, I.Watabe and A.Takeda	Remote Sensing Experiments of Ocean Wind Waves Using an X-band Pulsed Two-Frequency Scatterometer II, Experiments of Directional Ocean Wave Spectra from an Aircraft
G.Naito	Turbulent Properties and Long-period Spectral Behaviours of Strong Ocean Winds Caused by Developed Cyclones
N.Iwata	A Note on The Wind Stress over Disturbed Sea Surface
M.Tokuda, I.Watabe, T.Hiramoto, F.Ikeda and T.Hasegawa	On the Wind Waves and the Damage of Set Net caused by Typhoon in Sagami Bay
I.Watabe, M.Tokuda	Observation System for Coastal Wave I.Wave Height Observation
M.Tokuda, I.Watabe, K.Horie and H.Sato	Observation System for Coastal Waves II.Directional Wave Spectrum Observation
M.Tokuda and Y.Michida	A Tucker type ship-borne Wave recorder I.A wave measuring system with digital data processing
T.Ariga and T.Mizutani	On the Investigation of the Disasters in a Coastal Area of Suruga Bay, Caused by Typhoon No.6626
Y.Tsuji	Historical Materials on Earthquakes and Tsunamis in the Tokai District (I-1)
Y.Tsuji	Historical Materials on Earthquakes and Tsunamis in the Tokai District (I-2)
I.Watabe and Y.Fujinawa	Wind Wave Observation off Hiratsuka
I.Watabe and M.Tokuda	Wind Wave Observation off Hiratsuka (2)
First Research Division	Regulations on Calamity Danger Districts in Japan—Flood, Tsunami, Storm surge—
I.Watabe and N.Iwata	Unusually High Mean Sea Level in 1980 Observed at Hiratsuka
Y.Tsuji	Supplementary Data on Historical Earthquakes and Tsunamis in Japan
Y.Tsuji	Historical Materials on Earthquakes and Tsunamis in Kochi Prefecture
I.Watabe and M.Tokuda	Wind Wave Observation off Hiratsuka (3)
Y.Tsuji	Historical Materials on Earthquakes and Tsunamis on Kii Peninsula
Y.Tsuji	Historical Materials on Earthquakes and Tsunamis in the Tokai District
Y.Tsuji, T.Konishi, T.Kinosita, N.Numano and O.Abe	Survey Sheets of the Heights of the Tsunami Caused by Nihonkai-chubu Earthquake, 1983

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1987	39	171-182	A
ditto	1987	40	311-338	A
ditto	1987	41	311-319	A
ditto	1987	41	321-340	A
ditto	1987	41	341-359	A
Research Notes of the National Research Center for Disaster Prevention	1966	3	1-6	B
ditto	1984	54	1-51	A
ditto	1984	61	1-24	A
ditto	1984	67	1-33	A
ditto	1986	72	1-32	A
Review of Research for Disaster Prevention	1971	13	19-49	A
ditto	1979	35	1-436	—
ditto	1979	36	1-857	—
ditto	1979	38	1-107	A
ditto	1980	47	1-179	A
ditto	1980	49	1-21	A
ditto	1980	52	1-23	A
ditto	1981	55	1-41	A
ditto	1981	57	1-278	
ditto	1981	59	1-127	A
ditto	1981	60	1-392	—
ditto	1981	77	1-411	—
ditto	1984	87	1-306	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.9 Coastal disaster prevention

Author (s)	Title
Y.Tsuji, Woon Sup Baek, Kyo Sung chu and Hui soo An	Report of the 1983 Nihonkai-Chubu Earthquake Tsunami along the East Coast of the Republic of Korea
I.Watabe and M.Tokuda	Wind Wave Observation off Hiratsuka (4) (Sept. 1980—Aug. 1982)
Hiratsuka Branch	Twenty Years of the Hiratsuka Marine Observation Tower of the National Research Center for Disaster Prevention
I.Watabe and M.Tokuda	Wind Wave Observation off Hiratsuka (5) (Sept. 1982—Aug. 1984)
H.Takahashi, T.Kinosita, T.Kishii, K.Nakane and M.Kominami	Table of Meteorological, Hydrological and Oceanographic Observation by National Research Center for Disaster Prevention

Periodical	Year	No.	Page	Notes
ditto	1985	90	1-96	A
ditto	1985	107	1-129	A
ditto	1986	110	1-111	A
ditto	1987	123	1-125	A
ditto	1988	127	1-311	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.10 Information processing for disaster prevention

Author (s)	Title
M.Sugawara, Y.Katsuyama and H.Yasoshima	On the Possibility of the Real-Time Data Processing of Radar Precipitation Echoes by Digital Computer
M.Sugawara	On the Method of Flood Forecasting of the River Tenryū at Sakuma
M.Sugawara, Y.Katsuyama, H.Yasoshima and E.Ozaki	Programming Examples of a Data Processor (TOSBAC—3400)with High-Speed Analog-to-Digital and Digital-to-Analog Converters (Report I)
M.Sugawara and Y.Katsuyama	On the Existence of Long Cycles in Meteorological Elements ; Spectral Analysis of Meteorological Elements
M.Sugawara, Y.Katsuyama and K.Ohmura	A System Composed of a Central Computer and Weather Radars for Measuring Areal Precipitation
K.Ohmura	Trial Manufacture of a New Input Device of Figures and Its Application
M.Sugawara, Y.Katsuyama, K.Ohmura and T.Fukui	Automatic Detecting Method for Micro-earthquakes
I.Watanabe, Y.Katsuyama, E.Ozaki and T.Fukui	Digitizing of Strong-Motion Earthquake Records by Computer
M.Sugawara,E.Ozaki, I.Watanabe and Y.Katsuyama	Runoff Analysis of the Rivers in Non-humid Regions by Tank Model
I.Watanabe,M.Sugawara, T.Fukui andY.Katsuyama	Automatic Detecting Method for Micro-earthquakes (III)
T.Fukui and T.Morohoshi	Systems Development for Off-line Data Exchange Unit (Report 2)
T.Morohoshi	Digitizing of Strong-Motion Earthquake Records by Computer (II)
S.Yazaki	Automatic-Measurement of Records on Hail-Pad by Computer
K.Nakane	Study on Short-Range Photogrammetry with 16-mm Movie Camera for Observation of Sediment Flow
T.Morohoshi and S.Kishi	Man-machine System for the Retrieval and Display of the Soil Profile
M.Sugawara, E.Ozaki, I.Watanabe and Y.Katsuyama	Method of Automatic Calibration of Tank Model (First Report)
H.Ohkura	An Analysis Method of Saturated-Unsaturated Steady Flow from Rain-fall by Finite Elements
S.Kishi	Simulation of Ground Motion Using the File of Columnar Section of soil —The Application of the Seismic Wave of the Tokyo Strong Earthquake (1894) to the Kawasaki Area
T.Morohoshi	Digitizing of Records of Damped Oscillation on Charts by Computer
M.Sugawara, I.Watanabe, E.Ozaki and Y.Katsuyama	Method of Automatic Calibration of the Tank Model (Second Report)
E.Ozaki and Y.Katsuyama	
H.Kagami and S.Kishi	An Evaluation of Liquefaction Potentials in Kawasaki City using a New Simplified Discrimination Method
Y.Katsuyama, T.Mikoshiba, S.Yazaki and T.Morohoshi	A Basic Software System for Automatic Processing of Data on Disaster Prevention
S.Yazki	Digitizing of Strong-Motion Earthquake Records by Computer (III)
T.Morohoshi and S.Kishi	Study on the Development of Remote Sensing Picture Processing System

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1968	1	1-13	A
ditto	1968	1	15-35	A
ditto	1968	1	37-43	A
ditto	1968	1	45-86	A
ditto	1971	5	1-8	A
ditto	1971	7	23-34	A
ditto	1974	9	1-9	A
ditto	1974	9	11-31	A
ditto	1975	12	1-26	A
ditto	1976	15	33-47	A
ditto	1976	15	49-56	A
ditto	1976	16	29-45	A
ditto	1976	16	47-58	A
ditto	1976	16	83-96	A
ditto	1977	17	31-40	A
ditto	1977	17	43-89	A
ditto	1977	18	51-70	A
ditto	1977	18	71-83	A
ditto	1978	19	101-116	A
ditto	1978	20	157-216	A
ditto	1979	22	101-111	A
ditto	1979	22	113-120	A
ditto	1979	22	121-129	A
ditto	1979	22	131-144	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.10 Information processing for disaster prevention

Author (s)	Title
M.Sugawara,I.Watanabe, E.Ozaki and Y.Katsuyama	Method of Automatic Calibration of Tank Model (Third Report) —Automatic Calibration Program for Flood Analysis—
S.Kishi	Aerial Photographic Study on the Volcanic Disaster of Usu—State of Damaged Trees One Year after the Eruption—
H.Ohkura	An Algorithm for Computing Soil Moisture Content with Hysteresis
M.Sugawara,I.Watanabe, E.Ozaki and Y.Katsuyama	Behavior of Soil Moisture Structure in the Tank Model
M.Sugawara,I.Watanabe, E.Ozaki and Y.Katsuyama	Runoff Analysis of Sanguere Experimental Basins S1-S7 by the Tank Model
M.Sugawara,I.Watanabe, E.Ozaki and Y.Katsuyama	Method of Automatic Calibration of Tank Model (Fourth Report)—Semi -Automatic Procedures to Calibrate the Parameters relating with the Position of Side-outlets, the Soil Moisture Structure and the Intake of Irrigation Water—
T.Mikoshiha and S.Kinoshita	In-House Data Transmission System
M.Sugawara,I.Watanabe, E.Ozaki and Y.Katsuyama Y.Katsuyama	Runoff Anylysis by the Tank Model with Show Model on Six Basins, Data of which are given by WMO for the Intercomparison of Conceptual Models of Snowmelt Runoff
T.Morohoshi	Development of Input System for Columnar Sections of Soil Layers with Microcomputer
M.Sugawara,I.Watanabe, K.Nakane,E.Ozaki and Y.Katsuyama	Runoff Analysis by the Tank Model with Snow Model on Six Basins, Data of which are given by WMO for the Intercomparison of Conceptual Models of Snowmelt Runoff
M.Sugawara, I.Watanabe and E.Ozaki	Forecasting of the Chindwin River, Burma, using the Tank Model
M.Sugawara, E.Ozaki and I.Watanabe	River Forecasting of the Upper Irrawaddy River at Sagaging, Burma, using the Tank Model
M.Sugawara and E.Ozaki	On the Seasonal Pattern of Means of Monthly Mean Temperatures over a Long Period (30 Years)—Comparison Between Japan and Other Coun- tries—
M.Sugawara,I.Watanabe, E.Ozaki and Y.Katsuyama	Tank Model Programs for Personal Computer and the Way to Use
M.Sugawara and E.Ozaki	Method of Automatic Calibration of the Tank Model (Fifth Report) —Automatic or Semi-automatic Procedures to Calibrate the Multiplica- tion Factor of the Precipitation in Snowy Basins—
H.Ohkura, S.Kishi, T.Morohoshi, K.Arai, Y.Ishido and Y.Sato	Data Transmission Experiment of Landsat Data
A.Takeda and Y.Tsuji	Discrimination of Flooded Areas Due to Tsunami By Using Satelite Image Data
M.Tokuda, I.Watabe and A.Takeda	Remote Sensing Experiments of Ocean Wind Waves Using an X-band pulsed Two-Frequency Scatterometer II.Experiments of Directional Ocean Wave Spectra from an Aircraft

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1980	24	159-181	A
ditto	1980	24	183-191	A
ditto	1981	25	127-141	A
ditto	1982	27	193-206	A
ditto	1982	27	207-228	A
ditto	1982	27	229-245	A
ditto	1982	29	123-135	A
ditto	1983	30	85-165	A
ditto	1983	31	111-128	A
ditto	1984	33	187-236	A
ditto	1986	36	21-45	B
ditto	1986	36	47-57	B
ditto	1986	36	59-77	A
ditto	1986	37	1-217	A
ditto	1987	39	87-113	A
ditto	1988	41	277-284	A
ditto	1988	41	311-319	A
ditto	1988	41	321-340	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.10 Information processing for disaster prevention

Author (s)	Title
G.Naito	Turbulent Properties and Long-period Spectral Behaviours of Strong Ocean Winds Caused by Developed Cyclones.
H.Takahashi	A Study on Output and Validity in Information Retrieval—Preliminary Report of Study on Methods of Information Retrieval for Disaster Prevention Research (I)—
S.Kishi	Information Retrieval of X-Ray Diffraction Data with Digital Computer
M.Sugawara,E.Ozaki, I.Watanabe and Y.Katsuyama	Tank Model and Its Application to Bird Creek, Wollombi Brook, Bikin River, Kitsu River, Sanaga River and Nam Mune
M.Sugawara, I.Watanabe and H.Ohkura	Inland Sea Pollution Model and Its Simulation
Y.Katsuyama, E.Ozaki, S.Kishi and T.Morohoshi	Usage Development for Figure Input Device
T.Fukui and T.Morohoshi	Systems Development for Off-line Data Exchange Unit
I.Watanabe, H.Ohkura and E.Ozaki	Inland Sea Pollution Model and Its Simulation (Report II)
M.Sugawara,E.Ozaki, Y.Katsuyama and I.Watanabe	Runoff Analysis of Snowy Mountainous Regions in Japan
I.Watanabe, T.Fukui and Y.Katsuyama	A Processing Method for Earthquake Wave
I.Watanabe, H.Ohkura and E.Ozaki	Information Storage and Retrieval of the Materials of the Research Center of Matsushiro Earthquake Swarm by Using Computer
M.Sugawara,E.Ozaki, I.Watanabe and Y.Katsuyama	On a Method of Forecasting the Daily Discharge of the Mae Nam Chao Phraya and its Tributaries at Several Points by Means of Tank Model
S.Matsumura,T.Ohkubo, Y.Katsuyama and K.Hamada	A Real Time Data Processing Technique for Observations of the Crustal Activities by a Digital Computer System
S.Kishi	Detection of the Area Covered by the Volcanic Products from LAND-SAT Data Relating to the Eruption of Miyakejima Volcano in 1983
B.Datta	Runoff Analysis of Two Indian Basins Using Tank Models
M.Sugawara,I.Watanabe, E.Ozaki and Y.Katsuyama	Tank Model with Snow Component
S.Yazaki and Y.Katsuyama	Three Dimensional Motion Measurement by TV Image Analysis—Application to Displacement Measurement in Earthquake Simulation—
S.Uehara,T.Kumagai, H.Takahashi,M.Takahashi, S.Kishi S.Yazaki,A.Tanaka and S.Kitamura	Developmental Study of a New Airborne Multi-spectral Scanner System Specifically Oriented to Thermal Observation of Volcanoes (Third Report)
S.Uehara, T.Kumagai, T.Miwa, H.Genda, K.Kamo and S.Kitamura	Developmental Study on New Airborne Multi-spectral Scanner System Specifically Oriented to Thermal Observation of Volcanoes (Fourth Report) Observation of Corrosion on the Mirror Surfaces of Test Pieces Due to Exposure in Volcanic Gasses by Means of Electron Microscope—
S.Uehara, S.Yazaki, T.Kumagai, S.Kishi and H.Takahashi	Developmental Study on New Airborne Multi-spectral Scanner System Specifically Oriented to Thermal Observation of Volcanoes (Sixth Report)—Analyses of the Thermal Distribution of Sakurajima Volcano Body Using the Data Taken from a Helicopter Loaded MSS and Landsat TM—

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of National Resarch Center for Disaster Prevention	1988	41	341-359	A
Research Notes of the National Research Center for Disaster Prevention	1968	8	1-22	A
ditto	1968	9	1-10	A
ditto	1974	11	1-64	B
ditto	1974	12	1-22	A
ditto	1975	14	1-9	A
ditto	1975	15	1-17	A
ditto	1975	16	1-16	A
ditto	1975	17	1-38	B
ditto	1975	18	1-6	A
ditto	1975	19	1-25	A
ditto	1976	24	1-56	B
ditto	1979	35	1-18	A
ditto	1984	51	19-27	A
ditto	1984	55	1-33	B
ditto	1984	65	1-298	B
ditto	1985	68	1-15	A
ditto	1985	70	1-48	A
ditto	1985	71	1-37	A
ditto	1987	76	1-33	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.10 Information processing for disaster prevention

Author (s)	Title
Third Research Division	A Thesaurus for Information Storage and Retrieval by using Computer of the Materials of the Research Center of Matsushiro Earthquake Swarm
M.Sugawara, I.Watanabe, E.Ozaki and Y.Katsuyama	Tank Model Programs for Personal Computer and the Way to Use (Second Report)

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Review of Research for Disaster Prevention	1975	14	1-116	—
ditto	1986	113	1-220	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.11 Fire Disaster Prevention

4.12 Disaster prevention general

Author (s)	Title
Y.Nishikawa	A Study on the Change of Disasters in Japan
T.Mizutani	The Hours and Localities of Disaster Occurrences Having Effect on the Degrees of Constructional Destruction and Human-Life Loss
I.Watanabe	Influence of Disaster Damage in Tokyo on the whole Japan Activities (No.1)—Present State of Tokyo as related to the Population—
I.Watanabe	Influences of Disaster Damage at Tokyo on the Whole Japan Percentage (No.2)—with Relation to Restriction and Reconstruction of Tokyo—
M.Tominaga	An Approach to On-the-Scene Investigation of Disaster—A Procedure applied to the Nagara River Flood on Sept. 12, 1976—
I.Watanabe	Impacts of Disaster Damage at Tokyo on the Whole of Japan's Activities (No.3)—a Study on the Kanto Earthquake (1923)—
I.Watanabe	Some Discussions on Countermeasures to be done after Issuance of an Earthquake Warning (Fifth Report)
I.Watanabe	Some Discussions on Countermeasures to be done after Issuance of an Earthquake Warning (Sixth Report)—Problems to come out from the Timing of the Warning—
T.Mizutani	Geomorphic and Geologic Characteristics and the Features of Natural Hazards in the Catchment Area of the River Sakura, Southwest Part of Ibaraki Prefecture
T.Mizutani	Group Removal of Residents in Hazard-prone Areas
T.Mizutani	Factors Affecting Human Casualties due to Heavy Rain and Strong Wind
T.Mizutani	Characteristics of Natural Disasters in Japan on the Basis of Disaster Materials in the 30's of the Era of Showa
Disaster Analysis Laboratory, First Research Division	Statistical Data of Disasters in Japan During the Period from 1955 to 1965
Disaster Analysis Laboratory, First Research Division	Statistical Data of Damage Caused by Main Natural Disasters in Japan During the Period From 1945 to 1967
Y.Nishikawa	Data for Study of Disasters in Japan
T.Mizutani	Impeditive and Promotive Factors of Emergency Evacuation Observed in Recent Cases of Disasters
I.Watanabe,S.Aoki, T.Yagi and K.Ohtani	Laws, Cabinet Orders and Notifications on Disaster Prevention in Japan
NRCDP	Laws, Cabinet Orders and Notifications on Disaster Prevention in Japan (II)
T.Mizutani and F.Shimizu	Geographical Characteristics of the Areas Suffered from Natural Hazards—A Clue to Identify Danger Zone and to Prepare against Hazards—
I.Watanabe	Guidelines for disaster prevention Volume 1 Pre-disaster physical planning of human settlements.

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1969	2	1-20	A
ditto	1976	13	1-14	A
ditto	1976	16	1-27	A
ditto	1977	17	17-31	A
ditto	1978	19	79-99	A
ditto	1978	20	217-244	A
ditto	1980	23	111-130	A
ditto	1981	26	73-87	A
ditto	1982	27	25-47	A
ditto	1982	29	19-37	A
ditto	1983	31	9-34	A
Research Notes of the National Center for Disaster Prevention	1968	10	1-30	A
Review of Research for Disaster Prevention	1968	3	1-119	—
ditto	1970	9	1-168	—
ditto	1970	12	1-414	—
ditto	1978	29	1-26	A
ditto	1978	30	1-352	B
ditto	1979	45	1-63	B
ditto	1979	46	1-59	A
ditto	1981	66	1-58	—

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.12 Disaster prevention general

Author (s)	Title
I.Watanabe	Guidelines for disaster prevention Volume 2 Building measures for minimizing the impact of disasters
I.Watanabe	Guidelines for Disaster Prevention Volume 3—Management of Settlements—
I.Watanabe	Influences of Disaster Damage in Tokyo on Activities in the Whole of Japan (No.4) Annual Variation of the Ratio of Various Activities in Tokyo and South-Kanto Area to the Whole of Japan

Periodical	Year	No.	Page	Notes
ditto	1982	73	1-32	—
Review of Research for Disaster Prevention	1983	81	1-53	—
ditto	1985	101	1-35	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

4.13 Other

Author (s)	Title
S.Iwakiri	Prediction and Control of Temperature Environment Inside the Glass-house
M.Higashiura	Climatological Water Balance in the Shinjo Basin
M.Tominaga	An Experiment of Infiltration in Large Scale Ground Models
M.Sugawara, I.Watanabe and H.Ohkura	Inland Sea Pollution Model and Its Simulation
Disaster Analysis Laboratory, First Research Division	Statistical Data of Drought Disasters to the Crops in Nagasaki and Kumamoto Prefectures
NRCDP	Experimental Data of Atmospheric Diffusion—Project Kawaguchi Tower—
F.Shimizu	Chemical Weathering Features on Quartz Grains in the Glacial Deposits of the Europe Alps, the Nepal Himalaya and the Japan Alps

Periodical	Year	No.	Page	Notes
Report of the National Research Center for Disaster Prevention	1971	6	1-139	A
ditto	1976	14	95-109	A
ditto	1978	20	123-135	A
Research Notes of the National Center for Disaster Prevention	1974	12	1-22	A
Review of Research for Disaster Prevention	1970	10	1-86	—
ditto	1970	11	1-40	—
ditto	1980	50	1-29	A

Notes: A; { In Japanese essay with English abstracts.
B; { In English essay with English abstracts.

5. 著 者 別 リ ス ト

1. 本リストは、当センターの職員、在職した職員及び客員研究官等が論文の筆頭者として、「国立防災科学技術センター研究報告」、「国立防災科学技術センター研究速報」、「防災科学技術研究資料」及び「主要災害調査」に発表した研究論文等を、著者・編者のアイウエオ順に掲載してある。

2. 本リストの内容は、著者・编者、論文名、頁、掲載誌名、号数、「国立防災科学技術センター要旨集」のアブストラクト掲載番号の順に記載してある。

3. 掲載誌名は下記のように略してある。

国立防災科学技術センター研究報告 → 研究報告

国立防災科学技術センター研究速報 → 研究速報

防災科学技術研究資料 → 研究資料

主要災害調査 → 災害調査

著 者 ・ 編 者	論 文 名
青木佑久 ・ 青木佑久 ・ 岸井徳雄, 青木佑久 ・ 渡辺一郎, 青木佑久, 八木鶴平, 大谷圭一	著しい洪水災害をもたらした降雨の特徴 自然流域と都市流域の洪水流出特性の比較 防災関係法令集 (英文)
青木忠男 ・ 青木忠男, 熊谷貞治, 寺島治男	昭和48年4月18日長野県萩之峰地すべり災害について
阿部 修 ・ 中村 勉, 中村秀臣, 東浦将夫, 阿部 修 ・ 中村 勉, 阿部 修 ・ 中村秀臣, 阿部 修 ・ 阿部 修 ・ 東浦将夫, 中村 勉, 中村秀臣, 阿部 修 ・ 阿部 修, 中村 勉, 中村秀臣 ・ 東浦将夫, 阿部 修 ・ 中村秀臣, 阿部 修, 中村 勉 ・ 中村 勉, 東浦将夫, 阿部 修 ・ 中村 勉, 阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫, 沼野夏生 ・ 阿部 修, 中村 勉 ・ 中村 勉, 中村秀臣, 阿部 修 ・ 中村 勉, 阿部 修, 沼野夏生, セオドール・イー・ラング ・ 八木鶴平, 上田 博, 中村 勉, 中村秀臣, 阿部 修, 沼野夏生 ・ 東浦将夫, 阿部 修 ・ セオドール・イー・ラング, 沼野夏生, 阿部 修 ・ 東浦将夫, 阿部 修, 中村 勉, 中村秀臣 ・ 東浦将夫, 阿部 修 ・ 東浦将夫, 阿部 修, 沼野夏生 ・ 都司嘉宣, 小西達男, 木下武雄, 沼野夏生, 阿部 修 ・ 阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫, 沼野夏生, 中村 勉 ・ 阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫, 沼野夏生, 中村 勉	放物型除雪プラウの試作 陸屋根上の積雪の断面観測とその積雪底部での融解 新庄における新積雪の密度 小型雪氷試料の整形具二つ 地震によって発生した雪崩 冬期の新庄における日射量の測定および太陽エネルギーの集熱とそれによる融雪の可能性について 山形県最上郡大蔵村滝の沢で発生した山崩れ 滑落する屋根雪の壁面に及ぼす衝撃力, その1 ランドサット映像写真から求めた烏海山の残雪域変化 三種の陸屋根上での積雪深と地上積雪深との比較 陸屋根上の日降雪深に及ぼす風の影響 1984年4月山形県西川町で発生した小雪崩による死傷事故 雪崩発生動力学のコンピュータ的研究 (英文) 盆地における降雪の予備的研究 —— 1985年新庄市でのレーダー観測 —— 新庄の平地積雪断面観測 (昭和48年—49年冬期) コンピュータープログラム・LOPE (英文) 新庄の平地における積雪断面観測 (昭和49年—50年冬期) 新庄盆地の地下水観測資料(I) —— 水位・水温, 1970—1975 —— 新庄の平地における積雪断面観測 (1975年—1980年冬期) 昭和58年 (1983年) 日本海中部地震における津波に関する痕跡・証言の調査結果 新庄支所における10冬期間の気象・降積雪, その1・気象資料編 —— 1974年11月—1984年4月冬期 —— 新庄支所における10冬期間の気象・降積雪, その2・降積雪編 —— 1974年4月冬期 ——

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 16	研究報告	20	33
1 ~ 33	”	21	26
1 ~ 352	研究資料	30	68
1 ~ 17	災害調査	2	—
201 ~ 218	研究報告	19	—
219 ~ 228	”	19	—
243 ~ 250	”	19	—
251 ~ 260	”	19	—
103 ~ 112	”	21	32
245 ~ 270	”	23	104
271 ~ 286	”	23	105
169 ~ 189	”	25	181
45 ~ 53	”	32	502
55 ~ 72	”	32	503
73 ~ 87	”	32	504
73 ~ 87	”	34	658
89 ~ 109	”	34	659
9 ~ 24	”	38	1015
37 ~ 54	研究速報	13	—
81 ~ 137	”	59	520
1 ~ 26	研究資料	33	65
1 ~ 95	”	37	61
1 ~ 103	”	70	368
1 ~ 306	”	87	667
1 ~ 121	”	105	860
1 ~ 76	”	106	861

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 阿部 修, 中村秀臣, 沼野夏生, 東浦将夫, 佐藤篤司, 中村 勉	新庄の平地における積雪断面観測結果 (1980/81年～1987/88年8冬期)
有賀世治	
・ 有賀世治	道路の除雪計画についての一考察 ——自動車の走行速度から見た——
・ 高橋 博, 西尾元充, 有賀世治	空中写真による地震災害調査法の研究
・ 西川 泰, 有賀世治, 水谷武司	台風6626号による山地および海岸災害に関する研究
飯島 弘	
・ 飯島 弘	川崎市久松の灰津波災害の発生機構について
・ 飯島 弘	豪雨によるがけくずれ調査法に対する提案
飯田晴男	
・ 小川信行, 箕輪親宏, 飯田晴男, 久保田武	大型震動台加震時の周辺地盤振動に関する調査報告
・ 田中孝紀, 斎藤 隆, 飯田晴男	大型耐震実験装置の回転運動抑制についての考察
・ 大谷圭一, 小川信行, 箕輪親宏, 飯田晴男	大型耐震実験装置加震機等精密分解点検報告
五十嵐高志	
・ 五十嵐高志	新潟県のなだれの発生頻度に関する研究
・ 広部良輔, 五十嵐高志	凍結砂土の一軸圧縮性について
・ 山田 穰, 五十嵐高志	ラムゾンデによる魚野川流域の積雪層構造に関する研究 (英文)
・ 山田 穰, 五十嵐高志	積雪の内部凍結
・ 納口恭明, 山田 穰, 五十嵐高志	全層なだれにいたるグライドの加速のモデル
・ 渡辺興亜, 五十嵐高志, 山田 穰	1976—1977年冬期の新潟県を中心とする地方の広域積雪 現象について
・ 広部良輔, 山田 穰, 五十嵐高志	積雪に伴う災害の調査研究(1977—78年冬期)
・ 広部良輔, 山田 穰, 五十嵐高志	雪崩警報システムの試作について ——SYSTEM OJIYA I——
・ 五十嵐高志, 清水増治郎, 小林俊市, 山田 穰	長岡における積雪観測資料(1964.12—1976.3)
・ 清水増治郎, 小林俊市, 宮村兵衛, 山田 穰, 五十嵐高志	長岡における積雪観測資料(1976.11—1978.4)
・ 小林俊市, 宮村兵衛, 山田 穰, 五十嵐高志, 清水増治郎	長岡における積雪観測資料(1978.11—1979.3)
・ 宮村兵衛, 山田 穰, 五十嵐高志, 清水増治郎, 小林俊市	長岡における積雪観測資料(1979.11—1980.4)
・ 五十嵐高志	昭和58～59年冬期の新潟県の積雪に伴う被害
・ 五十嵐高志	長岡における積雪の断面観測資料(1983—1984)
・ 山田 穰, 五十嵐高志, 納口恭明, 木村忠志, 小林俊市	長岡における積雪観測資料(1984.11—1985.4)
・ 五十嵐高志	長岡における積雪の断面観測資料(1984—1985)

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1～138	研究資料	131	
1～ 14	研究報告	3	—
1～ 30	研究資料	6	—
1～ 49	”	13	—
1～ 12	研究速報	4	—
1～ 9	”	7	—
1～ 43	研究資料	28	—
1～ 22	”	53	202
1～ 29	”	97	853
89～102	研究報告	21	31
167～173	”	22	118
215～229	”	23	102
129～152	”	31	493
169～180	”	38	1018
1～ 85	研究速報	29	54
1～ 60	”	32	51
1～ 12	”	39	125
1～ 50	研究資料	25	—
1～ 21	”	31	67
1～ 12	”	43	133
1～ 12	”	54	201
1～ 32	”	92	671
1～ 90	”	93	672
1～ 12	”	100	855
1～ 86	”	102	857

著 者 ・ 編 者	論 文 名
- 五十嵐高志 - 五十嵐高志 - 木村忠志, 清水増治郎, 小林俊市, 山田 穰, 五十嵐高志 - 五十嵐高志 - 五十嵐高志 - 熊谷元伸, 小林俊市, 木村忠志, 清水増治郎, 五十嵐高志, 納口恭明 - 五十嵐高志 - 五十嵐高志 - 五十嵐高志, 宮本 誠 - 五十嵐高志, 山田 穰, 中尾正義, 清水増治郎, 熊谷元伸, 小林俊市 - 五十嵐高志 - 渡辺興亜, 五十嵐高志, 山田 穰 - 栗山 弘, 山田 穰, 五十嵐高志, 野原以佐武, 東浦将夫, 沼野夏生, 片桐一美	昭和59～60年冬期の積雪に伴う被害 ——新潟県・長野県・他—— 長岡における積雪の断面観測資料 (1985—1986) 長岡における積雪観測資料 (1985. 11—1986. 4) 雪崩災害地の積雪断面観測 1985～1986年冬期の積雪に伴う被害 長岡における積雪観測資料 (11) —— 1986. 11—1987. 4) 長岡における積雪の断面観測資料 (1986—1987) 1985年の地すべり, 斜面崩壊, 落石の被害 —— 玉の木地区 (新潟県) の斜面崩壊による災害—— 1986～1987年冬期の降積雪に伴う被害 長岡における積雪観測資料 (12) (1987. 11—1988. 4) 長岡における積雪の断面観測資料 (1987. 12—1988. 4) 51. 1 豪雪の積雪現象および積雪災害に関する広域調査報告 昭和56年豪雪による北陸地方の災害現地調査報告
池田隆司 - 塚原弘昭, 池田隆司, 佐竹 洋, 大竹政和 - 池田隆司, 塚原弘昭, 佐竹 洋, 大竹政和, 高橋 博 - 佐竹 洋, 池田隆司, 福田 理, 高橋 博 - 鈴木宏芳, 池田隆司, 御子柴正, 木下繁夫, 佐藤春夫, 高橋 博	水圧破壊法による地殻応力の測定 —— 地表下90 mにおける地殻応力測定—— 水圧破壊に伴う微小破壊音 烏山一菅生沼断層 (茨城県南西部) の電気探査 関東・東海地域における孔井検層資料集
石田瑞穂 - 山水史生, 塚原弘昭, 佐藤春夫, 石田瑞穂, 浜田和郎 - 石田瑞穂, 立川真理子 - 石田瑞穂 - 佐藤春夫, 浜田和郎, 高橋 博, 山水史生, 石田瑞穂, 塚原弘昭, 笠原敬司	川崎微小地震観測施設と深度別ノイズ分布 関東・東海地域地殻活動観測網における振動継続時間を用いた地震マグニチュードの決定 関東・東海地域の震源分布から推定したフィリピン海及び太平洋プレートの等深線 多摩川下流域の地盤隆起と微小地震観測

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1～109	研究資料	104	859
1～140	”	114	1036
1～ 12	”	115	1037
13～ 25	”	117	1040
1～118	”	118	1042
1～ 13	”	120	1193
1～ 72	”	122	1195
1～ 44	”	126	1199
1～ 97	”	128	
1～ 15	”	129	
1～ 94	”	130	
1～ 58	災害調査	11	—
1～392	”	17	289
87～994	研究報告	25	176
159～170	”	27	268
1～ 24	研究速報	30	53
1～ 11	”	31	52
1～162	研究資料	65	284
17～ 33	研究報告	18	—
119～131	”	27	265
1～ 19	”	36	841
1～ 16	研究速報	26	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・大竹政和, 井元政二郎, 石田瑞穂, 大久保正, 岡田義光, 笠原敬司, 立川真理子, 松村正三, 山水史生, 浜田和郎 ・鶴川元雄, 石田瑞穂, 松村正三, 笠原敬司 ・石田瑞穂, 長谷川晶子	伊豆半島東方沖の地震(1980年6月29日)とその前後の地震活動 関東・東海地域地震観測網による震源決定方法について 関東・東海地域三次元P波速度構造
磯部金治 ・磯部金治, 小林俊市, 宮村兵衛	一軸圧縮試験機で圧縮した雪の切削破壊抵抗
稲田 亘 ・稲田 亘, 渡部 勲 ・岩田憲幸, 稲田 亘, 田中孝紀, 渡部 勲 ・近藤純正, 稲田 亘, 内藤玄一, 渡部 勲 ・岩田憲幸, 稲田 亘, 渡部 勲	容量型波高計について 波浪のスペクトル幅と統計値(I) 平塚沿岸の風・水温及び波について 波浪のスペクトル幅と統計量(II)
稲葉誠一 ・稲葉誠一, 小川信行, 箕輪親宏 ・稲葉誠一 ・稲葉誠一 ・木下繁夫, 稲葉誠一 ・稲葉誠一, 福岡輝旗	住宅設備ユニット振動実験報告 オイルプラント及び原子力発電所の耐震実験 日本における耐風耐震に関する大規模実験計画 電力用遮断器の振動実験 昭和50年8月台風6号による石狩川洪水災害及び渡島支庁国道5号線斜面崩壊災害調査報告
井口 隆 ・寺島治男, 新藤静夫, 田中芳則, 井口 隆 ・森脇 寛, 井口 隆 ・井口 隆 ・清水文健, 大八木規夫, 井口 隆 ・清水文健, 大八木規夫, 井口 隆 ・清水文健, 大八木規夫, 井口 隆 ・水谷武司, 森脇 寛, 井口 隆 ・植原茂次, 田中耕平, 井口 隆, 木下繁夫, 井元政二郎, 幾志新吉, 岩崎正樹	滑面を有する斜面の崩壊実験 茨城県久慈地方の新第三紀層地すべりとその分布特性 日本における火山体の山体崩壊と岩屑流 ——磐梯山, 烏海山, 岩手山—— 地すべり地形分布図 第1集(新庄) 地すべり地形分布図 第2集(秋田, 男鹿, 酒田) 地すべり地形分布図 第3集(弘前, 深浦) 1981年8月台風第15号による長野県須坂土石流災害調査報告 昭和59年(1984年)長野県西部地震災害調査報告
井元政二郎 ・井元政二郎	プレートの沈み込み帯における逆断層型大地震に伴う余震活動の移動現象について

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 25	研究速報	43	195
1 ~ 88	”	53	513
1 ~ 11	”	58	518
105 ~ 131	研究報告	26	—
57 ~ 68	”	2	—
23 ~ 43	”	4	—
45 ~ 64	”	4	—
81 ~ 87	”	5	—
1 ~ 45	研究資料	10	—
1 ~ 13	”	19	—
1 ~ 14	”	23	—
1 ~ 29	”	24	—
1 ~ 40	災害調査	10	—
111 ~ 124	研究報告	24	189
125 ~ 144	”	24	190
163 ~ 275	”	41	1179
	研究資料	69	288
	”	85	527
	”	96	675
1 ~ 52	災害調査	19	—
1 ~ 141	”	25	—
29 ~ 86	研究報告	25	175

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・井元政二郎 ・松村正三, 岡田義光, 井元政二郎, 島田誠一 ・堀 貞喜, 松村正三, 島田誠一, 大久保正, 井元政二郎, 岡田義光 ・井元政二郎 ・井元政二郎, 大竹政和, 松村正三, 笠原敬司, 山水史生, 大久保正, 立川真理子, 浜田和郎 ・大竹政和, 井元政二郎, 石田瑞穂, 大久保正, 岡田義光, 笠原敬司, 立川真理子, 松村正三, 山水史生, 浜田和郎 ・岡田義光, 野口伸一, 鶴川元雄, 井元政二郎, 大竹政和 ・井元政二郎, 島田誠一, 岡田義光, 笠原敬司 ・井元政二郎 ・萩原尊礼, 茅野一郎, 浜田和郎, 大竹政和, 井元政二郎, 小池幸男 ・植原茂次, 田中耕平, 井口 隆, 木下繁夫, 井元政二郎, 幾志新吉, 岩崎正樹	伊豆半島東方沖に発生する地震の発震機構 —— 1980年8月～1981年5月—— 地震前兆解析システムの機能と構成 地震前兆解析システムによる自動前兆監視 光ディスクを用いた地震波形の格納とその利用 伊豆半島川奈崎における群発地震活動について —— 1978年11月23日～12月31日—— 伊豆半島東方沖の地震(1980年6月29日)とその前後の地震活動 茨城県沖の地震(1982年7月23日)概報 1983年8月8日山梨県東部の地震(M6.0)とその前後の地震活動について 関東・東海地域における起震応力場 地震断層付近の震害に関する調査 —— 1891年～1976年の主要内陸地震について—— 昭和59年(1984年)長野県西部地震災害調査報告
入澤 実 ・入澤 実 ・入澤 実 ・入澤 実 ・入澤 実 ・入澤 実	水害面からみた土地利用状況の問題点 主成分分析法を適用して洪水時危険度を推定する方法の開発 水害防止における非構造物手法の必要性について 最近における内水被害の分析とその防止対策に関する研究 内水被害発生箇所資料(昭和42年～52年)
岩切 敏 ・岩切 敏	栽培用ハウス内温度環境の予測と制御に関する研究
岩崎正樹 ・植原茂次, 田中耕平, 井口 隆, 木下繁夫, 井元政二郎, 幾志新吉, 岩崎正樹	昭和59年(1984年)長野県西部地震災害調査報告
岩田憲幸 ・岩田憲幸, 田中孝紀 ・岩田憲幸, 稲田 亘, 田中孝紀, 渡部 勲 ・岩田憲幸, 田中孝紀, 渡部 勲	発達過程にある風浪 波浪のスペクトル幅と統計値(I) 台風によるうねり

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
133～144	研究報告	27	266
35～ 44	”	41	1170
101～114	”	41	1174
129～136	”	41	1176
1～ 14	研究速報	36	47
1～ 25	”	43	195
1～ 14	”	46	365
1～ 13	”	57	517
1～ 76	”	66	665
1～117	研究資料	39	59
1～141	災害調査	25	677
1～ 26	研究報告	22	106
11～ 27	”	23	92
45～ 68	”	24	185
29～ 62	”	26	253
1～185	研究資料	61	280
1～139	研究報告	6	—
1～141	災害調査	25	677
1～ 21	研究報告	4	—
23～ 43	”	4	—
59～ 79	”	5	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 岩田憲幸, 稲田 亘, 渡部 勲 ・ 岩田憲幸 ・ 岩田憲幸 ・ 渡部 勲, 岩田憲幸	波浪のスペクトル幅と統計量(II) 発達過程にある風浪のスペクトルの相似性 (英文) 海面上における風の応力 (英文) 平塚で観測された異常潮位 (1979年)
上田 博 ・ 八木鶴平, 上田 博 ・ 上田 博, 八木鶴平 ・ 上田 博, 八木鶴平 ・ 上田 博, 八木鶴平 ・ 上田 博, 八木鶴平 ・ 八木鶴平, 上田 博 ・ 八木鶴平, 上田 博, 中村 勉, 中村秀臣 ・ 八木鶴平, 上田 博, 清野 裕 ・ 上田 博, 八木鶴平 ・ 八木鶴平, 上田 博 ・ 八木鶴平, 上田 博 ・ 上田 博 ・ 上田 博	長岡における降雪粒子のZ-R関係および粒度分布の特徴II 長岡における雪片の落下速度の測定とZ-R関係への適用について ファンビーム・ドップラーレーダーを利用した水平風測定におけるスペクトルの考察 北海道釧路市における海霧の観測 降水エコーの短時間予測のための上層風の補外ベクトルとしての評価研究 レーダーによる降雨の短時間予測のための上層風の利用について 盆地における降雪の予備的研究 — 1985年新庄市でのレーダー観測 — 昭和53年のかんばつによる茨城県の農作物被害調査 ファンビーム・ドップラーレーダーによる水平風の測定 北海道釧路市における昭和56年度海霧観測の概要 北海道釧路市における昭和57年度海霧観測の概要 雷雨性豪雨性災害の統計調査 最近の気象用ドップラーレーダーの利用研究の現状
植原茂次 ・ 佐藤照子, 植原茂次 ・ 植原茂次, 佐藤照子 ・ 植原茂次, 佐藤照子 ・ 佐藤照子, 植原茂次 ・ 植原茂次 ・ 植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一 ・ 植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一 ・ 植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一 ・ 植原茂次, 熊谷貞治, 三輪卓司, 源田秀三郎	都市化に伴う洪水流出特性変化のタンクモデルによる解析 日本の河川流域の月単位水収支と水文特性 (第1報) 日本の河川流域の月単位水収支と水文特性 (第2報) 流域条件と洪水流出特性の変化に関する実験的研究 (第1報) — 不浸透の増大による洪水流下速度の増大 — 日本の河川流域の月単位水収支に基づく水文特性に関する研究 火山専用空中赤外映像装置の開発研究 火山専用空中赤外映像装置の開発研究 (第2報) 火山専用空中赤外映像装置の開発研究 (第3報) 火山専用空中赤外映像装置の開発研究 (第4報) — ミラートテストピースの火山ガス暴露試験による表面腐蝕状況の電子顕微鏡による観察 —

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
81 ~ 87	研究報告	5	—
35 ~ 45	”	7	—
1 ~ 6	研究速報	3	—
1 ~ 33	研究資料	52	203
29 ~ 38	研究報告	23	93
39 ~ 46	”	23	94
33 ~ 43	”	24	184
69 ~ 92	”	29	352
1 ~ 24	”	30	358
1 ~ 19	”	32	499
9 ~ 24	”	38	1015
1 ~ 50	研究速報	33	50
1 ~ 24	”	42	196
1 ~ 17	”	45	364
1 ~ 19	”	49	506
1 ~ 27	研究資料	63	282
1 ~ 66	”	111	1033
145 ~ 158	研究報告	24	191
25 ~ 64	”	30	359
155 ~ 228	”	35	834
67 ~ 86	”	39	1022
21 ~ 309	”	40	1164
1 ~ 106	研究速報	62	661
1 ~ 40	”	63	662
1 ~ 48	”	70	851
1 ~ 37	”	71	852

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 竹村孝爾, 堤 捨男 ・植原茂次, 矢崎 忍, 熊谷貞治, 幾志新吉 ・植原茂次, 大谷圭一, 箕輪親宏, 片桐一美 ・植原茂次, 幾志新吉, 諸星敏一, 横溝邦雄 ・植原茂次, 武田 宏 ・植原茂次, 森脇 寛 ・植原茂次, 田中耕平, 井口 隆, 木下繁夫, 井元政二郎, 幾志新吉, 岩崎正樹 ・木下武雄, 水谷武司, 八木鶴平, 岸井徳雄, 佐藤照子, 植原茂次, 大倉 博, 幾志新吉 ・高橋 博, 大竹政和, 熊谷貞治, 大八木規夫, 島田誠一, 植原茂次	火山専用空中赤外映像装置の開発研究(第5報)ー3~5 μm帯域赤外線検知器による噴気温度の現地計測実験 火山専用空中赤外映像装置に関する開発研究(第6報)ーヘリコプターMSS及びランドサットTMデータによる桜島火山体の熱分布の解析 1978年宮城県沖地震による災害現地調査報告 1979年御岳山噴火による災害現地調査報告 昭和56年8月3日から6日にかけての前線と台風12号による石狩川洪水災害及び日高地方土砂災害調査報告 1983年梅雨前線による島根豪雨災害現地調査報告 昭和59年(1984年)長野県西部地震災害調査報告 1986年8月5日台風10号の豪雨による関東・東北地方の水害調査報告 昭和61年(1986年)伊豆大島噴火災害調査報告
鵜川元雄 ・鵜川元雄, 藤縄幸雄, 江口孝雄 ・藤縄幸雄, 窪田道典, 江口孝雄, 鵜川元雄 ・岡田義光, 野口伸一, 鵜川元雄, 井元政二郎, 大竹政和 ・岡田義光, 佐藤春夫, 木下繁夫, 鵜川元雄 ・鵜川元雄, 石田瑞穂, 松村正三, 笠原敬司	自己浮上式海底地震計の観測データ処理方法 自己浮上式海底地震計(CDPOBS IIa)について 茨城県沖の地震(1982年7月23日)概報 1983年10月三宅島噴火前後の地殻活動 関東・東海地域地震観測網による震源決定方法について
内田哲男 ・大八木規夫, 内田哲男, 鈴木宏芳	加茂・大東地方花崗閃緑岩地帯における風化帯の粘土鉱物(第1報)ー風化生成粘土鉱物とその生成系列ー
江口孝雄 ・江口孝雄, 藤縄幸雄 ・鵜川元雄, 藤縄幸雄, 江口孝雄 ・藤縄幸雄, 窪田道典, 江口孝雄, 鵜川元雄	海底地震計の設置・回収用超音波位置検知遠隔制御装置 自己浮上式海底地震計の観測データ処理方法 自己浮上式海底地震計(CDPOBS IIa)について
大石道夫 ・大石道夫, 水谷武司	地形条件からみた扇状地の土砂災害について

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 32	研究速報	73	1031
1 ~ 33	”	76	1190
1 ~ 82	災害調査	15	70
1 ~ 41	”	16	135
1 ~ 73	”	18	379
1 ~ 85	”	24	676
1 ~ 141	”	25	677
1 ~ 155	”	27	1043
1 ~ 64	”	28	1044
43 ~ 58	研究報告	34	656
19 ~ 35	”	39	1020
1 ~ 14	研究速報	46	365
3 ~ 18	”	51	509
1 ~ 88	”	53	513
21 ~ 44	研究報告	2	—
58			
69 ~ 76	研究報告	33	647
43 ~ 58	”	34	656
19 ~ 35	”	39	1020
45 ~ 55	研究報告	2	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
大久保正 ・ 大久保正, 佐藤春夫, 松村正三 ・ 島田誠一, 大久保正, 岡田義光, 堀 貞喜 ・ 堀 貞喜, 松村正三, 島田誠一, 大久保正, 井元政二郎, 岡田義光 ・ 大久保正 ・ 松村正三, 大久保正, 勝山ヨシ子, 浜田和郎 ・ 井元政二郎, 大竹政和, 松村正三, 笠原敬司, 山水史生, 大久保正, 立川真理子, 浜田和郎 ・ 大竹政和, 井元政二郎, 石田瑞穂, 大久保正, 岡田義光, 笠原敬司, 立川真理子, 松村正三, 山水史生, 浜田和郎 ・ 堀 貞喜, 大久保正 ・ 立川真理子, 大久保正, 山本英二, 佐藤春夫 ・ 立川真理子, 大久保正, 山本英二, 佐藤春夫 ・ 立川真理子, 大久保正, 山本英二, 佐藤春夫 ・ 関口渉次, 島田誠一, 大久保正, 佐藤春夫, 立川真理子	グラフィックディスプレイ装置を用いた地殻傾斜変動図の作成 地震前兆解析システムにおける低速採取データの処理 地震前兆解析システムによる自動前兆監視 パーソナルコンピュータによる地殻傾斜常時モニターシステム 計算機による地殻活動観測データ処理システム —— オンラインリアルタイムシステム —— 伊豆半島川奈崎における群発地震活動について —— 1978年11月23日～12月31日 —— 伊豆半島東方沖の地震 (1980年6月29日) とその前後の地震活動 関東・東海地域における「地震前兆指標」の地域性と時間変化 地殻傾斜観測資料集(5) 1982〔近又・野田沢・岡部・中伊豆・南足柄・塩山・岩井北・銚子・三ヶ日・静岡・本川根・下田・府中・岩槻・下総 地殻活動観測施設〕 1983年地殻傾斜観測資料集〔関東・東海地域地殻活動観測網〕 1984年地殻傾斜観測資料集〔関東・東海地域地殻活動観測網〕 1985年地殻傾斜観測資料集〔関東・東海地域地殻活動観測網〕
大倉 博 ・ 大倉 博 ・ 大倉 博 ・ 大倉 博 ・ 武田 宏, 岸井徳雄, 中根和郎, 大倉 博, 佐藤照子 ・ 岸井徳雄, 中根和郎, 大倉 博, 佐藤照子, 小西達男 ・ 岸井徳雄, 佐藤照子, 中根和郎, 大倉 博 ・ 大倉 博, 幾志新吉, 諸星敏一, 新井康平, 石戸喜夫, 佐藤右二 ・ 渡辺一郎, 大倉 博, 尾崎睿子 ・ 高村 博, 西口哲夫, 木下武雄, 富永雅樹, 福岡輝旗, 大倉 博	不飽和浸透を考慮した降雨浸透の有限要素法による一解法 —— 定常流 —— 鉛直降雨浸透の有限要素法による一解法 —— 計算誤差の発生とその除去法 —— 不飽和土の土中水分ヒステリシスの計算アルゴリズム 筑波研究学園流出試験地の流出特性 (第1報) 筑波研究学園流出試験地の流出特性 (第2報) 浦白川流出試験地及び筑波研究学園流出試験地の水収支の比較 パーソナルコンピュータによるランドサット画像データの伝送実験 松代群発地震資料のコンピュータによる蓄積と検索 1976年台風17号による長良川地域水害調査報告

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
145～147	研究報告	27	267
65～ 87	”	41	1172
101～114	”	41	1174
115～127	”	41	1175
1～ 18	研究速報	35	48
1～ 14	”	36	47
1～ 25	”	43	195
1～ 21	”	74	1188
1～200	研究資料	86	528
1～189	”	103	858
1～199	”	112	1034
1～210	”	124	1197
51～ 70	研究報告	18	—
145～166	”	22	117
127～141	”	25	178
49～ 87	”	27	262
23～ 68	”	33	646
1～ 20	”	40	1163
277～284	”	41	1180
1～ 25	研究速報	19	—
1～ 92	災害調査	12	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 木下武雄, 水谷武司, 八木鶴平, 岸井徳雄, 佐藤照子, 植原茂次, 大倉 博, 幾志新吉	1986年8月5日台風10号の豪雨による関東・東北地方の水害調査報告
大竹政和	
・ 大竹政和	地震空白域にもとづく地震予知 —— 1978年メキシコ地震の予知を例として——
・ 松村正三, 岡田義光, 井元政二郎, 島田誠一	地震前兆解析システムの機能と構成
・ 塚原弘昭, 池田隆司, 佐竹 洋, 大竹政和	水圧破壊法による地殻応力の測定 —— 地表下90mにおける地殻応力測定——
・ 池田隆司, 塚原弘昭, 佐竹 洋, 大竹政和, 高橋 博	水圧破壊に伴う微小破壊音
・ 井元政二郎, 大竹政和, 松村正三, 笠原敬司, 山水史生, 大久保正, 立川真理子, 浜田和郎	伊豆半島川奈崎における群発地震活動について —— 1978年11月23日～12月31日——
・ 大竹政和, 井元政二郎, 石田瑞穂, 大久保正, 岡田義光, 笠原敬司, 立川真理子, 松村正三, 山水史生, 浜田和郎	伊豆半島東方沖の地震(1980年6月29日)とその前後の地震活動
・ 岡田義光, 野口伸一, 鶴川元雄, 井元政二郎, 大竹政和	茨城県沖の地震(1982年7月23日)概報
・ 井元政二郎, 島田誠一, 岡田義光, 笠原敬司	1983年8月8日山梨県東部の地震(M 6.0)とその前後の地震活動について
・ 萩原尊礼, 茅野一郎, 浜田和郎, 大竹政和, 井元政二郎, 小池幸男	地震断層付近の震害に関する調査 —— 1891年～1976年の主要内陸地震について——
・ 高橋 博, 大竹政和, 熊谷貞治, 大八木規夫, 島田誠一, 植原茂次	昭和61年(1986年)伊豆大島噴火災害調査報告
大谷圭一	
・ 渡辺一郎, 青木佑久, 八木鶴平, 大谷圭一	防災関係法令集(英文)
・ 大谷圭一, 小川信行, 箕輪親宏, 飯田晴男	大型耐震実験装置加振機等精密分解点検報告
・ 植原茂次, 大谷圭一, 箕輪親宏, 片桐一美	1978年宮城県沖地震による災害現地調査報告
・ 大谷圭一, 岡田義光, 諸星敏一, 田中耕平, 森脇 寛, 資料調査室	千葉県東方沖地震災害調査報告
大村一夫	
・ 菅原正巳, 勝山ヨシ子, 大村一夫	多数のレーダと中央の計算機による地域雨量測定法(英文)
・ 大村一夫	図形読取装置の試作及び応用例
・ 菅原正巳, 勝山ヨシ子, 大村一夫, 福井隆文	微小地震の自動検出方法について

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1～155	災害調査	27	1043
65～110	研究報告	23	96
35～ 44	”	41	1170
65～110	”	23	96
35～ 44	”	41	1170
1～ 24	研究速報	30	53
1～ 11	”	31	52
1～ 14	”	46	365
1～ 13	”	57	517
1～117	研究資料	39	59
1～ 64	災害調査	28	1044
1～352	研究資料	30	68
1～ 29	”	97	853
1～ 82	災害調査	15	70
1～ 49	”	29	1200
1～ 8	研究報告	5	—
23～ 34	”	7	—
1～ 9	”	9	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
大八木規夫 ・大八木規夫, 内田哲男, 鈴木宏芳 ・大八木規夫, 熊谷貞治 ・高橋 博, 熊谷貞治, 大八木規夫, 磯巳代次, 川野辰男, 斉藤英二 ・熊谷貞治, 田中耕平, 大八木規夫, 清水文健, 幾志新吉 ・熊谷貞治, 高橋 博, 大八木規夫 ・遠藤源助, 金 喜俊, 秋葉 治, 高橋 博, 熊谷貞治, 大八木規夫 ・清水文健, 大八木規夫, 井口 隆 ・清水文健, 大八木規夫, 井口 隆 ・清水文健, 大八木規夫, 井口 隆 ・清水文健, 大八木規夫 ・清水文健, 大八木規夫 ・大八木規夫, 森脇 寛, 西川 泰 ・高橋 博, 高橋末雄, 笠原敬司, 山本英二, 大八木規夫 ・大八木規夫, 富永雅樹 ・大八木規夫, 寺島治男, 森脇 寛 ・熊谷貞治, 田中耕平, 大八木規夫, 清水文健, 小池幸男 ・大八木規夫, 中根和郎, 福岡輝旗 ・大八木規夫, 田中耕平, 福岡輝旗 ・高橋 博, 大竹政和, 熊谷貞治, 大八木規夫, 島田誠一, 植原茂次	加茂・大東地方花崗閃緑岩地帯における風化帯の粘土鉱物 (第1報) ——風化生成粘土鉱物とその生成系列—— 1965年5月3日の降水による東京都区内のがけくずれ 火山列島硫黄島の火山現象に関する研究(その2) 火山活動による地盤災害に関する研究 1977年有珠山噴火による火山噴出物の分布及びその影響について 火山列島硫黄島における電気探査による地下構造調査 地すべり地形分布図 第1集(新庄) 地すべり地形分布図 第2集(秋田・男鹿・酒田) 地すべり地形分布図 第3集(弘前・深浦) 地すべり地形分布図 第4集(村上) 地すべり地形分布図 第5集(青森・仙台) 地すべり地形分布図 第6集 昭和49年4月新潟県新井市平丸地区及び山形県大蔵村赤松 地区に発生した地すべり災害現地調査報告 1974年伊豆半島沖地震現地調査及び観測報告 垂水市牛根麓及び熊本市周辺の災害現地調査報告 1976年台風17号による兵庫県一宮町福知抜山地すべり及 び香川県小豆島の災害調査報告 1977年有珠山噴火による災害現地調査報告 1982年7月豪雨(57.7豪雨)による長崎地区災害調査報告 1985年7月26日長野市地附山地すべりによる災害の調査 報告 昭和61年(1986年)伊豆大島噴火災害調査報告
岡田義光 ・岡田義光 ・松村正三, 岡田義光, 井元政二郎, 島田誠一 ・松村正三, 岡田義光, 堀 貞喜 ・島田誠一, 大久保正, 岡田義光, 堀 貞喜 ・堀 貞喜, 松村正三, 島田誠一, 大久保正, 井元政二郎, 岡田義光 ・岡田義光 ・岡田義光	地殻活動監視用インテリジェントパネルディスプレイ 地震前兆解析システムの機能と構成 地震前兆解析システムにおける地震データ(高速採取デー タ)の処理 地震前兆解析システムにおける低速採取データの処理 地震前兆解析システムによる自動前兆監視 地震データ利用のためのプログラムシステム 震源計算・発震機構解計算プログラムの改良

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
21 ~ 44	研究報告	2	—
1 ~ 6	研究速報	2	—
1 ~ 51	”	25	—
9 ~ 17	”	41	122
19 ~ 65	”	41	121
21 ~ 64	”	50	508
	研究資料	69	288
	”	85	527
	”	96	675
	”	109	864
	”	116	1038
	”	125	1198
1 ~ 42	災害調査	4	—
1 ~ 121	”	5	—
1 ~ 52	”	7	—
1 ~ 68	”	13	—
1 ~ 70	”	14	—
1 ~ 133	”	21	530
1 ~ 45	”	26	866
1 ~ 64	”	28	1044
77 ~ 99	研究報告	33	648
35 ~ 44	”	41	1170
45 ~ 64	”	41	1171
65 ~ 87	”	41	1172
101 ~ 114	”	41	1174
137 ~ 151	”	41	1177
153 ~ 162	”	41	1178

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・大竹政和, 井元政二郎, 石田瑞穂, 大久保正, 岡田義光, 笠原敬司, 立川真理子, 松村正三, 山水史生, 浜田和郎 ・岡田義光, 野口伸一, 鶴川元雄, 井元政二郎 ・岡田義光, 佐藤春夫, 木下繁夫, 鶴川元雄, 野口伸一 ・井元政二郎, 島田誠一, 岡田義光, 笠原敬司 ・大谷圭一, 岡田義光, 諸星敏一, 田中耕平, 森脇 寛, 資料調査室	伊豆半島東方沖の地震(1980年6月29日)とその前後の地震活動 茨城県沖の地震(1982年7月23日)概報 1983年10月三宅島噴火前後の地殻活動 1983年8月8日山梨県東部の地震(M 6.0)とその前後の地震活動について 千葉県東方沖地震災害調査報告
小川信行 ・小川信行 ・小川信行 ・小川信行, 箕輪親宏, 勝山ヨシ子, 小柳良一 ・稲葉誠一, 小川信行, 箕輪親宏 ・小川信行 ・小川信行, 箕輪親宏, 飯田晴男, 久保田武 ・小川信行, 箕輪親宏 ・大谷圭一, 小川信行, 箕輪親宏, 飯田晴男 ・木下武雄, 熊谷貞治, 都司嘉宣, 小川信行, 沼野夏生, 阿部 修, 小西達男	水道管路の被害と地震時動水圧 角柱のロッキングと転倒に関する一考察(英文) 原子力配管系の多入力振動実験報告書(その1) 住宅設備ユニット振動実験報告 二次元振動装置製作に関する報告(第1報) 大型振動台加震時の周辺地盤振動に関する調査報告 三次元精密振動台による小型模型実験(三次元振動台による実験 その1) 大型耐震実験装置加振機等精密分解点検報告 昭和58年(1983年)日本海中部地震による災害現地調査報告
小沢行雄 ・小沢行雄, 小元敬男, 八木鶴平, 米谷恒春	気象調節に関する研究——総合報告——
小元敬男 ・八木鶴平, 清野 豁, 小元敬男 ・清野 豁, 小元敬男 ・小元敬男, 米谷恒春 ・八木鶴平, 清野 豁, 小元敬男 ・清野 豁, 八木鶴平, 小元敬男 ・清野 豁, 小元敬男, 八木鶴平, 米谷恒春 ・小元敬男, 八木鶴平, 清野 豁	北関東に豪雨及びひょう害をもたらした昭和47年8月2日の雷雨群のレーダエコー解析 1972年8月3日のひょう雲の構造と行動 関東地方の雷雨(その1) ——雷雨日の大気鉛直構造の数値解析—— 雷雨の等エコー構造と移動方向の関係について 雷雨エコー域内の雨滴粒度分布の差異について(序報) 弱い降ひょうを伴った対流恵系の降水分布の特徴について 昭和50年6月9日の群馬県の降ひょう(序報)

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 25	研究速報	43	195
1 ~ 14	”	46	365
3 ~ 18	”	51	509
1 ~ 13	”	57	517
1 ~ 49	災害調査	29	1200
57 ~ 73	研究報告	15	—
1 ~ 16	”	18	—
1 ~ 126	研究速報	75	1189
1 ~ 45	研究資料	16	—
1 ~ 16	”	26	—
1 ~ 43	”	28	—
1 ~ 139	”	67	286
1 ~ 29	”	97	853
1 ~ 164	災害調査	23	531
1 ~ 60	研究資料	34	64
37 ~ 52	研究報告	14	—
53 ~ 63	”	14	—
65 ~ 78	”	14	—
1 ~ 8	”	15	—
9 ~ 22	”	15	—
1 ~ 15	”	19	—
1 ~ 31	研究速報	22	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 清野 豁, 小元敬男 ・ 小沢行雄, 小元敬男, 八木鶴平, 米谷恒春	農作物のひょう害の形態と回復過程 — 昭和52年7月7日の降ひょう— 気象調節に関する研究 — 総合報告 —
長田忠良 ・ 長田忠良, 三日月晋一, 小林俊一	積算降雪深による積雪沈降荷重の推定
尾崎睿子 ・ 菅原正巳, 勝山ヨシ子, 八十島久, 尾崎睿子 ・ 菅原正巳, 尾崎睿子 ・ 渡辺一郎, 勝山ヨシ子, 尾崎睿子, 福井隆文 ・ 菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子 ・ 菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子 ・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 中根和郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, ・ 菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎 ・ 尾崎睿子, 菅原正巳 ・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・ 菅原正巳, 尾崎睿子 ・ 菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子	高速A-D, D-A 変換器を持つデータ処理機TOSBAC - 3400 のプログラミング例(1) 只見川の洪水流量を算出する方式について 電子計算機による強震記録の読み取り タンク・モデルによる非湿潤地帯河川の流出解析 (付: ビギン河, 木津川の流出解析) タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第1報) タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第2報) タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第3報) — 洪水解析用の自動化プログラムの開発 — タンク・モデルに付加された土壤水分構造の性質 タンク・モデルによるサンゲレ試験流域S1～S7の流出解析 タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第4報) — 流出孔の位置, 土壤水分構造, 農業用水のパラメータを定める — 「融雪流出の概念モデルの相互比較」の課題となった6流域の流出解析 「融雪流出の概念モデルの相互比較」の課題となった6流域の流出解析 (第2報) タンク・モデルによるビルマ, チンドウィン川の流出予測 (英文) イラワジ川上流部Sagaingの流量のタンク・モデルによる予報方式 累年月別平均気温の季節変化の型について — わが国と外国との比較 — パーソナル・コンピュータのためのタンク・モデル・プログラムとその使い方 タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第5報) — 積雪流域において, 降水量に掛ける補正係数を自動的に探し求める計算機プログラムの開発 — タンク・モデル及びバード・クリーク, オロンビー・ブルック, ビギン河, 木津川, サナガ河, ナム・ネムへの適用

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 19	研究速報	27	56
1 ~ 60	研究資料	34	64
1 ~ 36	研究速報	13	—
37 ~ 43	研究報告	1	—
41 ~ 53	”	3	—
11 ~ 31	”	9	—
1 ~ 26	”	12	—
43 ~ 89	”	17	—
157 ~ 216	”	20	42
159 ~ 181	”	24	192
193 ~ 206	”	27	271
207 ~ 228	”	27	272
229 ~ 245	”	27	273
85 ~ 165	”	30	361
187 ~ 236	”	33	650
21 ~ 45	”	36	842
47 ~ 57	”	36	843
59 ~ 77	”	36	844
1 ~ 217	”	37	847
87 ~ 113	”	39	1023
1 ~ 64	研究速報	11	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・勝山ヨシ子, 尾崎睿子, 幾志新吉, 諸星敏一 ・菅原正巳, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子, 渡辺一郎 ・渡辺一郎, 大倉 博, 尾崎睿子 ・菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子 ・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	図形入力装置の使用例の開発——災害・防災情報入力への応用—— 本邦山地積雪地域の流出解析 (英文) 松代群発地震資料のコンピュータによる蓄積と検索 チャオ・ピヤ河及び支流上の諸地点における日流量をタンク・モデルにより算出する方法について (英文) タンク・モデル——積雪・融雪モデルを伴った—— (英文) パーソナルコンピュータのためのタンク・モデル・プログラムとその使い方 (第2報)
香川崇章 ・香川崇章 ・湯原浩三, 高橋末雄, 幾志新吉, 香川崇章, 笠原敬司	震動応答解析法 八丈島地震災害現地調査について
片桐一美 ・植原茂次, 大谷圭一, 箕輪親宏, 片桐一美 ・栗山 弘, 山田 穰, 五十嵐高志, 野原以佐武, 東浦将夫, 沼野夏生, 片桐一美	1978年宮城県沖地震による災害現地調査報告 昭和56年豪雪による北陸地方の災害現地調査報告
勝山ヨシ子 ・菅原正巳, 勝山ヨシ子, 八十島久 ・菅原正巳, 勝山ヨシ子, 八十島久, 尾崎睿子 ・菅原正巳, 勝山ヨシ子 ・菅原正巳, 勝山ヨシ子, 大村一夫 ・菅原正巳, 勝山ヨシ子, 大村一夫, 福井隆文 ・渡辺一郎, 勝山ヨシ子, 尾崎睿子, 福井隆文 ・菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子 ・勝山ヨシ子, 渡辺一郎 ・渡辺一郎, 菅原正巳, 福井隆文, 勝山ヨシ子 ・菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子 ・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	気象レーダのエコーを電子計算機により実時間解析する可能性について 高速A-D, D-A変換器を持つデータ処理機TOSBAC-3400のプログラミング例(1) 気象資料の長期変動について——月平均気圧・月平均気温・月雨量のスペクトル解析—— 多数のレーダと中央の計算機による地域雨量測定法 (英文) 微小地震の自動検出方法について 電子計算機による強震記録の読み取り タンク・モデルによる非湿潤地帯河川の流出解析 (付: ビギン河, 木津川の流出解析) 微小地震の自動検出方法について (第2報) 微小地震の自動検出方法について (第3報) ——自動検測の試み—— タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第1報) タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第2報)

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ～ 9	研究速報	14	—
1 ～ 38	”	17	—
1 ～ 25	”	19	—
1 ～ 56	”	24	—
1 ～ 298	”	65	664
1 ～ 200	研究資料	113	1035
1 ～ 45	”	17	—
1 ～ 44	災害調査	1	—
1 ～ 82	災害調査	15	70
1 ～ 392	”	17	289
1 ～ 13	研究報告	1	—
37 ～ 43	”	1	—
45 ～ 86	”	1	—
1 ～ 8	”	5	—
1 ～ 9	”	9	—
11 ～ 31	”	9	—
1 ～ 26	”	12	—
27 ～ 51	”	12	—
33 ～ 47	”	15	—
43 ～ 89	”	17	—
157 ～ 216	”	20	42

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・勝山ヨシ子, 御子柴正, 矢崎 忍, 諸星敏一 ・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・菅原正巳, 渡辺一郎, 中根和郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・菅原正巳, 勝山ヨシ子 ・菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子 ・勝山ヨシ子, 尾崎睿子, 幾志新吉, 諸星敏一 ・菅原正巳, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子, 渡辺一郎 ・渡辺一郎, 福井隆文, 勝山ヨシ子 ・菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子 ・松村正三, 大久保正, 勝山ヨシ子, 浜田和郎 ・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・矢崎 忍, 勝山ヨシ子 ・小川信行, 箕輪親宏, 勝山ヨシ子, 小柳良一 ・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	災害・防災情報の自動計測のための基本ソフトウェアシステムの開発 タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第3報) — 洪水解析用の自動化プログラムの開発 — タンク・モデルに付加された土壤水分構造の性質 タンク・モデルによるサンゲレ試験流域 S 1 ~ S 7 の流出解析 タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第4報) — 流出孔の位置, 土壤水分構造, 農業用水のパラメータを定める — 「融雪流出の概念モデルの相互比較」の課題となった6流域の流出解析 「融雪流出の概念モデルの相互比較」の課題となった6流域の流出解析 (第2報) パーソナル・コンピュータのためのタンク・モデル・プログラムとその使い方 耐震実験装置に関する試験研究報告 (第1報) タンク・モデル及びバード・クリーク, オロンビー・ブルック, ビキン河, 木津川, サナガ河, ナム・ネムへの適用 図形入力装置の使用例の開発 — 災害・防災情報入力への応用 — 本邦山地積雪地域の流出解析 (英文) 地震波処理の一方式について チャオ・ピア河および支流上の諸地点における日流量をタンク・モデルにより算出する方法について (英文) 計算機による地殻活動観測データ処理システム — オンラインリアルタイムシステム — タンク・モデル — 積雪・融雪モデルを伴った — (英文) テレビカメラによる3次元動的位置計測 — 耐震実験における変位計測への適用 — 原子力配管系の多入力振動実験報告書 (その1) パーソナル・コンピュータのためのタンク・モデル・プログラムとその使い方 (第2報)
笠原敬司 ・笠原敬司 ・佐藤春夫, 浜田和郎, 高橋 博, 山水史生, 石田瑞穂, 塚原弘昭, 笠原敬司 ・井元政二郎, 大竹政和, 松村正三, 笠原敬司, 山水史生, 大久保正, 立川真理子, 浜田和郎	プレートが三重会合する関東・東海地方の地殻活動様式 多摩川下流域の地盤隆起と微小地震観測 (その2) 伊豆半島川奈崎における群発地震活動について — 1978年11月23日~12月31日 —

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
113～120	研究報告	22	114
159～181	”	24	192
193～206	”	27	271
207～228	”	27	272
229～245	”	27	273
85～165	”	30	361
187～236	”	33	650
1～217	”	37	847
1～ 52	研究速報	6	—
1～ 64	”	11	—
1～ 9	”	14	—
1～ 38	”	17	—
1～ 6	”	18	—
1～ 56	”	24	—
1～ 18	”	35	48
1～298	”	65	664
1～ 15	”	68	848
1～126	”	75	1189
1～200	研究資料	113	1035
33～137	研究報告	35	832
1～ 16	研究速報	26	—
1～ 14	”	36	47

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・大竹政和, 井元政二郎, 石田瑞穂, 大久保正, 岡田義光, 笠原敬司, 立川真理子, 松村正三, 山水史生, 浜田和郎 ・鷗川元雄, 石田瑞穂, 松村正三, 笠原敬司, 岡田義光, 立川真理子, 山水史生, 浜田和郎 ・井元政二郎, 島田誠一, 岡田義光, 笠原敬司 ・湯原浩三, 高橋末雄, 幾志新吉, 香川崇章, 笠原敬司 ・高橋 博, 高橋末雄, 笠原敬司, 山本英二, 大八木規夫	伊豆半島東方沖の地震 (1980年6月29日)とその前後の地震活動 関東・東海地域地震観測網による震源決定方法について 1983年8月8日山梨県東部の地震 (M6.0)とその前後の地震活動について 八丈島地震災害現地調査について 1974年伊豆半島沖地震現地調査及び観測報告
幾志新吉 ・熊谷貞治, 鈴木宏芳, 幾志新吉 ・諸星敏一, 幾志新吉 ・幾志新吉 ・鏡味洋史, 幾志新吉 ・諸星敏一, 幾志新吉 ・幾志新吉 ・大倉 博, 幾志新吉, 諸星敏一, 新井康平, 石戸喜夫, 佐藤右二 ・幾志新吉 ・勝山ヨシ子, 尾崎睿子, 幾志新吉, 諸星敏一 ・熊谷貞治, 田中耕平, 大八木規夫, 清水文健, 幾志新吉 ・幾志新吉 ・熊谷貞治, 田中耕平, 幾志新吉 ・植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一 ・植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一 ・幾志新吉, 中野秀人 ・田中耕平, 幾志新吉, 熊谷貞治 ・植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一	松代地域弾性波探査の周波数分析に現れた異常 —— 人工地震波の周波数分析(II)—— 土質断面図の検索・表示・応答システム 土質柱状図ファイルによる地盤の応答計算例 —— 東京強震 (1894年) 波形の川崎地区への適用—— 川崎市における地震時液状化危険度の簡易判定 リモートセンシング画像処理システム開発に関する研究 空中写真判読による有珠山噴火災害に関する研究 —— 被災樹木の1年後の状況について—— パーソナルコンピュータによるランドサット画像データの伝送実験 電子計算機によるX線回折データの検索 図形入力装置の使用例の開発 —— 災害・防災情報入力への応用—— 火山活動による地盤災害に関する研究 ランドサット・データによる1983年三宅島噴火噴出物の分布域の検出 昭和58年 (1983年) 三宅島噴火による火山災害 火山専用空中赤外映像装置の開発研究 火山専用空中赤外映像装置の開発研究 (第2報) ランドサットMSS データによる土地被覆分類と堆積した火山噴出物の面積の測定 —— 1983年三宅島噴火に関して—— 三宅島の傾斜分布図 火山専用空中赤外映像装置の開発研究 (第3報)

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 25	研究速報	43	195
1 ~ 88	”	53	513
1 ~ 13	”	57	517
1 ~ 45	災害調査	1	—
1 ~ 121	”	5	—
59 ~ 74	研究報告	13	—
33 ~ 42	”	17	—
71 ~ 83	”	18	—
101 ~ 111	”	22	113
131 ~ 144	”	22	116
183 ~ 191	”	24	193
277 ~ 284	”	41	1180
1 ~ 10	研究速報	9	—
1 ~ 9	”	14	—
9 ~ 17	”	41	120
19 ~ 27	”	51	510
29 ~ 62	”	51	511
1 ~ 106	”	62	661
1 ~ 40	”	63	662
3 ~ 16	”	69	849
17 ~ 27	”	69	850
1 ~ 48	”	70	851

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・植原茂次, 矢崎 忍, 熊谷貞治, 幾志新吉, 高橋 博 ・湯原浩三, 高橋末雄, 幾志新吉, 香川崇章, 笠原敬司 ・植原茂次, 幾志新吉, 諸星敏一, 横溝邦雄 ・植原茂次, 田中耕平, 井口 隆, 木下繁夫, 井元政二郎, 幾志新吉, 岩崎正樹 ・木下武雄, 水谷武司, 八木鶴平, 岸井徳雄, 佐藤照子, 植原茂次, 大倉 博, 幾志新吉	火山専用空中赤外映像装置に関する開発研究 (第 6 報) — ヘリコプター-MSS 及びランドサットTMデータによる桜島火山体の熱分布の解析— 八丈島地震災害現地調査について 1979年御岳山噴火による災害現地調査報告 昭和59年(1984年)長野県西部地震災害調査報告 1986年8月5日台風10号の豪雨による関東・東北地方の水害調査報告
岸井徳雄 ・岸井徳雄 ・岸井徳雄 ・岸井徳雄, 青木佑久 ・岸井徳雄 ・岸井徳雄 ・武田 宏, 岸井徳雄, 中根和郎, 大倉 博, 佐藤照子 ・岸井徳雄 ・岸井徳雄, 中根和郎, 大倉 博, 佐藤照子, 小西達男 ・岸井徳雄, 佐藤照子, 中根和郎, 大倉 博 ・岸井徳雄 ・高橋 博, 木下武雄, 岸井徳雄, 中根和郎, 小見波正隆 ・木下武雄, 岸井徳雄, 富永雅樹, 中根和郎 ・木下武雄, 水谷武司, 八木鶴平, 岸井徳雄, 佐藤照子, 植原茂次, 大倉 博, 幾志新吉	九州地方の火山灰地帯・非火山灰地帯における諸河川の流出特性 浦白川流出試験地の洪水流出特性 自然流域と都市流域の洪水流出特性の比較 都市化による洪水流出の変化 — 石神井川流域の例 (第 1 報) — 表面流出の発生に関する実験 筑波研究学園流出試験地の流出特性 (第 1 報) 浦白川流出試験地の洪水流出特性 (第 2 報) 筑波研究学園流出試験地の流出特性 (第 2 報) 浦白川流出試験地及び筑波研究学園流出試験地の水収支の比較 浦白川流出試験地水文観測資料 (1975. 4 ~ 1979. 12) 国立防災科学技術センター観測施設総覧 — 気象・水象・海象編 — 1981年8月24日台風15号による小貝川破堤水害調査報告 1986年8月5日台風10号の豪雨による関東・東北地方の水害調査報告
木下繁夫 ・木下繁夫 ・木下繁夫 ・御子柴正, 木下繁夫 ・木下繁夫 ・木下繁夫	強震記録の処理に関する一考察 (その 1) 帯域制限された波動伝達関数に関して (英文) 構内データ伝送システム — 耐震実験に対する適用 — 深層井観測により推定された厚い堆積層の地震応答特性 加速度及び加速計による強震地動の同時観測 — 中伊豆地殻活動観測施設における強震観測 —

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 33	研究速報	76	1190
1 ~ 45	災害調査	1	—
1 ~ 41	”	16	135
1 ~ 141	”	25	677
1 ~ 155	災害調査	27	1043
1 ~ 5	研究報告	17	—
17 ~ 30	”	20	34
1 ~ 33	”	21	26
27 ~ 38	”	22	107
19 ~ 27	”	25	174
49 ~ 87	”	27	262
93 ~ 101	”	29	353
23 ~ 68	”	33	646
1 ~ 20	”	40	1163
1 ~ 655	研究資料	25	128
1 ~ 311	”	127	
1 ~ 125	災害調査	20	380
1 ~ 155	”	27	1043
91 ~ 109	研究報告	17	—
45 ~ 62	”	21	28
123 ~ 135	”	29	355
25 ~ 145	”	38	1016
1 ~ 61	研究速報	44	194

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・岡田義光, 佐藤春夫, 木下繁夫, 鷗川元雄, 野口伸一 ・木下繁夫, 稲葉誠一 ・鈴木宏芳, 池田隆司, 御子柴正, 木下繁夫, 佐藤春夫, 高橋 博 ・矢崎 忍, 木下繁夫, 寺島幸造 ・植原茂次, 田中耕平, 井口 隆, 木下繁夫, 井元政二郎, 幾志新吉, 岩崎正樹	1983年10月三宅島噴火前後の地殻活動 電力用遮断器の振動実験 関東・東海地域における孔井検層資料集 強震記録数値集(第2集) — 1980年9月25日 千葉県中部地震— (英文) 昭和59年(1984年)長野県西部地震災害調査報告
木下 舜 ・高橋 博, 木下 舜, 山本英二, 中村武英, 松本地弘, 倉橋敏夫	岩槻地殻活動観測装置信号ケーブル接続部水密構造の開発
木下武雄 ・木下武雄, 中根和郎 ・木下武雄 ・木下武雄 ・木下武雄, 富永雅樹, 福囿輝旗, 益倉克成, 佐々木健一 ・木下武雄 ・木下武雄 ・木下武雄 ・小西達男, 木下武雄 ・木下武雄 ・木下武雄, 小西達男, 都司嘉宣 ・小西達男, 木下武雄 ・中根和郎, 木下武雄 ・木下武雄, 熊谷貞治 ・都司嘉宣, 小西達男, 木下武雄, 沼野夏生, 阿部 修 ・高橋 博, 木下武雄, 岸井徳雄, 中根和郎, 小見波正隆 ・木下武雄, 中根和郎, 福井隆文 ・高村 博, 西口哲夫, 木下武雄, 富永雅樹, 福囿輝旗, 大倉 博 ・木下武雄, 岸井徳雄, 富永雅樹, 中根和郎	表面流出に関する研究(その1) — 実験斜面において降雨強度が表面流出の発生に及ぼす影響— 連続土のう作製機の降雨中における作業性能に関する研究(受託研究) 降雨災害対策における超過確率年の例と問題点 表面流出に関する研究(その3) 海外の河川における洪水の水文学的研究(その1) 超音波により連続的に観測された洪水・潮汐等の流量変化の不定流としての挙動 浦白川流出試験地における流出係数・流出率の変化 海外の河川における洪水の水文学的研究(その2) 氾濫水の流動 高潮の河川遡上に関する研究 到達時間流出率による合理式流出係数の検討 津波危険度評価のための高まり係数 高潮の河川遡上に関する研究(Ⅱ) 流出係数に及ぼす貯留高の影響 火山体の音響特性に関する研究(Ⅰ) — 有珠山について— 昭和58年(1983年)日本海中部地震における津波に関する痕跡・証言の調査結果 国立防災科学センター観測施設総覧 — 気象・水象・海象編— 1975年8月17日台風第5号による高知県中部の災害現地調査報告 1976年台風第17号による長良川地域水害調査報告 1981年8月24日台風15号による小貝川破堤水害調査報告

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
3 ~ 18	研究速報	51	509
1 ~ 29	研究資料	24	—
1 ~ 162	”	65	284
1 ~ 332	”	80	378
1 ~ 141	災害調査	25	677
1 ~ 23	研究速報	40	124
35 ~ 49	研究報告	18	—
43 ~ 50	”	19	—
1 ~ 10	”	23	91
87 ~ 100	”	24	187
1 ~ 16	”	26	251
1 ~ 11	”	27	259
13 ~ 24	”	27	260
1 ~ 18	”	29	349
1 ~ 8	”	31	486
67 ~ 87	”	31	489
1 ~ 14	”	33	644
15 ~ 22	”	33	645
13 ~ 42	”	34	655
1 ~ 16	”	35	830
67 ~ 74	研究速報	41	122
1 ~ 306	研究資料	87	667
1 ~ 311	”	127	
1 ~ 53	災害調査	9	—
1 ~ 92	”	12	—
1 ~ 125	”	20	380

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 木下武雄, 熊谷貞治, 都司嘉宣, 小川信行, 沼野夏生, 阿部 修, 小西達男 ・ 木下武雄, 水谷武司, 八木鶴平, 岸井徳雄, 佐藤照子, 植原茂次, 大倉 博, 幾志新吉	昭和58年(1983年)日本海中部地震による災害現地調査報告 1986年8月5日台風10号の豪雨による関東・東北地方の水害調査報告
木村 忠志 ・ 木村忠志 ・ 木村忠志 ・ 木村忠志, 清水増治郎 ・ 木村忠志, 清水増治郎 ・ 松尾 実, 松井正夫, 木村忠志 ・ 木村忠志 ・ 木村忠志 ・ 山田 穰, 五十嵐高志, 納口恭明, 木村忠志, 小林俊市 ・ 木村忠志, 清水増治郎, 小林俊市, 山田 穰, 五十嵐高志 ・ 熊谷元伸, 小林俊市, 木村忠志, 清水増治郎, 五十嵐高志, 納口恭明	低周波音波による積雪検知 超音波による積雪検知 小型フォトトランジスタによる雪面の検出 太陽熱による屋根雪融解に関する予備実験 ガンマ線散乱形積雪密度計の小型軽量化 Metal Wafer による積雪相当水量の観測 点線源によるガンマ線散乱形積雪密度計の改良 長岡における積雪観測資料(1984. 11 — 1985. 4) 長岡における積雪観測資料(1985. 11 — 1986. 4) 長岡における積雪観測資料(11) — 1986. 11 ~ 1987. 4)
久保田 武 ・ 小川信行, 箕輪親宏, 飯田晴男, 久保田武	大型震動台加震時の周辺地盤振動に関する調査報告
窪田道典 ・ 窪田道典 ・ 藤縄幸雄, 窪田道典, 江口孝雄, 鷗川元雄	地殻変動連続観測所の最適配置の決定 自己浮上式海底地震計(CDPOBS IIa)について
熊谷貞治 ・ 熊谷貞治, 鈴木宏芳, 幾志新吉, ・ 森脇 寛, 広部良輔, 熊谷貞治, 高橋 博 ・ 高橋末雄, 高橋 博, 熊谷貞治, 田中康裕 ・ 大八木規夫, 熊谷貞治 ・ 熊谷貞治, 鈴木宏芳, 八十島久, 高橋末雄 ・ 一色直記, 高橋 博, 熊谷貞治 ・ 高橋 博, 熊谷貞治, 大八木規夫, 磯巳代次, 川野辰男, 斉藤英二	松代地域弾性波探査の周波数分析に現れた異常 —— 人工地震波の周波数分析(II) —— 有珠山噴火による火山灰堆積層に関する研究 —— 降雨の表面流出と浸食について —— 富士山坑道の微動調査 1965年5月3日の降水による東京都区内のがけくずれ 渥美沖人工地震の作手における観測と周波数分析 —— 人工地震波の周波数分析(I) —— 火山列島硫黄島の火山現象に関する研究(その1) 火山列島硫黄島の火山現象に関する研究(その2)

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1～164	災害調査	23	531
1～155	”	27	1043
41～ 49	研究報告	5	—
51～ 58	”	5	—
33～ 46	”	9	—
191～199	”	19	0
191～201	”	31	496
203～217	”	31	497
35～ 43	”	32	501
1～ 12	研究資料	100	855
1～ 12	”	115	1037
1～ 13	”	120	1193
1～ 43	研究資料	28	—
47～ 64	研究報告	23	95
19～ 35	”	39	1020
59～ 74	研究報告	13	—
83～ 92	”	22	111
1～ 10	研究速報	1	—
1～ 6	”	2	—
1～ 26	”	5	—
1～ 64	”	23	—
1～ 51	”	25	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・熊谷貞治, 田中耕平, 大八木規夫, 清水文健, 幾志新吉 ・熊谷貞治, 高橋 博, 大八木規夫 ・木下武雄, 熊谷貞治 ・熊谷貞治 ・遠藤源助, 金 喜俊, 秋葉 治, 高橋 博, 熊谷貞治, 大八木規夫 ・熊谷貞治, 田中耕平, 幾志新吉 ・植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一 ・植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一 ・田中耕平, 幾志新吉, 熊谷貞治 ・植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一 ・植原茂次, 熊谷貞治, 三輪卓司, 源田秀三郎 ・植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 竹村孝爾, 堤 捨男 ・植原茂次, 矢崎 忍, 熊谷貞治, 幾志新吉, 高橋 博 ・熊谷貞治, 鈴木宏芳 ・熊谷貞治, 鈴木宏芳 ・熊谷貞治, 鈴木宏芳 ・熊谷貞治, 鈴木宏芳 ・青木忠男, 熊谷貞治, 寺島治男 ・熊谷貞治, 田中耕平, 大八木規夫, 清水文健, 小池幸男 ・木下武雄, 熊谷貞治, 都司嘉宣, 小川信行, 沼野夏生, 阿部 修, 小西達男	火山活動による地盤災害に関する研究 1977年有珠山噴火による火山噴出物の分布及びその影響について 火山体の音響特性に関する研究(I) — 有珠山について — 1977年有珠山噴火による降灰及び泥流による被害調査資料 火山列島硫黄島における電気探査による地下構造調査 昭和58年(1983年)三宅島噴火による火山災害 火山専用空中赤外映像装置の開発研究 火山専用空中赤外映像装置の開発研究(第2報) 三宅島の傾斜分布図 火山専用空中赤外映像装置の開発研究(第3報) 火山専用空中赤外映像装置の開発研究(第4報) — ミラーテストピースの火山暴露試験による表面腐蝕状況の電子顕微鏡による観察 — 火山専用空中赤外映像装置の開発研究(第5報) — 3~5 μm 帯域赤外線検知器による噴気温度の現地計測実験 — 火山専用空中赤外映像装置に関する開発研究(第6報) — ヘリコプターMSS及びランドサットTMデータによる桜島火山体の熱分布の解析 松代群発地震地域の冠着山付近における地震活動 火山活動観測資料(硫黄島, 霧島山) No.2 火山活動観測資料(硫黄島, 霧島山) No.3 火山活動観測資料(硫黄島, 霧島山) No.4 昭和48年4月18日長野県萩之峰地すべり災害について 1977年有珠山噴火による災害現地調査報告 昭和58年(1983年)日本海中部地震による災害現地調査報告
熊谷元伸 ・熊谷元伸, 野原以左武 ・熊谷元伸, 小林俊市, 木村忠志, 清水増治郎, 五十嵐高志, 納口恭明 ・五十嵐高志, 山田 穰, 中尾正義, 清水増治郎, 熊谷元伸, 小林俊市	地下水利用による無散水融雪工法の実用化に関する研究 長岡における積雪観測資料(11)(1986.11~1987.4) 長岡における積雪観測資料(12)(1987.11~1988.4)

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
9 ~ 17	研究速報	41	120
19 ~ 65	”	41	121
67 ~ 74	”	41	122
75 ~ 124	”	41	123
21 ~ 64	”	50	508
29 ~ 62	”	51	511
1 ~ 106	”	62	661
1 ~ 40	”	63	662
17 ~ 27	”	69	850
1 ~ 48	”	70	851
1 ~ 37	”	71	852
1 ~ 32	”	73	1031
1 ~ 33	”	76	1190
1 ~ 34	研究資料	15	—
1 ~ 105	”	88	529
1 ~ 89	”	95	674
1 ~ 147	”	108	863
1 ~ 17	災害調査	2	—
1 ~ 70	”	14	—
1 ~ 164	”	23	531
285 ~ 309	研究報告	41	1181
1 ~ 13	研究資料	120	1193
1 ~ 15	”	129	

著 者 ・ 編 者	論 文 名
栗山 弘 ・ 桜田良治, 栗山 弘 ・ 栗山 弘, 野原以左武, 小林俊市 ・ 栗山 弘 ・ 栗山 弘 ・ 栗山 弘, 山田 穰, 五十嵐高志, 野原以左武, 東浦将夫, 沼野夏生, 片桐一美	雪の圧縮特性の熱力学的検討 (英文) ロータリ除雪装置の除雪動力に関する研究(1) — 除雪動力試験 — 積雪地域の雪による人的被害の特徴 湿雪地域における道路・交通標識の着雪防止 (機能性含ふ 素高分子材の利用) 昭和56年豪雪による北陸地方の災害現地調査報告
監物勝英 ・ 中村 勉, 監物勝英	0°C 近傍にある積雪の日変化
小池幸男 ・ 萩原尊礼, 茅野一郎, 浜田和郎, 大竹政和, 井元政二郎, 小池幸男 ・ 熊谷貞治, 田中耕平, 大八木規夫, 清水文健, 小池幸男	地震断層付近の震害に関する調査 — 1891年～1976年の主要内陸地震について — 1977年有珠山噴火による災害現地調査報告
小西達男 ・ 小西達男, 木下武雄 ・ 木下武雄, 小西達男, 都司嘉宣 ・ 岸井徳雄, 中根和郎, 大倉 博, 佐藤照子, 小西達男 ・ 小西達男, 木下武雄 ・ 都司嘉宣, 小西達男 ・ 都司嘉宣, 小西達男, 木下武雄, 沼野夏生, 阿部 修 ・ 木下武雄, 熊谷貞治, 都司嘉宣, 小川信行, 沼野夏生, 阿部 修, 小西達男	高潮の河川遡上に関する研究 津波危険度評価のための高まり係数 筑波研究学園流出試験地の流出特性 (第2報) 高潮の河川遡上に関する研究 (Ⅱ) 日本海に発生した地震津波と数値計算結果 昭和58年 (1963年) 日本海中部地震における津波に関する 痕跡・証言の調査結果 昭和58年 (1983年) 日本海中部地震による災害調査報告
小林俊市 ・ 田中康之, 高橋修平, 小林俊市 ・ 小林俊市 ・ 磯部金治, 小林俊市, 宮村兵衛 ・ 栗山 弘, 野原以左武, 小林俊市 ・ 長田忠良, 三日月晋一, 小林俊市 ・ 五十嵐高志, 清水増治郎, 小林俊市, 山田 穰 ・ 清水増治郎, 小林俊市, 宮村兵衛, 山田 穰, 五十嵐高志 ・ 小林俊市, 宮村兵衛, 山田 穰, 五十嵐高志, 清水増治郎	流雪溝の流雪能力について 圧雪硬度の温度および密度による変化 一軸圧縮試験機で圧縮した雪の切削破壊抵抗 ロータリ除雪装置の除雪動力に関する研究(1) — 除雪動力試験 — 積算降雪深による積雪沈降荷重の推定 長岡における積雪観測資料 (1964. 12—1976. 3) 長岡における積雪観測資料 (1976. 11—1978. 4) 長岡における積雪観測資料 (1978. 11—1979. 3)

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
89～103	研究報告	26	256
241～276	”	35	836
79～ 94	”	36	845
1～ 19	研究速報	52	512
1～392	災害調査	17	289
1～ 47	研究速報	60	522
1～117	研究資料	39	59
1～ 70	災害調査	14	—
67～ 87	研究報告	31	489
15～ 22	”	33	645
23～ 68	”	33	646
13～ 42	”	34	655
277～297	”	35	837
1～306	研究資料	87	667
1～164	災害調査	23	531
55～ 68	研究報告	3	—
267～292	”	20	45
105～131	”	26	257
241～276	”	35	836
1～ 36	研究速報	13	—
1～ 50	研究資料	25	—
1～ 21	”	31	67
1～ 12	”	43	133

著 者 ・ 編 者	論 文 名
- 宮村兵衛, 山田 稷, 五十嵐高志, 清水増治郎, 小林俊市 - 山田 稷, 五十嵐高志, 納口恭明, 木村忠志, 小林俊市 - 木村忠志, 清水増治郎, 小林俊市, 山田 稷, 五十嵐高志 - 熊谷元伸, 小林俊市, 木村忠志, 清水増治郎, 五十嵐高志, 納口恭明 - 五十嵐高志, 山田 稷, 中尾正義, 清水増治郎, 熊谷元伸, 小林俊市	長岡における積雪観測資料 (1979. 11—1980. 4) 長岡における積雪観測資料 (1984. 11—1985. 4) 長岡における積雪観測資料 (1985. 11—1986. 4) 長岡における積雪観測資料 (11) (1986. 11—1987. 4) 長岡における積雪観測資料 (12) (1987. 11—1988. 4)
小見波正隆 高橋 博, 木下武雄, 岸井徳雄, 中根和郎, 小見波正隆	国立防災科学センター観測施設総覧 — 気象・水象・海象編 —
近藤純正 - 近藤純正, 渡部 勲 - 近藤純正, 内藤玄一 - 近藤純正, 稲田 亘, 内藤玄一, 渡部 勲 - 近藤純正 - 近藤純正, 藤縄幸雄, 内藤玄一 - 近藤純正, 内藤玄一, 藤縄幸雄, 渡部 勲 - 近藤純正 - 近藤純正, 内藤玄一, 藤縄幸雄 - 内藤玄一, 近藤純正	深い湖の水温鉛直分布と蒸発の季節変化 地表面近くの地温・気温の日変化特性 平塚沿岸の風・水温および波について 地表温度の数値予報 砕波・白波・波浪高周波成分の観測と海面粗度 海上風の乱れのスケールと軸の傾き 海面と大気間の運動量・顕熱・水蒸気に対する輸送係数 風による海洋最上層の流速 海面近くの風速変動の相関と乱渦の三次元モデル
斎藤 隆 田中孝紀, 斎藤 隆, 飯田晴男	大型耐震実験装置の回転運動抑制についての考察
斎藤博英 - 斎藤博英, 清水増治郎 - 斎藤博英	長岡における降雪の日変化 降雪の強さと視程
坂田正治 - 坂田正治 - 島田誠一, 坂田正治, 野口伸一 - 島田誠一, 野口伸一, 坂田正治	新しく考案したボアホール式3成分ひずみ計 3成分ひずみ計の観測, 記録およびデータ処理方式 防災センター構内3成分ひずみ計の設置姿勢について
佐竹 洋 佐竹 洋, 池田隆司, 福田 理, 高橋 博	烏山一菅生沼断層 (茨城県南西部) の電気探査

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 12	研究資料	54	201
1 ~ 12	”	100	855
1 ~ 12	”	115	1037
1 ~ 13	”	120	1193
1 ~ 15	”	129	
1 ~ 311	”	127	
75 ~ 88	研究報告	2	—
89 ~ 105	”	2	—
45 ~ 64	”	4	—
47 ~ 67	”	7	—
1 ~ 23	”	10	—
25 ~ 40	”	10	—
41 ~ 65	”	10	—
67 ~ 82	”	10	—
83 ~ 96	”	10	—
1 ~ 22	研究資料	53	202
25 ~ 31	研究報告	5	—
33 ~ 40	”	5	—
95 ~ 126	研究報告	25	177
101 ~ 110	”	31	491
17 ~ 32	”	35	831
87 ~ 94	研究報告	25	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・塚原弘昭, 池田隆司, 佐竹 洋, 大竹政和 ・池田隆司, 塚原弘昭, 佐竹 洋, 大竹政和, 高橋 博	水圧破壊法による地殻応力の測定 ——地表下90mにおける地殻応力測定—— 水圧破壊に伴う微小破壊音
佐藤篤司 ・佐藤篤司 ・佐藤篤司	積雪の遡性波速度の実験的研究 吹雪計 (SPC) における飛雪粒子の粒径効果に関する考察 (第1報) 新庄の平地における積雪断面観測結果(1980/81年～1987/88年8冬期)
佐藤照子 ・佐藤照子, 植原茂次 ・武田 宏, 岸井徳雄, 中根和郎, 大倉 博, 佐藤照子 ・植原茂次, 佐藤照子 ・岸井徳雄, 中根和郎, 大倉 博, 佐藤照子, 小西達男 ・植原茂次, 佐藤照子 ・佐藤照子, 植原茂次 ・岸井徳雄, 佐藤照子, 中根和郎, 大倉 博 ・木下武雄, 水谷武司, 八木鶴平, 岸井徳雄, 佐藤照子, 植原茂次, 大倉 博, 幾志新吉	都市化に伴う洪水流出特性変化のタンクモデルによる解析 筑波研究学園流出試験地の流出特性 (第1報) 日本の河川流域の月単位水収支と水文特性 (第1報) 筑波研究学園流出試験地の流出特性 (第2報) 日本の河川流域の月単位水収支と水文特性 (第2報) 流域条件と洪水流出特性の変化に関する実験的研究 (第1報) ——不浸透の増大による洪水流下速度の増大—— 浦白川流出試験地及び筑波研究学園流出試験地の水収支の比較 1986年8月5日台風10号の豪雨による関東・東北地方の水害調査報告
佐藤春夫 ・山水史生, 塚原弘昭, 佐藤春夫, 石田瑞穂, 浜田和郎 ・佐藤春夫, 高橋 博 ・大久保正, 佐藤春夫, 松村正三 ・佐藤春夫 ・佐藤春夫, 浜田和郎 ・佐藤春夫, 浜田和郎, 高橋 博, 山水史生, 石田瑞穂, 塚原弘昭, 笠原敬司 ・佐藤春夫 ・岡田義光, 佐藤春夫, 木下繁夫, 鵜川元雄, 野口伸一 ・佐藤春夫, 立川真理子	川崎微小地震観測施設と深度別ノイズ分布 地殻傾斜の群列観測 (その1) グラフィックディスプレイ装置を用いた地殻傾斜変動図の作成 リソスフェアにおける地震波の散乱と減衰 ——ランダムな不均質構造による一次散乱理論—— 多摩川下流域の地盤隆起と微小地震観測 ——関係機関による研究の概要の紹介のために—— 多摩川下流域の地盤隆起と微小地震観測 (その2) ボアホール型傾斜計と地震予知 (英文) 1983年10月三宅島噴火前後の地殻活動 地殻傾斜観測資料集(1) [岡部・近又・野田沢地殻活動観測施設]

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 24	研究速報	30	53
1 ~ 11	”	31	52
183 ~ 196	研究報告	39	1029
339 ~ 342		40	1166
1 ~ 138	研究資料	131	
145 ~ 158	研究報告	24	191
49 ~ 87	”	27	262
25 ~ 64	”	30	359
23 ~ 68	”	33	646
155 ~ 228	”	35	834
67 ~ 86	”	39	1022
1 ~ 20	”	40	1163
1 ~ 155	災害調査	27	1043
17 ~ 33	研究報告	18	—
39 ~ 62	”	20	36
145 ~ 157	”	27	267
101 ~ 186	”	33	649
1 ~ 32	研究速報	20	—
1 ~ 16	”	26	—
1 ~ 32	”	34	49
3 ~ 18	”	51	509
1 ~ 32	研究資料	42	134

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 佐藤春夫, 立川真理子, 山本英二	地殻傾斜観測資料集 1979 [近又・野田沢・岡部・中伊豆 南足柄・塩山地殻活動観測施設]
・ 立川真理子, 佐藤春夫, 山本英二	地殻傾斜観測資料集(3)1980 [近又・野田沢・岡部・中伊 豆・南足柄・塩山・岩井北・銚子・韭山地殻活動観測施設]
・ 鈴木宏芳, 池田隆司, 御子柴正, 木下繁夫, 佐藤春夫, 高橋 博	関東・東海地域における孔井検層資料集
・ 立川真理子, 山本英二, 佐藤春夫	地殻傾斜観測資料集(4)1981 [近又・野田沢・岡部・中伊 豆・南足柄・塩山・岩井北・銚子・三ヶ日・静岡・府中地 殻活動観測施設]
・ 立川真理子, 大久保正, 山本英二, 佐藤春夫	地殻傾斜観測資料集(5)1982 [近又・野田沢・岡部・中伊 豆・南足柄・塩山・岩井北・銚子・三ヶ日・静岡・本川根 下田・府中・岩槻・下総地殻活動観測施設]
・ 立川真理子, 大久保正, 山本英二, 佐藤春夫	1983年地殻傾斜観測資料集 [関東・東海地域地殻活動観 測網]
・ 立川真理子, 大久保正, 山本英二, 佐藤春夫	1984年地殻傾斜観測資料集 [関東・東海地域地殻活動観 測網]
・ 関口渉次, 島田誠一, 大久保正, 佐藤春夫, 立川真理子	1985年地殻傾斜観測資料集 [関東・東海地域地殻活動観 測網]
島田誠一	
・ 島田誠一, 坂田正治, 野口伸一	3成分ひずみ計の観測, 記録およびデータ処理方式
・ 島田誠一, 野口伸一, 坂田正治	防災センター構内 3成分ひずみ計の設置姿勢について
・ 松村正三, 岡田義光, 井元政二郎, 島田誠一	地震前兆解析システムの機能と構成
・ 島田誠一, 大久保正, 岡田義光, 堀 貞喜	地震前兆解析システムにおける低速採取データの処理
・ 堀 貞喜, 松村正三, 島田誠一, 大久保正, 井元政二郎, 岡田義光	地震前兆解析システムによる自動前兆監視
・ 井元政二郎, 島田誠一, 岡田義光, 笠原敬司	1983年8月8日山梨県東部の地震(M 6.0)とその前後の 地震活動について
・ 関口渉次, 島田誠一, 大久保正, 佐藤春夫, 立川真理子	1985年 地殻傾斜観測資料集(関東・東海地域地殻活動観 測網)
・ 高橋 博, 大竹政和, 熊谷貞治, 大八木規夫, 島田誠一, 植原茂次	昭和61年(1986年)伊豆大島噴火災害調査報告
清水文健	
・ 清水文健	高山地域における潜在的崩壊の危険性をもつ砂礫堆積物の 分布とその調査方法
・ 熊谷貞治, 田中耕平, 大八木規夫, 清水文健, 幾志新吉	火山活動による地盤災害に関する研究
・ 水谷武司, 清水文健	災害地の土地条件 — 危険の程度を判断し災害に備える手 がかり —
・ 清水文健	水河堆積物に含まれる石英砂粒の化学的作用による表面組 織
・ 清水文健, 大八木規夫, 井口 隆	地すべり地形分布図 第1集(新庄)
・ 清水文健, 大八木規夫, 井口 隆	地すべり地形分布図 第2集(秋田・男鹿・酒田)

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 66	研究資料	51	204
1 ~ 123	”	62	281
1 ~ 162	”	65	284
1 ~ 147	”	78	376
1 ~ 200	”	86	528
1 ~ 189	”	103	858
1 ~ 199	”	112	1034
1 ~ 210	”	124	1197
101 ~ 110	研究報告	31	498
17 ~ 32	”	35	831
35 ~ 44	”	41	1170
65 ~ 87	”	41	1172
101 ~ 114	”	41	1174
1 ~ 13	研究速報	57	517
1 ~ 210	研究資料	124	1197
1 ~ 64	災害調査	28	1044
27 ~ 42	研究報告	19	—
9 ~ 17	研究速報	41	120
1 ~ 59	研究資料	46	130
1 ~ 29	”	50	205
	”	69	288
	”	85	527

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 清水文健, 大八木規夫, 井口 隆 ・ 清水文健, 大八木規夫 ・ 清水文健, 大八木規夫 ・ 清水文健, 大八木規夫 ・ 熊谷貞治, 田中耕平, 大八木規夫, 清水文健, 小池幸男 ・ 米谷恒春, 森脇 寛, 清水文健	地すべり地形分布図 第3集(弘前・深浦) 地すべり地形分布図 第4集(村上) 地すべり地形分布図 第5集(青森・仙台) 地すべり地形分布図 第6集 1977年有珠山噴火による災害現地調査報告 1982年台風第10号と直後の低気圧による三重県一志郡の土石流災害および奈良県西吉野村地すべり災害調査報告
清水増治郎 ・ 斎藤博英, 清水増治郎 ・ 木村忠志, 清水増治郎 ・ 木村忠志, 清水増治郎 ・ 五十嵐高志, 清水増治郎, 木村俊市, 山田 稔 ・ 清水増治郎, 小林俊市, 宮村兵衛, 山田 稔, 五十嵐高志 ・ 小林俊市, 宮村兵衛, 山田 稔, 五十嵐高志, 清水増治郎 ・ 宮村兵衛, 山田 稔, 五十嵐高志, 清水増治郎, 小林俊市 ・ 木村忠志, 清水増治郎, 小林俊市, 山田 稔, 五十嵐高志 ・ 熊谷元伸, 小林俊市, 木村忠志, 清水増治郎, 五十嵐高志, 納口恭明 ・ 五十嵐高志, 山田 稔, 中尾正義, 清水増治郎, 熊谷元伸, 小林俊市	長岡における降雪の日変化 小型フォトトランジスタによる雪面の検出 太陽熱による屋根雪融解に関する予備実験 長岡における積雪観測資料(1964. 12—1976. 3) 長岡における積雪観測資料(1976. 11—1978. 4) 長岡における積雪観測資料(1978. 11—1979. 3) 長岡における積雪観測資料(1979. 11—1980. 4) 長岡における積雪観測資料(1985. 11—1986. 4) 長岡における積雪観測資料(11)(1986. 11—1987. 4) 長岡における積雪観測資料(12)(1987. 11—1988. 4)
菅原正巳 ・ 菅原正巳, 勝山ヨシ子, 八十島久 ・ 菅原正巳 ・ 菅原正巳, 勝山ヨシ子, 八十島久 ・ 菅原正巳, 勝山ヨシ子 ・ 菅原正巳, 尾崎睿子 ・ 菅原正巳, 勝山ヨシ子, 大村一夫 ・ 菅原正巳, 勝山ヨシ子, 大村一夫, 福井隆文 ・ 菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子 ・ 渡辺一郎, 菅原正巳, 福井隆文, 勝山ヨシ子	気象レーダのエコーを電子計算機により実時間解析する可能性について 天竜川佐久間の洪水予報方式について 高速A-D, D-A変換器を持つデータ処理機TOSBAC-3400のプログラミング例(1) 気象資料の長期変動について——月平均気圧・月平均気温・月雨量のスペクトル解析—— 只見川の洪水流量を算出する方式について 多数のレーダと中央の計算機による地域雨量測定法(英文) 微小地震の自動検出方法について タンクモデルによる非湿潤地帯河川の流出解析(付:ビギン河, 木津川の流出解析) 微小地震の自動検出法について(第3報)——自動検測の試み——

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
	研究速報	96	675
	”	109	864
	”	116	1038
	”	125	
1 ～ 70	災害調査	14	—
1 ～ 70	”	22	381
25 ～ 31	研究報告	5	—
33 ～ 46	”	9	—
191～199	”	19	—
1 ～ 50	研究資料	25	—
1 ～ 21	”	31	67
1 ～ 12	”	43	133
1 ～ 12	”	54	201
1 ～ 12	”	115	1037
1 ～ 13	”	120	1193
1 ～ 15	”	129	
1 ～ 13	研究報告	1	—
15 ～ 35	”	1	
37 ～ 43	”	1	—
45 ～ 86	”	1	—
41 ～ 53	”	3	—
1 ～ 8	”	5	—
1 ～ 99	”	9	—
1 ～ 26	”	12	—
33 ～ 47	”	15	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子	タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第 1 報)
・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第 2 報)
・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第 3 報) — 洪水解析用の自動化プログラムの開発 —
・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	タンク・モデルに付加された土壤水分構造の性質
・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	タンク・モデルによるサンゲレ試験流域 S 1 ~ S 7 の流出解析
・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第 4 報) — 流出孔の位置, 土壤水分構造, 農業用水のパラメータを定める —
・菅原正巳, 渡辺一郎, 中根和郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	「融雪流出の概念モデルの相互比較」の課題となった 6 流域の流出解析
・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	「融雪流出の概念モデルの相互比較」の課題となった 6 流域の流出解析 (第 2 報)
・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子	タンク・モデルによるビルマ, チンドウィン川の流出予測 (英文)
・菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎	イラワジ川上流部 Sagaing の流量のタンク・モデルによる予報方式
・尾崎睿子, 菅原正巳	累年月別平均気温の季節変化の型について — わが国と外国との比較 —
・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	パーソナル・コンピュータのためのタンク・モデル・プログラムとその使い方
・菅原正巳, 尾崎睿子	タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第 5 報) — 積雪流域において, 降水量に掛ける補正係数を自動的に探し求める計算機プログラムの開発 —
・菅原正巳, 勝山ヨシ子	耐震実験装置に関する試験研究報告
・菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子	タンクモデル及びバード・クリーク, オロンビー・ブルック, ビキン河, 木津川, サナガ河, ナム・ネムへの適用
・菅原正巳, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子, 渡辺一郎	本邦山地積雪地域の流出解析 (英文)
・菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子	チャオ・ピヤ河および支流上の諸地点における日流量をタンクモデルにより算出する方法について (英文)
・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	タンク・モデル — 積雪・融雪モデルを伴った — (英文)
・菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	パーソナルコンピュータのためのタンクモデル・プログラムとその使い方 (第 2 報)
杉森康宏	乱れた流れの上の波浪の方向特性について (英文)
・杉森康宏	大陸棚上の浅海域における風浪の発達に関する研究 (英文)

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
43 ~ 89	研究報告	17	—
157 ~ 216	”	20	42
159 ~ 181	”	24	192
193 ~ 206	”	27	271
207 ~ 228	”	27	272
229 ~ 245	”	27	273
85 ~ 165	”	30	361
187 ~ 236	”	33	650
21 ~ 45	”	36	842
47 ~ 57	”	36	843
59 ~ 77	”	36	844
1 ~ 217	”	37	847
87 ~ 113	”	39	1022
1 ~ 52	研究速報	6	—
1 ~ 64	”	11	—
1 ~ 38	”	17	—
1 ~ 56	”	24	—
1 ~ 298	”	65	664
1 ~ 200	研究資料	113	1035
75 ~ 87	研究報告	13	—
193 ~ 209	”	15	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
鈴木宏芳 ・大八木規夫, 内田哲男, 鈴木宏芳 ・高橋末雄, 鈴木宏芳 ・熊谷貞治, 鈴木宏芳, 幾志新吉 ・鈴木宏芳 ・熊谷貞治, 鈴木宏芳, 八十島久, 高橋末雄 ・田中耕平, 高橋 博, 鈴木宏芳, 寺島美南子 ・高橋 博, 福田 理, 鈴木宏芳, 田中耕平 ・鈴木宏芳, 高橋 博, 福田 理 ・鈴木宏芳, 高橋 博 ・熊谷貞治, 鈴木宏芳 ・鈴木宏芳, 池田隆司, 御子柴正, 木下繁夫, 佐藤春夫, 高橋 博 ・熊谷貞治, 鈴木宏芳 ・熊谷貞治, 鈴木宏芳 ・熊谷貞治, 鈴木宏芳 ・高橋 博, 渡辺一郎, 鈴木宏芳	加茂・大東地方花崗閃緑岩地帯における風化帯の粘土鉱物 (第1報) —— 風化生成粘土鉱物とその生成系列—— 浅井戸における地震波の深さによる変化 松代地域弾性波探査の周波数分析に現れた異常 —— 人工地 震波の周波数分析(Ⅱ)—— 関東平野の地中温度 渥美沖人工地震の作手における観測と周波数分析 —— 人工 周波数分析(Ⅰ)—— 川崎微小地震観測井の抗井地質 岩槻深層地殻活動観測井の作井と抗井地質 下総深層地殻活動観測井の作井と地質 府中地殻活動観測井の作井と抗井地質 松代群発地震地域の冠着山付近における地震活動 関東・東海地域における孔井検層資料集 火山活動観測資料(硫黄島, 霧島山) No. 2 火山活動観測資料(硫黄島, 霧島山) No. 3 火山活動観測資料(硫黄島, 霧島山) No. 4 1973年6月17日根室半島沖地震現地調査報告
清野 豁 ・八木鶴平, 清野 豁, 小元敬男 ・清野 豁, 小元敬男 ・八木鶴平, 清野 豁, 小元敬男 ・清野 豁, 八木鶴平, 小元敬男 ・清野 豁, 小元敬男, 八木鶴平, 米谷恒春 ・清野 豁 ・八木鶴平, 清野 豁 ・小元敬男, 八木鶴平, 清野 豁 ・清野 豁, 小元敬男 ・八木鶴平, 上田 博, 清野 豁 ・清野 豁, 米谷恒春, 八木鶴平	北関東に豪雨およびひょう害をもたらした昭和47年8月2 日の雷雨群のレーダエコー解析 1972年8月3日のひょう雲の構造と行動 雷雨の等エコー構造と移動方向の関係について 雷雨エコー域内の雨滴粒度分布の差異について(序報) 弱い降ひょうを伴った対流恵系の降水分布の特徴について 簡単な降ひょう記録計によるひょう粒の大きさの推定 長岡における降雪粒子のZ-R関係および粒度分布の特徴Ⅰ 昭和50年6月9日の群馬県の降ひょう(序報) 農作物のひょう害の形態と回復過程 —— 昭和52年7月7日 の降ひょう—— 昭和53年のかんばつによる茨城県の農作物被害調査 群馬県藤岡市における高層気象観測資料(1970—1972, 1974—1976)
関口渉次 ・関口渉次 ・関口渉次, 島田誠一, 大久保正, 佐藤春夫, 立川真理子	モホ不連続面近傍で発生した日本海下の地震による新地震 波フェイズ(英文) 1985年地殻傾斜観測資料集(関東・東海地域地殻活動観 測網)

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
21 ~ 44	研究報告	2	—
9 ~ 24	”	5	—
59 ~ 74	”	13	—
139 ~ 154	”	35	833
1 ~ 26	研究速報	5	—
1 ~ 7	”	28	55
1 ~ 105	”	47	366
1 ~ 55	”	48	367
1 ~ 84	”	64	663
1 ~ 34	研究資料	15	—
1 ~ 162	”	65	284
1 ~ 105	”	88	529
1 ~ 89	”	95	674
1 ~ 147	”	108	863
1 ~ 41	災害調査	3	—
37 ~ 52	研究報告	14	—
53 ~ 63	”	14	—
1 ~ 8	”	15	—
9 ~ 22	”	15	—
1 ~ 15	”	19	—
31 ~ 38	”	20	35
49 ~ 61	”	22	109
1 ~ 31	研究速報	22	0
1 ~ 19	”	27	56
1 ~ 50	”	33	50
1 ~ 140	研究資料	32	66
1 ~ 12	研究速報	78	
1 210	研究資料	124	1197

著 者 ・ 編 者	論 文 名
高橋 博 ・ 高橋 博 ・ 佐藤春夫, 高橋 博 ・ 森脇 寛, 広部良輔, 熊谷貞治 ・ 佐竹 洋, 池田隆司, 福田 理, 高橋 博 ・ 高橋 博 ・ 高橋末雄, 高橋 博, 熊谷貞治, 田中康裕 ・ 高橋 博 ・ 一色直記, 高橋 博, 熊谷貞治 ・ 高橋 博, 熊谷貞治, 大八木規夫, 磯巳代次, 川野辰男, 斎藤英二 ・ 佐藤春夫, 浜田和郎, 高橋 博, 山水史生, 石田瑞穂, 塚原弘昭, 笠原敬司 ・ 田中耕平, 高橋 博, 鈴木宏芳, 寺島美南子 ・ 高橋 博, 木下 舜, 山本英二, 中村武英, 松本地弘, 倉橋敏夫 ・ 熊谷貞治, 高橋 博, 大八木規夫 ・ 高橋 博, 福田 理, 鈴木宏芳, 田中耕平 ・ 鈴木宏芳, 高橋 博, 福田 理 ・ 磯巳代次, 川野辰男, 斎藤英二, 高橋 博 ・ 遠藤源助, 金 喜俊, 秋葉 治, 高橋 博, 熊谷貞治, 大八木規夫 ・ 植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一 ・ 植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一 ・ 鈴木宏芳, 高橋 博 ・ 植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一 ・ 植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 竹村孝爾, 堤 捨男 ・ 植原茂次, 矢崎 忍, 熊谷貞治, 幾志新吉, 高橋 博	新潟地震被災建物の空中写真による傾斜測定の研究 地殻傾斜の群列観測 (その1) 有珠山噴火による火山灰堆積層に関する研究 — 降雨の表面流出と浸食について— 烏山—菅生沼断層 (茨城県南西部) の電気探査 深層観測によって明らかにされた関東地方の微小地震活動の特性について 富士山坑道の微動調査 情報検索における出力と有効性の研究 防災情報の検索の諸方法に関する研究 (その1) 火山列島硫黄島の火山現象に関する研究 (その1) 火山列島硫黄島の火山現象に関する研究 (その2) 多摩川下流域の地盤隆起と微小地震観測 (その2) 川崎微小地震観測井の抗井地質 岩槻地殻活動観測装置信号ケーブル接続部水密構造の開発 1977年有珠山噴火による火山噴出物の分布及びその影響について 岩槻深層地殻活動観測井の作井と坑井地質 下総深層地殻活動観測井の作井と地質 硫黄島の第Ⅱ回地殻変動測量 火山列島硫黄島における電気探査による地下構造調査 火山専用空中赤外映像装置の開発研究 火山専用空中赤外映像装置の開発研究 (第2報) 府中地殻活動観測井の作井と坑井地質 火山専用空中赤外映像装置の開発研究 (第3報) 火山専用空中赤外映像装置の開発研究 (第5報) — 3~5 μm 帯域赤外線検知器による噴気温度の現地計測実験 — 火山専用空中赤外映像装置に関する開発研究 (第6報) — ヘリコプターMSS及びランドサットTMデータによる桜島火山体の熱分布の解析 —

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
15 ~ 40	研究報告	3	—
39 ~ 62	”	20	—
83 ~ 92	”	22	111
87 ~ 94	”	25	176
1 ~ 104	”	28	276
1 ~ 10	研究速報	1	—
1 ~ 22	”	8	—
1 ~ 64	”	23	—
1 ~ 51	”	25	—
1 ~ 16	”	26	—
1 ~ 7	”	28	55
1 ~ 23	”	40	124
19 ~ 65	”	41	121
1 ~ 105	”	47	366
1 ~ 55	”	48	367
5 ~ 20	”	50	507
21 ~ 64	”	50	508
1 ~ 106	”	62	661
1 ~ 40	”	63	662
1 ~ 84	”	64	663
1 ~ 48	”	70	851
1 ~ 32	”	73	1031
1 ~ 33	”	76	1190

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・高橋 博, 西尾元充, 有賀世治 ・力武常次, 高木章雄, 高橋 博, 萩原幸男, 松田時彦 ・鈴木宏芳, 池田隆司, 御子柴正, 木下繁夫, 佐藤春夫, 高橋 博 ・高橋 博, 木下武雄, 岸井徳雄 ・高橋 博, 渡辺一郎, 鈴木宏芳 ・高橋 博, 高橋末雄, 笠原敬司, 山本英二, 大八木規夫	空中写真による地震災害調査法の研究 中国の地震予知の現状 関東・東海地域における孔井検層資料集 国立防災科学技術センター観測施設総覧 — 気象・水象・海象編 — 1973年6月17日根室半島沖地震現地調査報告 1974年伊豆半島沖地震現地調査及び観測報告
高橋末雄 ・高橋末雄, 鈴木宏芳 ・高橋末雄 ・高橋末雄, 高橋 博, 熊谷貞治, 田中康裕 ・熊谷貞治, 鈴木宏芳, 八十島久, 高橋末雄 ・植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一 ・植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一 ・植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一 ・湯原浩三, 高橋末雄, 幾志新吉, 香川崇章, 笠原敬司 ・高橋 博, 高橋末雄, 笠原敬司, 山本英二, 大八木規夫	浅井戸における地震波の深さによる変化 岩槻深層観測井データ搬送装置とその信頼性 富士山坑道の微動調査 渥美沖人工地震の作手における観測と周波数分析 — 人工地震波の周波数分析 — 火山専用空中赤外映像装置の開発研究 火山専用空中赤外映像装置の開発研究 (第2報) 火山専用空中赤外映像装置の開発研究 (第3報) 八丈島地震災害現地調査について 1974年伊豆半島沖地震現地調査及び観測報告
高村 博 ・高村 博, 西口哲夫, 木下武雄, 富永雅樹, 福岡輝旗, 大倉 博	1976年台風第17号による長良川地域水害調査報告
竹田 厚 ・竹田 厚 ・都司嘉宜, 竹田 厚 ・竹田 厚 ・徳田正幸, 竹田 厚, 渡部 勲 ・竹田 厚, 都司嘉宜 ・徳田正幸, 渡部 勲, 竹田 厚	SEASAT衛星の散乱計による海上風向・風速場の解析 1982年10号および18号台風による高潮 羅賀の津波石——明治三陸津波(1896年)の痕跡高測量 2周波散乱計による波浪計測実験—Ⅰ, 固定プラットフォーム(観測塔)による方向スペクトル計測 衛星画像データによる津波浸水域の識別 2周波散乱計による波浪計測実験—Ⅱ, 移動プラットフォーム(航空機)による方向スペクトル計測

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 30	研究資料	6	—
1 ~ 169	”	44	132
1 ~ 162	”	65	284
1 ~ 311	”	127	
1 ~ 41	災害調査	3	—
1 ~ 121	”	5	—
9 ~ 24	研究報告	5	—
35 ~ 57	”	13	—
1 ~ 10	研究速報	1	—
1 ~ 26	”	5	—
1 ~ 106	”	62	661
1 ~ 40	”	63	662
1 ~ 48	”	70	851
1 ~ 45	災害調査	1	0
1 ~ 121	”	5	—
1 ~ 92	”	12	—
143 ~ 154	研究報告	25	179
299 ~ 314	”	35	838
163 ~ 169	”	39	1027
311 ~ 338	”	40	1165
311 ~ 319	”	41	1182
321 ~ 340	”	41	1183

著 者 ・ 編 者	論 文 名
武田 宏 ・ 武田 宏 ・ 武田 宏 ・ 武田 宏, 岸井徳雄, 中根和郎, 大倉 博 ・ 武田 宏	大規模工業団地計画における流出係数の考え方 重回帰分析を利用した崩壊土砂量の推定法 筑波研究学園流出試験地の流出特性 (第1報) 地下水の挙動を考慮した洪水防御工法の評価手法に関する事例研究
立川真理子 ・ 石田瑞穂, 立川真理子 ・ 立川真理子 ・ 井元政二郎, 大竹政和, 松村正三, 笠原敬司, 山水史生, 大久保正, 立川真理子, 浜田和郎 ・ 大竹政和, 井元政二郎, 石田瑞穂, 大久保正, 岡田義正, 笠原敬司, 立川真理子, 松村正三, 山水史生, 浜田和郎 ・ 佐藤春夫, 立川真理子 ・ 佐藤春夫, 立川真理子, 山本英二 ・ 立川真理子, 佐藤春夫, 山本英二 ・ 立川真理子, 山本英二, 佐藤春夫 ・ 立川真理子, 大久保正, 山本英二 ・ 立川真理子, 大久保正, 山本英二, 佐藤春夫 ・ 立川真理子, 大久保正, 山本英二, 佐藤春夫 ・ 関口渉次, 島田誠一, 大久保正, 佐藤春夫, 立川真理子	関東・東海地域地殻活動観測網における振動継続時間を用いた地震マグニチュードの決定 関東・東海地域地殻活動観測網における自動検測による振動継続時間マグニチュードの決定 伊豆半島川奈崎における群発地震活動について — 1978年11月23日～12月31日 — 伊豆半島東方沖の地震 (1980年6月29日) とその前後の地震活動 地殻傾斜観測資料集(1) [岡部・近又・野田沢地殻活動観測施設] 地殻傾斜観測資料集 1979 [近又・野田沢・岡部・中伊豆・南足柄・塩山地殻活動観測施設] 地殻傾斜観測資料集(3) 1980 [近又・野田沢・岡部・中伊豆・南足柄・塩山・岩井北・銚子・韮山地殻活動観測施設] 地殻傾斜観測資料集(4) 1981 [近又・野田沢・岡部・中伊豆・南足柄・塩山・岩井北・銚子・三ヶ日・静岡・府中地殻活動観測施設] 地殻傾斜観測資料集(5) 1982 [近又・野田沢・岡部・中伊豆・南足柄・塩山・岩井北・銚子・三ヶ日・静岡・本川根・下田・府中・岩槻・下総地殻活動観測施設] 1983年 地殻傾斜観測資料集 [関東・東海地域地殻活動観測網] 1984年 地殻傾斜観測資料集 [関東・東海地域地殻活動観測網] 1985年 地殻傾斜観測資料集 [関東・東海地域地殻活動観測網]
田中耕平 ・ 田中耕平 ・ 田中耕平 ・ 田中耕平, 高橋 博, 鈴木宏芳, 寺島美南子 ・ 熊谷貞治, 田中耕平, 大八木規夫, 清水文健, 幾志新吉 ・ 高橋 博, 福田 理, 鈴木宏芳, 田中耕平	関東平野の基盤地質構造と地震分布 シュミット投影法の地すべりへの二, 三の適用 川崎微小地震観測井の抗井地質 火山活動による地盤災害に関する研究 岩槻深層地殻活動観測井の作井と抗井地質

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
69～ 85	研究報告	24	186
17～ 27	”	26	252
49～ 87	”	27	262
39～ 68	”	29	351
119～131	”	27	265
89～100	”	31	490
1～ 14	研究速報	36	47
1～ 25	”	43	195
1～ 32	研究資料	42	134
1～ 66	”	51	204
1～123	”	62	281
1～147	”	78	376
1～200	”	86	528
1～189	”	103	858
1～199	”	112	1034
1～210	”	124	1197
17～ 26	研究報告	19	—
89～ 99	”	20	38
1～ 7	研究速報	28	55
9～ 17	”	41	120
1～105	”	47	366

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・熊谷貞治, 田中耕平, 幾志新吉 ・田中耕平, 幾志新吉, 熊谷貞治 ・熊谷貞治, 田中耕平, 大八木規夫, 清水文健, 小池幸男 ・植原茂次, 田中耕平, 井口 隆, 木下繁夫, 井元政二郎, 幾志新吉, 岩崎正樹 ・大八木規夫, 田中耕平, 福園輝旗 ・大谷圭一, 岡田義光, 諸星敏一, 田中耕平, 森脇 寛, 資料調査室 ・田中耕平, 中井専人, 中根和郎	昭和58年(1983年)三宅島噴火による火山災害 三宅島の傾斜分布図 1977年有珠山噴火による災害現地調査報告 昭和59年(1984年)長野県西部地震災害調査報告 1985年7月26日長野市地附山地すべりによる災害の調査報告 千葉県東方沖地震災害調査報告 1988年集中豪雨災害調査報告 ― 島根・広島地区 ―
田中孝紀 ・岩田憲幸, 田中孝紀 ・岩田憲幸, 稲田 亘, 田中孝紀, 渡部 勲 ・岩田憲幸, 田中孝紀, 渡部 勲 ・田中孝紀, 斎藤 隆, 飯田晴男	発達過程にある風浪 波浪のスペクトル幅と統計値(1) 台風によるうねり 大型耐震実験装置の回転運動抑制についての考察
田中康之 ・田中康之, 高橋修正, 小林俊市	流雪溝の流雪能力について
塚原弘昭 ・山水史生, 塚原弘昭, 佐藤春夫, 石田瑞穂, 浜田和郎 ・塚原弘昭 ・佐藤春夫, 浜田和郎, 高橋 博, 山水史生, 石田瑞穂, 塚原弘昭, 笠原敬司 ・塚原弘昭, 池田隆司, 佐竹 洋, 大竹政和 ・池田隆司, 塚原弘昭, 佐竹 洋, 大竹政和, 高橋 博	川崎微小地震観測施設と深度別ノイズ分布 岩槻地殻活動観測井における地殻熱流量及び関東地方の地殻温度分布(英文) 多摩川下流域の地盤隆起と微小地震観測(その2) 水圧破壊法による地殻応力の測定 ― 地表下90mにおける地殻応力測定― 水圧破壊に伴う微小破壊音
都司嘉宣 ・都司嘉宣 ・内藤玄一, 都司嘉宣, 渡部 勲 ・内藤玄一, 都司嘉宣, 渡部 勲 ・都司嘉宣 ・都司嘉宣	水温躍層を伝わる内部波の減衰 冬期南西諸島南方海域における運動量・顕熱・潜熱の輸送と方射量 ― AMTEX'74報告 冬期南西諸島南方海域における運動量・顕熱・潜熱の輸送と放射量(Ⅱ) ― AMTEX'75報告 陸棚斜面による長周期波の部分反射 海水混合に果たす潮汐の役割 ― 緩やかに水深が変化する海域を伝わる内部波に対するKdV方程式について

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
29 ~ 62	研究速報	51	511
17 ~ 27	”	69	850
1 ~ 70	災害調査	14	—
1 ~ 141	”	25	677
1 ~ 45	”	26	866
1 ~ 49	”	29	1200
1 ~ 115	”	30	
1 ~ 21	研究報告	4	—
23 ~ 43	”	4	—
59 ~ 79	”	5	—
1 ~ 22	研究資料	53	202
55 ~ 68	研究報告	3	—
17 ~ 33	研究報告	18	—
1 ~ 9	研究速報	21	—
1 ~ 16	”	26	—
1 ~ 24	”	30	53
1 ~ 11	”	31	52
49 ~ 66	研究報告	11	—
1 ~ 35	”	14	—
101 ~ 143	”	15	—
145 ~ 157	”	15	—
167 ~ 188	”	17	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・都司嘉宣 ・徳田正幸, 内藤玄一, 都司嘉宣, 渡部 勲 ・木下武雄, 小西達男, 都司嘉宣 ・都司嘉宣, 小西達男 ・都司嘉宣, 竹田 厚 ・都司嘉宣 ・竹田 厚, 都司嘉宣 ・都司嘉宣 ・都司嘉宣 ・都司嘉宣 ・都司嘉宣 ・都司嘉宣 ・都司嘉宣 ・都司嘉宣 ・都司嘉宣, 小西達男, 木下武雄, 沼野夏生, 阿部 修 ・都司嘉宣, 白雲燮, 秋教昇, 安希洙	1979年20号台風による高潮, 高波について 圧力式波浪計による相模湾での波浪観測 I 津波危険度評価のための高まり係数 日本海に発生した地震津波と数値計算結果 1982年10号および18号台風による高潮 神奈川県寺院過去帳アンケート調査結果でみた歴史地震被害 衛星画像データによる津波浸水域の識別 東海地方地震津波史料 (I・上巻) — 静岡県・山梨県・長野県南部編 — 東海地方地震津波史料 (I・下巻) — 静岡県・山梨県・長野県南部編 — (安政元年11月4日, 5日の地震) 地震・津波補遺史料 中華人民共和国地震工作概況 (翻訳資料) 唐山地震家屋被害と都市地震防災 (翻訳資料) 高知県地震津波史料 紀伊半島地震津波史料 — 三重県・和歌山県・奈良県の地震津波史料 東海地方地震津波史料 II — 静岡県・山梨県・長野県南部 — 昭和58年 (1983年) 日本海中部地震における津波に関する痕跡・証言の調査結果 韓国東海岸を襲った日本海中部地震津波
寺島幸造 ・矢崎 忍, 木下繁夫, 寺島幸造	強震記録数値集 (第2集) — 1980年9月25日千葉県中部地震 — (英文)
寺島治男 ・寺島治男, 森脇 寛, 福囿輝旗, 中根和郎, 富永雅樹 ・寺島治男, 新藤静夫, 田中芳則, 井口 隆 ・福囿輝旗, 寺島治男 ・青木忠男, 熊谷貞治, 寺島治男 ・寺島治男, 東浦将夫, 阿部 修 ・大八木規夫, 寺島治男, 森脇 寛	斜面崩壊機構に関する実験的研究 (I) 滑面を有する斜面の崩壊実験 降雨による粘性土斜面の崩壊実験 昭和48年4月18日長野県萩之峰地すべり災害について 昭和50年8月6日青森県岩木市百沢地区および山形県北部に発生した集中豪雨災害現地調査報告 1976年台風第17号による兵庫県一宮町福知抜山地すべりおよび香川県小豆島の災害調査報告
徳田正幸 ・内藤玄一, 徳田正幸, 渡部 勲 ・徳田正幸, 内藤玄一, 都司嘉宣, 渡部 勲	マイクロ波散乱計による海上風の遠隔測定実験 圧力式波浪計による相模湾での波浪観測 I

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
155～168	研究報告	25	180
133～154	”	26	258
15～ 22	”	33	645
277～297	”	35	837
299～314	”	35	838
95～112	”	36	846
311～319	”	41	1182
1～436	研究資料	35	63
1～857	”	36	62
1～ 41	”	55	200
1～ 9	”	56	198
11～ 32	”	56	199
1～278	”	57	197
1～392	”	60	279
1～411	”	77	375
1～306	”	87	667
1～ 96	”	90	669
1～332	研究資料	80	378
75～ 88	研究報告	15	—
111～124	”	24	189
103～122	”	29	354
1～ 17	災害調査	2	—
1～ 44	”	8	—
1～ 68	”	13	—
193～213	研究報告	23	101
133～154	”	26	258

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 徳田正幸, 江口純弘 ・ 徳田正幸 ・ 徳田正幸 ・ 徳田正幸, 渡部 勲, 江口純弘 ・ 内藤玄一, 渡部 勲, 徳田正幸 ・ 道田 豊, 徳田正幸, 上野義三 ・ 徳田正幸, 竹田 厚, 渡部 勲 ・ 徳田正幸, 渡部 勲, 竹田 厚 ・ 徳田正幸, 渡部 勲, 平元泰輔, 池田文雄, 長谷川保 ・ 渡部 勲, 徳田正幸 ・ 徳田正幸, 渡部 勲, 堀江賢次 ・ 徳田正幸, 道田 豊 ・ 渡部 勲, 徳田正幸 ・ 渡部 勲, 徳田正幸 ・ 渡部 勲, 徳田正幸 ・ 渡部 勲, 徳田正幸	圧力式ジンバル波浪計の開発研究 三本の波高計センサーによる波浪の方向特性の算出法 — I 実験室の風波の方向特性 — 三本の波高計センサーによる波浪の方向特性の算出法 — II 観測塔で観測されたうねりの方向特性 — 相模湾の波浪特性 II マイクロ波散乱計による海上風の遠隔測定実験 (II) タッカー式船用波浪計に関する研究 II. 目視及びブイ式波浪計との比較観測 2周波散乱計による波浪計測実験 — 1. 固定プラットフォーム (観測塔) による方向スペクトル計測 2周波散乱計による波浪計測実験 II. 移動プラットフォーム (航空機) による方向スペクトル計測 台風による定置網被害時の波浪特性 I 沿岸波浪観測システムに関する研究 — 1. 波高の定時観測 沿岸波浪観測システムに関する研究 — 2. 方向スペクトルの定時観測 タッカー式船用波浪計に関する研究 I 計測処理システムについて 平塚沖波浪観測資料(2) 平塚沖波浪観測資料(3) 平塚沖波浪観測資料(4) 平塚沖波浪観測資料(5) (1982. 9~1984. 8)
富永雅樹 ・ 寺島治男, 森脇 寛, 福園輝旗, 中根和郎, 富永雅樹 ・ 富永雅樹 ・ 富永雅樹 ・ 富永雅樹 ・ 富永雅樹 ・ 富永雅樹 ・ 富永雅樹 ・ 木下武雄, 富永雅樹, 福園輝旗, 益倉克成, 佐々木健一 ・ 富永雅樹 ・ 富永雅樹 ・ 富永雅樹	斜面崩壊機構に関する実験的研究(I) 土中の水分移動量の測定 — 正弦波状温度入力を利用した流速測定 — (英文) 土中の水分移動量の測定 — 多孔質媒体の熱伝導モデル — (英文) 災害調査方法試論 — 1976年9月12日に発生した長良川水害の調査について — 地下水の涵養量推定のための水理実験(1) 模擬地盤による降雨浸透実験(2) — 比抵抗による土中の水分量測定法 — (英文) 模擬地盤による降雨浸透実験(3) — 降雨浸透による地中水分変動と地下水流出 — (英文) 表面流出に関する研究 (その3) 電気抵抗率による土中水分量の測定 (英文) 土中の水分移動量の測定 (英文) 混合物体の新しい熱伝導方程式と土壌系への適用 — 土壌水の断面平均流量の直接測定(1) — (英文)

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
247～278	研究報告	27	274
157～192	”	29	357
167～187	”	30	362
219～239	”	31	498
277～319	”	33	653
171～182	”	39	1028
311～338	”	40	1165
321～340	”	41	1183
1～ 51	研究速報	54	514
1～ 24	”	61	660
1～ 33	”	67	666
1～ 32	”	72	1030
1～179	研究資料	47	129
1～127	”	59	278
1～129	”	107	862
1～125	”	123	1196
75～ 88	研究報告	15	—
97～104	”	16	—
105～111	”	16	—
79～ 99	”	19	—
123～135	”	20	40
131～139	”	23	98
141～184	”	23	99
87～100	”	24	187
171～181	”	27	269
183～191	”	27	270
229～239	”	35	838

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・大八木規夫, 富永雅樹 ・高村 博, 西口哲夫, 木下武雄, 富永雅樹, 福囿輝旗, 大倉 博 ・木下武雄, 岸井徳雄, 富永雅樹, 中根和郎	垂水市牛根麓および熊本市周辺の災害現地調査報告 1976年台風第17号による長良川地域水害調査報告 1981年8月24日台風15号による小貝川破堤水害調査報告
内藤玄一 ・近藤純正, 内藤玄一 ・近藤純正, 稲田 亘, 内藤玄一, 渡部 勲 ・近藤純正, 藤縄幸雄, 内藤玄一 ・近藤純正, 内藤玄一, 藤縄幸雄, 渡部 勲 ・近藤純正, 内藤玄一, 藤縄幸雄 ・内藤玄一, 近藤純正 ・内藤玄一, 都司嘉宣, 渡部 勲 ・内藤玄一, 都司嘉宣, 渡部 勲 ・内藤玄一 ・内藤玄一 ・内藤玄一, 徳田正幸, 渡部 勲 ・徳田正幸, 内藤玄一, 都司嘉宣, 渡部 勲 ・内藤玄一 ・内藤玄一, 渡部 勲, 徳田正幸 ・内藤玄一 ・内藤玄一	地表面近くの地温・気温の日変化特性 平塚沿岸の風・水温および波について 砕波・白波・波浪高周波成分の観測と海面粗度 海上風の乱れのスケールと軸の傾き 風による海洋最上層の流速 海面近くの風速変動の相関と乱渦の三次元モデル 冬期南西諸島南方海域における運動量・顕熱・潜熱の輸送と放射量——AMTEX'74報告—— 冬期南西諸島南方海域における運動量・顕熱・潜熱の輸送と放射量——AMTEX'75報告—— 海面近くの大気境界層における運動量, 顕熱輸送の直接測定 海洋上の大気境界層における風速, 気温変動の空間相関(I) マイクロ波散乱計による海上風の遠隔測定実験 圧力式波浪計による相模湾での波浪観測 I 海洋上の大気境界層における風速, 気温変動の空間相関(II) マイクロ波散乱計による海上風の遠隔測定実験(II) 台風通過時の海上風の乱流特性 発達した低気圧による海上強風の乱流特性と長周期スペクトル構造
中井専入 ・田中耕平, 中井専入, 中根和郎	1988年集中豪雨災害調査報告——島根・広島地区——
中尾正義 ・五十嵐高志, 山田 穰, 中尾正義, 清水増治郎, 熊谷元伸, 小林俊市	長岡における積雪観測資料(12) (1987. 11—1988. 4)
中根和郎 ・寺島治男, 森脇 寛, 福囿輝旗, 中根和郎, 富永雅樹 ・中根和郎 ・木下武雄, 中根和郎	斜面崩壊機構に関する実験的研究(1) 土砂流出解析への16mm撮影機の利用 表面流出に関する研究(その1)——実験斜面において降雨強度が表面流出の発生に及ぼす影響——

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 52	災害調査	7	—
1 ~ 92	”	12	—
1 ~ 125	”	20	380
89 ~ 105	研究報告	2	—
45 ~ 64	”	4	—
1 ~ 23	”	10	—
25 ~ 40	”	10	—
67 ~ 82	”	10	—
83 ~ 96	”	10	—
1 ~ 35	”	14	—
101 ~ 143	”	15	—
189 ~ 213	”	17	—
167 ~ 189	”	19	—
193 ~ 213	”	23	101
133 ~ 154	”	26	258
137 ~ 156	”	29	356
277 ~ 319	”	33	653
315 ~ 333	”	35	839
341 ~ 359	”	41	1184
1 ~ 115	災害調査	30	
1 ~ 15	研究資料	129	
75 ~ 88	研究報告	15	—
83 ~ 96	”	16	—
35 ~ 49	”	18	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 中根和郎, 矢崎 忍 ・ 武田 宏, 岸井徳雄, 中根和郎, 大倉 博, 佐藤照子 ・ 中根和郎 ・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 中根和郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 ・ 中根和郎 ・ 岸井徳雄, 中根和郎, 大倉 博, 佐藤照子, 小西達男 ・ 中根和郎 ・ 中根和郎, 木下武雄 ・ 岸井徳雄, 佐藤照子, 中根和郎, 大倉 博 ・ 高橋 博, 木下武雄, 岸井徳雄, 中根和郎, 小見波正隆 ・ 木下武雄, 中根和郎, 福井隆文 ・ 木下武雄, 岸井徳雄, 富永雅樹, 中根和郎 ・ 大八木規夫, 中根和郎, 福囿輝旗 ・ 田中耕平, 中井専人, 中根和郎	表面流出に関する研究 (その2) — 平地小流域における流量観測 — 筑波研究学園流出試験地の流出特性 (第1報) 雨域の移動を考慮した伊那谷における短時間降雨予測について 「融雪流出の概念モデルの相互比較」の課題となった6流域の流出解析 河川の流況推定 筑波研究学園流出試験地の流出特性 (第2報) 昭和58年7月山陰豪雨時の洪水流出の特徴 流出係数に及ぼす貯留高の影響 浦白川流出試験地及び筑波研究学園流出試験地の水収支の比較 国立防災科学技術センター観測施設総覧 — 気象・水象・海象編 — 1975年8月17日台風第5号による高知県中部の災害現地調査 1981年8月24日台風15号による小貝川破堤水害調査報告 1982年7月豪雨 (57.7豪雨) による長崎地区災害調査報告 1988年集中豪雨災害調査報告 — 島根・広島地区 —
中村 勉 ・ 中村 勉, 中村秀臣, 東浦将夫, 阿部 修 ・ 中村 勉, 阿部 修 ・ 中村 勉 ・ 東浦将夫, 中村 勉, 中村秀臣, 阿部 修 ・ 中村 勉 ・ 阿部 修, 中村 勉, 中村秀臣 ・ 中村秀臣, 阿部 修, 中村 勉 ・ 中村 勉, 東浦将夫, 阿部 修 ・ 中村 勉, 阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫, 沼野夏生 ・ 阿部 修, 中村 勉 ・ 中村 勉, 中村秀臣, 阿部 修 ・ 中村 勉, 阿部 修, 沼野夏生, セオドール・イー・ラング ・ 中村 勉 ・ 八木鶴平, 上田 博, 中村 勉, 中村秀臣, 阿部 修, 沼野夏生	放物型除雪プラウの試作 陸屋根上の積雪の断面観測とその積雪底部での融解 不純物含有氷の高温における力学的特性 地震によって発生した雪崩 1月の日本各地の積雪の違い (英文) 冬期の新庄における日射量の測定および太陽エネルギーの集熱とそれによる融雪の可能性について 滑落する屋根雪の壁面に及ぼす衝撃力 その1 ランドサット映像写真から求めた鳥海山の残雪域変化 三種の陸屋根上での積雪深と地上積雪深との比較 陸屋根上の日降雪深に及ぼす風の影響 1984年4月山形県西川町で発生した小雪崩による死傷事故 雪崩発生動力学のコンピューター的研究 (英文) 仙台での新積雪密度の一測定例 盆地における降雪の予備的研究 — 1985年新庄市でのレーダー観測 —

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
137 ~ 155	研究報告	20	41
49 ~ 87	"	27	262
89 ~ 108	"	27	263
85 ~ 165	"	30	361
35 ~ 65	"	31	488
23 ~ 68	"	33	646
1 ~ 12	"	34	654
1 ~ 16	"	35	830
1 ~ 20	"	40	1163
1 ~ 311	研究資料	127	
1 ~ 53	災害調査	9	—
1 ~ 125	"	20	380
1 ~ 133	"	21	530
1 ~ 115	"	30	
201 ~ 218	研究報告	19	—
219 ~ 228	"	19	—
293 ~ 324	"	20	46
103 ~ 112	"	21	32
175 ~ 177	"	22	119
245 ~ 270	"	23	104
169 ~ 189	"	25	181
45 ~ 53	"	32	502
55 ~ 72	"	32	503
73 ~ 87	"	32	504
73 ~ 87	"	34	658
89 ~ 109	"	34	659
335 ~ 343	"	35	840
9 ~ 24	"	38	1015

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・セオドール・イー・ラング, 中村 勉 ・中村 勉, 監物勝英 ・中村 勉, 山田 穰 ・東浦将夫, 阿部 修, 中村 勉, 中村秀臣 ・阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫, 沼野夏生, 中村 勉 ・阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫, 沼野夏生, 中村 勉 ・阿部 修, 中村秀臣, 沼野夏生, 東浦将夫, 佐藤篤司, 中村 勉	有限要素法による積雪の沈降解析 (英文) 0℃ 近傍にある積雪の日変化 ユネスコのわが国からの災害なだれ報告について 新庄の平地における積雪断面観測 (昭和49年～50年冬期) 新庄支所における10冬期間の気象・降積雪, その1・気象資料編 — 1974年11月～1984年4月冬期— 新庄支所における10冬期間の気象・降積雪観測, その2・降積雪編 — 1974年4月冬期— 新庄の平地における積雪断面観測結果 (1980/81年～1987/88年8冬期)
中村秀臣	
・中村秀臣 ・中村 勉, 中村秀臣, 東浦将夫, 阿部 修 ・中村秀臣 ・中村秀臣 ・中村秀臣, 阿部 修 ・東浦将夫, 中村 勉, 中村秀臣, 阿部 修	地下水散水による道路融雪実験から算出した適正散水量 放物型除雪プラウの試作 新雪製造装置の作成 落下した雪の密度変化 新庄における新積雪の密度 地震によって発生した雪崩
・中村秀臣 ・阿部 修, 中村 勉, 中村秀臣	風呂の廃湯による庭先融雪を目的とした野外融雪実験 冬期の新庄における日射量の測定および太陽エネルギーの集熱とそれによる融雪の可能性について
・中村秀臣, 阿部 修, 中村 勉 ・中村 勉, 阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫, 沼野夏生	滑落する屋根雪の壁面に及ぼす衝撃力 その1 三種の陸屋根上での積雪深と地上積雪深との比較
・中村 勉, 中村秀臣, 阿部 修 ・八木鶴平, 上田 博, 中村 勉, 中村秀臣, 阿部 修, 沼野夏生	1984年4月山形県西川町で発生した小雪崩による死傷事故 盆地における降雪の予備的研究 — 1985年新庄市でのレーダー観測—
・中村秀臣 ・東浦将夫, 阿部 修, 中村 勉, 中村秀臣	積雪の沈降力の発生機構に関する研究 (英文) 新庄の平地における積雪断面観測 (昭和49年～50年冬期)
・阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫, 沼野夏生, 中村 勉 ・阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫, 沼野夏生, 中村 勉 ・阿部 修, 中村秀臣, 沼野夏生, 東浦将夫, 佐藤篤司, 中村 勉	新庄支所における10冬期間の気象・降積雪, その1・気象資料編 — 1974年11月～1984年4月冬期— 新庄支所における10冬期間の気象・降積雪観測, その2・降積雪編 — 1974年4月冬期— 新庄の平地における積雪断面観測結果 (1980/81年～1987/88年8冬期)
西川 泰	
・西川 泰 ・西川 泰 ・西川 泰, 有賀世治, 水谷武司	日本における災害の変遷に関する研究 災害研究図表集 台風6626号による山地および海岸災害に関する研究

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
139～187	研究速報	59	519
1～ 17	”	60	522
1～ 68	研究資料	22	—
1～ 26	”	33	65
1～121	”	105	860
1～ 76	”	106	861
1～138	”	131	
117～147	研究報告	18	—
201～218	”	19	—
229～237	”	19	—
239～242	”	19	—
243～250	”	19	—
103～112	”	21	32
231～243	”	23	103
245～270	”	23	104
169～189	”	25	181
55～ 72	”	32	503
73～ 87	”	34	658
9～ 24	”	38	1015
361～385	”	41	1185
1～ 26	”	33	65
1～121	研究資料	105	860
1～ 76	”	106	861
1～138	”	131	
1～ 20	研究報告	2	—
1～414	研究資料	12	—
1～ 49	”	13	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・大八木規夫, 森脇 寛, 西川 泰	昭和49年4月新潟県新井市平丸地区及び山形県大蔵村赤松地区に発生した地すべり災害現地調査報告
西口哲夫	
・高村 博, 西口哲夫, 木下武雄, 富永雅樹, 福岡輝旗, 大倉 博	1976年台風第17号による長良川地域水害調査報告
沼野夏生	
・沼野夏生, 東浦将夫	多雪市街地の冬期生活における2・3の問題とその規定要因について——新庄住民への調査の結果から——
・中村 勉, 阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫, 沼野夏生	三種の陸屋根上での積雪深と地上積雪深との比較
・沼野夏生	多雪地方都市住民の雪害観についての一考察
・中村 勉, 阿部 修, 沼野夏生, セオドール・イー・ラング	雪崩発生動力学のコンピューター的研究(英文)
・八木鶴平, 上田 博, 中村 勉, 中村秀臣, 阿部 修, 沼野夏生	盆地における降雪の予備的研究——1985年新庄市でのレーダー観測——
・セオドール・イー・ラング, 沼野夏生, 阿部 修	コンピュータープログラム・LOPE(英文)
・東浦将夫, 阿部 修, 沼野夏生	新庄の平地における積雪断面観測(1975年～1980年冬期)
・沼野夏生	豪雪地帯市町村における雪害および雪害対策の実態調査資料(I)——1978～1979年冬期および1979～1980年冬期
・沼野夏生	豪雪地帯市町村における雪害および雪害対策の実態調査資料(II)——1980年～1981年冬期
・都司嘉宣, 小西達男, 木下武雄, 沼野夏生, 阿部 修	昭和58年(1983年)日本海中部地震における津波に関する痕跡・証言の調査結果
・沼野夏生	豪雪地帯市町村における雪害および雪害対策の実態調査資料(III)——1980年～1982年冬期および1982年冬期
・阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫, 沼野夏生, 中村 勉	新庄支所における10冬期間の気象・降積雪, その1・気象資料編——1974年11月～1984年4月冬期
・阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫, 沼野夏生, 中村 勉	新庄支所における10冬期間の気象・降積雪観測, その2・降積雪編——1974年4月冬期——
・阿部 修, 中村秀臣, 沼野夏生, 東浦将夫, 佐藤篤司, 中村 勉	新庄の平地における積雪断面観測結果(1980/81年～1987/88年8冬期)
・栗山 弘, 山田 穰, 五十嵐高志, 野原以左武, 東浦将夫, 沼野夏生, 片桐一美	昭和56年豪雪による北陸地方の災害現地調査報告
・木下武雄, 熊谷貞治, 都司嘉宣, 小川信行, 沼野夏生, 阿部 修, 小西達男	昭和58年(1983年)日本海中部地震による災害現地調査報告
納口恭明	
・納口恭明	グライド現象の数値モデル
・納口恭明	モデル地形における雪崩の運動走路
・納口恭明	ラムゾンデによる積雪の水平方向の非一様性の観測
・納口恭明	雪えくぼのパターン形成 I

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 42	災害調査	4	—
1 ~ 92	災害調査	12	—
279 ~ 301	研究報告	27	275
55 ~ 72	”	32	503
89 ~ 105	”	32	505
89 ~ 109	”	34	659
9 ~ 24	”	38	1015
81 ~ 137	研究速報	59	520
1 ~ 103	研究資料	70	368
1 ~ 247	”	72	370
1 ~ 126	”	76	374
1 ~ 306	”	87	667
1 ~ 266	”	94	673
1 ~ 121	”	105	860
1 ~ 76	”	106	861
1 ~ 138	”	131	
1 ~ 392	災害調査	17	—
1 ~ 164	”	23	531
189 ~ 206	研究報告	30	363
153 ~ 174	”	31	494
175 ~ 189	”	31	495
237 ~ 254	”	33	651

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 納口恭明 ・ 納口恭明 ・ 納口恭明, 山田 穰, 五十嵐高志 ・ 納口恭明 ・ 納口恭明 ・ 山田 穰, 五十嵐高志, 納口恭明, 木村忠志, 小林俊市 ・ 熊谷元伸, 小林俊市, 木村忠志, 清水増治郎, 五十嵐高志, 納口恭明	雪えくぼのパターン形成Ⅱ 実際の地形上での雪崩の運動走路Ⅰ 全層なだれにいたるグライドの加速のモデル 実際の地形上での雪崩の運動走路Ⅱ 誘導堤に拘束された雪崩の運動方程式 長岡における積雪観測資料(1984. 11—1985. 4) 長岡における積雪観測資料(11) (1986. 11—1987. 4)
野口伸一 ・ 島田誠一, 坂田正治, 野口伸一 ・ 島田誠一, 野口伸一, 坂田正治 ・ 岡田義光, 野口伸一, 鶴川元雄, 井元政二郎, 大竹政和 ・ 岡田義光, 佐藤春夫, 木下繁夫, 鶴川元雄, 野口伸一	3成分ひずみ計の観測, 記録およびデータ処理方式 防災センター構内3成分ひずみ計の設置姿勢について 茨城県沖の地震(1982年7月23日)概報 1983年10月三宅島噴火前後の地殻活動
野原以左武 ・ 栗山 弘, 野原以左武, 小林俊市 ・ 熊谷元伸, 野原以左武	ロータリ除雪装置の除雪動力に関する研究(1) — 除雪動力試験 — 地下水利用による無散水融雪工法の実用化に関する研究
浜田和郎 ・ 浜田和郎 ・ 山水史生, 塚原弘昭, 佐藤春夫, 石田瑞穂, 浜田和郎 ・ 浜田和郎 ・ 佐藤春夫, 浜田和郎 ・ 佐藤春夫, 浜田和郎, 高橋 博, 山水史生 ・ 松村正三, 大久保正, 勝山ヨシ子, 浜田和郎 ・ 井元政二郎, 大竹政和, 松村正三, 笠原敬司, 山水史生, 大久保正, 立川真理子, 浜田和郎 ・ 大竹政和, 井元政二郎, 石田瑞穂, 大久保正, 岡田義光, 笠原敬司, 立川真理子, 松村正三, 山水史生, 浜田和郎 ・ 浜田和郎 ・ 萩原尊礼, 茅野一郎, 浜田和郎, 大竹政和, 井元政二郎, 小池幸男	P波走時の異常と日本の上部マントル構造 — 日本における地震学的研究 — (英文) 川崎微小地震観測施設と深度別ノイズ分布 地震前兆解析システム開発の背景とその意義 多摩川下流域の地盤隆起と微小地震観測 — 関係機関による研究の概要の紹介のために — 多摩川下流域の地盤隆起と微小地震観測 (その2) 計算機による地殻活動観測データ処理システム — オンラインリアルタイムシステム — 伊豆半島川奈崎における群発地震活動について — 1978年11月23日—12月31日 — 伊豆半島東方沖の地震(1980年6月29日) アメリカの地震予知研究 地震断層付近の震害に関する調査 — 1891年—1976年の主要内陸地震について —

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
255～275	研究報告	33	652
147～168	”	38	1017
169～180	”	38	1018
133～152	”	39	1025
153～162	”	39	1026
1～12	研究資料	100	855
1～13	”	120	1193
1～110	研究報告	31	491
17～32	”	35	831
1～14	研究速報	46	365
3～18	”	51	509
241～276	研究報告	35	836
285～309	”	41	1181
53～70	研究報告	12	—
17～33	”	18	—
31～34	”	41	1169
1～32	研究速報	20	—
1～16	研究速報	26	—
1～18	”	35	48
1～14	”	36	47
1～25	”	43	195
1～19	研究資料	20	—
1～117	”	39	59

著 者 ・ 編 者	論 文 名
宮村撰三, 小原信利, 須藤 研, 浜田和郎	地震の時間的前兆の探究 — 1911 ~ 1978年に発表された論文の注釈つき文献案内 — (翻訳)
東浦将夫	
東浦将夫	新庄盆地の気候学的水収支
東浦将夫	散水による屋根雪消雪 (英文)
中村 勉, 中村秀臣, 東浦将夫, 阿部 修	放物型除雪プラウの試作
東浦将夫, 中村 勉, 中村秀臣, 阿部 修	地震によって発生した雪崩
東浦将夫, 阿部 修	山形県最上郡大蔵村滝の沢で発生した山崩れ
沼野夏生, 東浦将夫	多雪市街地の冬期生活における 2・3 の問題とその規定要因について — 新庄住民への調査の結果から —
中村 勉, 東浦将夫, 阿部 修	ランドサット映像写真から求めた烏海山の残雪域変化
中村 勉, 阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫, 沼野夏生	三種の陸屋根上での積雪深と地上積雪深との比較
東浦将夫, 阿部 修	新庄の平地積雪断面観測 (昭和48年~49年冬期)
東浦将夫, 阿部 修, 中村 勉	新庄の平地における積雪断面観測 (昭和49年~50年冬期)
東浦将夫, 阿部 修	新庄盆地の地下水観測資料(I) — 水位・水温, 1970~1975 —
東浦将夫, 阿部 修, 沼野夏生	新庄の平地における積雪断面観測 (1975年~1980年冬期)
東浦将夫	新庄盆地の地下水観測資料(II) — 浅層地下水の水位・水温変化 (1976~1980) —
阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫, 沼野夏生, 中村 勉	新庄支所における10冬期間の気象・降積雪, その1・気象資料編 — 1974年11月~1984年4月冬期 —
阿部 修, 中村秀臣, 東浦将夫, 沼野夏生, 中村 勉	新庄支所における10冬期間の気象・降積雪観測, その2・降積雪編 — 1974年4月冬期 —
阿部 修, 中村秀臣, 沼野夏生, 東浦将夫, 佐藤篤司, 中村 勉	新庄の平地における積雪断面観測結果 (1980/81年~1987/88年8冬期)
寺島治男, 東浦将夫, 阿部 修	昭和50年8月6日青森県岩木市百沢地区および山形県北部に発生した集中豪雨災害現地調査報告
栗山 弘, 山田 穰, 五十嵐高志, 野原以左武, 東浦将夫, 沼野夏生, 片桐一美	昭和56年豪雪による北陸地方の災害現地調査報告
広部良輔	
広部良輔	土粒子の結合力を計算する新しい式
広部良輔	飽和砂質土の液状化に関する研究
広部良輔, 古谷 保, 中山 康	斜面の安定に関する総合的研究 — 土の強度と間隙水の結合力 —
森脇 寛, 広部良輔, 熊谷貞治, 高橋 博	有珠山噴火による火山灰堆積層に関する研究 — 降雨の表面流出と浸食について —
広部良輔, 五十嵐高志	凍結砂土の一軸圧縮性について
広部良輔, 山田 穰, 五十嵐高志	積雪に伴う災害の調査研究 (1977~78年冬期)
広部良輔, 山田 穰, 五十嵐高志	雪崩警報システムの試作について — SYSTEM OJIYA I —

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1～192	研究資料	68	287
95～109	研究報告	14	—
215～225	”	17	—
201～218	”	19	—
103～112	”	21	32
271～286	”	23	105
279～301	”	27	275
45～ 53	”	32	502
55～ 72	”	32	503
37～ 54	研究速報	13	—
1～ 26	研究資料	33	65
1～ 95	”	37	61
1～103	”	70	368
1～ 90	”	71	369
1～121	”	105	860
1～ 76	”	106	861
1～138	”	131	
1～ 44	災害調査	8	—
1～392	”	17	289
31～ 34	研究報告	13	—
89～100	”	15	—
65～ 78	”	19	—
83～ 92	”	22	111
167～173	”	22	118
1～ 60	研究速報	32	51
1～ 12	”	39	125

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 広部良輔, 箕輪親宏	1975年4月大分県中部に発生した地震災害現地調査報告
福井隆文	
・ 菅原正巳, 勝山ヨシ子, 大村一夫, 福井隆文	微小地震の自動検出方法について
・ 渡辺一郎, 勝山ヨシ子, 尾崎睿子, 福井隆文	電子計算機による強震記録の読み取り
・ 渡辺一郎, 菅原正巳, 福井隆文, 勝山ヨシ子	微小地震の自動検出方法について(第3報) — 自動検測の試み—
・ 福井隆文, 諸星敏一	オンラインデータ交換装置(TOSBAC-40)のシステム開発(第2報) — 地震波などの解析のために—
・ 福井隆文, 諸星敏一	オフラインデータ交換装置(TOSBAC-40)のシステム開発 — 地震波などの解析のために—
・ 渡辺一郎, 福井隆文, 勝山ヨシ子	地震波処理の一方式について
・ 木下武雄, 中根和郎, 福井隆文	1975年8月17日台風第5号による高知県中部の災害現地調査報告
福囿輝旗	
・ 寺島治男, 森脇 寛, 福囿輝旗, 中根和郎, 富永雅樹	斜面崩壊機構に関する実験的研究(I)
・ 福囿輝旗	降雨による斜面崩壊と内部応力状態について
・ 木下武雄, 富永雅樹, 福囿輝旗, 益倉克成, 佐々木健一	表面流出に関する研究(その3)
・ 福囿輝旗	表面流出に及ぼす排水路の影響について — 水理実験と数値実験—
・ 福囿輝旗, 寺島治男	降雨による粘性土斜面の崩壊実験
・ 福囿輝旗	大型降雨実験施設による表面流出実験資料集(I) — 流出波形に及ぼす水路網密度の影響に関する実験—
・ 稲葉誠一, 福囿輝旗	昭和50年8月台風6号による石狩川洪水災害および渡島支庁国道5号線斜面崩壊災害調査報告
・ 高村 博, 西口哲夫, 木下武雄, 富永雅樹, 福囿輝旗, 大倉 博	1976年台風第17号による長良川地域水害調査報告
・ 大八木規夫, 中根和郎, 福囿輝旗	1982年7月豪雨(57.7豪雨)による長崎地区災害調査報告
・ 大八木規夫, 田中耕平, 福囿輝旗	1985年7月26日長野市地附山地すべりによる災害の調査報告
福山英一	
・ 福山英一	伊豆大島で観測されたノコギリ歯型傾斜変動と火山活動の関係
藤縄幸雄	
・ 藤縄幸雄	重力波における波高と水圧の関係(1) — 水圧変動の深さによる減衰—
・ 藤縄幸雄	乱流の一つのモデル: うず糸の集合の統計的処理(英文)
・ 藤縄幸雄	風浪における行過ぎ量(英文)

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 28	災害調査	6	—
1 ~ 9	研究報告	9	—
11 ~ 31	”	9	—
33 ~ 47	”	15	—
49 ~ 56	”	15	—
1 ~ 17	研究速報	15	—
1 ~ 6	”	18	—
1 ~ 53	災害調査	9	—
75 ~ 88	研究報告	15	—
101 ~ 122	”	20	39
87 ~ 100	”	24	187
63 ~ 72	”	26	254
103 ~ 122	”	29	354
1 ~ 287	研究資料	82	524
1 ~ 40	災害調査	10	—
1 ~ 92	”	12	381
1 ~ 133	”	21	530
1 ~ 45	”	26	866
1 ~ 14	研究速報	77	
69 ~ 74	研究報告	2	—
89 ~ 95	”	5	—
97 ~ 103	”	5	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 近藤純正, 藤縄幸雄, 内藤玄一 ・ 近藤純正, 内藤玄一, 藤縄幸雄, 渡部 勲 ・ 近藤純正, 内藤玄一, 藤縄幸雄 ・ 藤縄幸雄 ・ 藤縄幸雄 ・ 藤縄幸雄, 岡田憲司, 渡部 勲 ・ 藤縄幸雄, 岡田憲司, 渡部 勲 ・ 藤縄幸雄, 渡部 勲, 大池高保 ・ 藤縄幸雄, 松本一朗, 渡部 勲 ・ 藤縄幸雄 ・ 藤縄幸雄, 松本一朗, 渡部 勲 ・ 藤縄幸雄 ・ 江口孝雄, 藤縄幸雄 ・ 鵜川元雄, 藤縄幸雄, 江口孝雄 ・ 藤縄幸雄, 窪田道典, 江口孝雄, 鵜川元雄 ・ 渡部 勲, 藤縄幸雄	砕波,・白波,・波浪高周波成分の観測と海面粗度 海上風の乱れのスケールと軸の傾き 風による海洋最上層の流速 風浪の方向スペクトルの測定 風浪の発達機巧 — 一つのモデル 波浪に伴う長周期波 (サーフ・ビート) の特性(I) 波浪に伴う長周期波 (サーフ・ビート) の特性(II) 相模湾内の津波の特性(I) 短い風浪の波速について 湾曲傾斜海岸にトラップされるエッジ波 Short Gravity Waveの方向スペクトル幅について プレート間境界付近における運動(1) 海底地震計の設置・回収用超音波位置検知遠隔制御装置 自己浮上式海底地震計の観測データ処理方法 自己浮上式海底地震計 (CDPOBS IIa) について 平塚沖波浪観測資料(1)
堀 貞喜	
・ 松村正三, 岡田義光, 井元政二郎, 島田誠一, 堀 貞喜 ・ 松村正三, 岡田義光, 堀 貞喜 ・ 島田誠一, 大久保正, 岡田義光, 堀 貞喜 ・ 堀 貞喜, 松村正三 ・ 堀 貞喜, 松村正三, 島田誠一, 大久保正, 井元政二郎, 岡田義光 ・ 堀 貞喜, 大久保正	地震前兆解析システムの機能と構成 地震前兆解析システムにおける地震データ (高速採取データ) の処理 地震前兆解析システムにおける低速採取データの処理 地震前兆解析システムにおける自動震源決定 地震前兆解析システムによる自動前兆監視 関東・東海地域における「地震前兆指標」の地域性と時間変化
真木雅之	
・ 真木雅之, 八木鶴平 ・ 真木雅之, 八木鶴平	レーダーによる盆地降雪の観測, 1986年新庄市——鉛直構造の特徴—— 降水量分布に及ぼす筑波山地の影響
松村正三	
・ 大久保正, 佐藤春夫, 松村正三 ・ ディミトリス・パナスタシャ, 松村正三 ・ 松村正三, 岡田義光, 井元政二郎, 島田誠一	グラフィックディスプレイ装置を用いた地殻傾斜変動図の作成 国立防災科学技術センター地震観測網の震源決定能力及び震源決定精度の調査 地震前兆解析システムの機能と構成

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 23	研究報告	10	—
25 ~ 40	”	10	—
67 ~ 82	”	10	—
1 ~ 30	”	11	—
31 ~ 47	”	11	—
159 ~ 191	”	15	—
111 ~ 166	”	17	—
117 ~ 165	”	19	—
245 ~ 265	”	20	44
75 ~ 88	”	21	30
185 ~ 192	”	23	100
101 ~ 109	”	24	188
69 ~ 76	”	33	647
43 ~ 58	”	34	656
19 ~ 35	”	39	1020
1 ~ 107	研究資料	38	60
35 ~ 44	研究報告	41	1170
45 ~ 64	”	41	1171
65 ~ 87	”	41	1172
89 ~ 100	”	41	1173
101 ~ 114	”	41	1174
1 ~ 21	研究速報	74	1188
1 ~ 17	研究報告	39	1019
13 ~ 29	”	41	1168
145 ~ 157	研究報告	27	267
37 ~ 65	”	39	1021
35 ~ 44	”	41	1170

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・松村正三, 岡田義光, 堀 貞喜 ・堀 貞喜, 松村正三 ・堀 貞喜, 松村正三, 島田誠一, 大久保正, 井元政二郎, 岡田義光, ・松村正三, 大久保正, 勝山ヨシ子, 浜田和郎 ・井元政二郎, 大竹政和, 松村正三, 笠原敬司, 山水史生, 大久保正, 立川真理子, 浜田和郎 ・大竹政和, 井元政二郎, 石田瑞穂, 大久保正, 岡田義光, 笠原敬司, 立川真理子, 松村正三, 山水史生, 浜田和郎 ・鷗川元雄, 石田瑞穂, 松村正三, 笠原敬司	地震前兆解析システムにおける地震データ（高速採取データ）の処理 地震前兆解析システムにおける自動震源決定 地震前兆解析システムによる自動前兆監視 計算機による地殻活動観測データ処理システム — オンラインリアルタイムシステム— 伊豆半島川奈崎における群発地震活動について — 1978年11月23日～12月31日— 伊豆半島東方沖の地震（1980年6月29日）とその前後の地震活動 関東・東海地域地震観測網による震源決定方法について
三日月晋一 ・長田忠良, 三日月晋一, 小林俊市	積算降雪深による積雪沈降荷重の推定
御子柴正 ・勝山ヨシ子, 御子柴正, 矢崎 忍, 諸星敏一 ・御子柴正, 木下繁夫 ・御子柴正 ・鈴木宏芳, 池田隆司, 御子柴正, 木下繁夫	災害・防災情報の自動計測のための基本ソフトウェアシステムの開発 構内データ伝送システム — 耐震実験に対する適用— 強震動多点同時記録の処理システム 関東・東海地域における孔井検層資料集
水谷武司 ・大石道夫, 水谷武司 ・水谷武司 ・水谷武司 ・水谷武司 ・水谷武司 ・水谷武司 ・水谷武司 ・水谷武司 ・西川 泰, 有賀世治, 水谷武司 ・水谷武司 ・水谷武司, 清水文健 ・水谷武司	地形条件からみた扇状地の土砂災害について 浸食による山地斜面の発達（英文） 災害時における避難の難易差の反映としての人命被害度の時刻差および地域差 風水害および震害とひん度との関係について 茨城県南西部, 桜川流域の防災地学環境 災害危険地集落の集団移転 人的被害の規模に関係する要因 日本の自然災害の諸特性 昭和30年代の災害資料から 台風6626号による山地および海岸災害に関する研究 最近の災害事例にみられる避難の阻害および助長要因 災害地の土地条件 — 危険の程度を判断し災害に備える手がかり— 水害に備えるための参考事項 — 過去の水害の分析結果から—

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
45 ~ 64	研究報告	41	1171
89 ~ 100	”	41	1173
101 ~ 114	”	41	1174
1 ~ 18	研究速報	35	48
1 ~ 14	”	36	47
1 ~ 25	”	43	195
1 ~ 88	”	53	513
1 ~ 36	研究速報	13	—
113 ~ 120	研究報告	22	114
123 ~ 135	”	29	355
21 ~ 34	”	32	500
1 ~ 162	研究資料	65	284
45 ~ 55	研究報告	2	—
1 ~ 46	”	8	—
1 ~ 14	”	13	—
15 ~ 30	”	13	—
25 ~ 47	”	27	261
19 ~ 37	”	29	350
9 ~ 34	”	31	487
1 ~ 30	研究速報	10	—
1 ~ 49	研究資料	13	—
1 ~ 26	”	29	69
1 ~ 59	”	46	130
1 ~ 48	”	98	854

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 水谷武司, 森脇 寛, 井口 隆	1981年8月台風第15号による長野県須坂土石流災害調査報告
・ 木下武雄, 水谷武司, 八木鶴平, 岸井徳雄, 佐藤照子, 植原茂次, 大倉 博, 幾志新吉	1986年8月5日台風10号の豪雨による関東・東北地方の水害調査報告
箕輪親宏	
・ 箕輪親宏	地下埋設管の振動実験について
・ 箕輪親宏	地中埋設管の耐震性に関する研究
・ 箕輪親宏	水平・上下2方向振動台による一層鉄骨フレームの破壊実験
・ 小川信行, 箕輪親宏, 勝山ヨシ子, 小柳良一	原子力配管系の多入力振動実験報告書(その1)
・ 稲葉誠一, 小川信行, 箕輪親宏	住宅設備ユニット振動実験報告
・ 小川信行, 箕輪親宏, 飯田晴男, 久保田武	大型振動台加震時の周辺地盤振動に関する調査報告
・ 小川信行, 箕輪親宏	三次元精密振動台による小型模型実験(三次元振動台による実験 その1)
・ 箕輪親宏	国立防災科学技術センター大型振動台のあゆみ
・ 大谷圭一, 小川信行, 箕輪親宏, 飯田晴男	大型耐震実験装置加振機等精密分解点検報告
・ 広部良輔, 箕輪親宏	1975年4月大分県中部に発生した地震災害現地調査報告
・ 植原茂次, 大谷圭一, 箕輪親宏, 片桐一美	1978年宮城県沖地震による災害現地調査報告
宮村兵衛	
・ 磯部金治, 小林俊市, 宮村兵衛	一軸圧縮試験機で圧縮した雪の切削破壊抵抗
・ 清水増治郎, 小林俊市, 宮村兵衛, 山田 稔, 五十嵐高志	長岡における積雪観測資料(1976. 11—1978. 4)
・ 小林俊市, 宮村兵衛, 山田 稔, 五十嵐高志, 清水増治郎	長岡における積雪観測資料(1978. 11—1979. 3)
・ 宮村兵衛, 山田 稔, 五十嵐高志, 清水増治郎, 小林俊市	長岡における積雪観測資料(1979. 11—1980. 4)
宮本 誠	
・ 五十嵐高志, 宮本 誠	1986—1987年冬期の降積雪に伴う被害
森脇 寛	
・ 寺島治男, 森脇 寛, 福岡輝旗, 中根和郎, 富永雅樹	斜面崩壊機構に関する実験的研究(I)
・ 森脇 寛	斜面崩壊の発生過程について(I) — 降雨による表層崩壊実験 —
・ 森脇 寛, 広部良輔, 熊谷貞治, 高橋 博	有珠山噴火による火山灰堆積層に関する研究 — 降雨の表面流出と浸食について —
・ 森脇 寛, 井口 隆	茨城県久慈地方の新第三紀層地すべりとその分布特性
・ 森脇 寛	降雨実験による畑地模型の表面流出について

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 52	災害調査	19	290
1 ~ 155	”	27	1043
59 ~ 82	研究報告	16	—
63 ~ 87	”	20	37
59 ~ 71	”	34	657
1 ~ 126	研究速報	75	—
1 ~ 45	研究資料	16	—
1 ~ 43	”	28	—
1 ~ 139	”	67	286
1 ~ 273	”	83	525
1 ~ 29	”	97	853
1 ~ 28	災害調査	6	—
1 ~ 82	”	15	70
105 ~ 131	研究報告	26	257
1 ~ 21	研究資料	31	67
1 ~ 12	”	43	133
1 ~ 12	”	54	201
1 ~ 97	”	128	
75 ~ 88	研究報告	15	—
51 ~ 64	”	19	—
83 ~ 92	”	22	111
125 ~ 144	”	24	190
65 ~ 83	”	30	360

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 大八木規夫, 森脇 寛, 西川 泰	昭和49年4月新潟県新井市平丸地区及び山形県大蔵村赤松地区に発生した地すべり災害現地調査報告
・ 大八木規夫, 寺島治男, 森脇 寛	1976年台風第17号による兵庫県一宮町福知抜山地すべりおよび香川県小豆島の災害調査報告
・ 水谷武司, 森脇 寛, 井口 隆	1981年8月台風第15号による長野県須坂土石流災害調査報告
・ 米谷恒春, 森脇 寛, 清水文健	1982年台風第10号と直後の低気圧による三重県一志郡の土石流災害および奈良県西吉野村地すべり災害調査報告
・ 植原茂次, 森脇 寛	1983年梅雨前線による島根豪雨災害現地調査報告
・ 大谷圭一, 岡田義光, 諸星敏一, 田中耕平, 森脇 寛, 資料調査室	千葉県東方沖地震災害調査報告
諸星敏一	
・ 福井隆文, 諸星敏一	オンラインデータ交換装置(TOSBAC-40)のシステム開発(第2報) — 地震波などの解析のために —
・ 諸星敏一	電子計算機による強震記録の読み取り(第2報)
・ 諸星敏一, 幾志新吉	土質断面図の検索・表示・応答システム
・ 諸星敏一	電子計算機による減衰波形の半自動読取
・ 勝山ヨシ子, 御子柴正, 矢崎 忍, 諸星敏一	災害・防災情報の自動計測のための基本ソフトウェアシステムの開発
・ 諸星敏一, 幾志新吉	リモートセンシング画像処理システムの開発に関する研究
・ 諸星敏一	マイクロコンピュータによる土質柱状図入力システムの開発
・ 大倉 博, 幾志新吉, 諸星敏一, 新井康平, 石戸喜夫, 佐藤右二	パーソナルコンピュータによるランドサット画像データの伝送実験
・ 勝山ヨシ子, 尾崎睿子, 幾志新吉, 諸星敏一	図形入力装置の使用例の開発 — 災害・防災情報入力への応用 —
・ 福井隆文, 諸星敏一	オフラインデータ交換装置(TOSBAC-40)のシステム開発 — 地震波などの解析のために —
・ 植原茂次, 幾志新吉, 諸星敏一, 横溝邦雄	1979年御岳山噴火による災害現地調査報告
・ 大谷圭一, 岡田義光, 諸星敏一, 田中耕平, 森脇 寛, 資料調査室	千葉県東方沖地震災害調査報告
八木鶴平	
・ 八木鶴平	静止空気中で燃焼させたよう化銀コンポジットの有効氷晶核数の測定
・ 八木鶴平, 清野 豁, 小元敬男	北関東に豪雨およびひょう害をもたらした昭和47年8月2日の雷雨群のレーダエコー解析
・ 八木鶴平, 清野 豁, 小元敬男	雷雨の等エコー構造と移動方向の関係について
・ 清野 豁, 八木鶴平, 小元敬男	雷雨エコー域内の雨滴粒度分布の差異について(序報)
・ 清野 豁, 小元敬男, 八木鶴平, 米谷恒春	弱い降ひょうを伴った対流恵系の降水分布の特徴について
・ 八木鶴平	雷雨の等エコー構造と移動方向の関係について(II)
・ 八木鶴平, 清野 豁	長岡における降雪粒子のZ-R関係および粒度分布の特徴 I
・ 八木鶴平, 上田 博	長岡における降雨粒子のZ-R関係および粒度分布の特徴 II

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1～ 42	災害調査	4	—
1～ 68	”	13	—
1～ 52	”	19	290
1～ 70	”	22	381
1～ 85	”	24	676
1～ 49	”	29	1200
49～ 56	研究報告	15	—
29～ 45	”	16	—
33～ 42	”	17	—
101～116	”	19	—
113～120	”	22	114
131～144	”	22	116
111～128	”	31	492
277～284	”	41	1180
1～ 9	研究速報	14	—
1～ 17	”	15	—
1～ 41	災害調査	16	135
1～ 49	”	29	1200
55～ 60	研究報告	9	—
37～ 52	”	14	—
1～ 8	”	15	—
9～ 22	”	15	—
1～ 15	”	19	—
39～ 47	”	22	108
49～ 61	”	22	109
29～ 38	”	23	93

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 上田 博, 八木鶴平	長岡における雪片の落下速度の測定とZ-R関係への適用について
・ 八木鶴平	昭和51年5月17日の降ひょうを伴った線状雷雨の構造とレーダー反射強度
・ 上田 博, 八木鶴平	ファンビーム・ドップラーレーダーを利用した水平風測定におけるスペクトルの考察
・ 兪 漢奎, 八木鶴平	層状雲からの降水エコーの移動に関するレーダー観測
・ 上田 博, 八木鶴平	北海道釧路市における海霧の観測
・ 上田 博, 八木鶴平	降水エコーの短時間予測のための上層風の補外ベクトルとしての評価研究
・ 八木鶴平, 上田 博	レーダーによる降雨の短時間予測のための上層風の利用について
・ 八木鶴平, 上田 博, 中村 勉, 中村秀臣, 阿部 修, 沼野夏生	盆地における降雪の予備的研究 — 1985年新庄市でのレーダー観測 —
・ 真木雅之, 八木鶴平	レーダーによる盆地降雪の観測, 1986年新庄市 — 鉛直構造の特徴 —
・ 八木鶴平	日本列島中央部に発生したスーパーセルストームについて (英文)
・ 真木雅之, 八木鶴平	降水量分布に及ぼす筑波山地の影響
・ 小元敬男, 八木鶴平, 清野 豁	昭和50年6月9日の群馬県の降ひょう (序報)
・ 八木鶴平, 上田 博, 清野 豁	昭和53年のかんばつによる茨城県の農作物被害調査
・ 上田 博, 八木鶴平	ファンビーム・ドップラーレーダーによる水平風の測定
・ 八木鶴平, 上田 博	北海道釧路市における昭和56年度海霧観測の概要
・ 八木鶴平, 上田 博	北海道釧路市における昭和57年度海霧観測の概要
・ 渡辺一郎, 青木佑久, 八木鶴平, 大谷圭一	防災関係法令集 (英文)
・ 清野 豁, 米谷恒春, 八木鶴平	群馬県藤岡市における高層気象観測資料 (1970—1972, 1974—1976)
・ 小沢行雄, 小元敬男, 八木鶴平, 米谷恒春	気象調節に関する研究 — 総合報告 —
・ 木下武雄, 水谷武司, 八木鶴平, 岸井徳雄, 佐藤照子, 植原茂次, 大倉 博, 幾志新吉	1986年8月5日台風10号の豪雨による関東・東北地方の水害調査報告
矢崎 忍	
・ 矢崎 忍	降ひょう記録計記録の電子計算機による自動検測
・ 中根和郎, 矢崎 忍	表面流出に関する研究 (その2) — 平地小流域における流量観測 —
・ 勝山ヨシ子, 御子柴正, 矢崎 忍, 諸星敏一	災害・防災情報の自動計測のための基本ソフトウェアシステムの開発
・ 矢崎 忍	電子計算機による強震記録の読み取り (第3報)
・ 植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一	火山専用空中赤外映像装置の開発研究

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
39 ~ 46	研究報告	23	94
15 ~ 31	”	24	183
33 ~ 43	”	24	184
9 ~ 18	”	25	173
69 ~ 92	”	29	352
1 ~ 24	”	30	358
1 ~ 19	”	32	499
9 ~ 24	”	38	1015
1 ~ 17	”	39	1019
1 ~ 12	”	41	1167
13 ~ 29	”	41	1168
1 ~ 31	研究速報	22	—
1 ~ 50	”	33	50
1 ~ 24	”	42	196
1 ~ 17	”	45	364
1 ~ 19	”	49	506
1 ~ 352	研究資料	30	68
1 ~ 140	”	32	66
1 ~ 60	”	34	64
1 ~ 155	災害調査	27	1043
47 ~ 58	研究報告	16	—
137 ~ 155	”	20	41
113 ~ 120	”	22	114
121 ~ 129	”	22	115
1 ~ 106	研究速報	62	661

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一 ・ 矢崎 忍, 勝山ヨシ子 ・ 植原茂次, 熊谷貞治, 高橋 博, 高橋末雄, 幾志新吉, 矢崎 忍, 田中 厚, 北村慎一 ・ 植原茂次, 矢崎 忍, 熊谷貞治, 幾志新吉, 高橋 博 ・ 矢崎 忍, 木下繁夫, 寺島幸造 ・ 矢崎 忍	火山専用空中赤外映像装置の開発研究(第2報) テレビカメラによる3次元動的位位置計測——耐震実験における変位計測への適用 火山専用空中赤外映像装置の開発研究(第3報) 火山専用空中赤外映像装置に関する開発研究(第6報) ——ヘリコプターMSS及びランドサットTMデータによる桜島火山体の熱分布の解析—— 強震記録数値集(第2集)——1980年9月25日千葉県中部地震——(英文) 強震記録数値集(第3集)——1982年3月7日鹿島難地震ほか3件——
八十島久 ・ 菅原正巳, 勝山ヨシ子, 八十島久 ・ 菅原正巳, 勝山ヨシ子, 八十島久, ・ 熊谷貞治, 鈴木宏芳, 八十島久, 高橋末雄	気象レーダのエコーを電子計算機により実時間解析する可能性について 高速A-D, D-A変換器を持つデータ処理機TOSBAC-3400のプログラミング例(1) 渥美沖人工地震の作手における観測と周波数分析——人工地震波の周波数分析(I)——
山田 穰 ・ 山田 穰 ・ 山田 穰, 五十嵐高志 ・ 山田 穰, 五十嵐高志 ・ 納口恭明, 山田 穰, 五十嵐高志 ・ 山田 穰 ・ 渡辺興亜, 五十嵐高志, 山田 穰 ・ 広部良輔, 山田 穰, 五十嵐高志 ・ 広部良輔, 山田 穰, 五十嵐高志 ・ 中村 勉, 山田 穰 ・ 五十嵐高志, 清水増治郎, 小林俊市, 山田 穰 ・ 清水増治郎, 小林俊市, 宮村兵衛, 山田 穰, 五十嵐高志 ・ 小林俊市, 宮村兵衛, 山田 穰, 五十嵐高志, 清水増治郎 ・ 宮村兵衛, 山田 穰, 五十嵐高志, 清水増治郎, 小林俊市	斜面積雪グラライドの新測定法 ラムゾンデによる魚野川流域の積雪層構造に関する研究(英文) 積雪の内部凍結 全層なだれにいたるグラライドの加速のモデル 表層雪崩の削剥作用について 1976—1977年冬期の新潟県を中心とする地方の広域積雪現象について 積雪に伴う災害の調査研究(1977—78年冬期) 雪崩警報システムの試作について ——SYSTEM OJIYA I—— ユネスコのが国からの災害なだれ報告について 長岡における積雪観測資料(1964.12—1976.3) 長岡における積雪観測資料(1976.11—1978.4) 長岡における積雪観測資料(1978.11—1979.3) 長岡における積雪観測資料(1979.11—1980.4)

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 40	研究速報	63	662
1 ~ 15	”	68	848
1 ~ 48	”	70	851
1 ~ 33	”	76	1190
1 ~ 332	研究資料	80	378
1 ~ 397	”	89	668
1 ~ 13	研究報告	1	—
37 ~ 43	”	1	—
1 ~ 26	研究速報	5	—
85 ~ 115	研究報告	18	—
215 ~ 229	”	23	102
129 ~ 152	”	31	493
169 ~ 180	”	38	1018
115 ~ 131	”	39	1024
1 ~ 85	研究速報	29	54
1 ~ 60	”	32	51
1 ~ 12	”	39	125
1 ~ 68	研究資料	22	—
1 ~ 50	”	25	—
1 ~ 21	”	31	67
1 ~ 12	”	43	133
1 ~ 12	”	54	201

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・山田 穰, 五十嵐高志, 納口恭明, 木村忠志, 小林俊市 ・木村忠志, 清水増治郎, 小林俊市, 山田 穰, 五十嵐高志 ・山田 穰 ・山田 穰 ・五十嵐高志, 山田 穰, 中尾正義, 清水増治郎, 熊谷元伸, 小林俊市 ・栗山 弘, 山田 穰, 五十嵐高志, 野原以左武, 東浦将夫, 沼野夏生, 片桐一美	長岡における積雪観測資料 (1984.11—1985.4) 長岡における積雪観測資料 (1985.11—1986.4) 能生町雪崩災害の被害・発生状況の概要 表層雪崩の堆積層について 長岡における積雪観測資料 (12) (1987.11—1988.4) 昭和56年豪雪による北陸地方の災害現地調査報告
山水史生	
・山水史生, 塚原弘昭, 佐藤春夫, 石田瑞穂 ・佐藤春夫, 浜田和郎, 高橋 博, 山水史生 ・井元政二郎, 大竹政和, 松村正三, 笠原敬司, 山水史生, 大久保正, 立川真理子, 浜田和郎 ・大竹政和, 井元政二郎, 石田瑞穂, 大久保正, 岡田義光, 笠原敬司, 立川真理子, 松村正三, 山水史生, 浜田和郎	川崎微小地震観測施設と深度別ノイズ分布 多摩川下流域の地盤隆起と微小地震観測 (その2) 伊豆半島川奈崎における群発地震活動について — 1978年11月23日～12月31日 — 伊豆半島東方沖の地震 (1980年6月29日)
山本英二	
・高橋 博, 木下 舜, 山本英二, 中村武英, 松本地弘, 倉橋敏夫 ・佐藤春夫, 立川真理子, 山本英二 ・立川真理子, 佐藤春夫, 山本英二 ・立川真理子, 山本英二, 佐藤春夫 ・立川真理子, 大久保正, 山本英二, 佐藤春夫 ・立川真理子, 大久保正, 山本英二, 佐藤春夫 ・立川真理子, 大久保正, 山本英二, 佐藤春夫 ・高橋 博, 高橋末雄, 笠原敬司, 山本英二, 大八木規夫	岩槻地殻活動観測装置信号ケーブル接続部水密構造の開発 地殻傾斜観測資料集 1979 [近又・野田沢・岡部・中伊豆・南足柄・塩山地殻活動観測施設] 地殻傾斜観測資料集(3) 1980 [近又・野田沢・岡部・中伊豆・南足柄・塩山・岩井北・銚子・韭山地殻活動観測施設] 地殻傾斜観測資料集(4) 1981 [近又・野田沢・岡部・中伊豆・南足柄・塩山・岩井北・銚子・三ヶ日・静岡・府中地殻活動観測施設] 地殻傾斜観測資料集(5) 1982 [近又・野田沢・岡部・中伊豆・南足柄・塩山・岩井北・銚子・三ヶ日・静岡・本川根・下田・府中・岩槻・下総地殻活動観測施設] 1983年地殻傾斜観測資料集 [関東・東海地域地殻活動観測網] 1984年地殻傾斜観測資料集 [関東・東海地域地殻活動観測網] 1974年伊豆半島沖地震現地調査及び観測報告

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1～ 12	研究資料	100	855
1～ 12	”	115	1037
1～ 12	”	117	1039
27～ 32	”	117	1041
1～ 15	”	129	
1～392	災害調査	17	289
17～ 33	研究報告	18	—
1～ 16	研究速報	26	—
1～ 14	”	36	47
1～ 25	”	43	195
1～ 23	研究速報	40	124
1～ 66	研究資料	51	204
1～123	”	62	281
1～147	”	78	376
1～200	”	86	528
1～189	”	103	858
1～199	”	112	1034
1～121	災害調査	5	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
湯原浩三 ・ 湯原浩三, 西村嘉四郎, 岩崎一雄, 大久保太治, 川本 整 ・ 湯原浩三, 高橋末雄, 幾志新吉, 香川崇章, 笠原敬司	新潟県矢津地すべりの機構 八丈島地震災害現地調査について
横溝邦雄 ・ 植原茂次, 幾志新吉, 諸星敏一, 横溝邦雄	1979年御岳山噴火による災害現地調査報告
米谷恒春 ・ 米谷恒春 ・ 小元敬男, 米谷恒春 ・ 米谷恒春 ・ 米谷恒春 ・ 清野 豁, 小元敬男, 八木鶴平, 米谷恒春 ・ 米谷恒春 ・ 米谷恒春 ・ 米谷恒春 ・ 米谷恒春 ・ 権 泰来, 米谷恒春 ・ 米谷恒春 ・ 清野 豁, 米谷恒春, 八木鶴平 ・ 小沢行雄, 小元敬男, 八木鶴平, 米谷恒春 ・ 米谷恒春 ・ 米谷恒春, 森脇 寛, 清水文健	北関東地方の雷雨発生日の大気安定度 関東地方の雷雨(その1) — 雷雨日の大気鉛直構造の数 値解析 — 対流雲の発達に関する数値実験 対流雲の発達に関する数値実験(II) — 含水量の相異による 影響 — 弱い降ひょうを伴った対流系系の降水分布の特徴について 雲底下層における安定度の影響を考慮した雷雨予報のため の不安定指数 — 関東平野の北部を対象とした場合 — 地表の高温域による大気成層の変質とそれが対流雲の発達 に及ぼす影響 — 数値実験 — 高温域による積雲の形成の数値実験 東京都の都市域における降水量の特異性 韓国の中部地方を対象とした降ひょう予測法 昭和60年7月14日の東京を襲った集中豪雨の解析 群馬県藤岡市における高層気象観測資料(1970—1972, 1974—1976) 気象調節に関する研究 — 総合報告 — 日本における100年確率日雨量と年洪水量の長期変動 1982年台風第10号と直後の低気圧による三重県一志郡の 土石流災害および奈良県西吉野村地すべり災害調査報告
ラング, セオドル・イー ・ ラング, セオドル・イー ・ ラング, セオドル・イー, 沼野夏生, 阿部 修 ・ ラング, セオドル・イー, 中村 勉	雪崩走出予知用コンピュータープログラム(英文) コンピュータープログラム・LOPE(英文) 有限要素法による積雪の沈降解析(英文)
渡辺一郎 ・ 渡辺一郎, 勝山ヨシ子, 尾崎睿子, 福井隆文	電子計算機による強震記録の読み取り

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1～ 22	研究報告	7	—
1～ 45	災害調査	1	—
1～ 41	災害調査	16	—
47～ 53	研究報告	9	—
78	”	14	—
79～ 94	”	14	—
23～ 32	”	15	—
1～ 15	”	19	—
35～ 44	”	21	27
63～ 81	”	22	110
1～ 13	”	24	182
1～ 8	”	25	172
109～118	”	27	264
1～ 7	”	38	1014
1～140	研究資料	32	66
1～ 60	”	34	64
1～ 72	”	58	277
1～ 70	災害調査	22	381
1～ 79	研究速報	59	519
81～137	”	59	520
139～187	”	59	521
11～ 31	研究報告	9	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子	タンクモデルによる非湿潤地帯河川の流出解析 (付: ビギン河, 木津川の流出解析)
・ 勝山ヨシ子, 渡辺一郎	微小地震の自動検出方法について (第2報)
・ 渡辺一郎, 菅原正巳, 福井隆文, 勝山ヨシ子	微小地震の自動検出方法について (第3報) — 自動検測の試み —
・ 渡辺一郎	東京の災害が全国に及ぼす影響 (第1報) — 東京の現状, 人口との関連 —
・ 渡辺一郎	東京の災害が全国に及ぼす影響 (第2報) — 東京の復旧, 復興との関連 —
・ 菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子	タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第1報)
・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第2報)
・ 渡辺一郎	東京の災害が全国へ及ぼす影響 (第3報) — 関東大震災の場合についての一考察 —
・ 渡辺一郎	地震予知に対応する震災対策とその問題点 (第1報)
・ 渡辺一郎	地震予知に対応する震災対策とその問題点 (第2報) — 一般家庭 —
・ 渡辺一郎	地震予知に対応する震災対策とその問題点 (第5報) — 第1報~第4報のまとめ —
・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第3報) — 洪水解析用の自動化プログラムの開発 —
・ 渡辺一郎	地震予知に対応する震災対策とその問題点 (第6報) — 警戒宣言発令時刻の相異によって起こる問題点 —
・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	タンク・モデルに付加された土壌水分構造の性質
・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	タンク・モデルによるサンゲレ試験流域 S 1 ~ S 7 の流出解析
・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	タンク・モデルの構造を自動的に定める計算機プログラムの開発 (第4報) — 流出孔の位置, 土壌水分構造, 農業用水のパラメータを定める —
・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 中根和郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	「融雪流出の概念モデルの相互比較」の課題となった6流域の流出解析
・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	「融雪流出の概念モデルの相互比較」の課題となった6流域の流出解析 (第2報)
・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子	タンク・モデルによるビルマ, チンドウィン川の流出予測 (英文)
・ 菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎	イラワジ川上流部 Sagaing の流量のタンク・モデルによる予報方式
・ 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子	パーソナル・コンピュータのためのタンク・モデル・プログラムとその使い方
・ 菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子	タンクモデル及びバード・クリーク, オロンビー・ブルック, ビキン河, 木津川, サナガ河, ナム・ネムへの適用
・ 渡辺一郎	内海汚濁のモデルとシュミレーション
・ 渡辺一郎	内海汚濁のモデルとシュミレーション (第2報)

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1 ~ 26	研究報告	12	—
27 ~ 51	”	12	—
33 ~ 47	”	15	—
1 ~ 27	”	16	—
17 ~ 31	”	17	—
43 ~ 89	”	17	—
157 ~ 216	”	20	42
217 ~ 244	”	20	43
63 ~ 74	”	21	29
93 ~ 100	”	22	112
111 ~ 130	”	23	97
159 ~ 181	”	24	192
73 ~ 87	”	26	255
193 ~ 206	”	27	271
207 ~ 228	”	27	272
229 ~ 245	”	27	273
85 ~ 165	”	30	361
187 ~ 236	”	33	650
21 ~ 45	”	36	842
47 ~ 57	”	36	843
1 ~ 217	”	37	847
1 ~ 64	研究速報	11	—
1 ~ 22	”	12	—
1 ~ 16	”	16	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
- 菅原正巳, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子, 渡辺一郎 - 渡辺一郎, 福井隆文, 勝山ヨシ子 - 渡辺一郎, 大倉 博, 尾崎睿子 - 菅原正巳, 尾崎睿子, 渡辺一郎, 勝山ヨシ子 - 渡辺一郎 - 渡辺一郎 - 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 - 渡辺一郎, 青木佑久, 八木鶴平, 大谷圭一 - 渡辺一郎 - 渡辺一郎 - 渡辺一郎 - 渡辺一郎 - 菅原正巳, 渡辺一郎, 尾崎睿子, 勝山ヨシ子 - 高橋 博, 渡辺一郎, 鈴木宏芳	本邦山地積雪地域の流出解析 (英文) 地震波処理の一方式について 松代群発地震資料のコンピュータによる蓄積と検索 チャオ・ピヤ河および支流上の諸地点における日流量をタンクモデルにより算出する方法について (英文) 地震予知に対応する震災対策とその問題点 (第3報) — 地方自治体 — 地震予知に対応する震災対策とその問題点 (第4報) — 事務所ビル, その他 — タンク・モデル — 積雪・融雪モデルを伴った — (英文) 防災関係法令集 (英文) 災害予防指針 第1巻 — 居住地のための災害前における物的計画作成 — (翻訳) 災害予防指針 第2巻 — 災害の影響を最小にするための建設対策 — (翻訳) 災害予防指針 第3巻 — 居住地の管理 — (翻訳) 東京の災害が全国に及ぼす影響 (第4報) — 東京及び南関東における諸活動の全国に対する比率の推移 — パーソナルコンピュータのためのタンクモデル・プログラムとその使い方 (第2報) 1973年6月17日根室半島沖地震現地調査報告
渡辺興亜	
- 渡辺興亜, 五十嵐高志, 山田 穰 - 渡辺興亜, 五十嵐高志, 山田 穰	1976—1977年 冬期の新潟県を中心とする地方の広域積雪現象について 51.1 豪雪の積雪現象および積雪災害に関する広域調査報告
渡部 勲	
- 稲田 亘, 渡部 勲 - 近藤純正, 渡部 勲 - 岩田憲幸, 稲田 亘, 田中孝紀, 渡部 勲 - 近藤純正, 稲田 亘, 内藤玄一, 渡部 勲 - 岩田憲幸, 田中孝紀, 渡部 勲 - 岩田憲幸, 稲田 亘, 渡部 勲 - 近藤純正, 内藤玄一, 藤縄幸雄, 渡部 勲 - 内藤玄一, 都司嘉宣, 渡部 勲 - 内藤玄一, 都司嘉宣, 渡部 勲 - 藤縄幸雄, 岡田憲司, 渡部 勲	容量型波高計について 深い湖の水溫鉛直分布と蒸発の季節変化 波浪のスペクトル幅と統計値(I) 平塚沿岸の風・水溫および波について 台風によるうねり 波浪のスペクトル幅と統計量(II) 海上風の乱れのスケールと軸の傾き 冬期南西諸島南方海域における運動量・顕熱・潜熱の輸送と放射量 — AMTEX'74 報告 冬期南西諸島南方海域における運動量・顕熱・潜熱の輸送と放射量(II) — AMTEX'75 報告 波浪に伴う長周期波 (サーフ・ビート) の特性(I)

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1～ 38	研究速報	17	—
1～ 6	”	18	—
1～ 25	”	19	—
1～ 56	”	24	—
1～ 15	”	37	127
1～ 13	”	38	126
1～298	”	65	664
1～352	研究資料	30	68
1～ 58	”	66	285
1～ 32	”	73	371
1～ 53	”	81	523
1～ 35	”	101	856
1～200	”	113	1035
1～ 41	災害調査	3	—
1～ 85	研究速報	29	54
1～ 58	災害調査	11	—
57～ 68	研究報告	2	—
75～ 88	”	2	—
23～ 43	”	4	—
45～ 64	”	4	—
59～ 79	”	5	—
81～ 87	”	5	—
25～ 40	”	10	—
1～ 35	”	14	—
101～143	”	15	—
159～191	”	15	—

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 藤縄幸雄, 岡田憲司, 渡部 勲 ・ 藤縄幸雄, 渡部 勲, 大池高保 ・ 藤縄幸雄, 松本一朗, 渡部 勲 ・ 藤縄幸雄, 松本一朗, 渡部 勲 ・ 内藤玄一, 徳田正幸, 渡部 勲 ・ 徳田正幸, 内藤玄一, 都司嘉宣, 渡部 勲 ・ 徳田正幸, 渡部 勲, 江口純弘 ・ 内藤玄一, 渡部 勲, 徳田正幸 ・ 徳田正幸, 竹田 厚, 渡部 勲 ・ 徳田正幸, 渡部 勲, 竹田 厚 ・ 徳田正幸, 渡部 勲, 平元泰輔, 池田文雄, 長谷川保 ・ 渡部 勲, 徳田正幸 ・ 徳田正幸, 渡部 勲, 堀江賢次, 佐藤 浩 ・ 渡部 勲, 藤縄幸雄 ・ 渡部 勲, 徳田正幸 ・ 渡部 勲, 岩田憲幸 ・ 渡部 勲, 徳田正幸 ・ 渡部 勲, 徳田正幸 ・ 渡部 勲, 徳田正幸	波浪に伴う長周期波（サーフ・ビート）の特性(II) 相模湾内の津波の特性(I) 短い風浪の波速について Short Gravity Wave の方向スペクトル幅について マイクロ波散乱計による海上風の遠隔測定実験 圧力式波浪計による相模湾での波浪観測 I 相模湾の波浪特性 II マイクロ波散乱計による海上風の遠隔測定実験(II) 2周波散乱計による波浪計測実験 I. 固定プラットフォーム（観測塔）による方向スペクトル計測 2周波散乱計による波浪計測実験 II. 移動プラットフォーム（航空機）による方向スペクトル計測 台風による定置網被害時の波浪特性 I 沿岸波浪観測システムに関する研究— 1. 波高の定時観測 沿岸波浪観測システムに関する研究— 2. 方向スペクトルの定時観測 平塚沖波浪観測資料(1) 平塚沖波浪観測資料(2) 平塚で観測された異常潮位（1979年） 平塚沖波浪観測資料(3) 平塚沖波浪観測資料(4) 平塚沖波浪観測資料(5)（1982.9～1984.8）
国立防災科学技術センター ・ 国立防災科学技術センター	松代群発地震観測資料（第1報） がけくずれの地域的・季節的分布と降水量（1949—1959） 水害資料について 1968年十勝沖地震災害調査報告 松代群発地震観測資料（第2報） 川口大気拡散実験資料 日本の災害なだれ(1)——山形県（1629—1975）, 新潟県（1945—1974）ならびに全国資料（1927—1976）—— 松代群発地震観測資料(3)——地下水に関する資料集（その1）—— 防災関係法令集（英文）（第2集） 火山活動観測資料（硫黄島, 霧島山）No.1 松代群発地震(4)——地下水に関する資料集（その2）—— 松代群発地震資料(5) 長野県における被害地震史料集
資料調査室 ・ 資料調査室	強震記録数値集（第1集）——1978年1月伊豆大島近海の地震, 1978年6月宮城県沖地震——（英文）

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
111～166	研究報告	17	—
117～165	”	19	—
245～265	”	20	44
185～192	”	23	100
193～213	”	23	101
133～154	”	26	258
219～239	”	31	498
277～319	”	33	653
311～338	”	40	1165
321～340	”	41	1183
1～ 51	研究速報	54	514
1～ 24	”	61	660
1～ 33	”	67	666
1～107	研究資料	38	60
1～179	”	47	129
1～ 33	”	52	203
1～127	”	59	278
1～129	”	107	862
1～125	”	123	1196
1～140	研究資料	1	—
1～ 62	”	2	—
1～ 37	”	4	—
1～ 52	”	5	—
1～145	”	7	—
1～ 40	”	11	—
1～ 94	”	27	—
1～198	”	41	57
1～ 63	”	45	131
1～135	”	74	372
1～317	”	79	377
1～243	”	119	1192
1～371	”	40	58

著 者 ・ 編 者	論 文 名
・ 大谷圭一, 岡田義光, 諸星敏一, 田中耕平, 資料調査室 第 1 研究部 ・ 第 1 研究部 災害研究室 ・ 災害研究室 ・ 災害研究室 ・ 災害研究室 第 2 研究部 ・ 第 2 研究部 第 3 研究部 ・ 第 3 研究部 雪害実験研究所 ・ 雪害実験研究所 ・ 雪害実験研究所 ・ 雪害実験研究所 ・ 雪害実験研究所 ・ 雪害実験研究所 平塚支所 ・ 平塚支所 松代地震センター ・ 松代地震センター	千葉県東方沖地震災害調査報告 災害危険区域条例集 ― 出水・津波・高潮 ― 災害統計資料（昭和30年―40年） 日本主要自然災害被害統計（昭和20年―42年） 長崎県・熊本県農作物かん害実態統計 大型耐震実験装置の大型3次元6自由度振動台への改造に 関するフィジビリティスタディー ― 大型耐震実験装置 の機械系水平一方向更新工事 ― 松代群発地震資料の蓄積・検索シソーラス 長岡における積雪の断面観測資料（1965―1969） 長岡における積雪観測資料（1980.12―1981.4） 長岡における積雪観測資料（1981.11―1982.4） 長岡における積雪観測資料（1982.11―1983.4） 長岡における積雪観測資料（1983.10―1984.4） 国立防災科学技術センター“波浪等観測塔”20年の記録 ― 技術資料集 ― 松代群発地震資料(6) ― 松代地震センター20年のあゆみ ―

頁	誌 名	号	掲 載 番 号
1～ 49	災害調査	29	1200
1～ 21	研究資料	49	206
1～119	研究資料	3	—
1～168	”	9	—
1～ 86	”	10	—
1～ 61	研究資料	99	1032
1～116	研究資料	14	—
1～ 58	研究資料	8	—
1～ 11	”	64	283
1～ 10	”	75	373
1～ 11	”	84	526
1～ 13	”	91	670
1～111	研究資料	110	865
1～278	研究資料	121	1194